

秋田市の障がい福祉に関するアンケート 結果報告書

令和5年8月

秋 田 市

目次

目次	1
I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者	3
（1）回答者	3
（2）性別	3
（3）年代	3
（4）地域	4
特別支援学校生徒	5
（1）回答者	5
（2）回答者	5
（3）学年	5
（4）地域	5
III 調査結果（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者）	6
性別・年齢・住まいや暮らしなどについて	6
問 5. あなたは現在どのように暮らしていますか	6
問 6. 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。	7
問 7. あなたは今後 3 年以内にどのように暮らしたいと思いますか。	8
問 8. 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。	9
問 9. 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩までのそれぞれにお答えください。	11
問 10. あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。	13
問 11. あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。	15
問 12. 現在、あなたはどこから収入を得ていますか。	16
障がいの状況について	18
問 13. あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。	18
問 14. 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。	19
問 15. あなたは療育手帳をお持ちですか。	20
問 16. あなたは精神障害者保険福祉手帳をお持ちですか。	21
問 17. あなたはパーキンソン病や筋ジストロフィーなどの指定難病の認定を受けていますか。	22
問 18. あなたは発達障がいだと診断されたことがありますか。	23
問 19. あなたは高次機能障害だと診断されたことがありますか。	24
問 20. 問 19 で「1」を選んだ場合、その関連障がいをお答えください。	25
問 21. 現在、受けている医療ケアの内容をお答えください。	27

問 2 2 . 医療的ケアの必要な方と生活を送るうえで、主たる介護者の方は、どのようなことに困っていますか。.....	29
日中活動や就労について	31
問 2 3 . あなたは、1 週間にどの程度外出しますか。.....	31
問 2 4 . あなたが外出する際の主な同伴者はだれですか。.....	32
問 2 5 . あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。.....	33
問 2 6 . あなたは、外出するときの主な移動手段として何を利用していますか。.....	35
問 2 7 . 外出するときに困ることは何ですか。.....	36
問 2 8 . あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。.....	38
問 2 9 . どのような勤務形態で働いていますか。.....	40
問 3 0 . あなたは今後、問 28 の 1 のように働きたいと思いませんか。.....	41
問 3 1 . 問 30 で「2 したいができない」または「3 したくない」を選んだ場合、その理由をお答えください。.....	42
問 3 2 . あなたの、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。.....	44
日中活動や就労について	46
問 3 3 . 現在、あなたは障害福祉サービスなどを利用していますか。（○は 1 つだけ）	46
問 3 4 . あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。.....	47
問 3 5 . あなたは、次の表にある（1）から（34）までの障害福祉サービスなどを利用していますか。また今後利用したいと考えていますか。.....	48
問 3 6 . 障害福祉サービスなどを利用していない理由は何ですか。.....	51
問 3 7 . 40 歳以上の方におたずねします。あなたは介護保険サービスによるサービスを利用していますか。.....	53
問 3 8 . 該当する要介護度はどれですか。.....	54
相談や福祉情報の入手について	55
問 3 9 . あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。.....	55
問 4 0 . 普段の生活で情報通信機器を使って行っていることは何ですか。.....	57
問 4 1 . あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。.....	59
問 4 2 . これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったことは何ですか。.....	61
問 4 3 . 市などの情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。.....	63
権利擁護について	65
問 4 4 . あなたは、障がいのあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。.....	65
問 4 5 . どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。.....	66
問 4 6 . 差別や嫌な思いをしたことをどなたかに相談したことがありますか。.....	68
問 4 7 . 成年後見制度についてご存知ですか。.....	69
問 4 8 . 現在、成年後見制度を利用していますか。また、今後利用したいと思われませんか。「現在」と「今後」の両方にお答えください。.....	70
災害時の避難などについて	72

問 4 9 . あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。.....	72
問 5 0 . 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。.....	73
問 5 1 . 家事や地震などの災害によって困ることは何ですか。.....	74
将来について	76
問 5 2 . 将来のことで、不安に思っていることはありますか。.....	76
問 5 3 . あなたは現在、どちらに通園・通学、または通勤していますか。.....	78
問 5 4 . 学校生活をするうえで困っていることがありますか。.....	80
問 5 5 . あなたは、中学（中学部）や高校（高等部）などを卒業した後、どのような進路を考えていますか。...	82
問 5 6 . 将来、働くことについてどのように考えていますか。.....	83
最後に、秋田市の障がい福祉施策の取組について、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。.....	84
IV 調査結果（特別支援学校生徒）	96
障がいの状況について	96
問 5 . あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。.....	96
問 6 . 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。.....	97
問 7 . あなたは療育手帳をお持ちですか。.....	98
問 8 . あなたは精神障害者保険福祉手帳をお持ちですか。.....	99
問 9 . あなたはパーキンソン病や筋ジストロフィーなどの指定難病の認定を受けていますか。.....	100
問 1 0 . あなたは発達障がいだと診断されたことがありますか。.....	101
問 1 1 . 現在、受けている医療ケアの内容をお答えください。.....	102
暮らしについて	104
問 1 2 . 日頃、生活で支援が必要な場合、あなたを援助（声かけやうながし）・介助してくれる方は主に誰ですか。	104
問 1 3 . あなたは、どのような手段で通学していますか。.....	105
問 1 4 . あなたは障害福祉サービスなどを利用していますか。.....	107
問 1 5 . あなたは、次の表にある（1）から（7）までの障害福祉サービスなどを利用していますか。また今後利用 したいと考えていますか。.....	108
教育について	109
問 1 6 . 望ましい就学環境はどのような環境だと思いますか。.....	109
問 1 7 . 現在通っている学校での生活で困ることがありましたら、ご記入ください。.....	110
問 1 8 . 障がいのある児童・生徒の教育・育成に関して、どのようなことが必要であると思いますか。.....	112
卒業した後について	114
問 1 9 . あなたは、高等部を卒業した後、どのような進路を考えていますか。.....	114
問 2 0 . （問 1 9 で「4 施設通所」を選んだ方）利用したいサービスはどれですか。.....	115
問 2 1 . （問 1 9 で「5 施設入所」を選んだ方）利用したいサービスはどれですか。.....	116

問 2 2 . 障がい福祉サービスの利用を考える上で、不安や不満に思っていることは何ですか。.....	117
問 2 3 . 将来のことで、不安に思っていることはありますか。.....	119
最後に、秋田市の障がい福祉施策の取組について、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。.....	121
V 考察.....	123
身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者	123
特別支援学校生徒	127
VI 調査票（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者）	129
VII 調査票（特別支援学校生徒）	153

I 調査の概要

1 調査目的

身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者および特別支援学校に秋田市より通う生徒を対象に、日常生活の実態や福祉に関する意向を把握し、「第6次秋田市障がい者プラン」ならびに「第7期秋田市障がい福祉計画」「第3期秋田市障がい児福祉計画」を策定するための基礎資料とする。

2 調査項目

身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者

No	設問内容	設問数
1	回答者について	1
2	あなたの性別・年齢・住まいや暮らしなどについて	11
3	あなたの障がいの状況について	10
4	日常生活や就労について	10
5	障害福祉サービスなどの利用について	7
6	相談や福祉情報の入手について	5
7	権利擁護について	5
8	避難時の避難などについて	3
9	将来について	1
10	障がい児への支援について	5
合計		58

特別支援学校生徒

No	設問内容	設問数
1	回答者について	1
2	あなたの性別・年齢・住まいや暮らしなどについて	3
3	あなたの障がいの状況について	7
4	暮らしについて	4
5	教育について	3
6	卒業した後について	4
9	将来について	1
合計		23

3 調査対象

- (1) 調査対象範囲 秋田市全域
- (2) 調査対象者 身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者の中から無作為に抽出
特別支援学校に秋田市より通う生徒

(3) 地域詳細

地域名	地域
中央	大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉、千秋、中通、南通、檜山、茨島、八橋
東部	東通、手形、手形（字）、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、下北手、太平
西部	新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜
南部	牛島東、牛島西、牛島南、卸町、大住、大住南、仁井田、御野場、御所野、四ツ小屋、上北手、山手台、南ヶ丘
北部	寺内、外旭川、土崎港中央、土崎港東、土崎港西、土崎港南、土崎港北、土崎港（その他）、将軍野東、将軍野南、将軍野（その他）、港北、飯島、金足、下新城、上新城
河辺	
雄和	
秋田市以外	※特別支援学校生徒用調査のみ設定

4 調査期間

令和5年7月7日（金）～7月21日（金）

5 調査方法

郵送配布回収

6 回収結果

身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者

回収件数：720件（/1800件）

回収率：40.0%

特別支援学校生徒

回収件数：61件（/176件）

回収率：34.7%

7 報告書のみかた

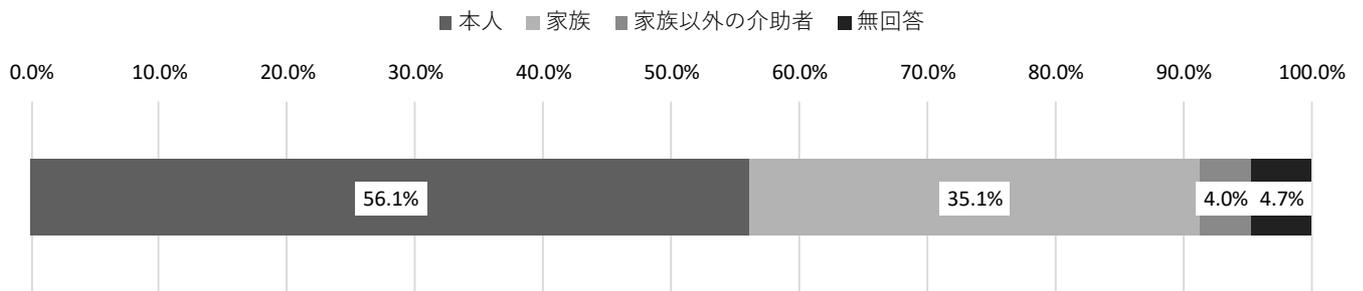
調査結果は百分率で表示している。百分率は小数点以下第2位を四捨五入していることから、合計値が100%にならない場合がある。

特別支援学校生徒の調査では、地域ごとのサンプルサイズが少なく、分析結果の解釈が困難であることから、コメントは行わないこととした。

Ⅱ 回答者の属性

身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者

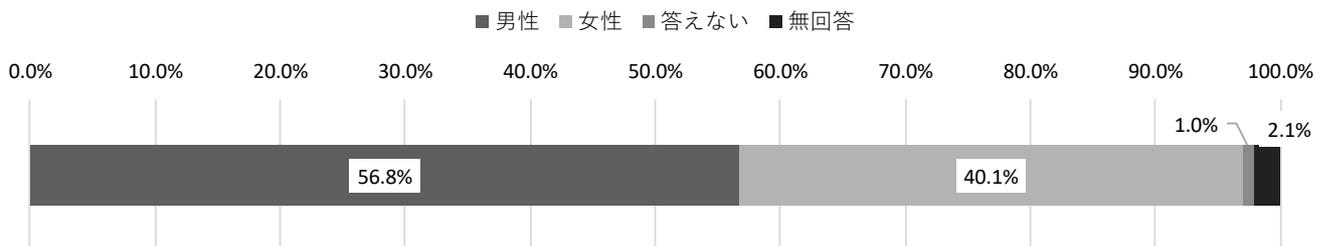
(1) 回答者



(上段：実数、下段：割合)

全体	本人	家族	家族以外の介助者	無回答
720	404	253	29	34
100.0%	56.1%	35.1%	4.0%	4.7%

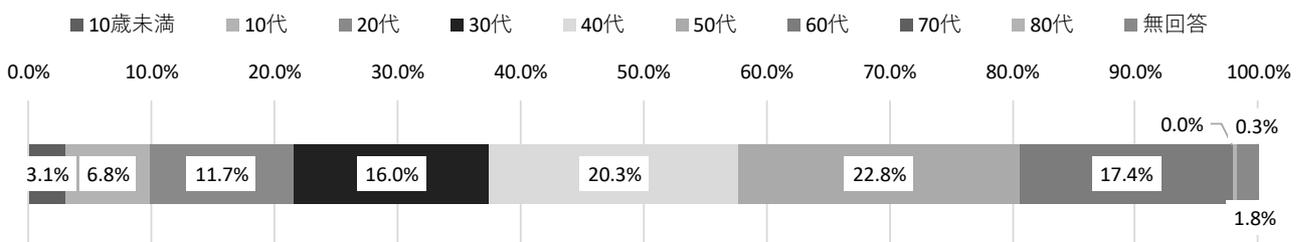
(2) 性別



(上段：実数、下段：割合)

全体	男性	女性	答えない	無回答
720	409	289	7	15
100.0%	56.8%	40.1%	1.0%	2.1%

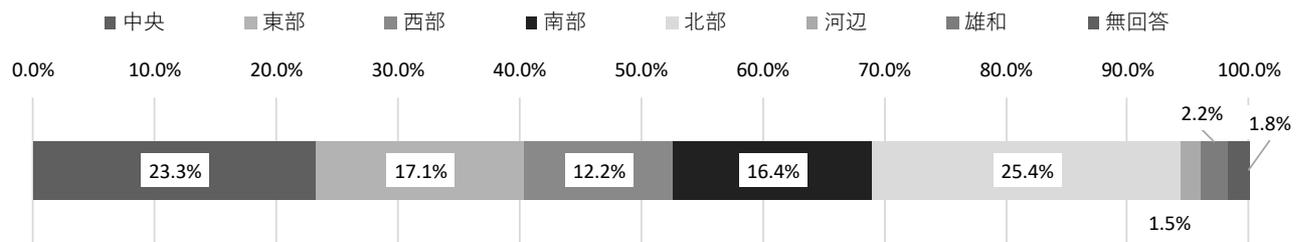
(3) 年代



(上段：実数、下段：割合)

全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
720	22	49	84	115	146	164	125	0	2	13
100.0%	3.1%	6.8%	11.7%	16.0%	20.3%	22.8%	17.4%	0.0%	0.3%	1.8%

(4) 地域

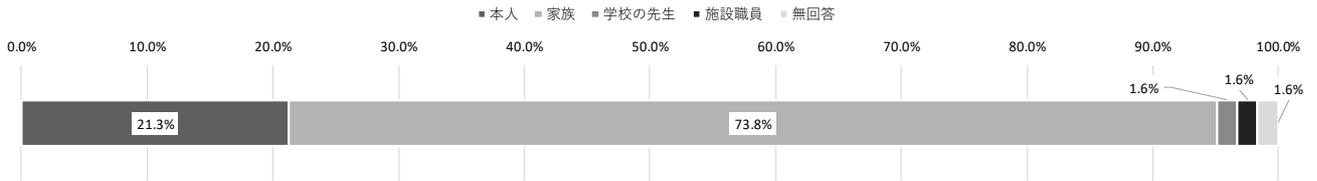


(上段：実数、下段：割合)

全体	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	無回答
720	168	123	88	118	183	11	16	13
100.0%	23.3%	17.1%	12.2%	16.4%	25.4%	1.5%	2.2%	1.8%

特別支援学校生徒

(1) 回答者



(上段：実数、下段：割合)

全体	本人	家族	学校の先生	施設職員	無回答
61	13	45	1	1	1
100.0%	21.3%	73.8%	1.6%	1.6%	1.6%

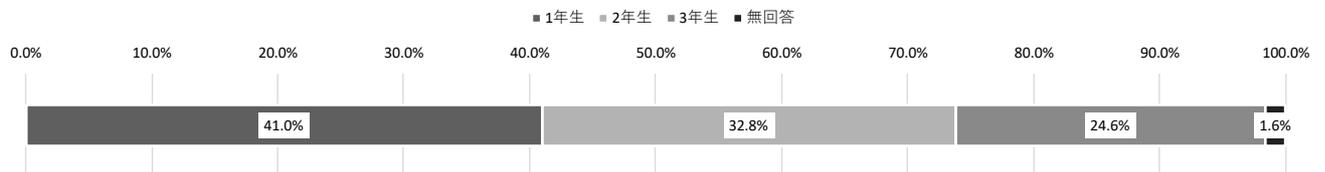
(2) 回答者



(上段：実数、下段：割合)

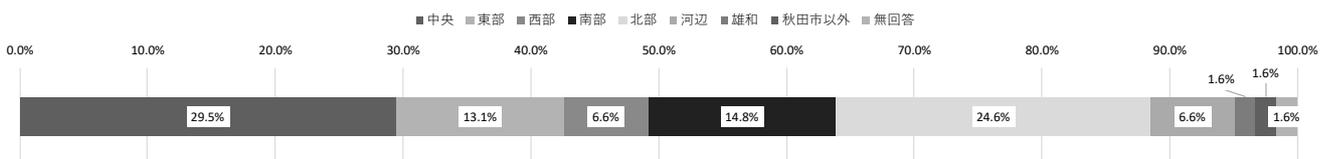
全体	男性	女性	答えない	無回答
61	39	20	1	1
100.0%	63.9%	32.8%	1.6%	1.6%

(3) 学年



全体	1年生	2年生	3年生	無回答
61	25	20	15	1
100.0%	41.0%	32.8%	24.6%	1.6%

(4) 地域



全体	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	秋田市以外	無回答
61	18	8	4	9	15	4	1	1	1
100.0%	29.5%	13.1%	6.6%	14.8%	24.6%	6.6%	1.6%	1.6%	1.6%

Ⅲ 調査結果 (身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者)

性別・年齢・住まいや暮らしなどについて

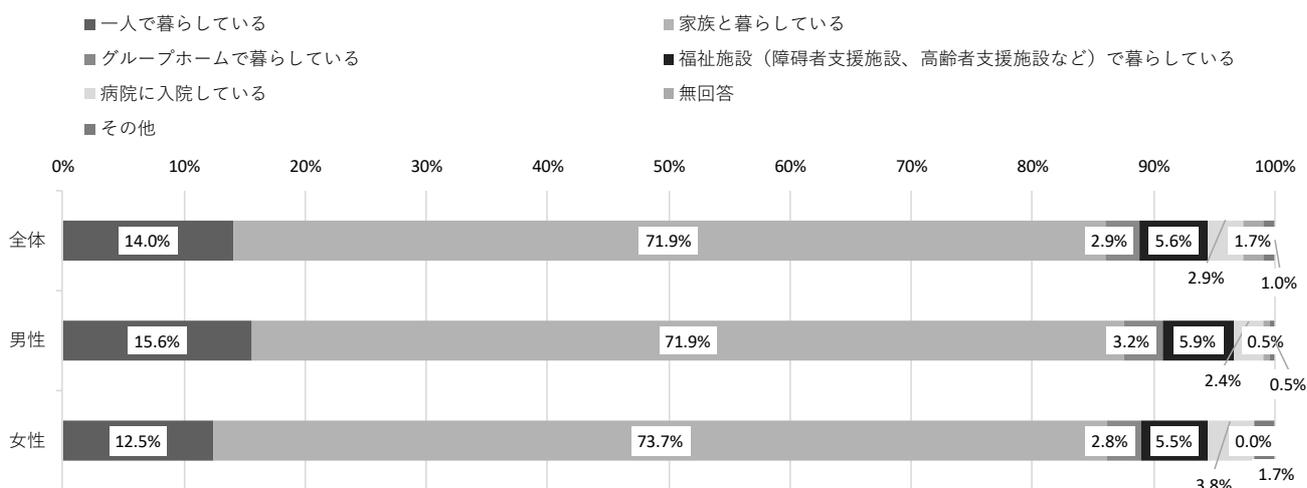
問 5. あなたは現在どのように暮らしていますか

全体では「家族と暮らしている」が 71.9%でも最も高く、次いで「一人で暮らしている」が 14.0%、「福祉施設で暮らしている」が 5.6%であった。

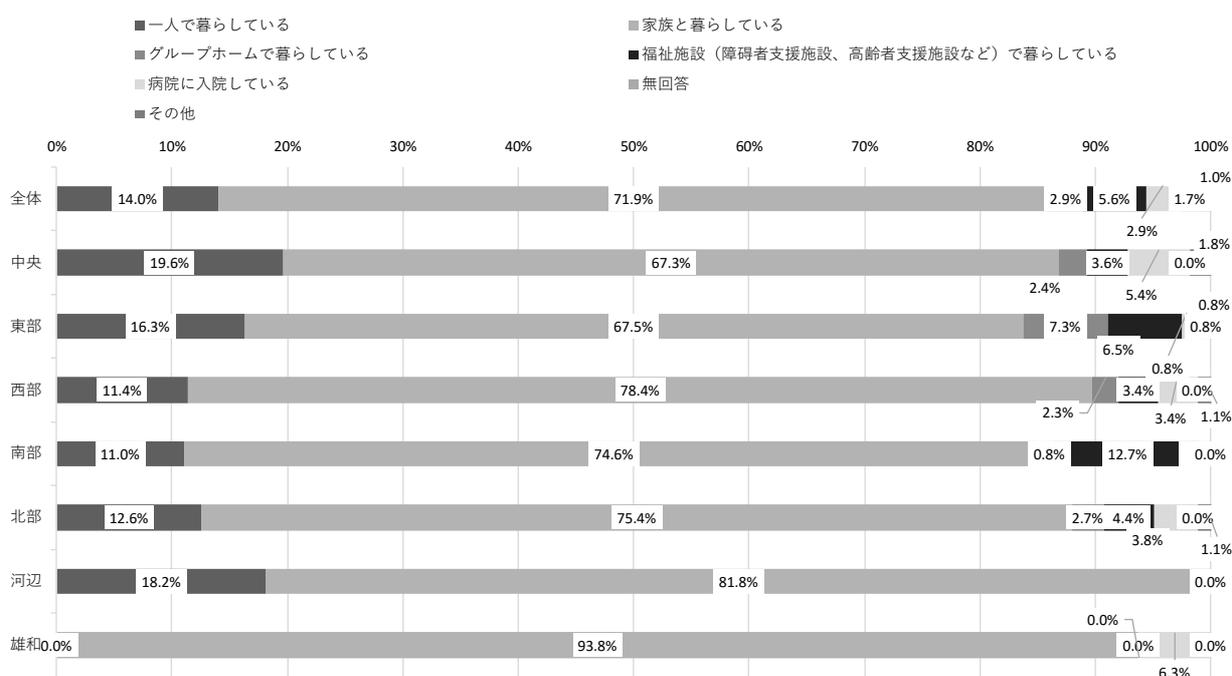
性別には、「一人で暮らしている」が女性よりも男性の方が高かった。

地域別には、「一人で暮らしている」が中央において最も高かった。

【性別】 (全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



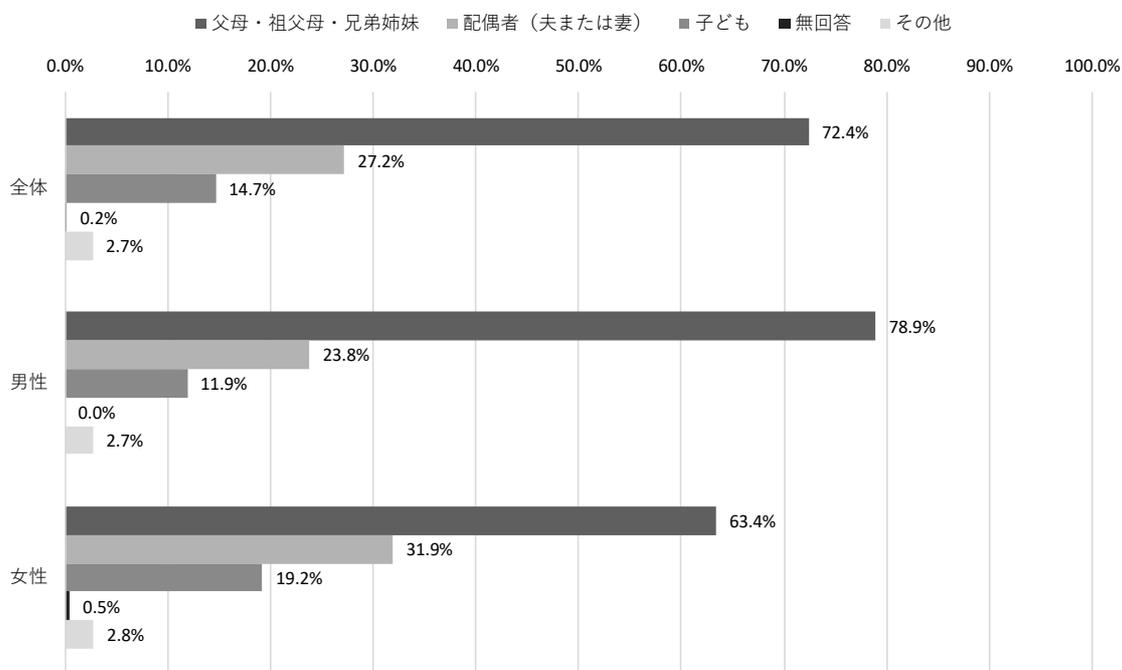
問6. 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

全体では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が72.4%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が27.2%、「子ども」が14.7%であった。

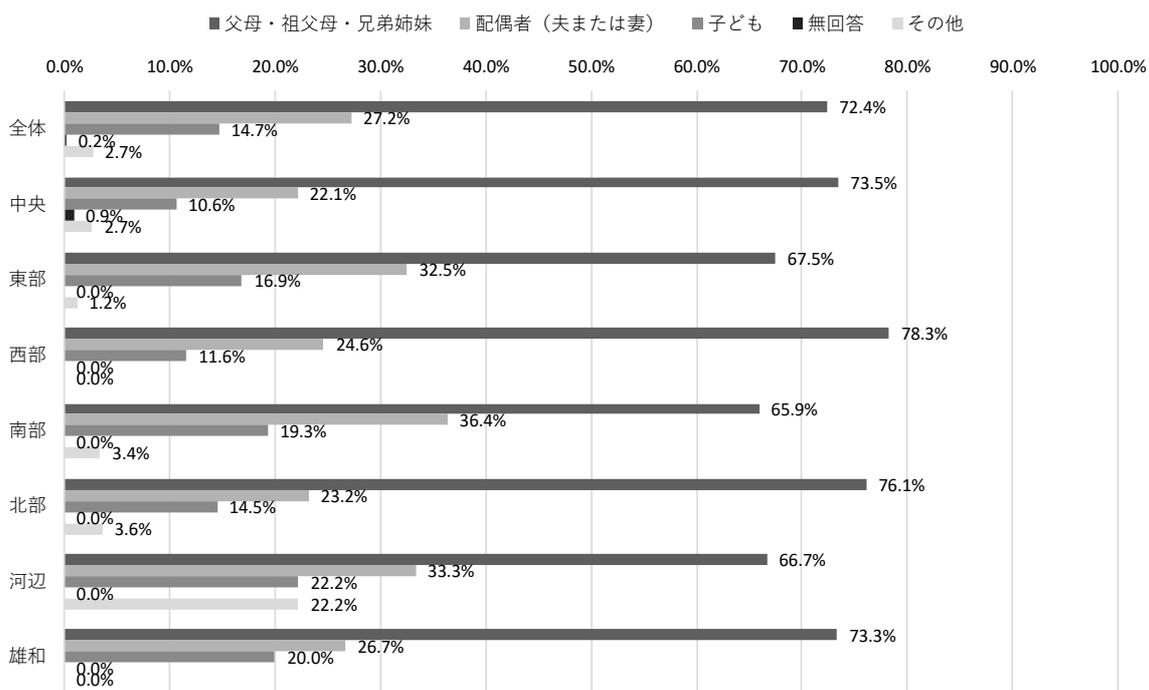
性別では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が女性よりも男性の方が高かった。

地域別では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が西部において最も高かった。

【性別】（全体 N=518、男性 N=294、女性 N=213）



【地域】（全体 N=518、中央 N=113、東部 N=83、西部 N=69、南部 N=88、北部 N=138、河辺 N=9、雄和 N=15）



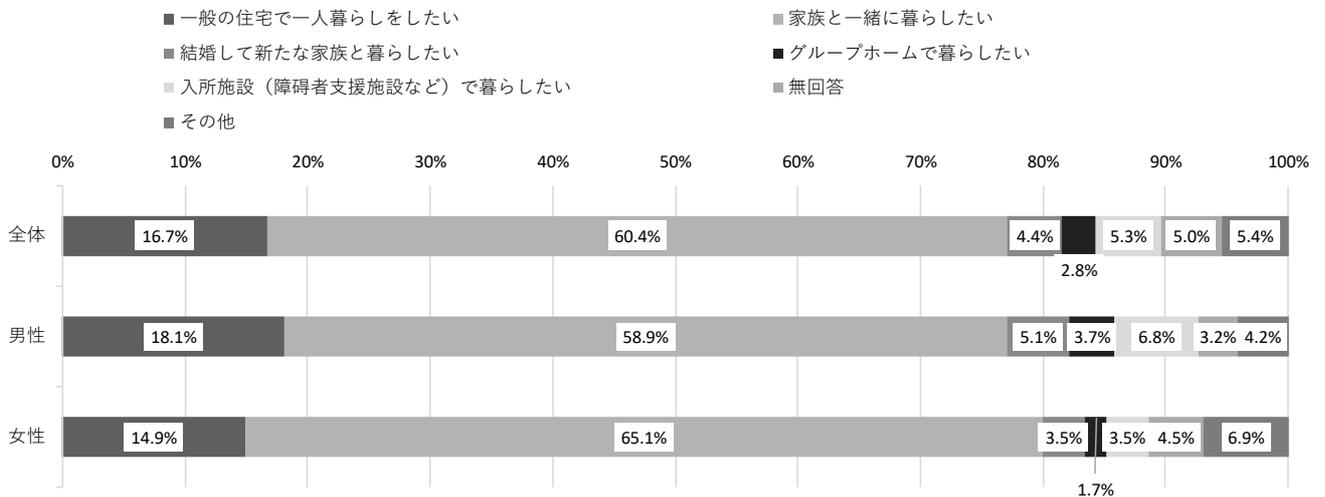
問7. あなたは今後3年以内にどのように暮らしたいと思いますか。

全体では、「家族と一緒に暮らしたい」が60.4%と最も高く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が16.7%であった。

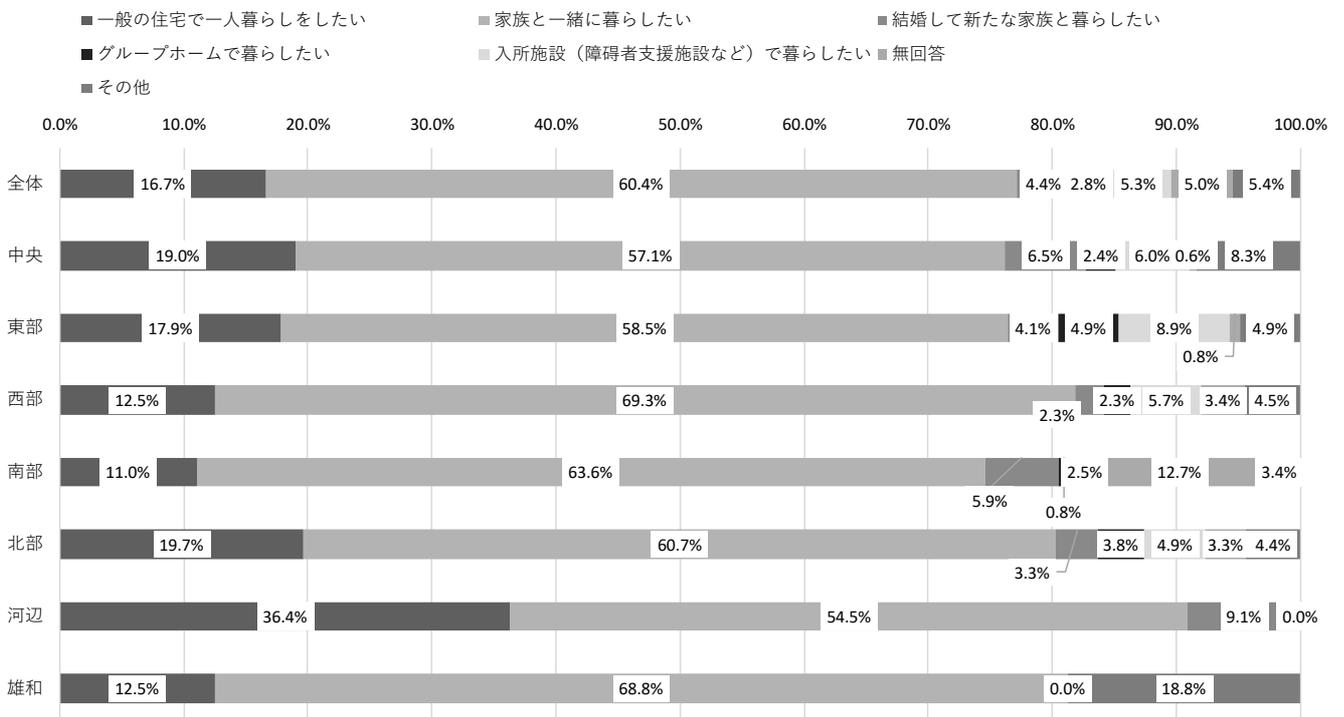
性別では、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が女性よりも男性の方が高かった。

地域別では、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が河辺において最も高かった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



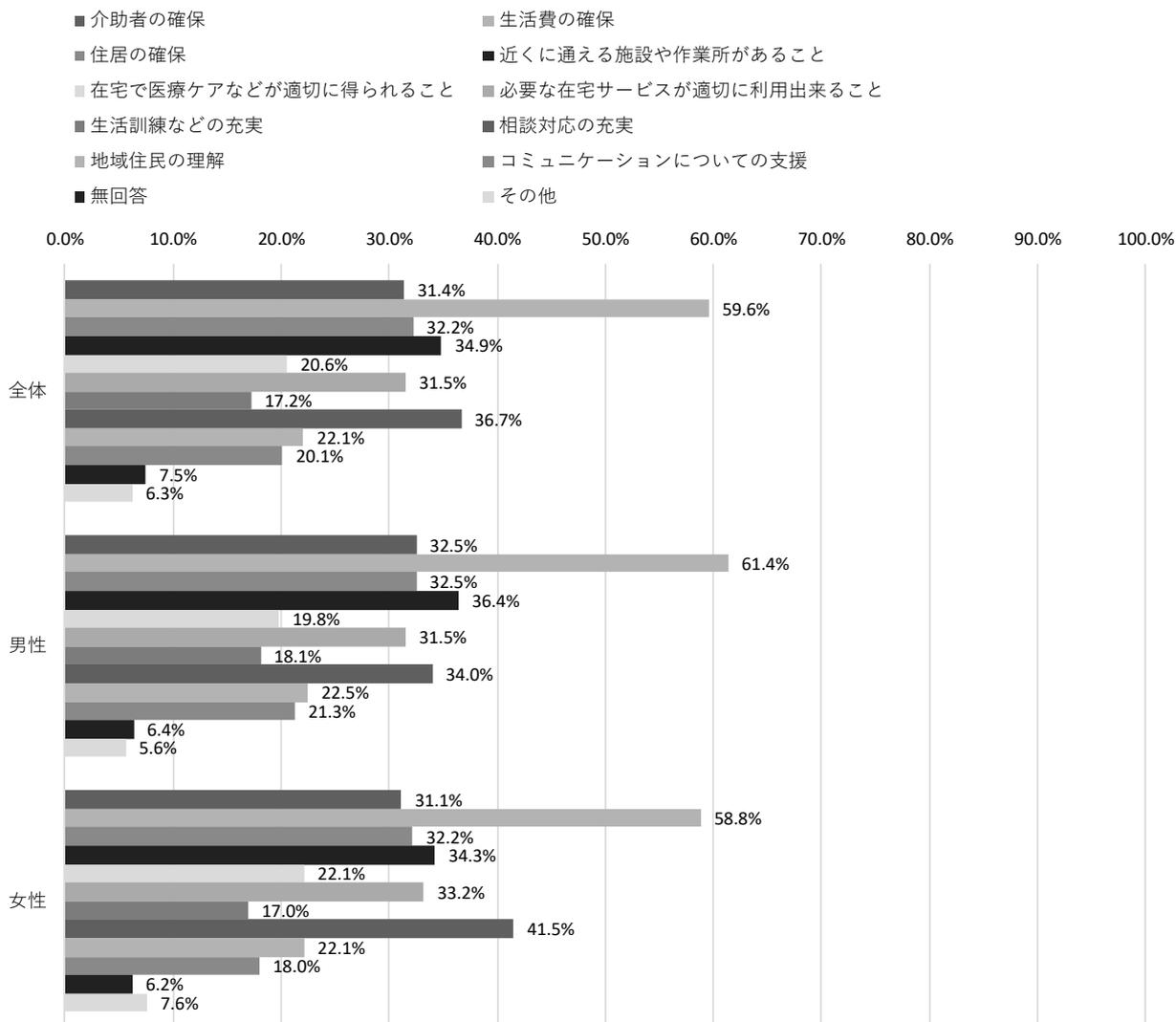
問 8. 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

全体では、「生活費の確保」が 59.6%と最も高く、次いで「相談対応の充実」が 36.7%、「近くに通える施設や作業所があること」が 34.9%であった。

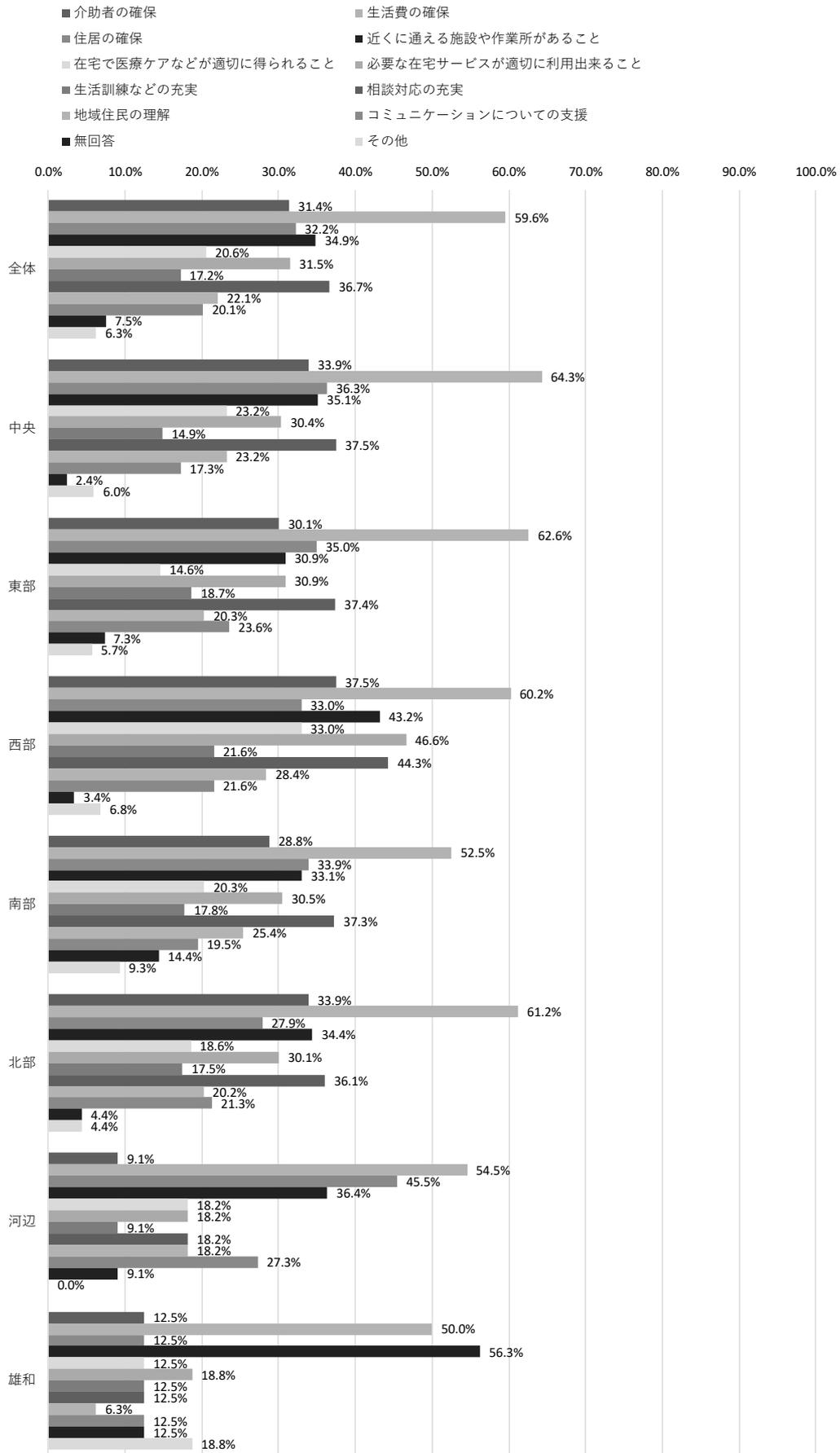
性別では、「相談対応の充実」は男性より女性の方が高かった。

地域別では、「近くに通える施設や作業所があること」が雄和において最も高かった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



問9. 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩までのそれぞれにお答えください。

全体では、すべての項目について「ひとりでできる」が高く、中でも「家の中の移動」が最も高かった。

性別では、「一部介助が必要」は女性より男性の方が高く、「全部介助が必要」は男性よりも女性の方が高かった。

地域別では、「食事」の「一部介助が必要」は西部で最も高かった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）

		全体	男性	女性
①食事	1 ひとりでできる	72.5%	72.4%	72.0%
	2 一部介助が必要	15.3%	18.1%	12.1%
	3 全部介助が必要	7.9%	5.6%	11.4%
	無回答	4.3%	3.9%	4.5%
②トイレ	1 ひとりでできる	76.3%	78.0%	73.0%
	2 一部介助が必要	10.3%	11.0%	10.0%
	3 全部介助が必要	8.6%	6.1%	12.5%
	無回答	4.9%	4.9%	4.5%
③入浴	1 ひとりでできる	67.9%	69.4%	64.4%
	2 一部介助が必要	14.7%	15.4%	14.9%
	3 全部介助が必要	12.4%	10.5%	15.6%
	無回答	5.0%	4.6%	5.2%
④衣服の着脱	1 ひとりでできる	74.0%	76.3%	69.9%
	2 一部介助が必要	12.5%	13.2%	12.5%
	3 全部介助が必要	8.6%	6.1%	12.5%
	無回答	4.9%	4.4%	5.2%
⑤身だしなみ	1 ひとりでできる	63.3%	64.1%	61.2%
	2 一部介助が必要	21.3%	22.2%	20.8%
	3 全部介助が必要	10.3%	8.8%	12.8%
	無回答	5.1%	4.9%	5.2%
⑥家の中の移動	1 ひとりでできる	80.6%	83.1%	76.8%
	2 一部介助が必要	8.2%	8.1%	8.7%
	3 全部介助が必要	6.3%	3.9%	9.7%
	無回答	5.0%	4.9%	4.8%
⑦外出	1 ひとりでできる	54.4%	57.5%	49.1%
	2 一部介助が必要	20.0%	19.8%	20.8%
	3 全部介助が必要	20.3%	17.4%	25.3%
	無回答	5.3%	5.4%	4.8%
⑧家族以外の人との意思疎通	1 ひとりでできる	60.4%	61.9%	58.8%
	2 一部介助が必要	21.3%	21.0%	20.4%
	3 全部介助が必要	13.1%	12.5%	14.9%
	無回答	5.3%	4.6%	5.9%
⑨お金の管理	1 ひとりでできる	50.4%	50.1%	49.5%
	2 一部介助が必要	19.3%	20.3%	18.0%
	3 全部介助が必要	25.7%	25.4%	27.7%
	無回答	4.6%	4.2%	4.8%
⑩薬の管理	1 ひとりでできる	56.0%	54.0%	57.4%
	2 一部介助が必要	15.6%	17.8%	12.5%
	3 全部介助が必要	23.3%	23.0%	25.3%
	無回答	5.1%	5.1%	4.8%

【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）

		全体	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和
①食事	1 ひとりできる	72.5%	72.0%	74.8%	72.7%	64.4%	74.9%	81.8%	81.3%
	2 一部介助が必要	15.3%	14.9%	16.3%	18.2%	14.4%	15.8%	18.2%	6.3%
	3 全部介助が必要	7.9%	10.7%	7.3%	6.8%	6.8%	7.7%	0.0%	6.3%
	無回答	4.3%	2.4%	1.6%	2.3%	14.4%	1.6%	0.0%	6.3%
②トイレ	1 ひとりできる	76.3%	75.6%	78.9%	72.7%	67.8%	80.3%	90.9%	87.5%
	2 一部介助が必要	10.3%	10.1%	13.8%	14.8%	8.5%	8.2%	9.1%	6.3%
	3 全部介助が必要	8.6%	11.3%	4.9%	10.2%	7.6%	9.3%	0.0%	6.3%
	無回答	4.9%	3.0%	2.4%	2.3%	16.1%	2.2%	0.0%	0.0%
③入浴	1 ひとりできる	67.9%	69.6%	70.7%	61.4%	59.3%	71.0%	72.7%	81.3%
	2 一部介助が必要	14.7%	13.1%	13.8%	20.5%	16.9%	14.2%	18.2%	6.3%
	3 全部介助が必要	12.4%	13.7%	13.8%	14.8%	9.3%	12.0%	9.1%	6.3%
	無回答	5.0%	3.6%	1.6%	3.4%	14.4%	2.7%	0.0%	6.3%
④衣服の着脱	1 ひとりできる	74.0%	73.8%	77.2%	71.6%	65.3%	77.6%	90.9%	75.0%
	2 一部介助が必要	12.5%	13.7%	13.0%	17.0%	11.0%	11.5%	9.1%	6.3%
	3 全部介助が必要	8.6%	10.1%	7.3%	8.0%	9.3%	8.7%	0.0%	6.3%
	無回答	4.9%	2.4%	2.4%	3.4%	14.4%	2.2%	0.0%	12.5%
⑤身だしなみ	1 ひとりできる	63.3%	63.1%	65.0%	54.5%	56.8%	68.9%	72.7%	75.0%
	2 一部介助が必要	21.3%	22.6%	21.1%	31.8%	17.8%	18.6%	27.3%	12.5%
	3 全部介助が必要	10.3%	10.7%	10.6%	11.4%	10.2%	10.4%	0.0%	6.3%
	無回答	5.1%	3.6%	3.3%	2.3%	15.3%	2.2%	0.0%	6.3%
⑥家の中の移動	1 ひとりできる	80.6%	78.0%	83.7%	81.8%	72.9%	84.7%	90.9%	87.5%
	2 一部介助が必要	8.2%	10.7%	9.8%	9.1%	5.9%	6.6%	9.1%	0.0%
	3 全部介助が必要	6.3%	8.3%	3.3%	6.8%	5.9%	6.6%	0.0%	6.3%
	無回答	5.0%	3.0%	3.3%	2.3%	15.3%	2.2%	0.0%	6.3%
⑦外出	1 ひとりできる	54.4%	54.2%	57.7%	48.9%	50.8%	57.4%	54.5%	50.0%
	2 一部介助が必要	20.0%	19.6%	22.0%	22.7%	16.1%	19.1%	36.4%	25.0%
	3 全部介助が必要	20.3%	22.0%	17.9%	25.0%	18.6%	20.8%	9.1%	18.8%
	無回答	5.3%	4.2%	2.4%	3.4%	14.4%	2.7%	0.0%	6.3%
⑧家族以外の人との意思疎通	1 ひとりできる	60.4%	59.5%	62.6%	55.7%	58.5%	65.0%	45.5%	56.3%
	2 一部介助が必要	21.3%	17.9%	23.6%	25.0%	19.5%	19.1%	54.5%	25.0%
	3 全部介助が必要	13.1%	19.0%	11.4%	14.8%	6.8%	13.7%	0.0%	12.5%
	無回答	5.3%	3.6%	2.4%	4.5%	15.3%	2.2%	0.0%	6.3%
⑨お金の管理	1 ひとりできる	50.4%	49.4%	51.2%	42.0%	46.6%	57.4%	45.5%	43.8%
	2 一部介助が必要	19.3%	17.9%	17.9%	23.9%	14.4%	20.8%	36.4%	31.3%
	3 全部介助が必要	25.7%	30.4%	27.6%	31.8%	24.6%	20.2%	18.2%	18.8%
	無回答	4.6%	2.4%	3.3%	2.3%	14.4%	1.6%	0.0%	6.3%
⑩薬の管理	1 ひとりできる	56.0%	54.8%	56.9%	43.2%	50.8%	66.7%	54.5%	43.8%
	2 一部介助が必要	15.6%	12.5%	17.1%	23.9%	11.9%	13.1%	36.4%	31.3%
	3 全部介助が必要	23.3%	29.2%	22.0%	30.7%	22.9%	18.0%	9.1%	18.8%
	無回答	5.1%	3.6%	4.1%	2.3%	14.4%	2.2%	0.0%	6.3%

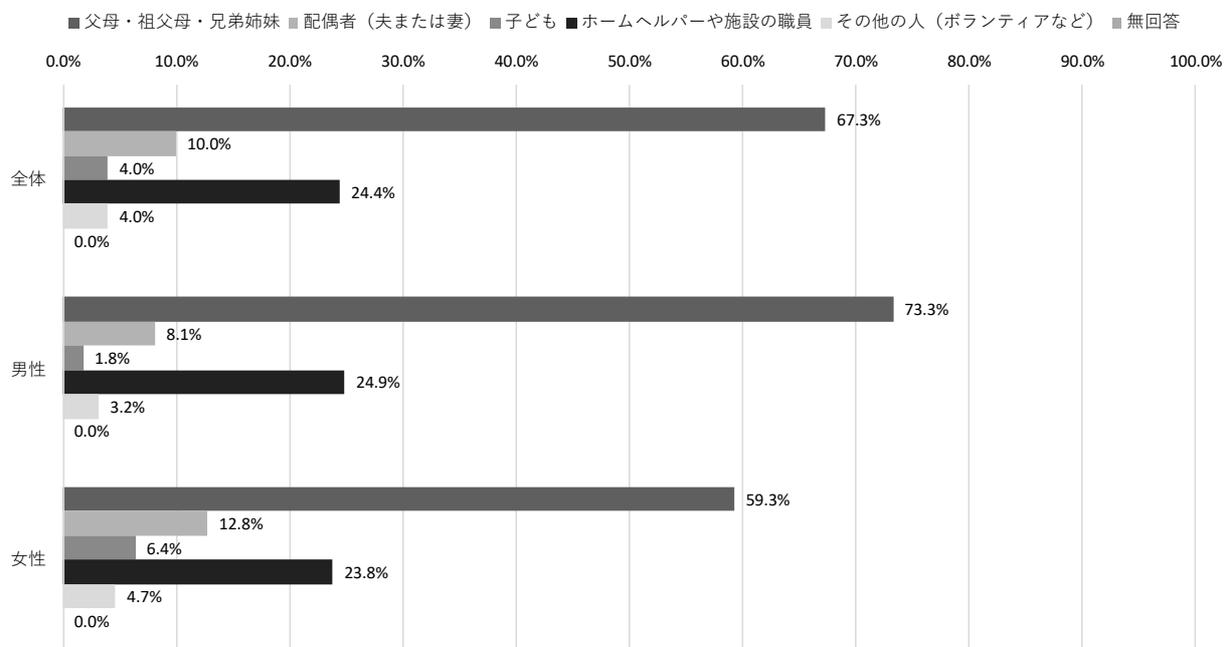
問 10. あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。

全体では、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 67.3%で最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が 24.4%であった。

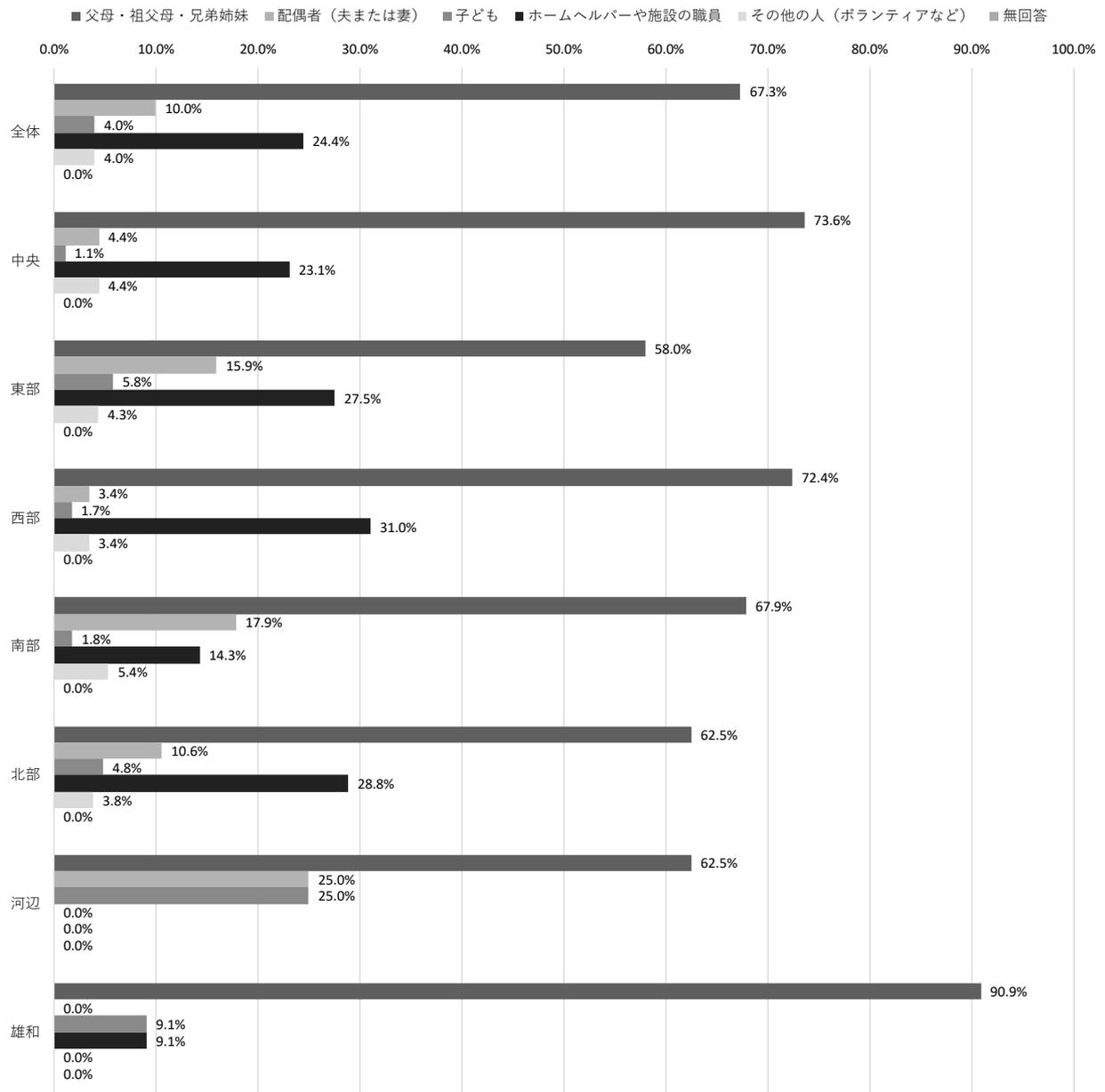
性別では、「配偶者（夫または妻）」は男性より女性ほうが高かった。

地域別では、「ホームヘルパーや施設の職員」は西部で最も高くなった。

【性別】（全体 N=401、男性 N=221、女性 N=172）



【地域】(全体 N=401、中央 N=91、東部 N=69、西部 N=58、南部 N=56、北部 N=104、河辺 N=8、雄和 N=11)



問 1 1. あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

全体では、平均年齢は 57.4 歳、性別では女性が多く、健康状態は「ふつう」が高くなった。

性別では、介助してくれる人では男性から見た場合の女性が高くなった。

地域別では、健康状態の「よい」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=311、男性 N=177、女性 N127）

	①年齢	②性別				③健康状態			
	平均年齢	男性	女性	答えない	無回答	よい	ふつう	よくない	無回答
全体	57.4	18.0%	80.1%	0.3%	1.6%	30.5%	52.4%	15.4%	1.6%
男性	58.8	14.1%	84.2%	0.0%	1.7%	33.9%	49.7%	15.3%	1.1%
女性	56.5	24.4%	74.0%	0.0%	1.6%	26.0%	57.5%	15.0%	1.6%

【地域】（全体 N=311、中央 N=71、東部 N=50、西部 N=44、南部 N=48、北部 N=76、河辺 N=7、雄和 N=11）

	①年齢	②性別				③健康状態			
	平均年齢	男性	女性	答えない	無回答	よい	ふつう	よくない	無回答
全体	57.4	18.0%	80.1%	0.3%	1.6%	30.5%	52.4%	15.4%	1.6%
中央	58.8	18.3%	81.7%	0.0%	0.0%	42.3%	40.8%	16.9%	0.0%
東部	58.8	16.0%	84.0%	0.0%	0.0%	30.0%	58.0%	12.0%	0.0%
西部	63.5	20.5%	79.5%	0.0%	0.0%	22.7%	47.7%	29.5%	0.0%
南部	52.5	14.6%	81.3%	2.1%	2.1%	27.1%	54.2%	16.7%	2.1%
北部	56.0	21.1%	75.0%	0.0%	3.9%	23.7%	63.2%	9.2%	3.9%
河辺	50.4	14.3%	71.4%	0.0%	14.3%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
雄和	57.9	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%

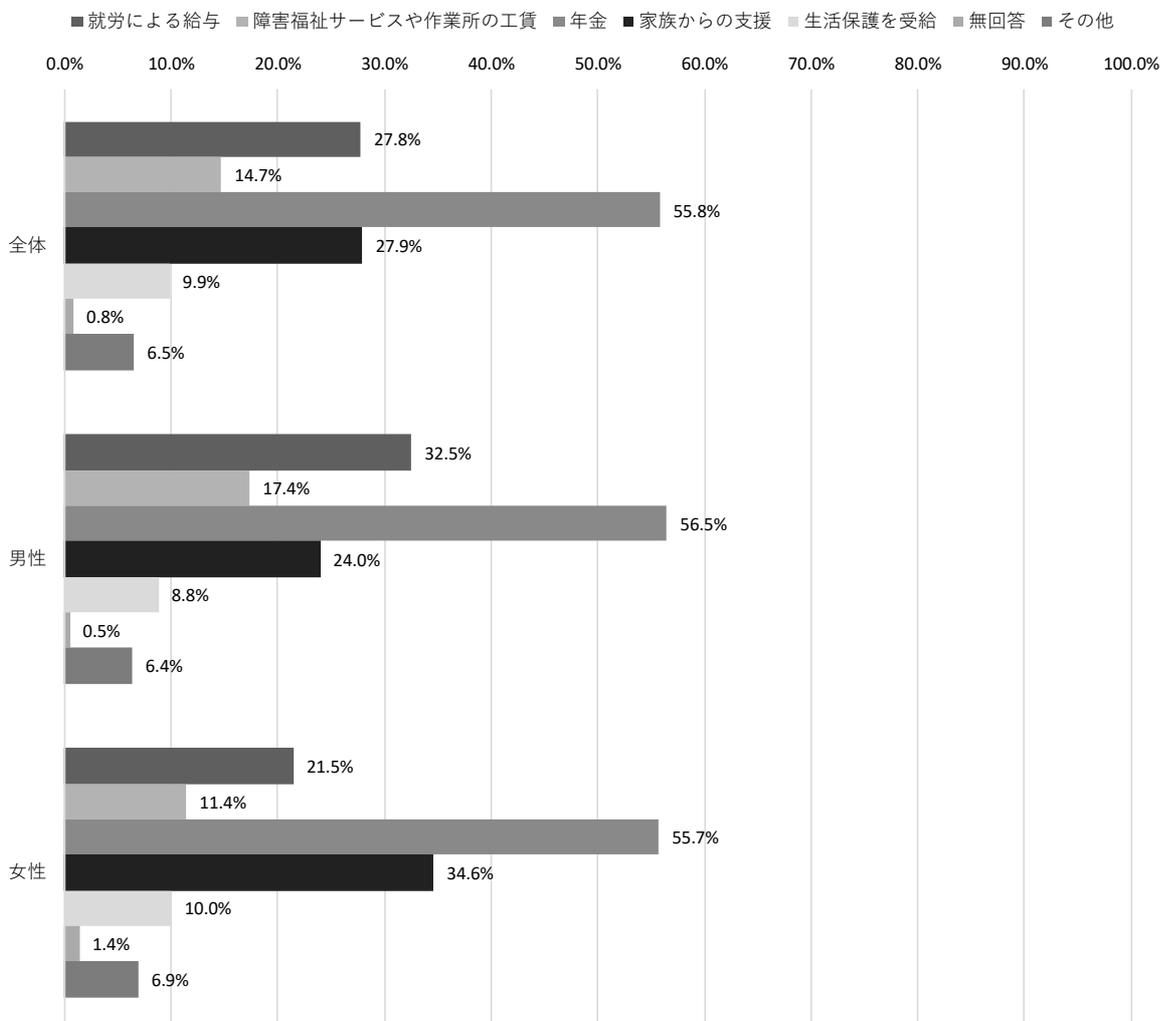
問 1 2. 現在、あなたはどこから収入を得ていますか。

全体では、「年金」が 55.8%で最も高く、次いで「家族からの支援」が 27.9%、「就労による給与」が 27.8%であった。

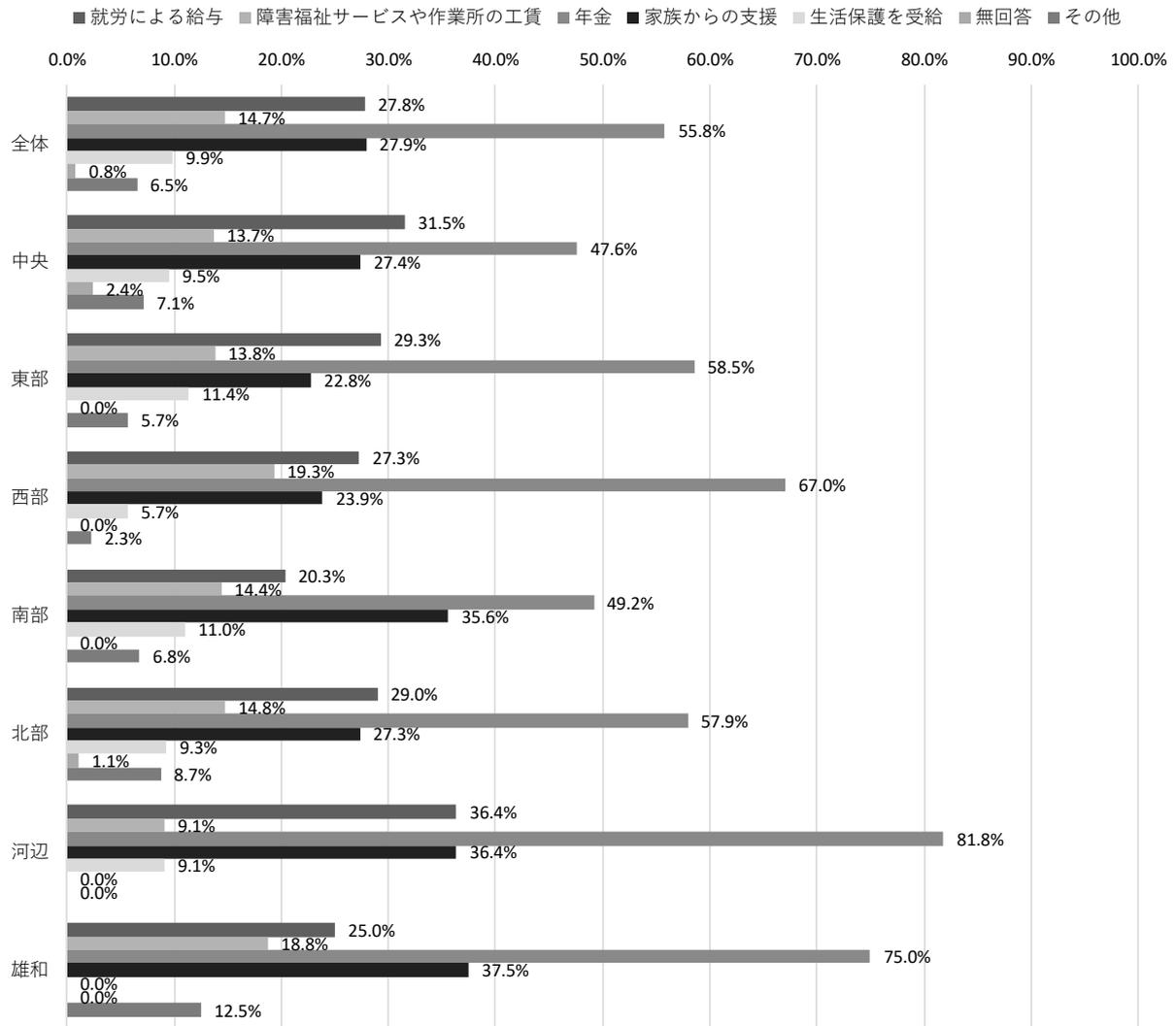
性別では、「家族からの支援」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「年金」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



障がいの状況について

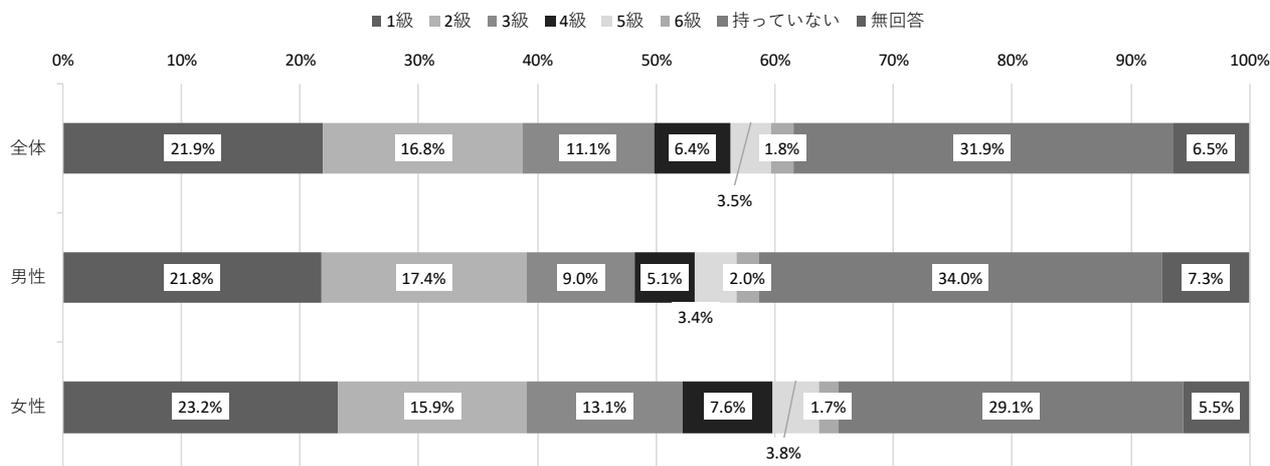
問 13. あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が31.9%で最も高く、次いで「1級」が21.9%、「2級」が16.8%であった。

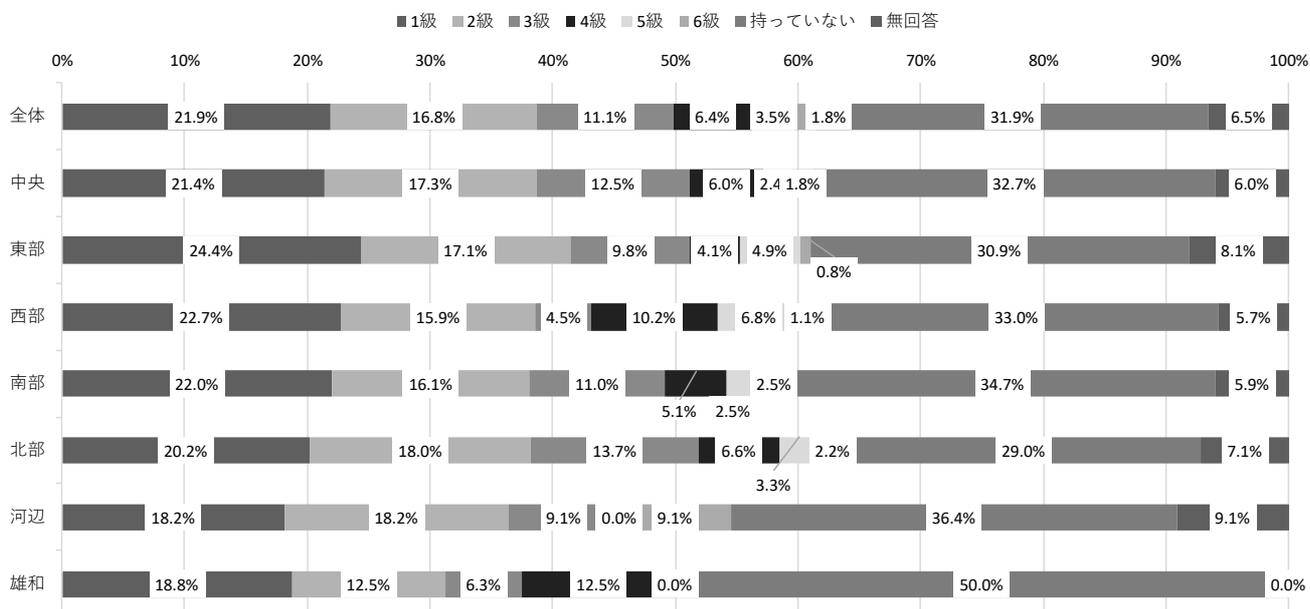
性別では、「持っていない」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「1級」が東部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



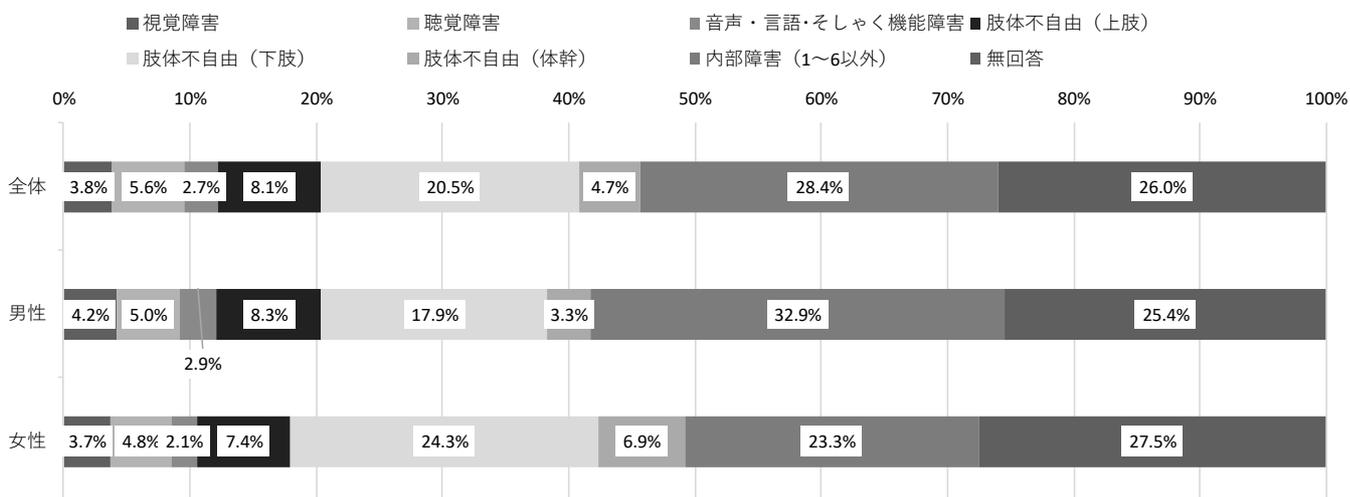
問 1 4. 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。

全体では、「内部障害」が 28.4%で最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が 20.5%、「肢体不自由（上肢）」が 8.1%であった。

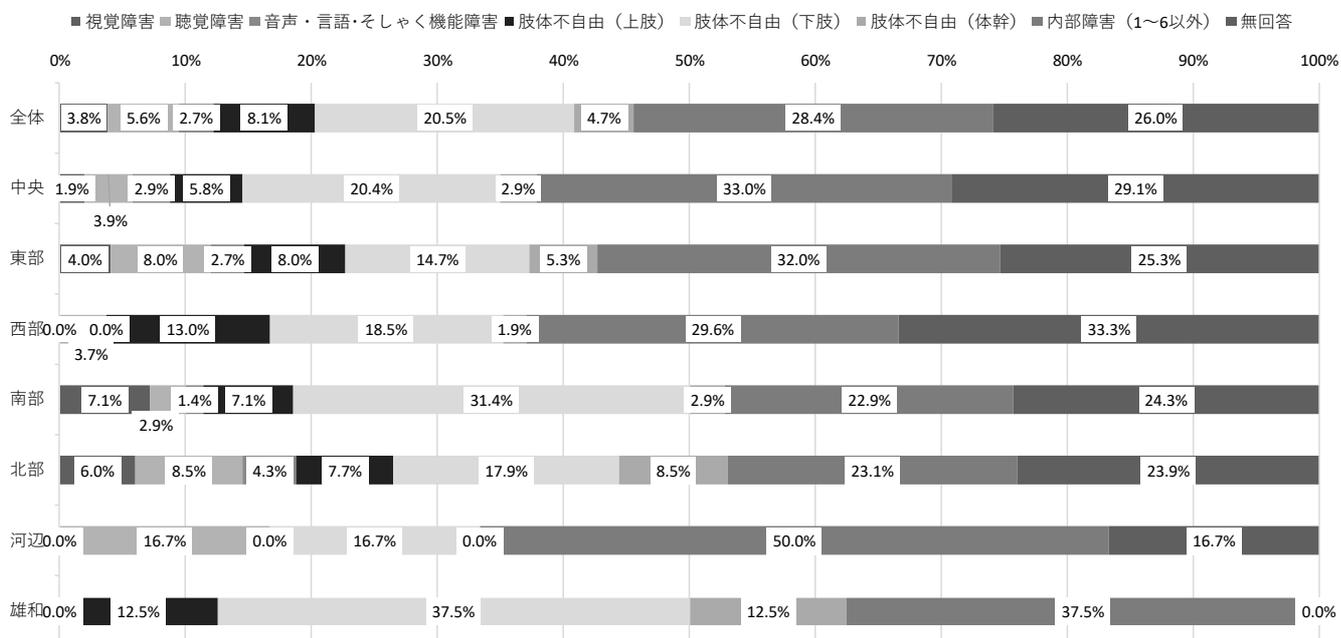
性別では、「内部障害」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「肢体不自由（上肢）」が西部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=443、男性 N=240、女性 N=189）



【地域】（全体 N=443、中央 N=103、東部 N=75、西部 N=54、南部 N=70、北部 N=117、河辺 N=6、雄和 N=8）



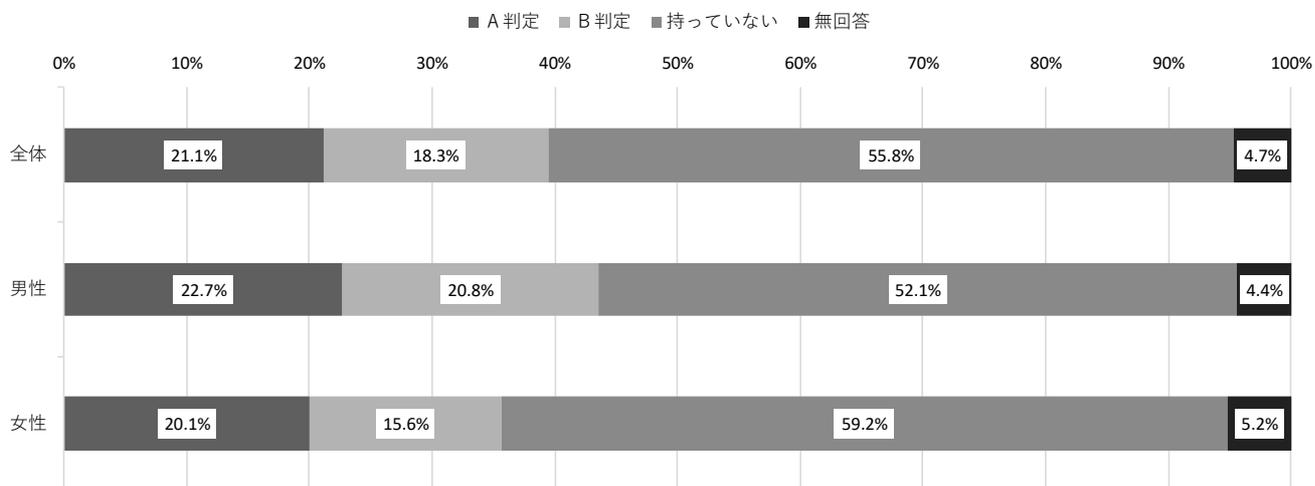
問 15. あなたは療育手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が55.8%で最も高く、次いで「B判定」が18.3%、「A判定」が21.1%であった。

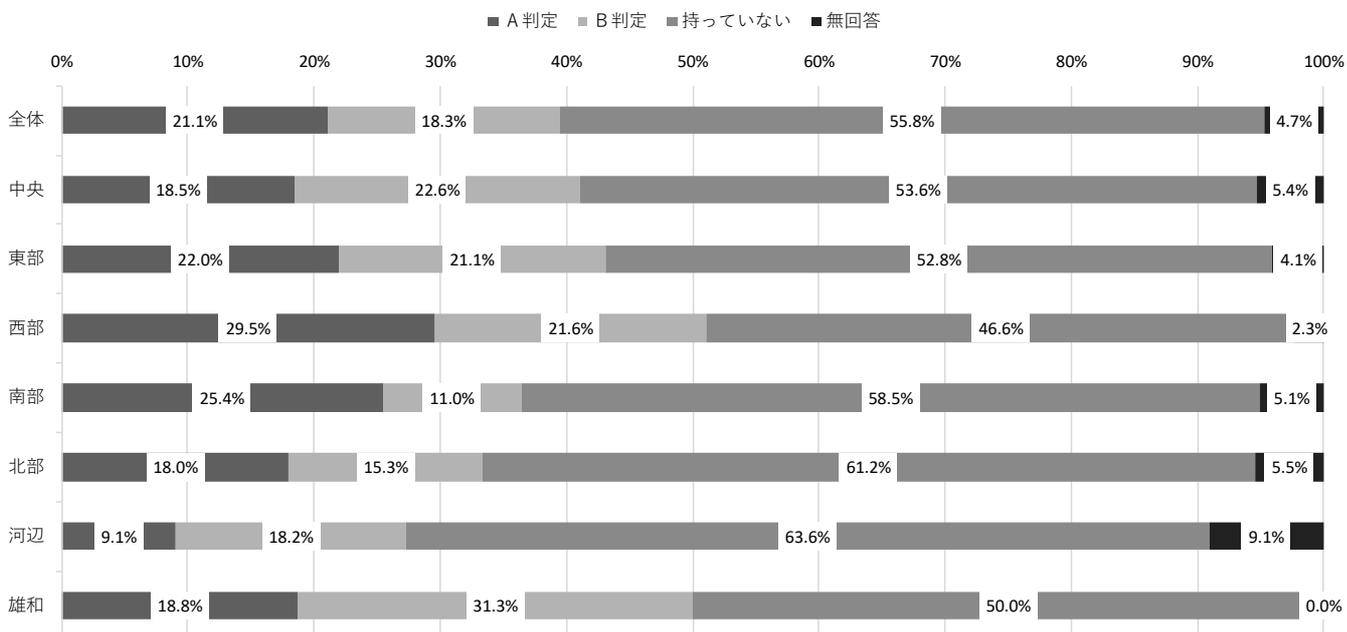
性別では、「持っていない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「A判定」が西部において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



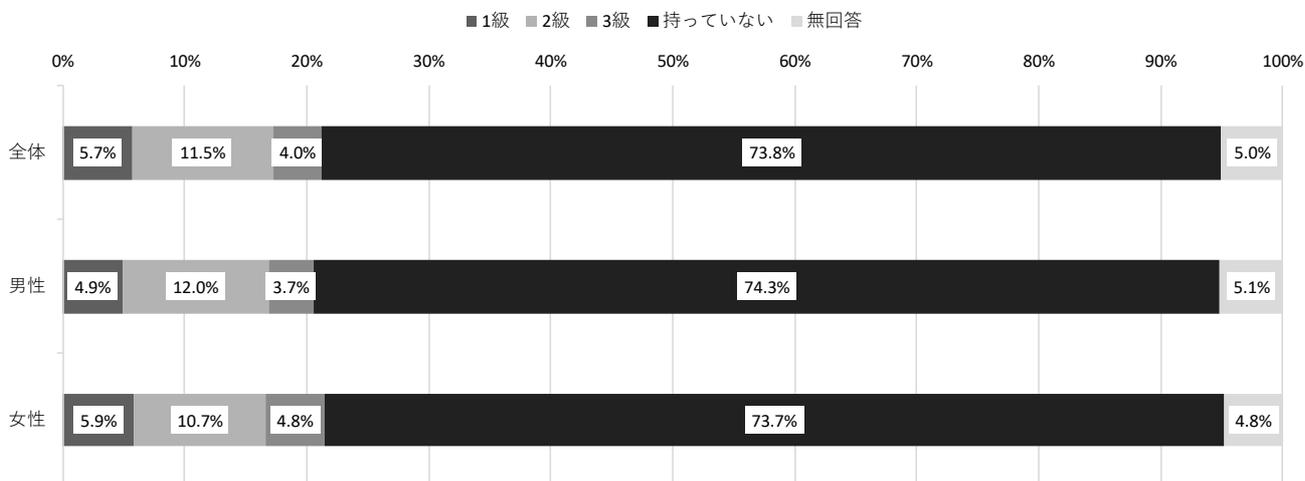
問 16. あなたは精神障害者保険福祉手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が73.8%で最も高く、次いで「2級」が11.5%、「A判定」が5.7%であった。

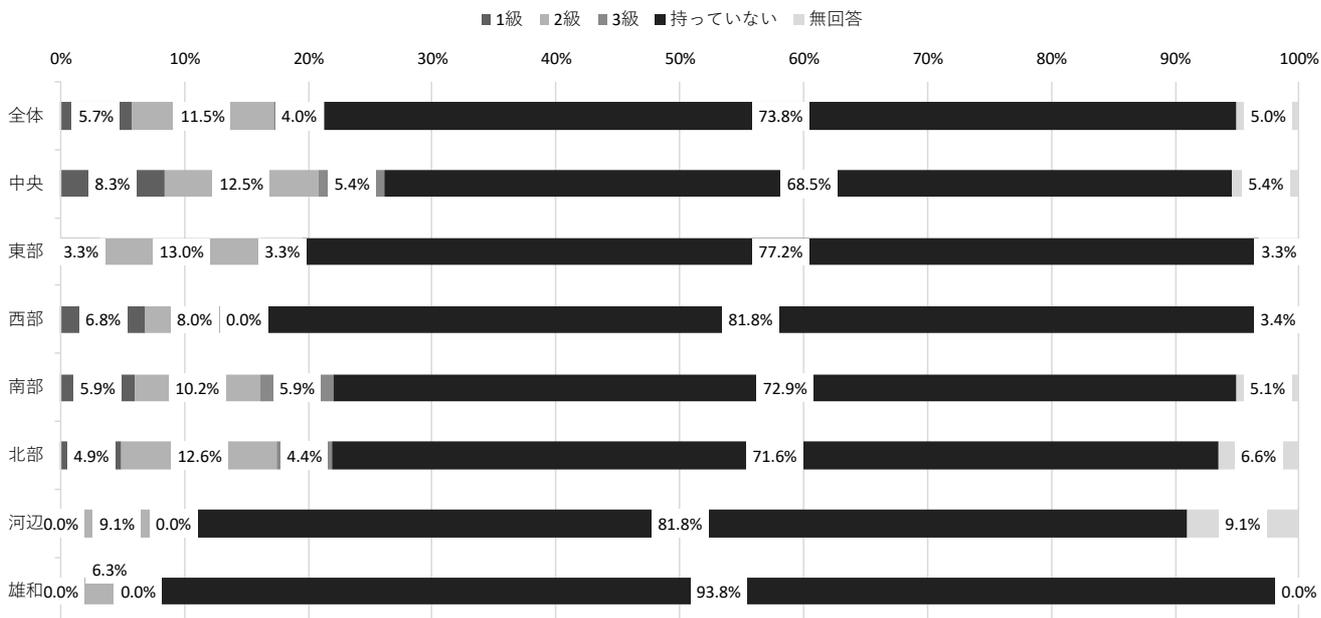
性別では、「2級」が女性より男性のほうがわずかに高くなった。

地域別では、「持っていない」が雄和において最も高くなった。

【性別】 (全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



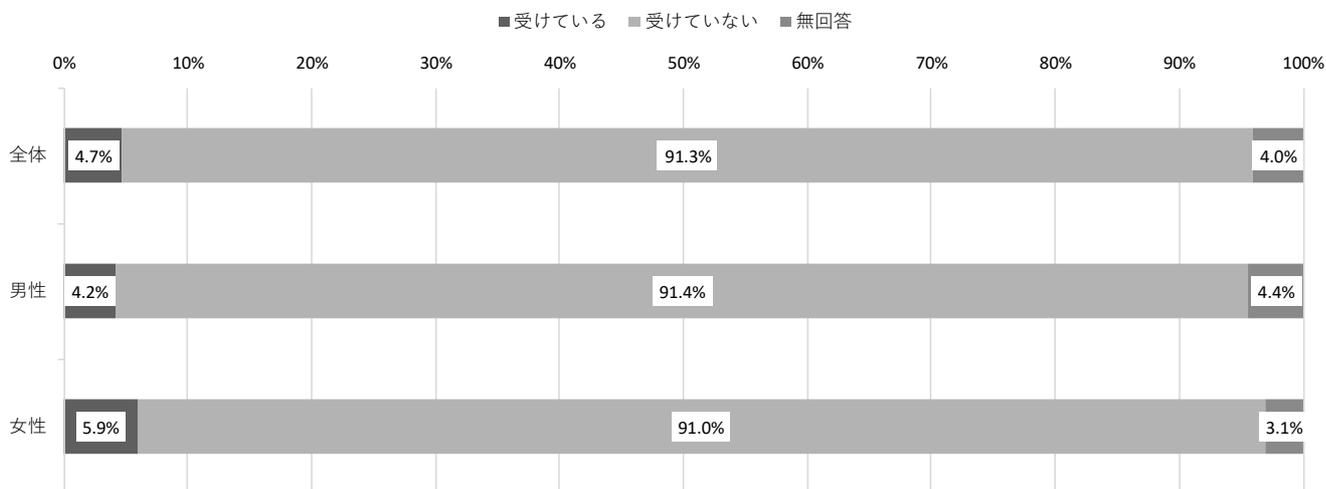
問 17. あなたはパーキンソン病や筋ジストロフィーなどの指定難病の認定を受けていますか。

全体では、「受けていない」が 91.3%で最も高く、次いで「受けている」が 4.7%となった。

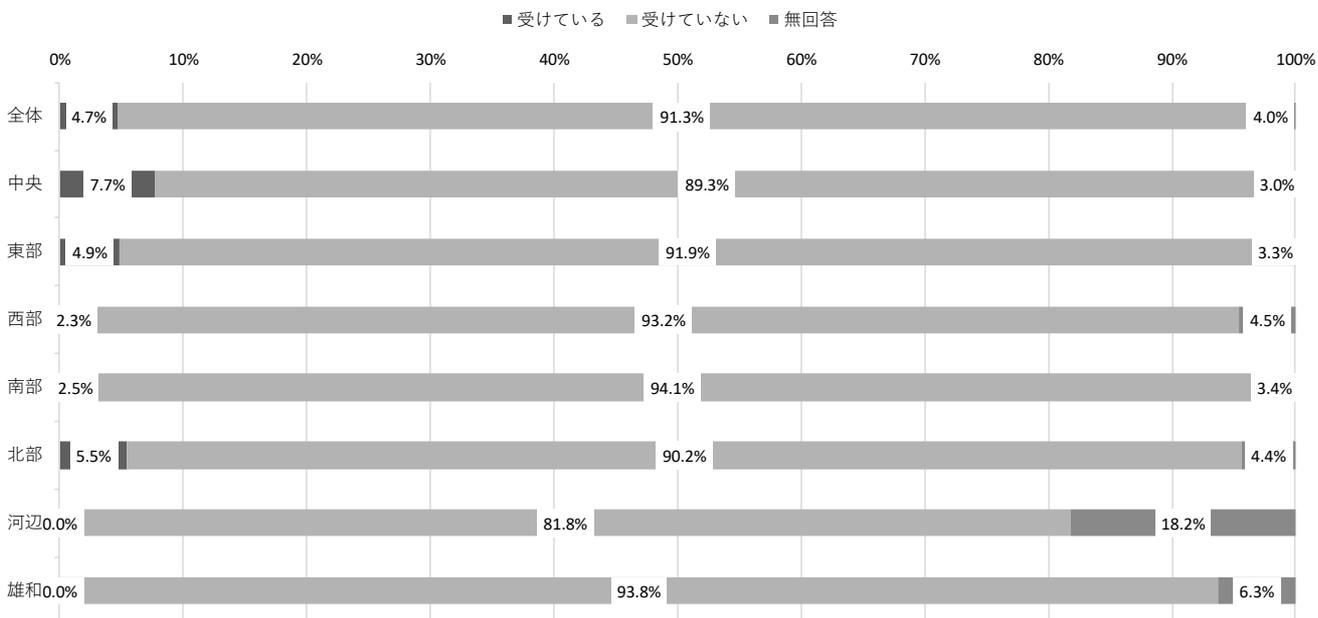
性別では、「受けている」が男性より女性のほうがわずかに高くなった。

地域別では、「受けている」が中央において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



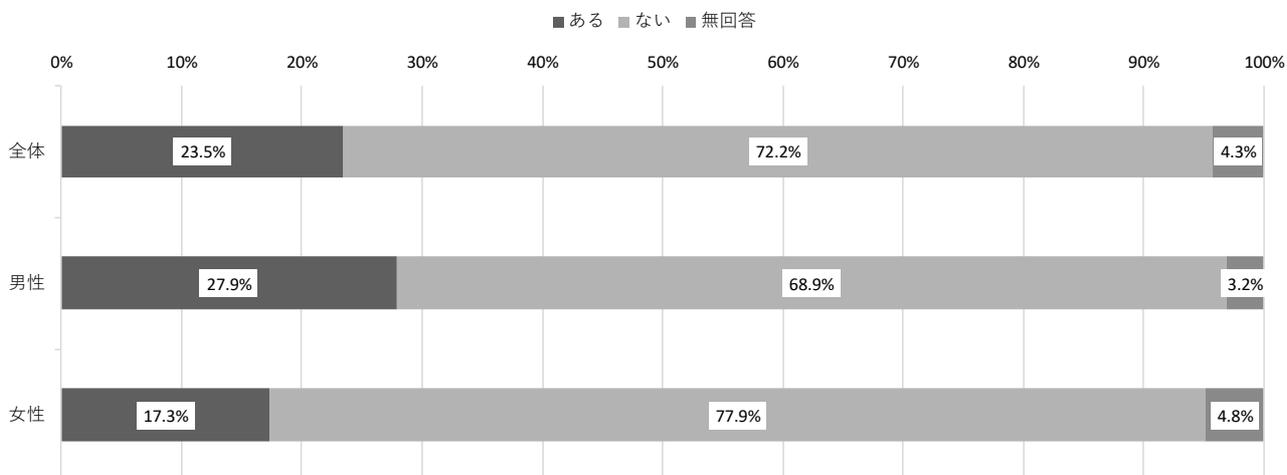
問 18. あなたは発達障がいと診断されたことがありますか。

全体では、「ない」が 72.2%で最も高く、次いで「ある」が 23.5%であった。

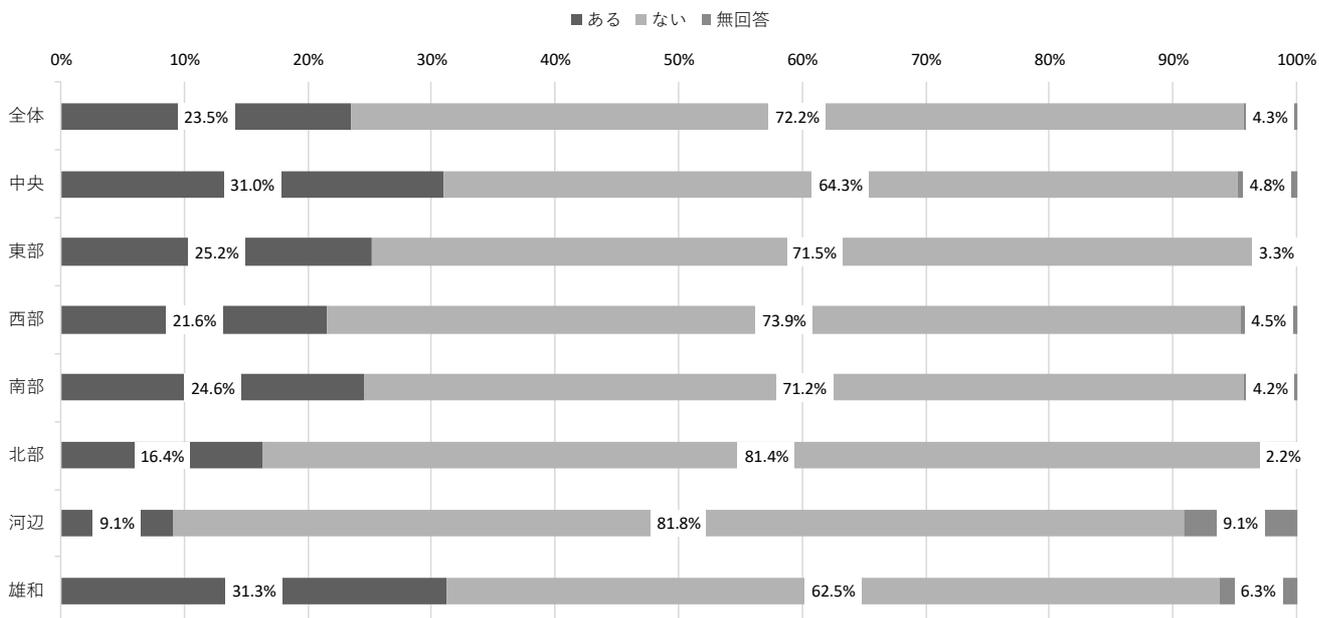
性別では、「ある」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「ある」が雄和において最も高くなった。

【性別】 (全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



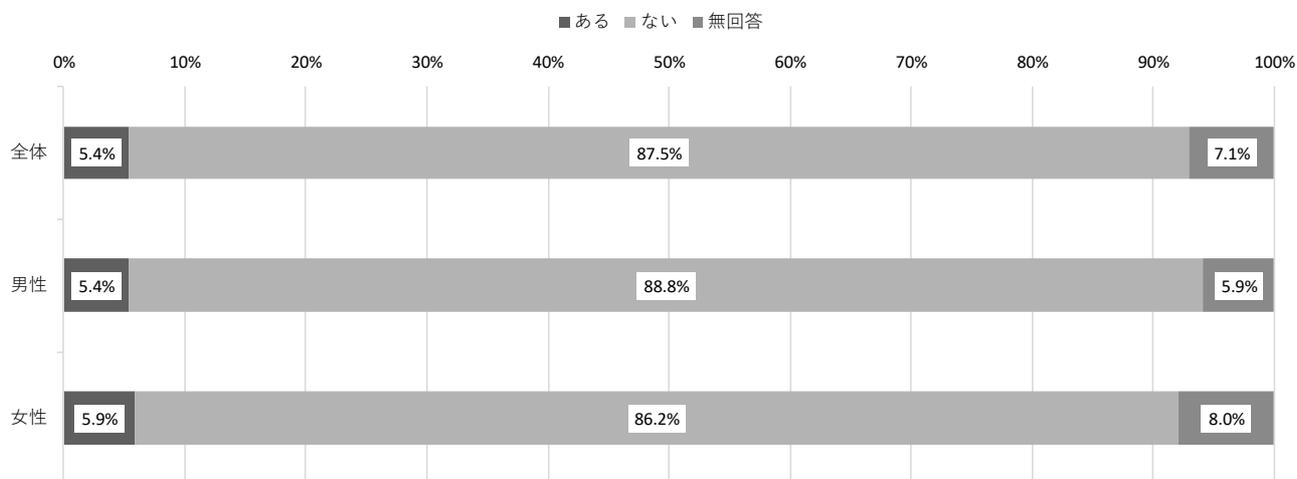
問 19. あなたは高次機能障害だと診断されたことがありますか。

全体では、「ない」が 87.5%で最も高く、次いで「ある」が 5.4%であった。

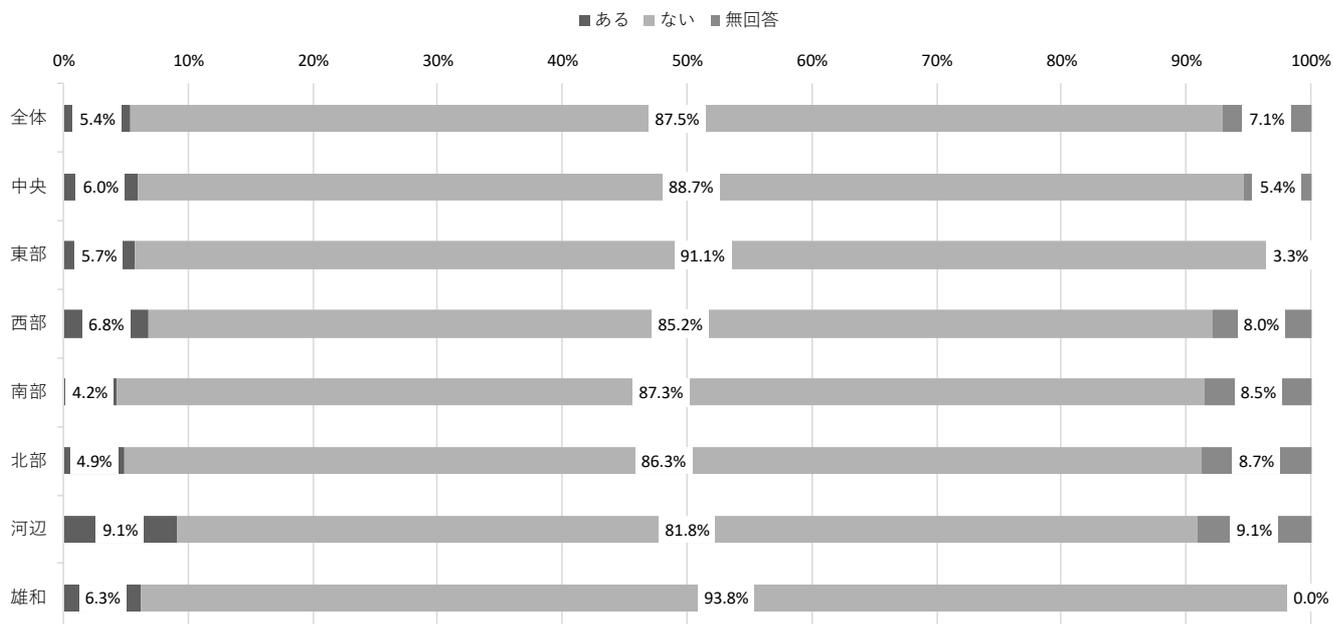
性別では、「ない」が女性より男性のほうがわずかに高くなった。

地域別では、「ある」が河辺において最も高くなった。

【性別】 (全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



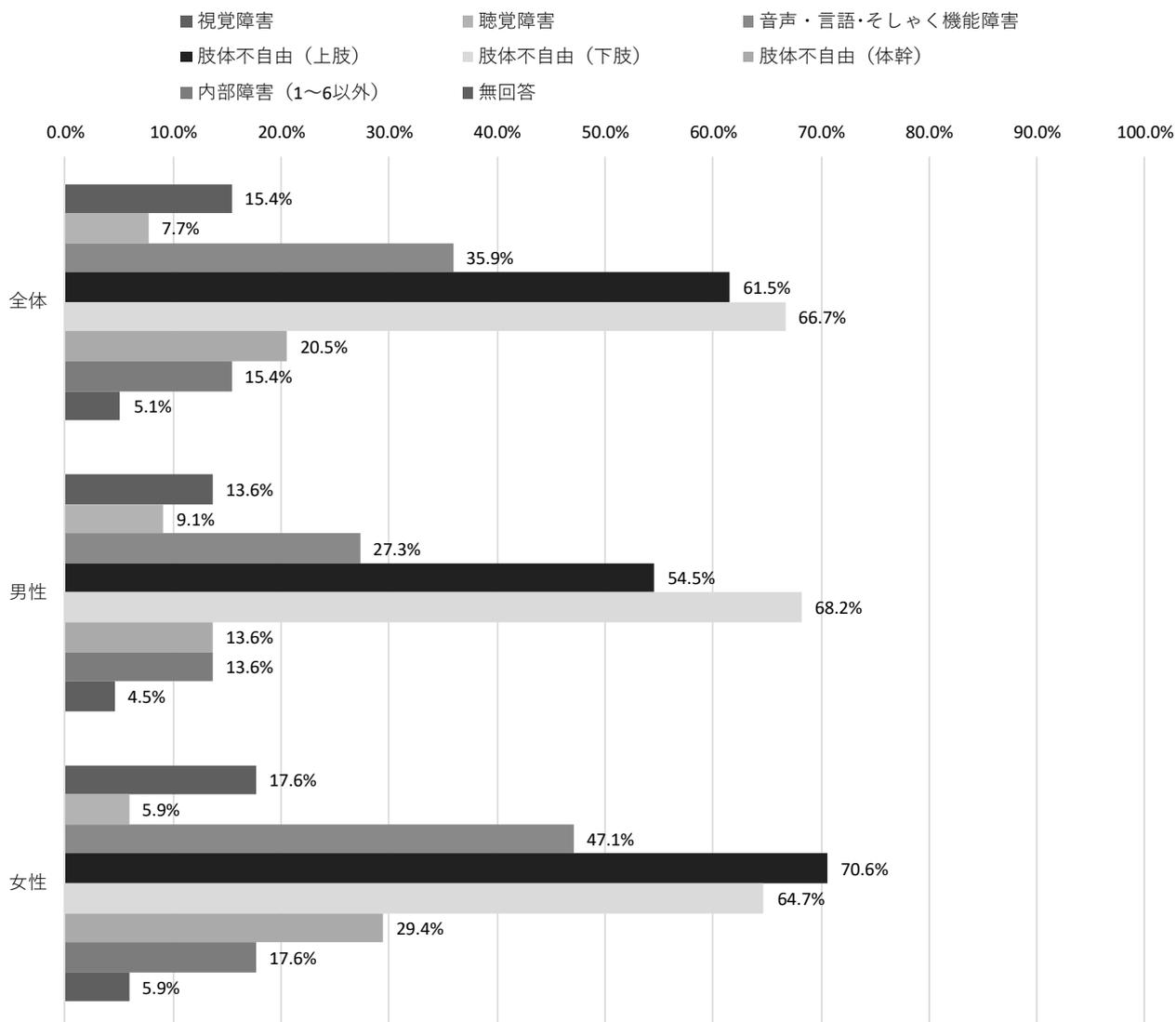
問20. 問19で「1」を選んだ場合、その関連障がいをお答えください。

全体では、「肢体不自由（下肢）」が66.7%で最も高く、次いで「肢体不自由（上肢）」が61.5%、「聴覚障害」が35.9%となった。

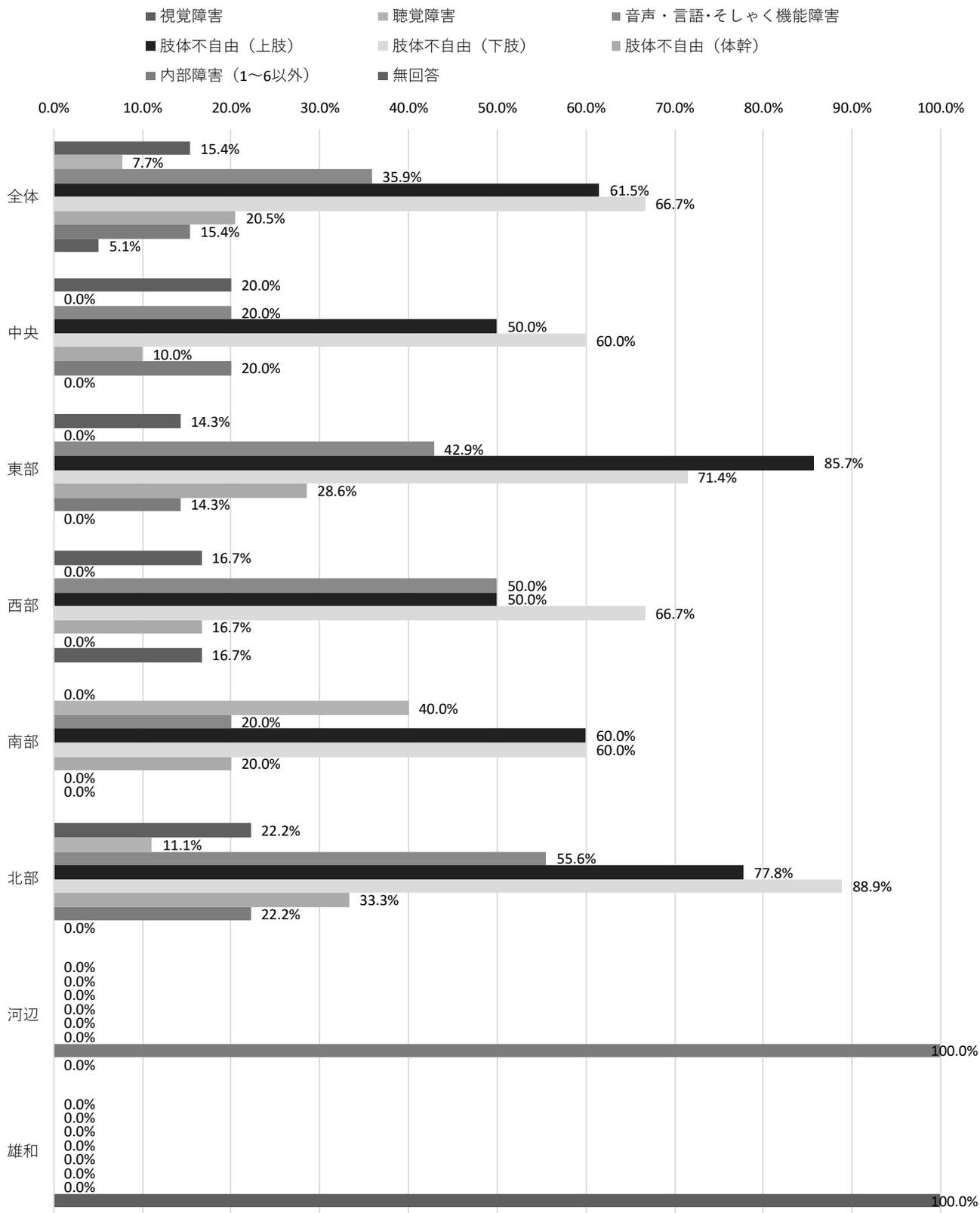
性別では、「肢体不自由（上肢）」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「肢体不自由（上肢）」が東部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=39、男性 N=22、女性 N=17）



【地域】（全体 N=39、中央 N=10、東部 N=7、西部 N=6、南部 N=5、北部 N=9、河辺 N=1、雄和 N=1）



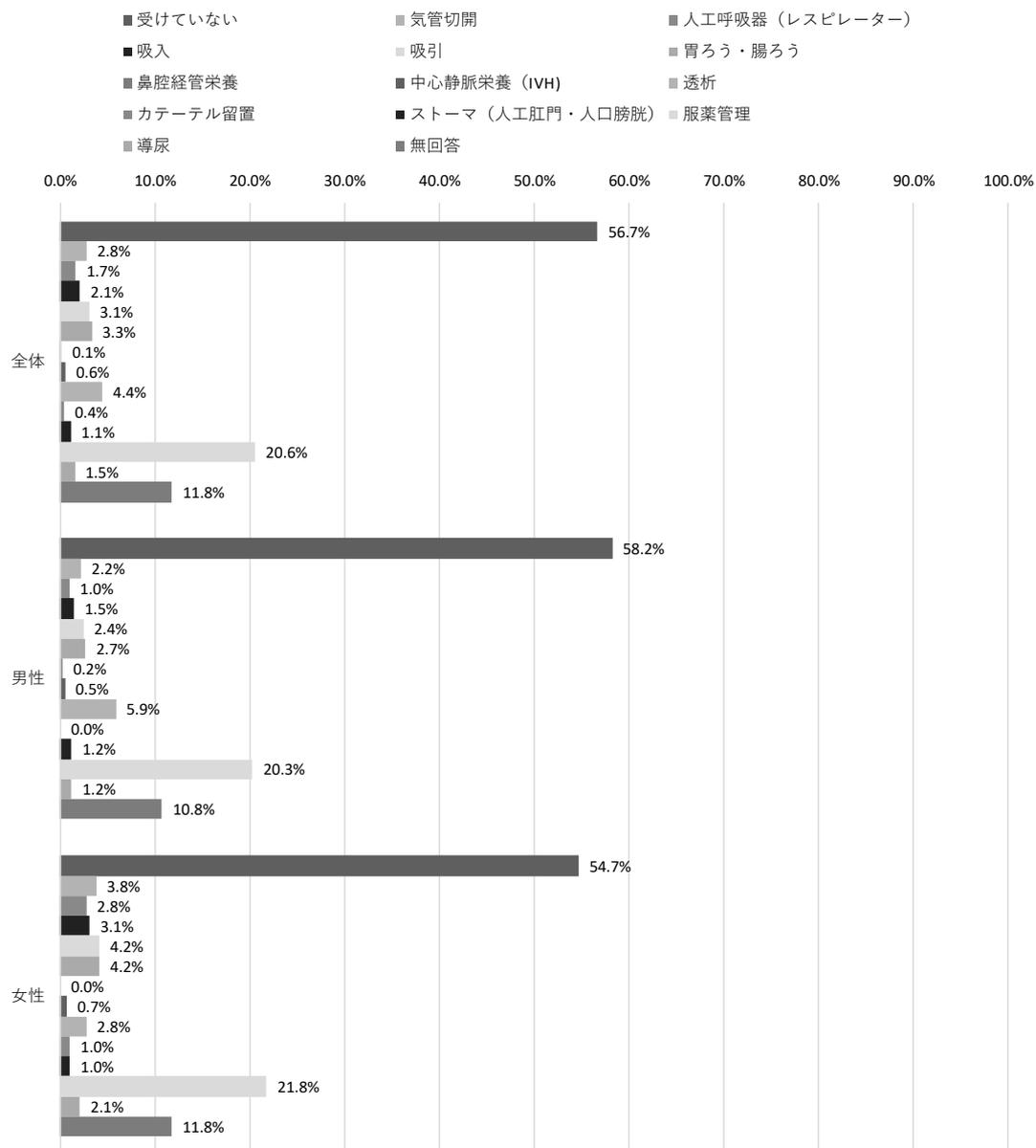
問 2 1. 現在、受けている医療ケアの内容をお答えください。

全体では、「受けていない」が 56.7%で最も高く、次いで「服薬管理」が 20.6%であった。

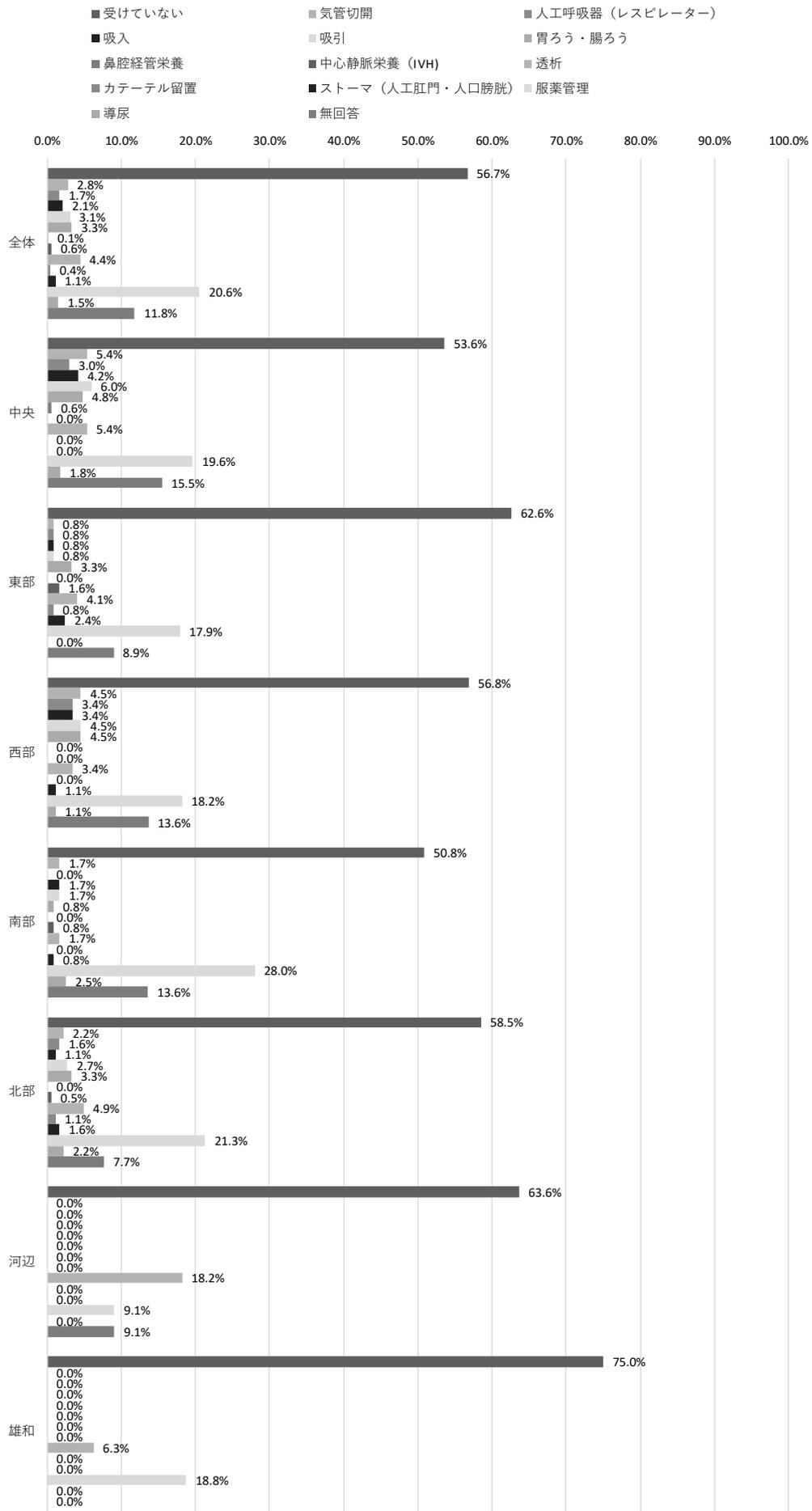
性別では、「受けていない」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「受けていない」が雄和において最も高くなった。

【性別】 (全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



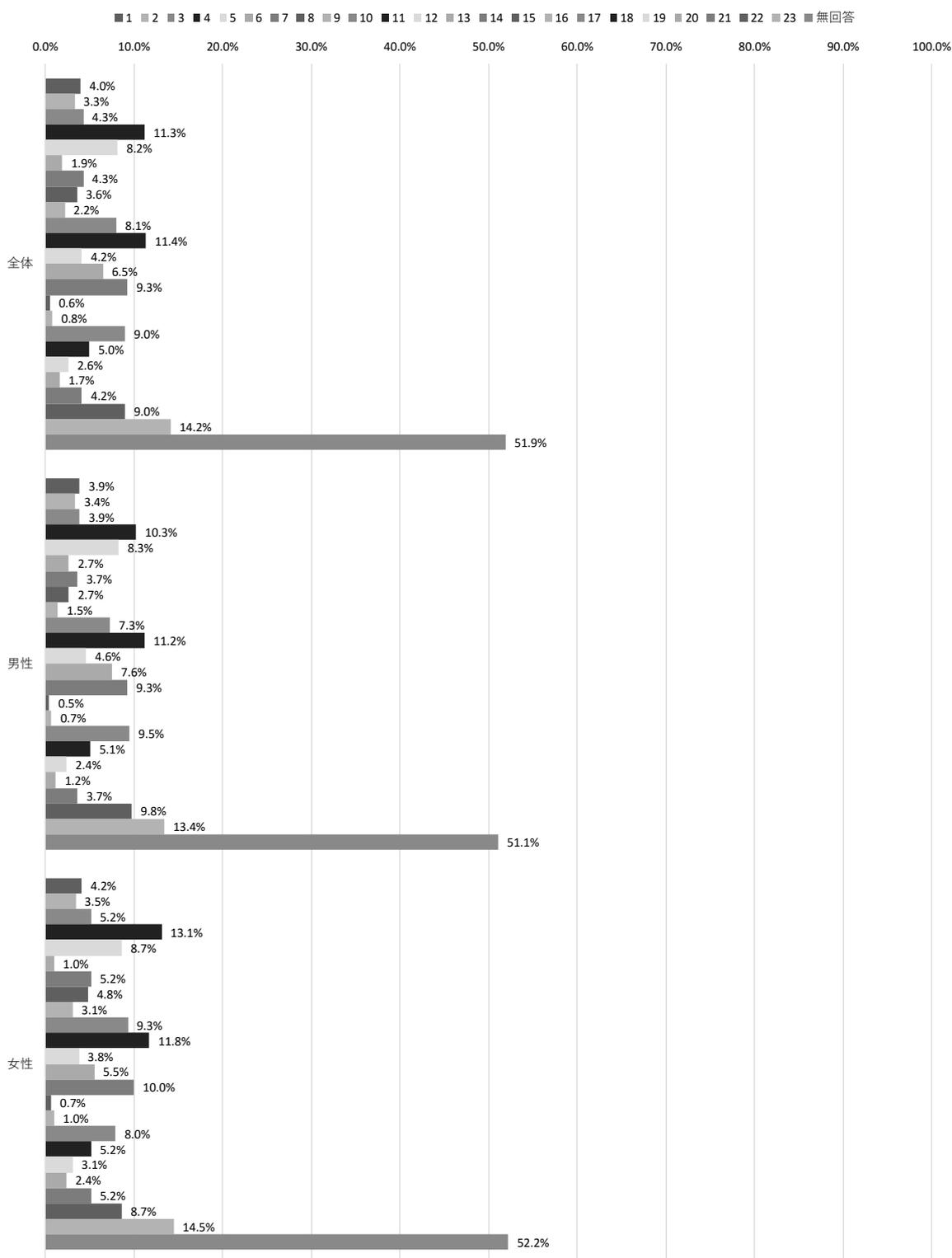
問 2 2. 医療的ケアの必要な方と生活を送るうえで、主たる介護者の方は、どのようなことに困っていますか。

全体では、「2 3 災害時の対応がわからない」が 14.2%で最も高く、次いで「1 1 急変の心配等、常に緊張を強いられて気持ちが落ち着かない」が 11.4%、「4 緊急で預けられるところがない」が 11.3%であった。

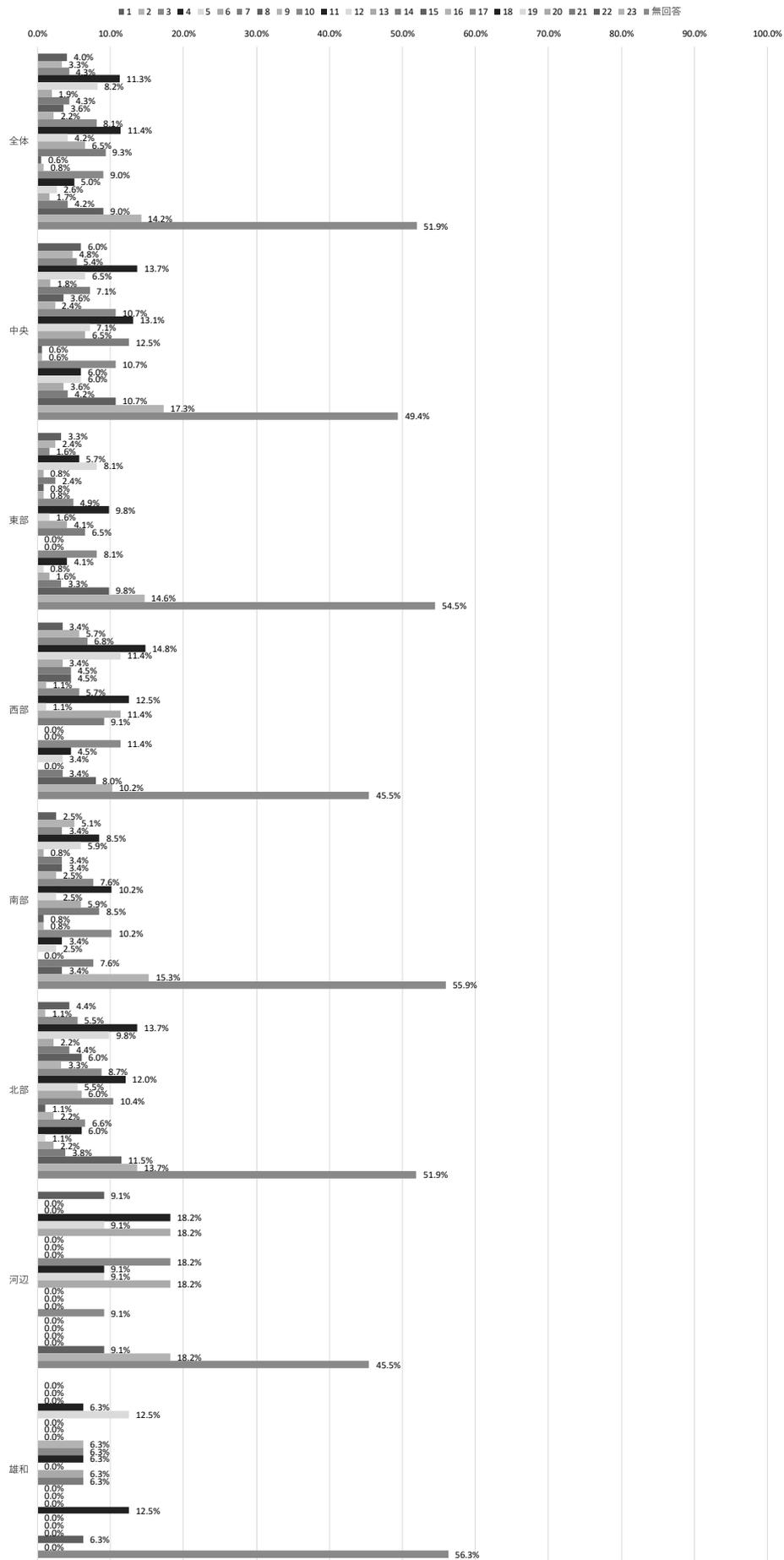
性別では、「4 緊急で預けられるところがない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「4 緊急で預けられるところがない」が河辺において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



日中活動や就労について

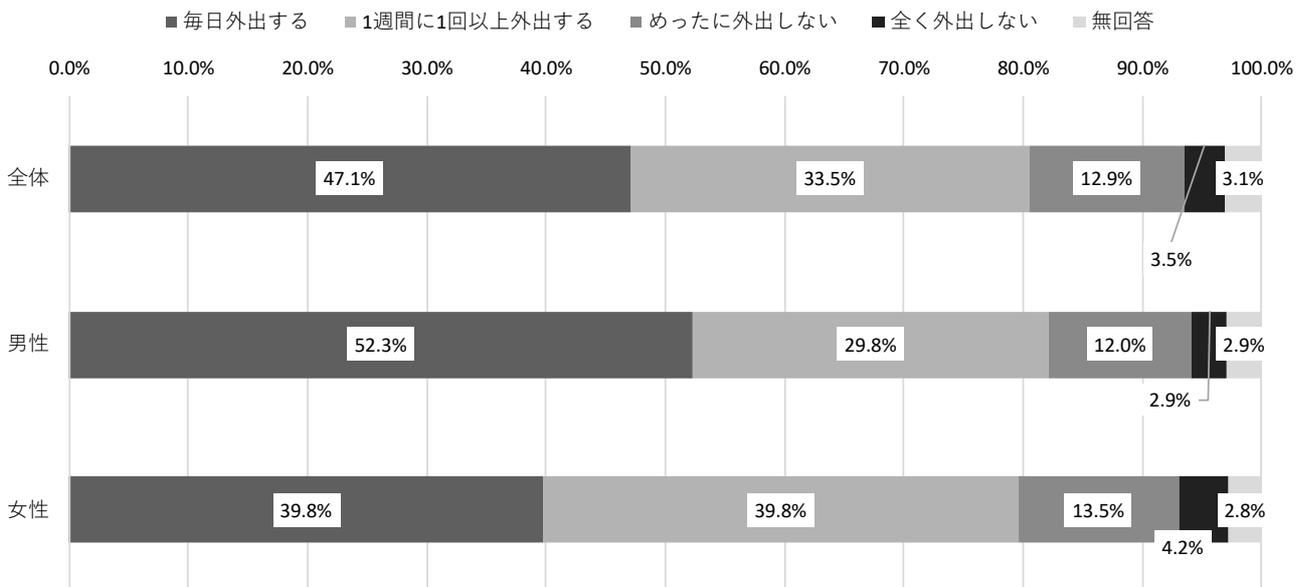
問 23. あなたは、1週間にどの程度外出しますか。

全体では、「毎日外出する」が47.1%で最も高く、次いで「1週間に1回以上外出する」が33.5%、「めったに外出しない」が12.9%となった。

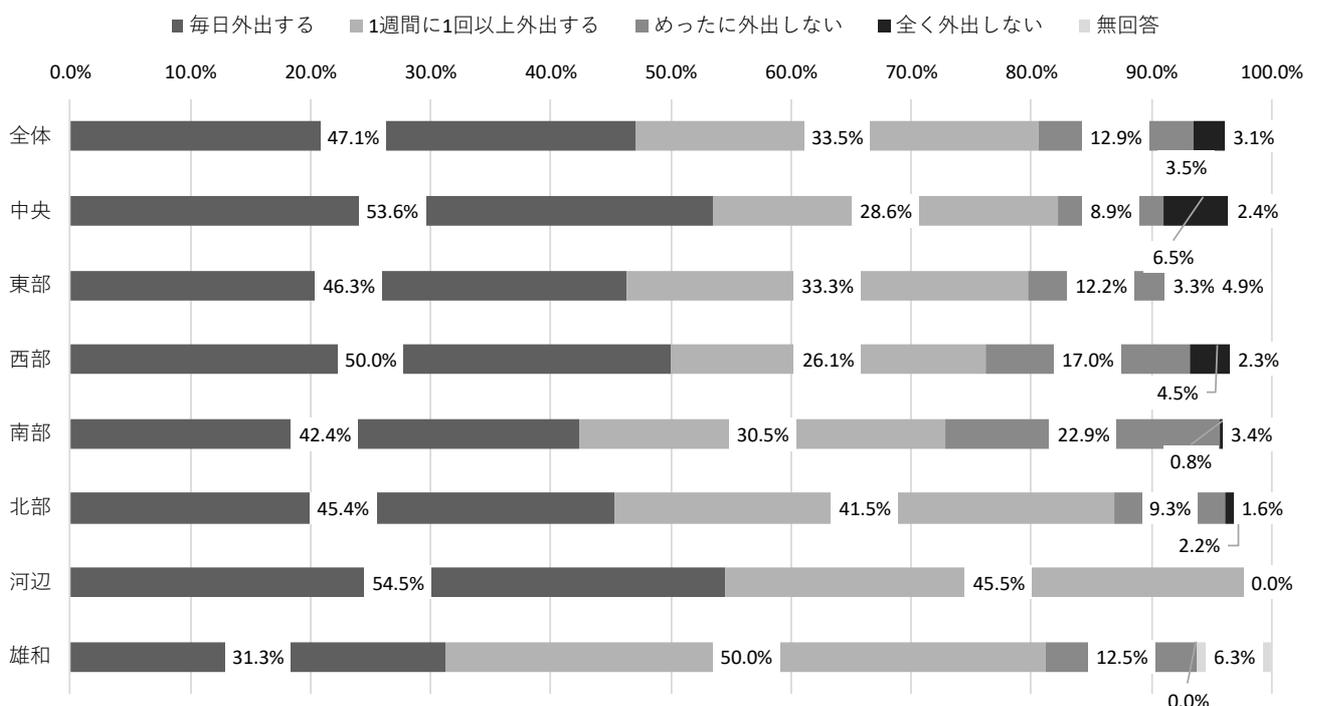
性別では、「毎日外出する」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「毎日外出する」が河辺において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



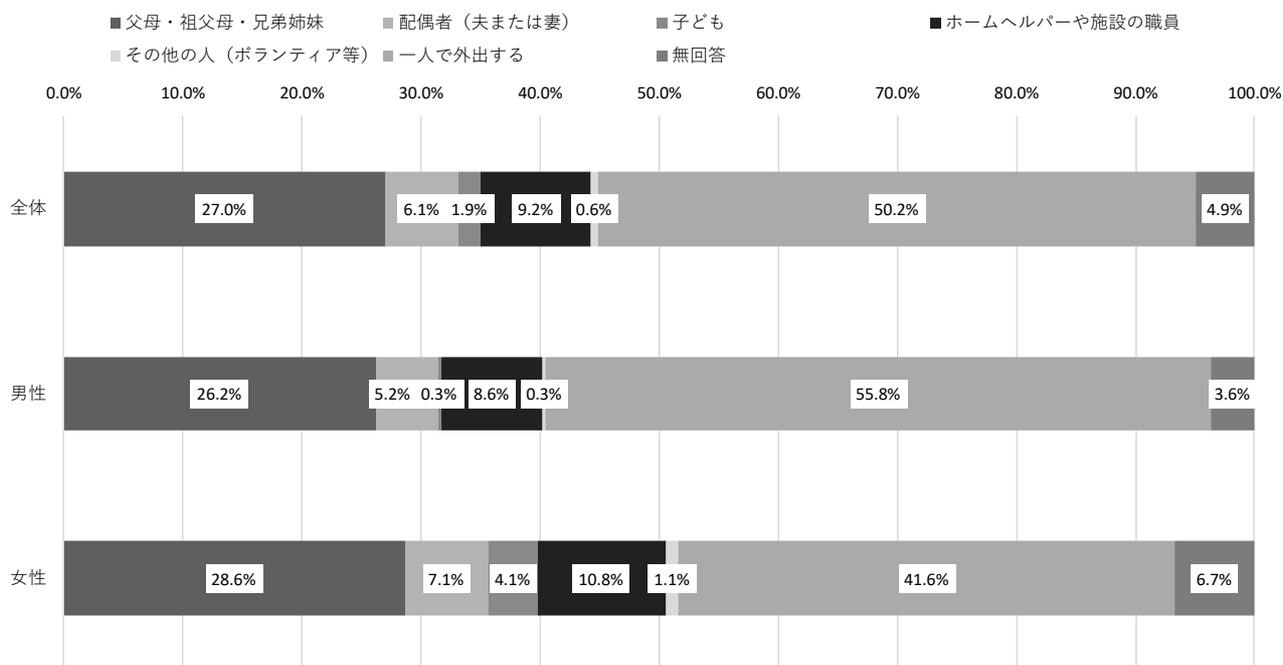
問 2 4. あなたが外出する際の主な同伴者はだれですか。

全体では、「一人で外出する」が 50.2%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 27.0%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 9.2%となった。

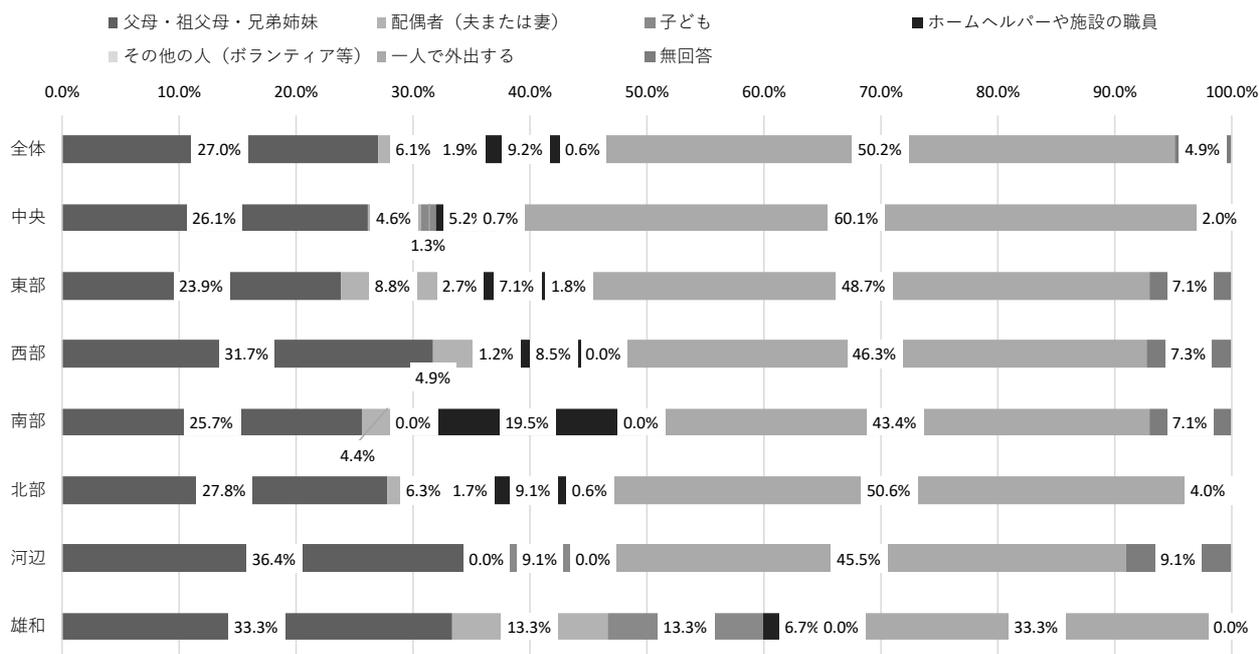
性別では、「一人で外出する」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「ホームヘルパーや施設の職員」が南部において最も高くなった。

【性別】(全体 N=673、男性 N=385、女性 N=269)



【地域】(全体 N=673、中央 N=153、東部 N=113、西部 N=82、南部 N=113、北部 N=176、河辺 N=11、雄和 N=15)



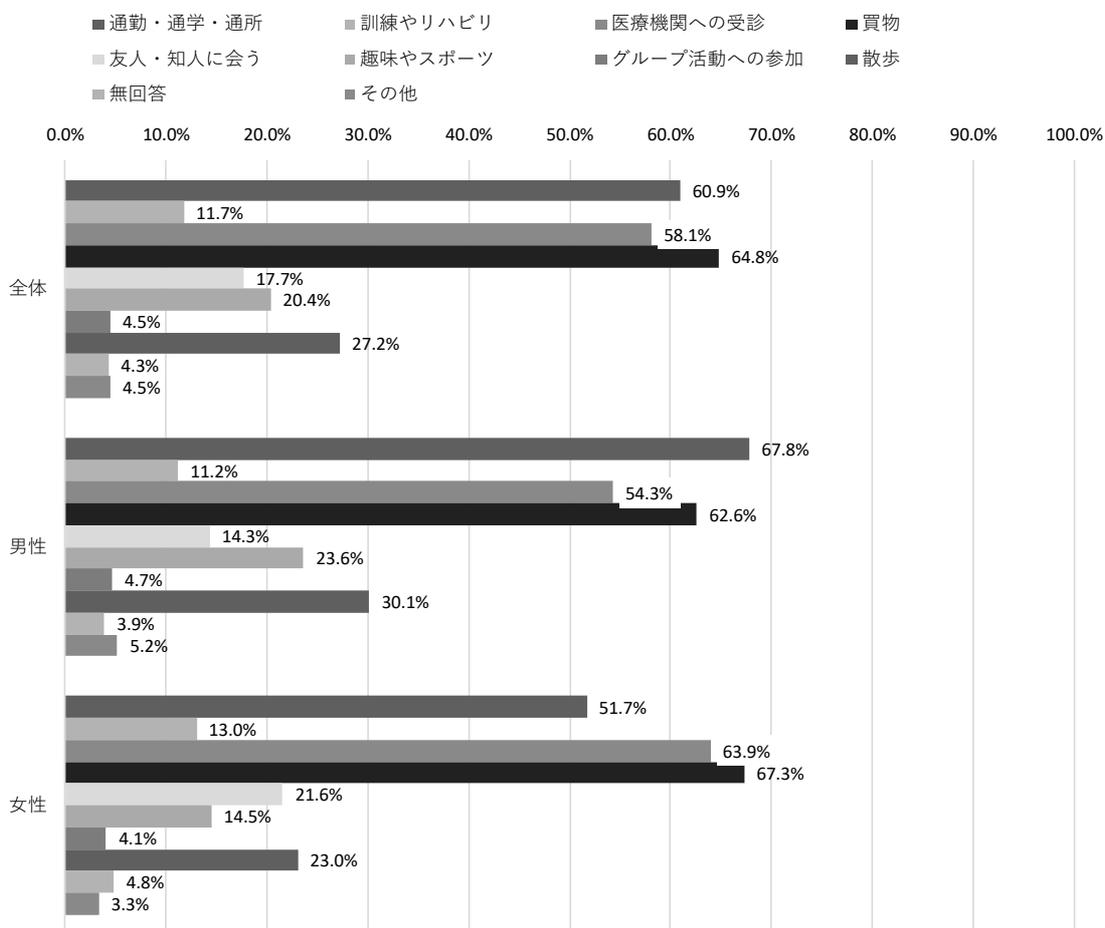
問 25. あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

全体では、「買物」が 64.8%で最も高く、次いで「通勤・通学・通所」が 60.9%、「医療機関への受診」が 58.1%となった。

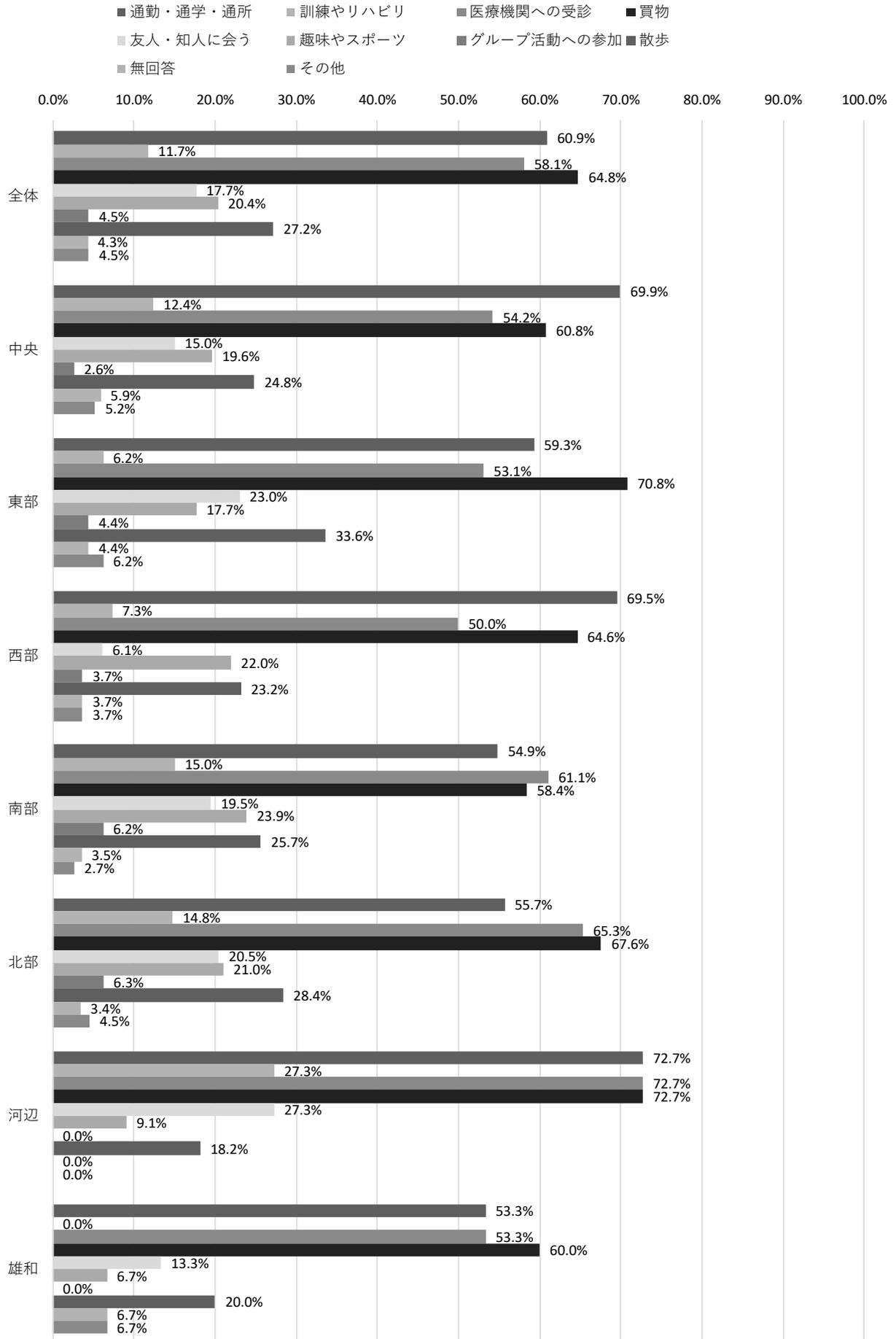
性別では、「買物」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「買物」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



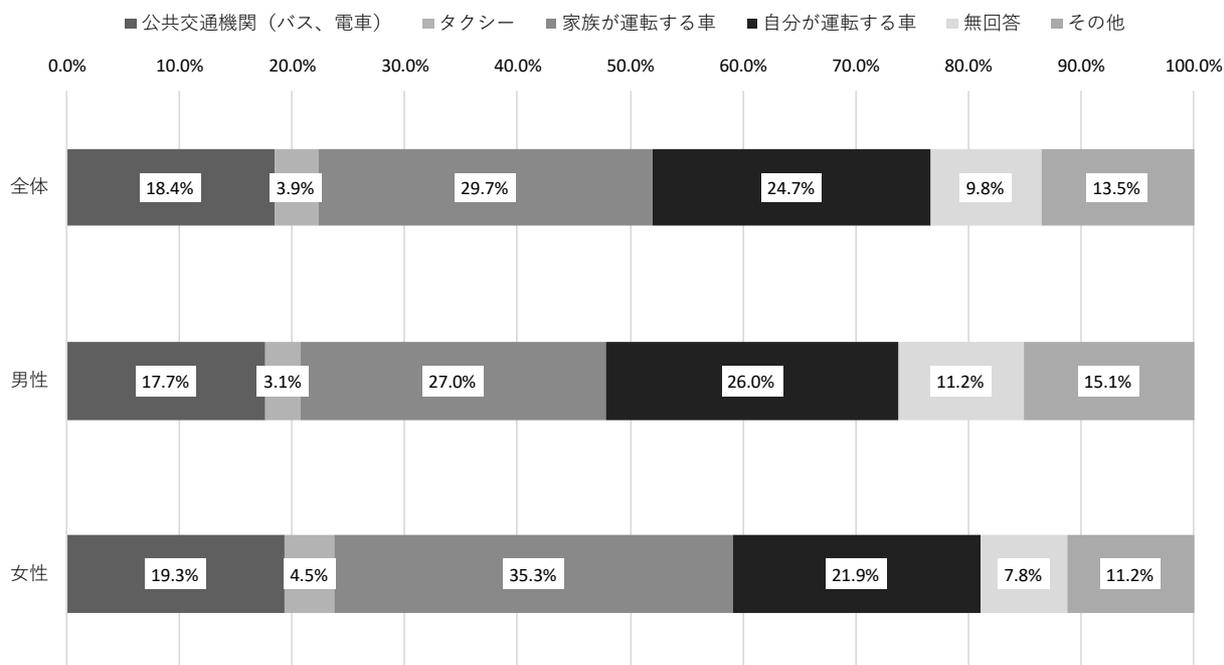
問 26. あなたは、外出するときの主な移動手段として何を利用していますか。

全体では、「家族が運転する車」が 29.7%で最も高く、次いで「自分が運転する車」が 24.7%、「公共交通機関（バス、電車）」が 18.4%となった。

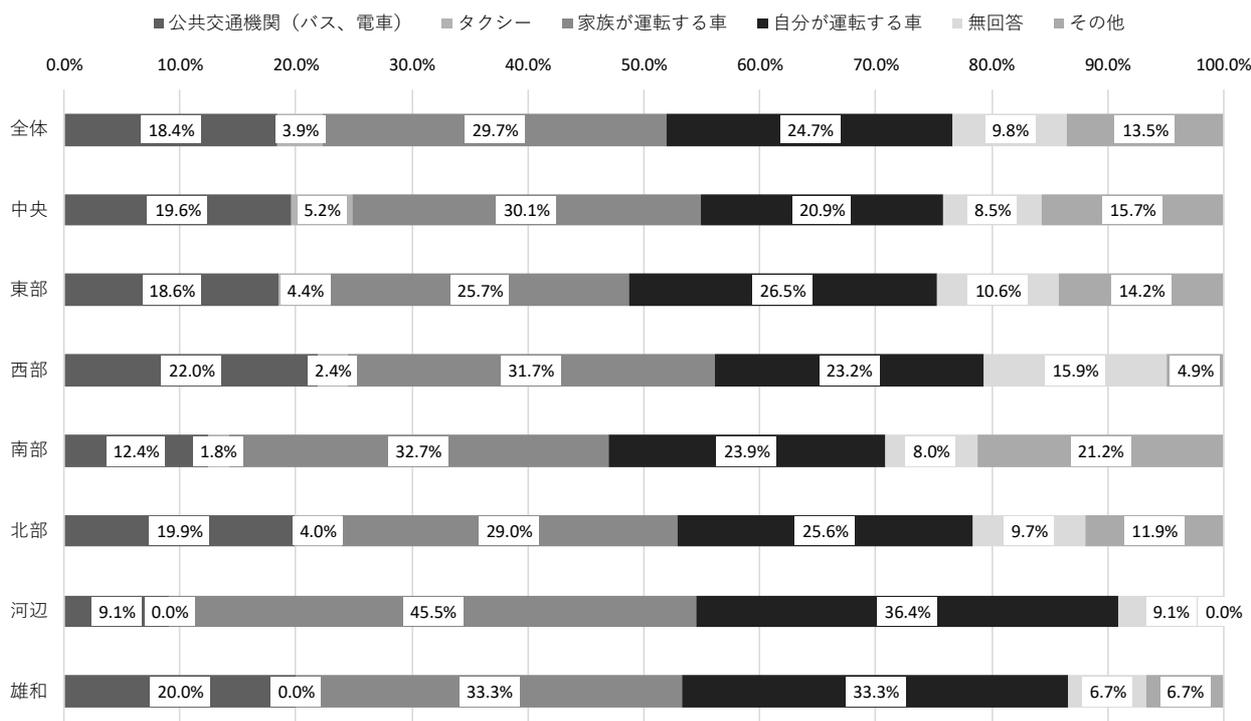
性別では、「自分が運転する車」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「公共交通機関（バス、電車）」が西部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



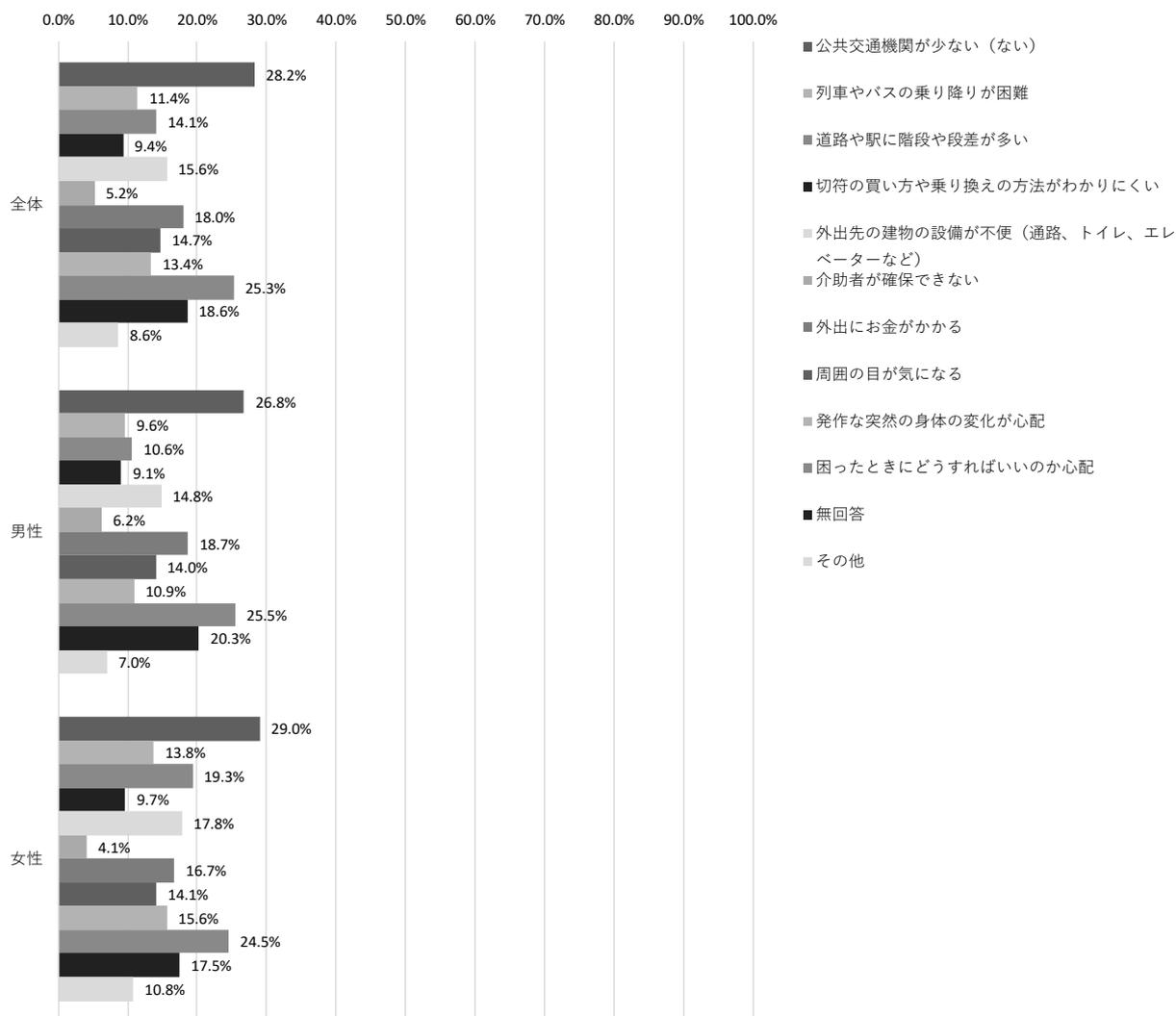
問 27. 外出するときに困ることは何ですか。

全体では、「公共交通機関が少ない（ない）」が 28.2%で最も高く、次いで「困ったときにどうすればいいか心配」が 25.5%、「外出にお金がかかる」が 18.0%となった。

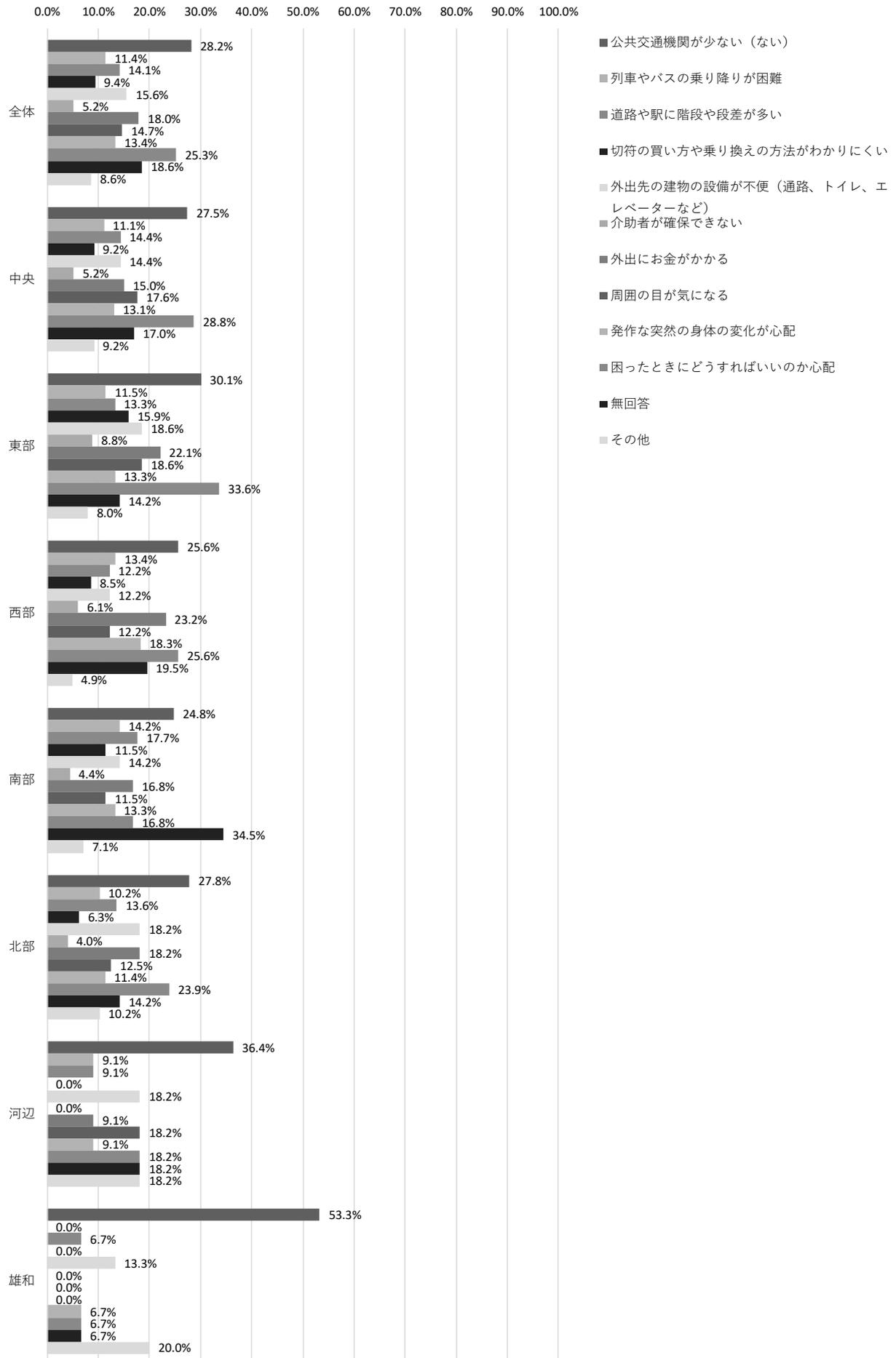
性別では、「道路や駅に階段や段差が多い」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「公共交通機関が少ない（ない）」が雄和において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



問 28. あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

全体では、「会社勤めや、自営業を営んだり、家業に従事している」が 26.3%で最も高く、次いで「自宅で過ごしている（専業主婦（主夫）を含む）」が 23.5%となった。

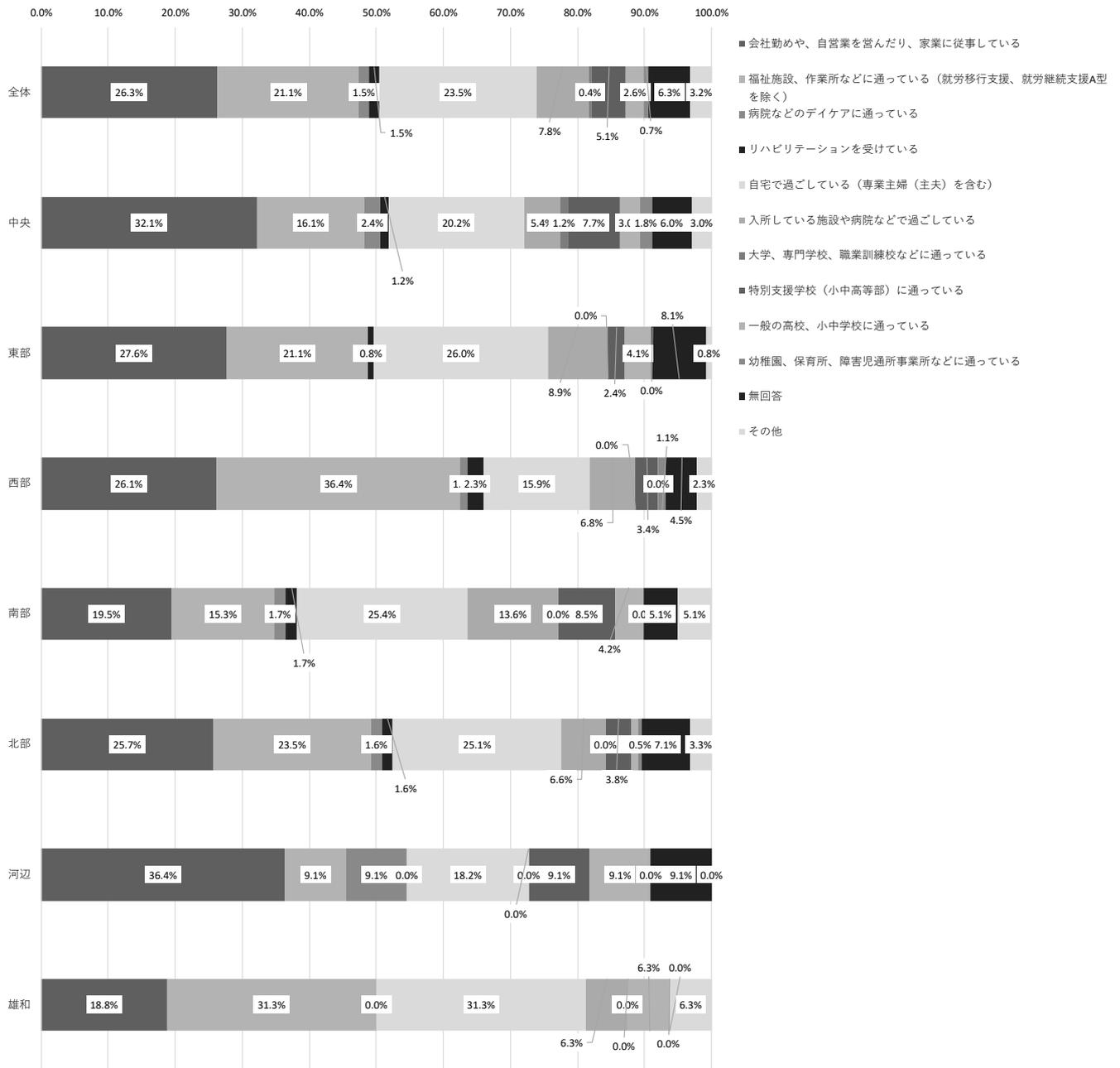
性別では、「会社勤めや、自営業を営んだり、家業に従事している」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「自宅で過ごしている（専業主婦（主夫）を含む）」が雄和において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



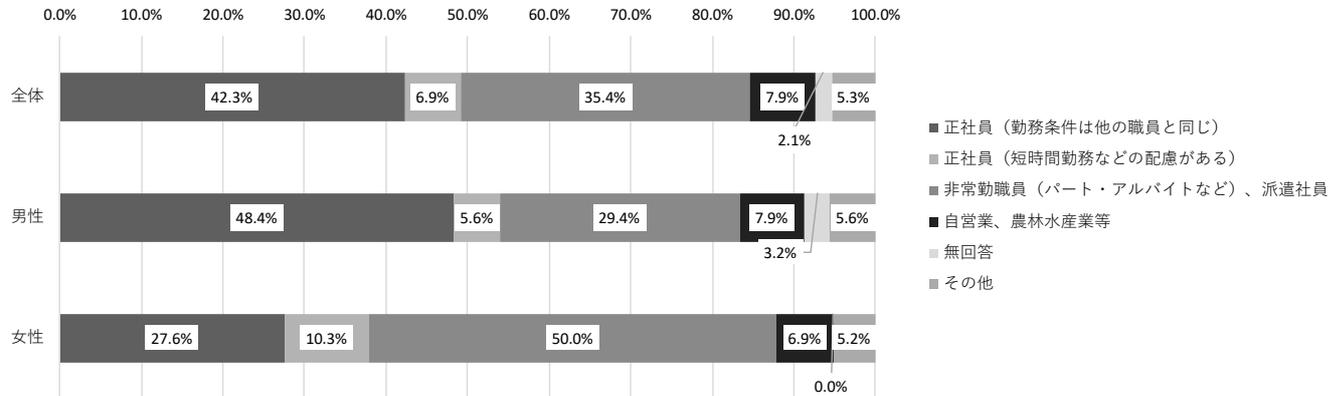
問 29. どのような勤務形態で働いていますか。

全体では、「正社員（勤務条件は他の職員と同じ）」が 42.3%で最も高く、次いで「非常勤職員（パート・アルバイトなど）、派遣社員」が 35.4%となった。

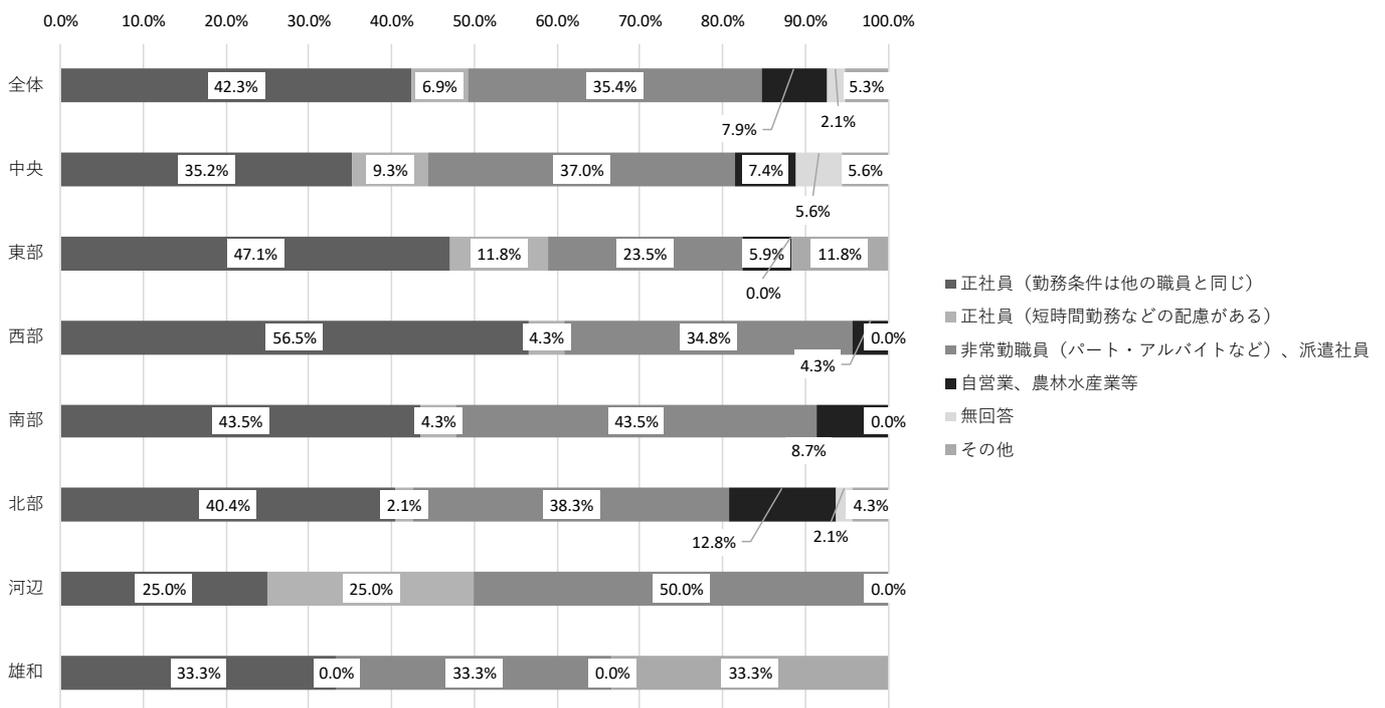
性別では、「正社員（勤務条件は他の職員と同じ）」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「正社員（勤務条件は他の職員と同じ）」が西部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=189、男性 N=126、女性 N=58）



【地域】（全体 N=189、中央 N=54、東部 N=34、西部 N=23、南部 N=23、北部 N=47、河辺 N=4、雄和 N=3）



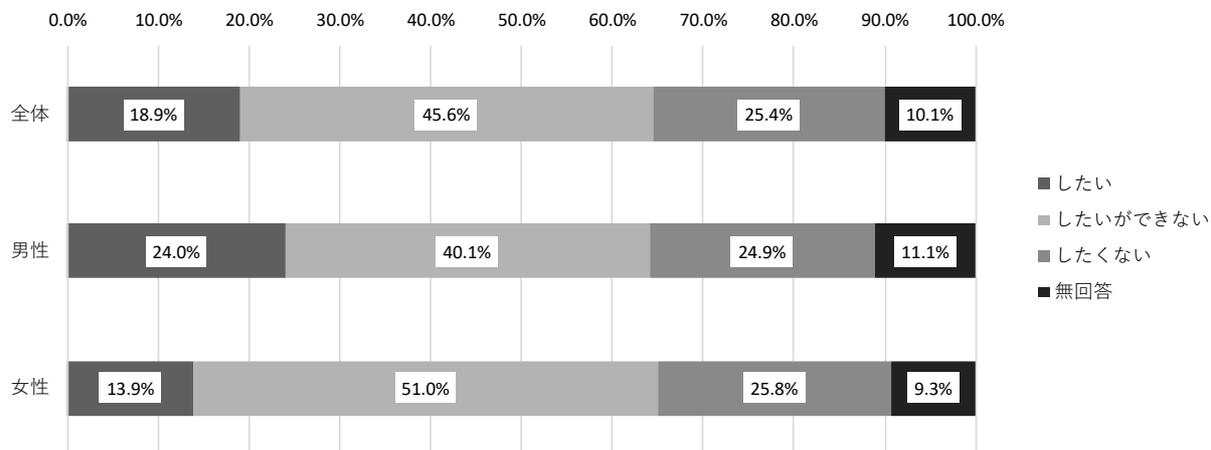
問30. あなたは今後、問28の1のように働きたいと思いますか。

全体では、「したいができない」が45.6%で最も高く、次いで「したくない」が25.4%となった。

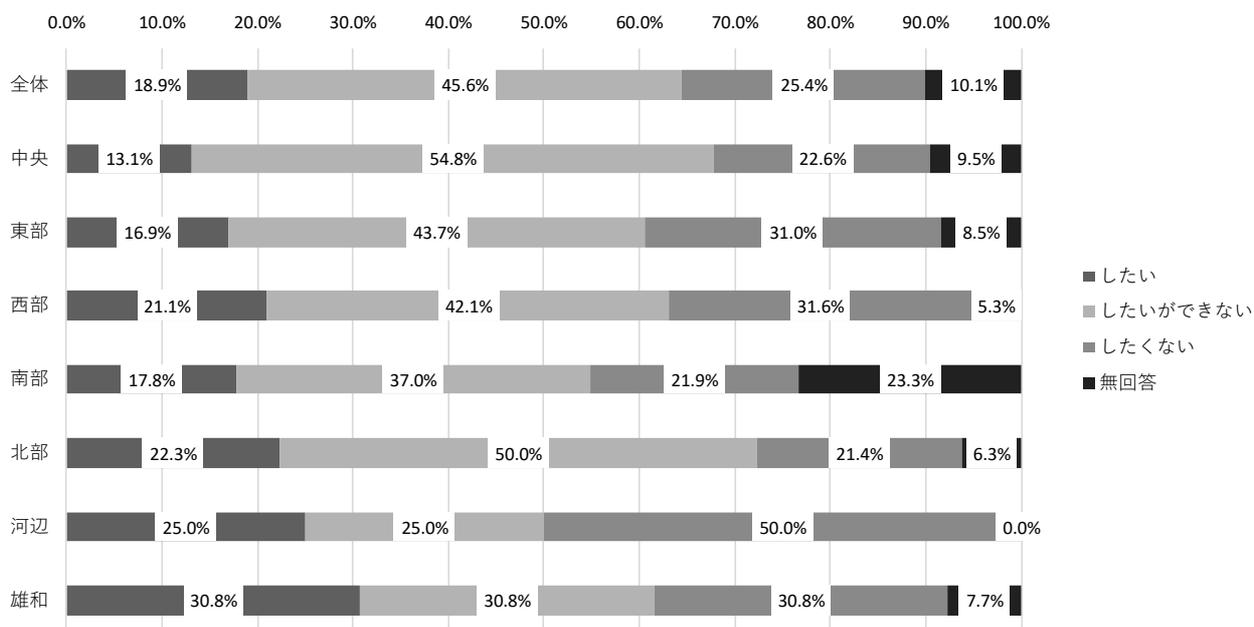
性別では、「したいができない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「したい」が雄和において最も高くなった。

【性別】(全体 N=417、男性 N=217、女性 N=194)



【地域】(全体 N=417、中央 N=84、東部 N=71、西部 N=57、南部 N=73、北部 N=112、河辺 N=4、雄和 N=13)



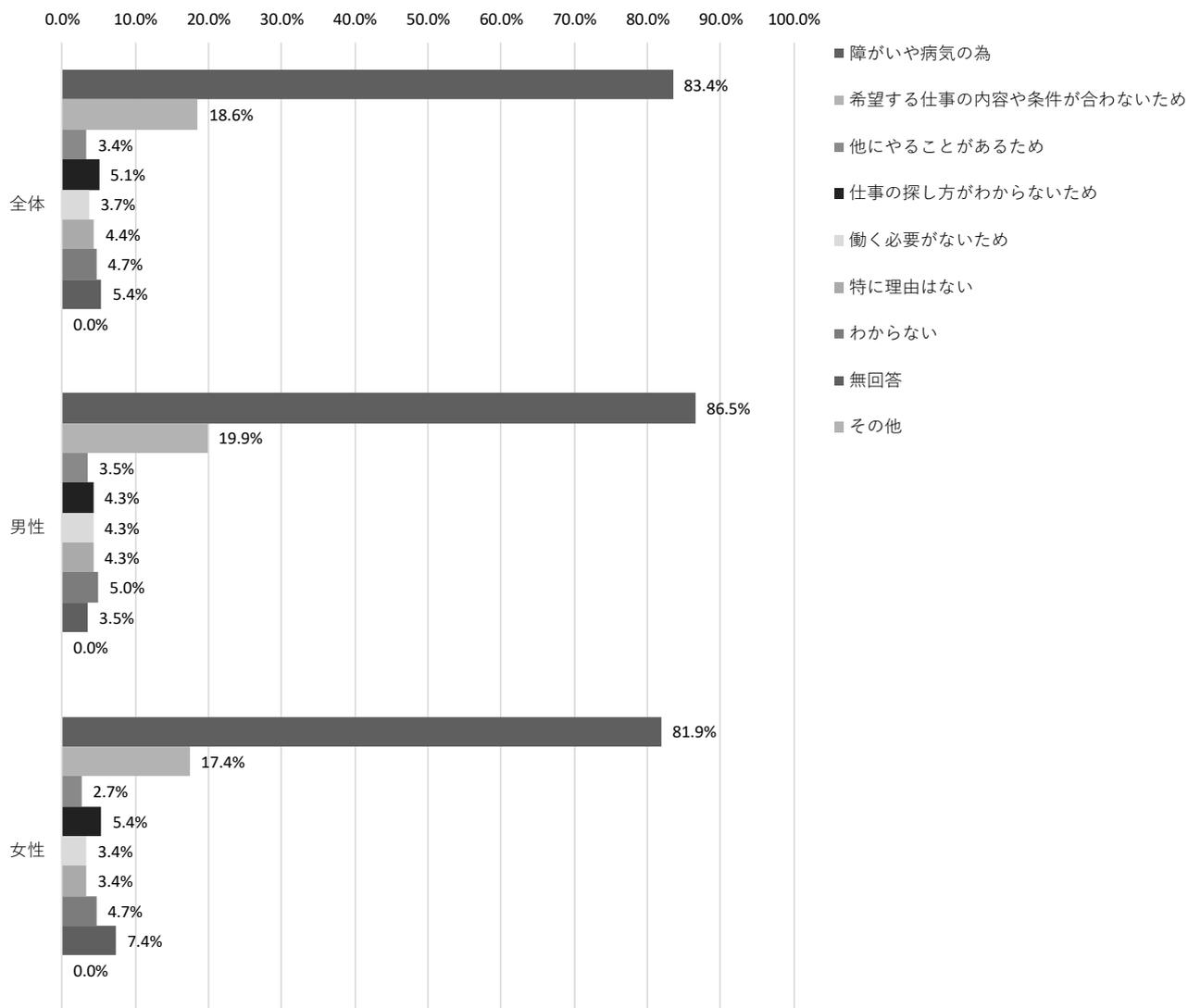
問3 1. 問30で「2 したいができない」または「3 したくない」を選んだ場合、その理由をお答えください。

全体では、「障がいや病気の為」が 83.4%で最も高く、次いで「希望する仕事の内容や条件が合わないため」が 18.6%となった。

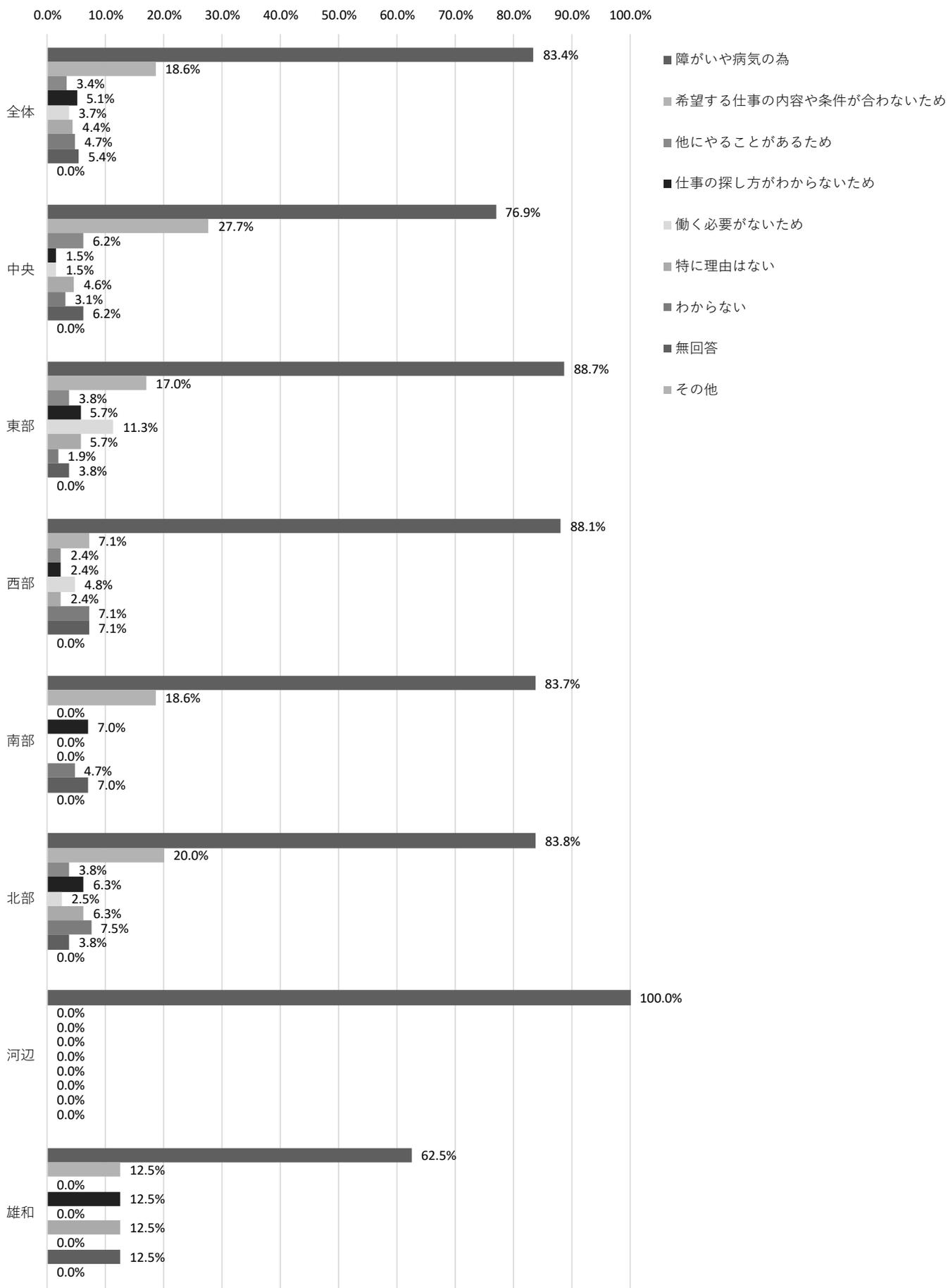
性別では、「障がいや病気の為」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、いずれの地域でも「障がいや病気の為」が高くなった。

【性別】(全体 N=296、男性 N=141、女性 N=149)



【地域】(全体 N=296、中央 N=65、東部 N=53、西部 N=42、南部 N=43、北部 N=80、河辺 N=3、雄和 N=8)



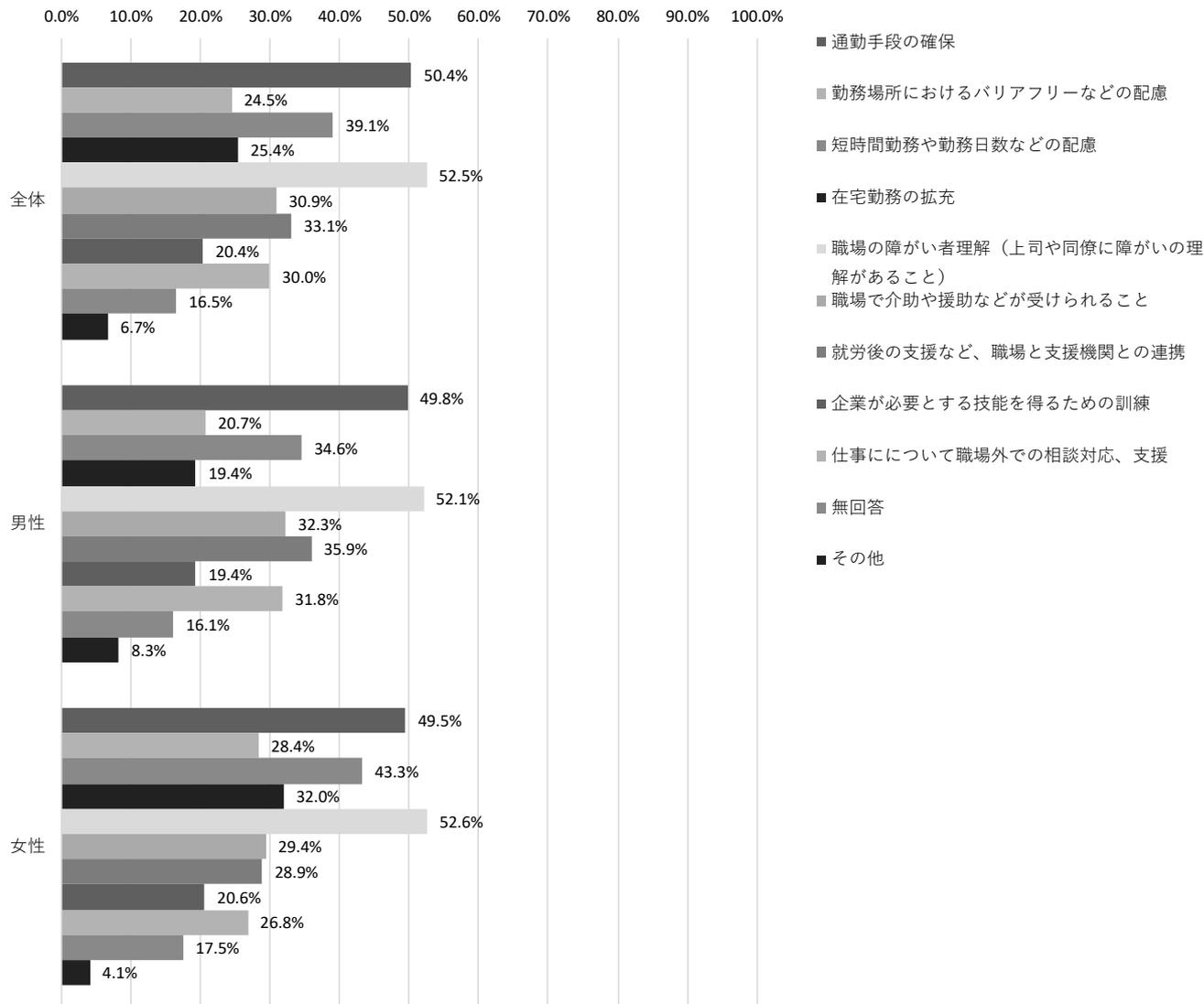
問3 2. あなたの、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

全体では、「職場の障がい者理解（上司や同僚に障がいの理解があること）」が 52.5%で最も高く、次いで「通勤手段の確保」が 50.4%となった。

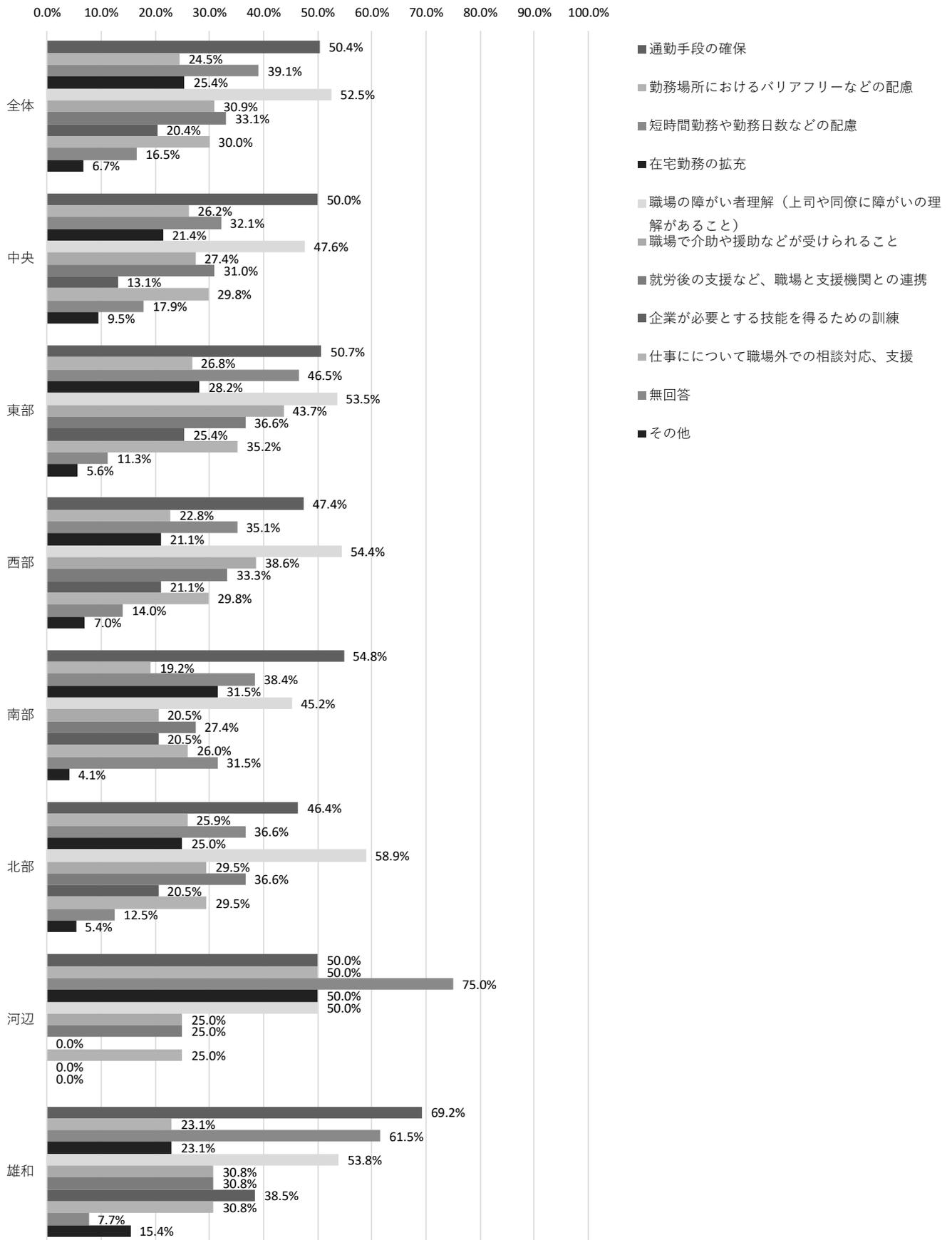
性別では、「在宅勤務の拡充」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「通勤手段の確保」が雄和において最も高くなった。

【性別】（全体 N=417、男性 N=217、女性 N=194）



【地域】（全体 N=417、中央 N=84、東部 N=71、西部 N=57、南部 N=73、北部 N=112、河辺 N=4、雄和 N=13）



日中活動や就労について

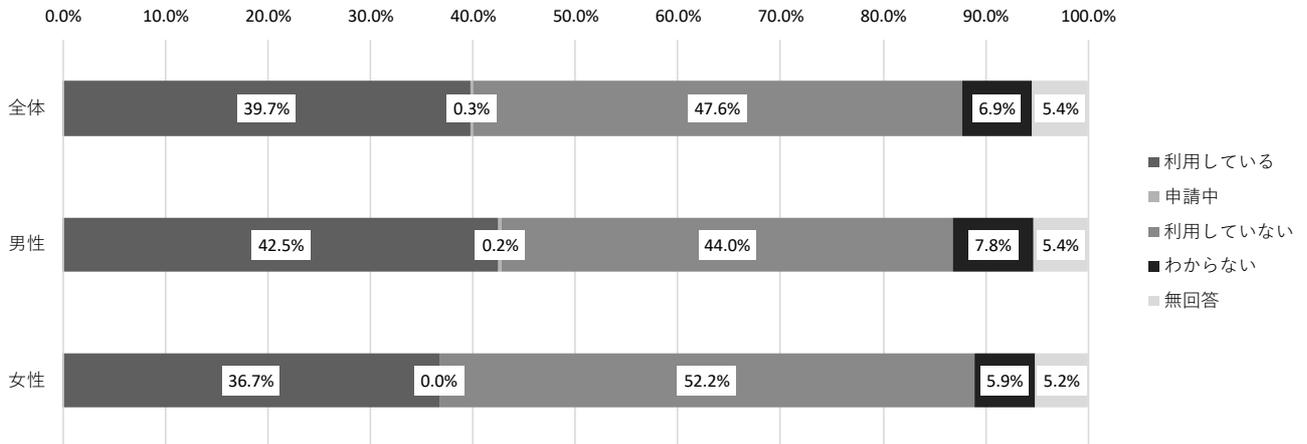
問 3 3 . 現在、あなたは障害福祉サービスなどを利用していますか。(〇は 1 つだけ)

全体では、「利用していない」が 47.6%で最も高く、次いで「利用している」が 39.7%となった。

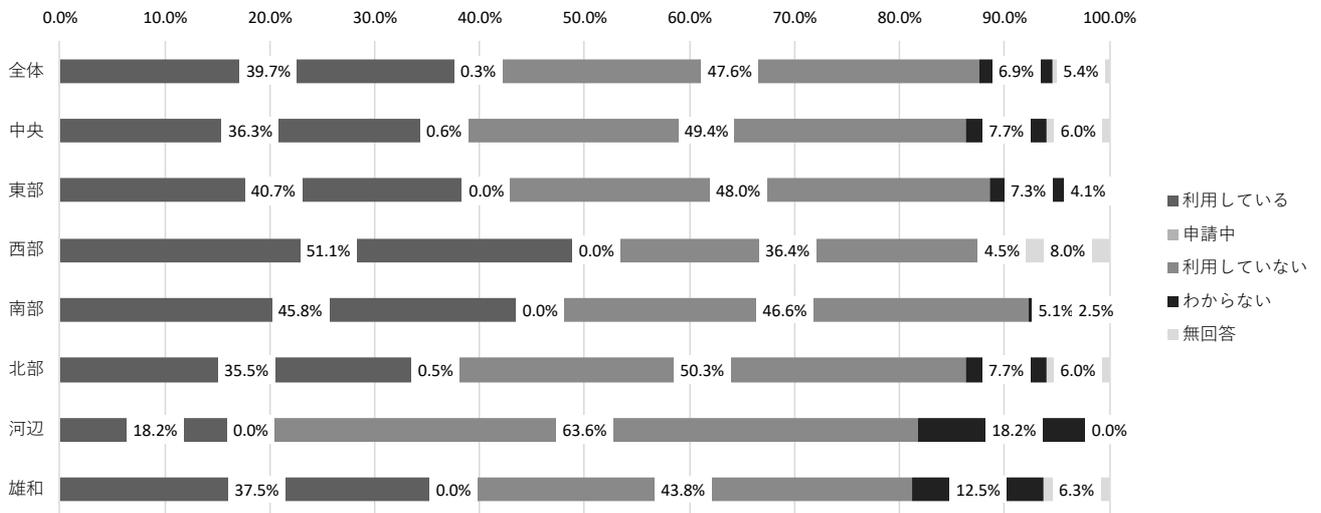
性別では、「利用していない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「利用している」が西部において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



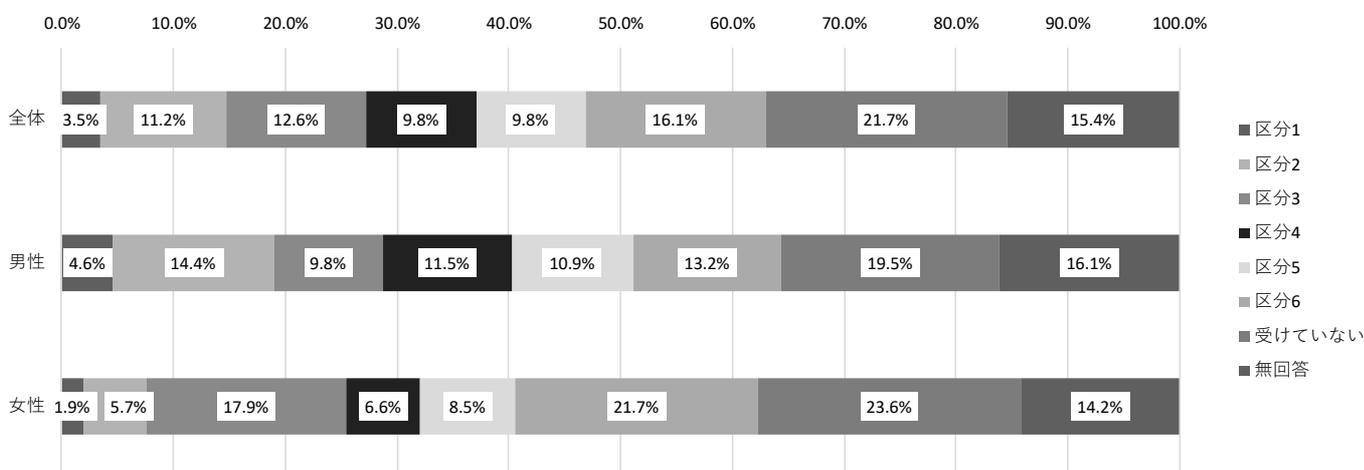
問3 4. あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

全体では、「受けていない」が21.7%で最も高く、次いで「区分6」が16.1%となった。

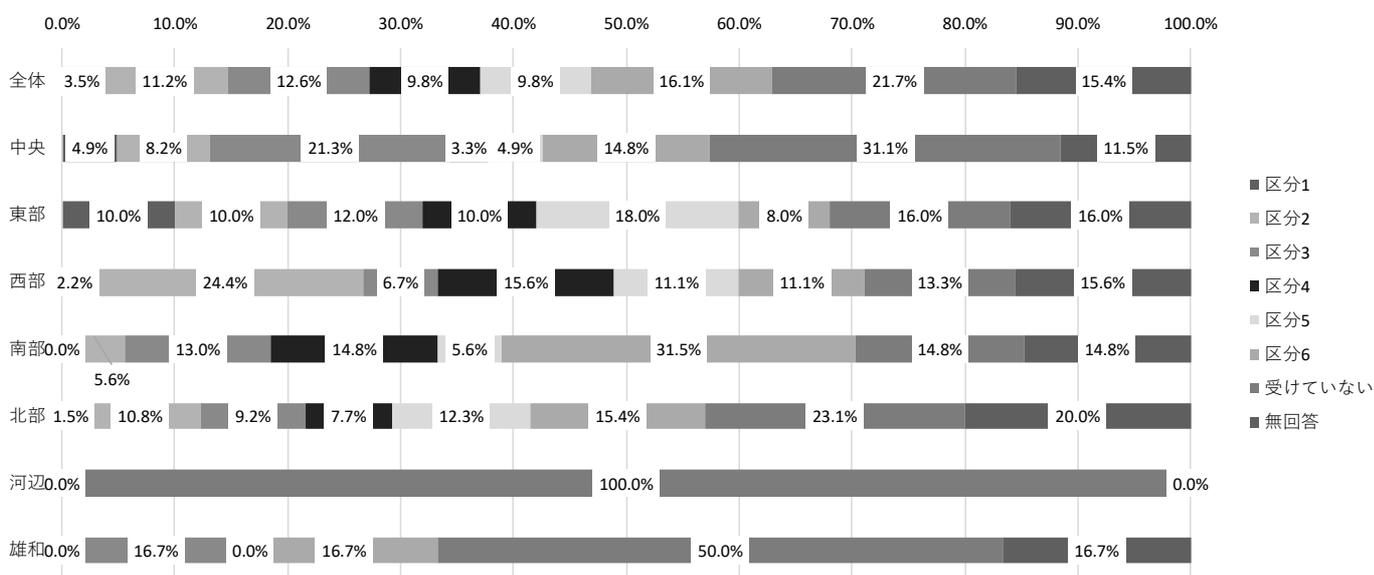
性別では、「受けていない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、河辺では全員が「受けていない」だった。

【性別】(全体 N=286、男性 N=174、女性 N=106)



【地域】(全体 N=286、中央 N=61、東部 N=50、西部 N=45、南部 N=54、北部 N=65、河辺 N=2、雄和 N=6)



問35. あなたは、次の表にある(1)から(34)までの障害福祉サービスなどを利用していますか。また今後利用したいと考えていますか。

- ①現在の利用状況（利用している方のみ）
- ②現在利用している場合の利用量（利用している方のみ）
- ③今後の利用希望（今の利用を続けたい、またはこれから使いたいかどうか）（全員）

障がい福祉サービスなどの内容		性別										
		地域										
		全体	男性	女性	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	鎌河	
	「現在」のN	286	174	106	61	50	45	54	65	2	6	
	「今後」のN	631	355	257	145	109	77	109	158	9	13	
障がい福祉サービス												
(1) 居宅介護（ホームヘルプ）	現在	①利用状況	13.6%	12.1%	16.0%	18.0%	12.0%	13.3%	5.6%	18.5%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	1.7%	0.0%	4.7%	3.3%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	12.9%	13.2%	13.2%	16.4%	14.0%	17.8%	5.6%	13.8%	0.0%	0.0%
	今後	③利用量3 多い	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		③利用希望	10.8%	11.3%	10.1%	15.2%	11.9%	11.7%	5.5%	11.4%	0.0%	0.0%
		①利用状況	2.8%	2.3%	3.8%	3.3%	2.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
(2) 重度訪問介護	現在	②利用量1 少ない	1.4%	0.0%	3.8%	1.6%	2.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	2.4%	2.9%	1.9%	3.3%	4.0%	0.0%	0.0%	4.6%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	5.2%	5.4%	5.1%	6.9%	6.4%	6.5%	4.6%	3.2%	11.1%	0.0%
		①利用状況	1.7%	1.7%	1.9%	0.0%	2.0%	0.0%	1.9%	4.6%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
(3) 同行援護	現在	③利用量2 ちょうど良い	1.7%	2.3%	0.9%	0.0%	4.0%	0.0%	1.9%	3.1%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	4.6%	4.5%	4.7%	4.8%	4.6%	3.9%	6.4%	3.8%	11.1%	0.0%
	今後	①利用状況	28.3%	29.3%	28.3%	19.7%	34.0%	33.3%	40.7%	23.1%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	4.2%	4.6%	3.8%	6.6%	4.0%	4.4%	1.9%	4.6%	0.0%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	20.3%	20.7%	20.8%	11.5%	32.0%	28.9%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%
(4) 生活介護	現在	③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	12.5%	12.7%	12.5%	15.2%	14.7%	14.3%	11.0%	10.8%	11.1%	0.0%
		①利用状況	4.2%	3.4%	4.7%	4.9%	6.0%	4.4%	0.0%	4.6%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量1 少ない	2.1%	1.7%	1.9%	1.6%	2.0%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	3.1%	2.9%	3.8%	1.6%	10.0%	2.2%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(5) 自立訓練（機能訓練）	現在	③利用希望	9.0%	9.3%	8.9%	9.0%	8.3%	9.1%	7.3%	10.1%	11.1%	15.4%
		①利用状況	4.9%	4.0%	4.7%	3.3%	4.0%	4.4%	1.9%	9.2%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	1.0%	0.6%	0.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
	今後	③利用量2 ちょうど良い	4.5%	5.2%	2.8%	3.3%	4.0%	4.4%	3.7%	7.7%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	11.3%	12.4%	9.7%	13.8%	9.2%	11.7%	11.0%	10.8%	11.1%	0.0%
(6) 自立訓練（生活訓練）	現在	①利用状況	1.4%	2.3%	0.0%	1.6%	2.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	1.4%	2.3%	0.0%	1.6%	2.0%	0.0%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
	今後	③利用量3 多い	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	11.1%	10.4%	12.1%	10.3%	9.2%	7.8%	12.8%	12.0%	22.2%	23.1%
		①利用状況	5.9%	5.2%	5.7%	8.2%	2.0%	13.3%	1.9%	4.6%	0.0%	0.0%
(7) 就労移行支援	現在	②利用量1 少ない	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	2.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	4.2%	4.6%	3.8%	6.6%	2.0%	8.9%	3.7%	1.5%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	1.4%	0.6%	1.9%	1.6%	0.0%	2.2%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	11.9%	13.0%	10.1%	15.9%	8.3%	7.8%	11.0%	13.3%	11.1%	15.4%
		①利用状況	25.2%	25.9%	24.5%	21.3%	22.0%	28.9%	18.5%	30.8%	50.0%	66.7%
		②利用量1 少ない	1.7%	2.9%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
(8) 就労継続支援A型	現在	③利用量2 ちょうど良い	22.7%	23.6%	22.6%	21.3%	18.0%	26.7%	18.5%	26.2%	0.0%	66.7%
		③利用量3 多い	1.4%	1.7%	0.0%	1.6%	2.0%	2.2%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
		③利用希望	14.9%	14.6%	15.2%	13.8%	12.8%	15.6%	18.3%	14.6%	22.2%	15.4%
	今後	①利用状況										
		②利用量1 少ない										
		③利用量2 ちょうど良い										
(9) 就労継続支援B型	現在	③利用量3 多い										
		③利用希望	15.2%	15.2%	14.4%	17.2%	11.0%	13.0%	15.6%	16.5%	33.3%	23.1%
		①利用状況	2.1%	1.1%	3.8%	3.3%	2.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.0%	16.7%
	今後	②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用量2 ちょうど良い	1.7%	1.1%	2.8%	3.3%	2.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
		③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(10) 療養介護	現在	③利用希望	5.2%	5.4%	5.1%	8.3%	4.6%	3.9%	5.5%	3.8%	11.1%	0.0%
		①利用状況	14.3%	13.2%	17.0%	8.2%	14.0%	20.0%	20.4%	13.8%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	6.6%	6.9%	6.6%	4.9%	8.0%	8.9%	9.3%	4.6%	0.0%	0.0%
	今後	③利用量2 ちょうど良い	7.7%	5.7%	11.3%	4.9%	4.0%	8.9%	13.0%	9.2%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	15.4%	13.5%	18.7%	17.2%	11.9%	23.4%	15.6%	12.7%	22.2%	7.7%
(11) 自立生活援助	現在	①利用状況										
		②利用量1 少ない										
		③利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用量3 多い										
		③利用希望	9.2%	10.4%	6.2%	9.7%	10.1%	10.4%	8.3%	7.0%	22.2%	7.7%
		①利用状況	6.6%	7.5%	5.7%	4.9%	16.0%	6.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
(12) 共同生活援助（グループホーム）	現在	②利用量1 少ない	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		③利用量2 ちょうど良い	6.3%	6.9%	5.7%	1.6%	20.0%	4.4%	1.9%	6.2%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.7%	0.6%	0.9%	1.6%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	9.5%	10.7%	7.4%	10.3%	8.3%	9.1%	11.0%	8.9%	11.1%	7.7%
		①利用状況	10.8%	12.1%	9.4%	6.6%	16.0%	2.2%	27.8%	4.6%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(13) 施設入所支援	現在	③利用量2 ちょうど良い	5.2%	6.3%	3.8%	3.3%	16.0%	2.2%	3.7%	3.1%	0.0%	0.0%
		③利用量3 多い	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		③利用希望	10.5%	11.5%	9.7%	12.4%	9.2%	11.7%	14.7%	7.6%	11.1%	0.0%

障がい福祉サービスなどの内容		性別					地域					
		全体	男性	女性	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	
		「現在」のN	286	174	106	61	50	45	54	65	2	6
		「今後」のN	631	355	257	145	109	77	109	158	9	13
(16) 地域移行支援	現在	①利用状況	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	3.3%	3.4%	3.5%	5.5%	2.8%	2.6%	4.6%	1.9%	0.0%	0.0%
(17) 地域定着支援	現在	①利用状況	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	7.4%	7.3%	7.8%	7.6%	8.3%	3.9%	9.2%	6.3%	11.1%	15.4%
(18) 行動援護	現在	①利用状況										
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用希望	6.7%	6.5%	7.4%	8.3%	7.3%	6.5%	7.3%	5.7%	0.0%	0.0%
(19) 重度等包括支援	現在	①利用状況										
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用希望	4.1%	4.2%	4.3%	6.2%	3.7%	3.9%	2.8%	4.4%	0.0%	0.0%
障がい児支援												
(20) 児童発達支援	現在	①利用状況	2.1%	3.4%	0.0%	1.6%	0.0%	2.2%	1.9%	3.1%	50.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	1.7%	2.9%	0.0%	1.6%	0.0%	2.2%	1.9%	1.5%	50.0%	0.0%
		②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	3.3%	3.1%	3.5%	5.5%	2.8%	1.3%	5.5%	1.9%	0.0%	0.0%
(21) 医療型児童発達支援	現在	①利用状況	0.7%	1.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.7%	1.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	2.7%	2.5%	2.7%	6.2%	1.8%	1.3%	3.7%	0.6%	0.0%	0.0%
(22) 放課後等デイサービス	現在	①利用状況	11.5%	12.1%	11.3%	16.4%	10.0%	4.4%	16.7%	9.2%	50.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	2.1%	1.1%	3.8%	3.3%	0.0%	2.2%	3.7%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	9.4%	10.9%	7.5%	14.8%	10.0%	0.0%	13.0%	7.7%	50.0%	0.0%
		②利用量3 多い	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	5.7%	6.2%	5.1%	9.7%	6.4%	3.9%	7.3%	2.5%	0.0%	0.0%
(23) 保育所等訪問支援	現在	①利用状況	1.4%	1.7%	0.9%	0.0%	2.0%	0.0%	1.9%	1.5%	50.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.7%	0.6%	0.9%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	③利用希望	1.7%	1.1%	2.3%	2.1%	2.8%	1.3%	2.8%	0.6%	0.0%	0.0%
(24) (福祉型) 児童入所支援	現在	①利用状況	0.3%	0.6%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用希望	1.7%	1.7%	1.6%	2.8%	1.8%	1.3%	2.8%	0.6%	0.0%	0.0%
(25) (医療型) 児童入所支援	現在	①利用状況	0.7%	0.6%	0.9%	1.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用希望	2.1%	1.4%	2.7%	4.8%	1.8%	1.3%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%
(26) 居宅訪問型児童発達支援	現在	①利用状況										
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用希望	1.4%	0.8%	1.9%	4.9%	4.0%	2.2%	3.7%	1.5%	0.0%	0.0%
(27) 日中一時支援(放課後支援型)	現在	①利用状況										
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	③利用希望	3.6%	3.4%	3.9%	4.1%	1.8%	2.6%	8.3%	1.3%	11.1%	7.7%

障がい福祉サービスなどの内容		性別										
		全体	男性		女性		中央	東部	西部	地域		
		「現在」のN	286	174	106	61	50	45	54	65	2	6
		「今後」のN	631	355	257	145	109	77	109	158	9	13
その他サービス												
(28) 移動支援	現在	①利用状況	0.7%	0.0%	1.9%	1.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.7%	0.0%	1.9%	1.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.3%	0.0%	0.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	7.9%	7.0%	8.9%	9.0%	7.3%	10.4%	9.2%	7.0%	0.0%	0.0%
(29) 地域活動支援センター	現在	①利用状況	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	6.8%	5.9%	7.4%	11.7%	5.5%	3.9%	8.3%	3.8%	11.1%	0.0%
(30) 日中一時支援（短期入所型）	現在	①利用状況	8.7%	8.6%	9.4%	6.6%	4.0%	8.9%	22.2%	4.6%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	4.2%	5.2%	2.8%	4.9%	4.0%	4.4%	5.6%	3.1%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	4.5%	5.7%	2.8%	1.6%	4.0%	2.2%	13.0%	3.1%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	10.9%	11.0%	11.3%	9.0%	7.3%	20.8%	16.5%	8.2%	11.1%	0.0%
(31) 訪問入浴サービス	現在	①利用状況	0.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	1.0%	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	2.2%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	5.7%	4.2%	7.0%	6.9%	4.6%	7.8%	9.2%	2.5%	0.0%	0.0%
(32) 日常生活用具給付等	現在	①利用状況	10.8%	7.5%	15.1%	8.2%	10.0%	6.7%	14.8%	15.4%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない										
		②利用量2 ちょうど良い										
	今後	②利用量3 多い										
		③利用希望	12.7%	7.6%	19.8%	12.4%	12.8%	13.0%	17.4%	10.1%	11.1%	7.7%
(33) 手話通訳者派遣	現在	①利用状況	1.4%	0.6%	0.9%	3.3%	0.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.7%	0.0%	0.9%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	1.6%	1.4%	1.6%	2.8%	0.9%	2.6%	0.9%	1.3%	0.0%	0.0%
(34) 要約筆記者派遣	現在	①利用状況	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	1.6%	1.1%	1.9%	2.1%	2.8%	1.3%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%
(35) 遠隔手話通訳サービス	現在	①利用状況	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	1.6%	1.1%	1.9%	2.1%	1.8%	2.6%	1.8%	0.6%	0.0%	0.0%

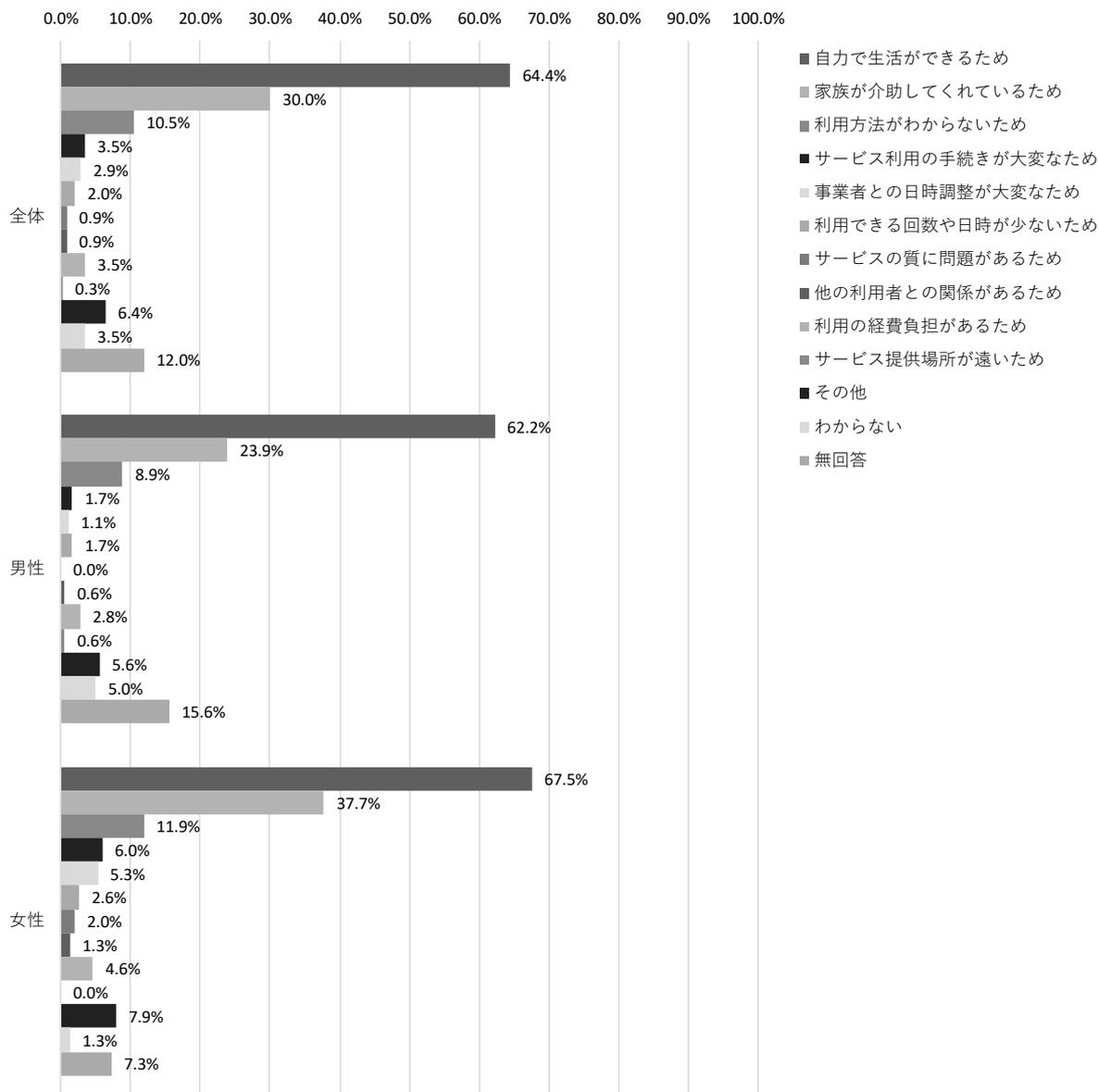
問36. 障害福祉サービスなどを利用していない理由は何ですか。

全体では、「自力で生活ができるため」が64.4%で最も高く、次いで「家族が介助してくれているため」が30.0%となった。

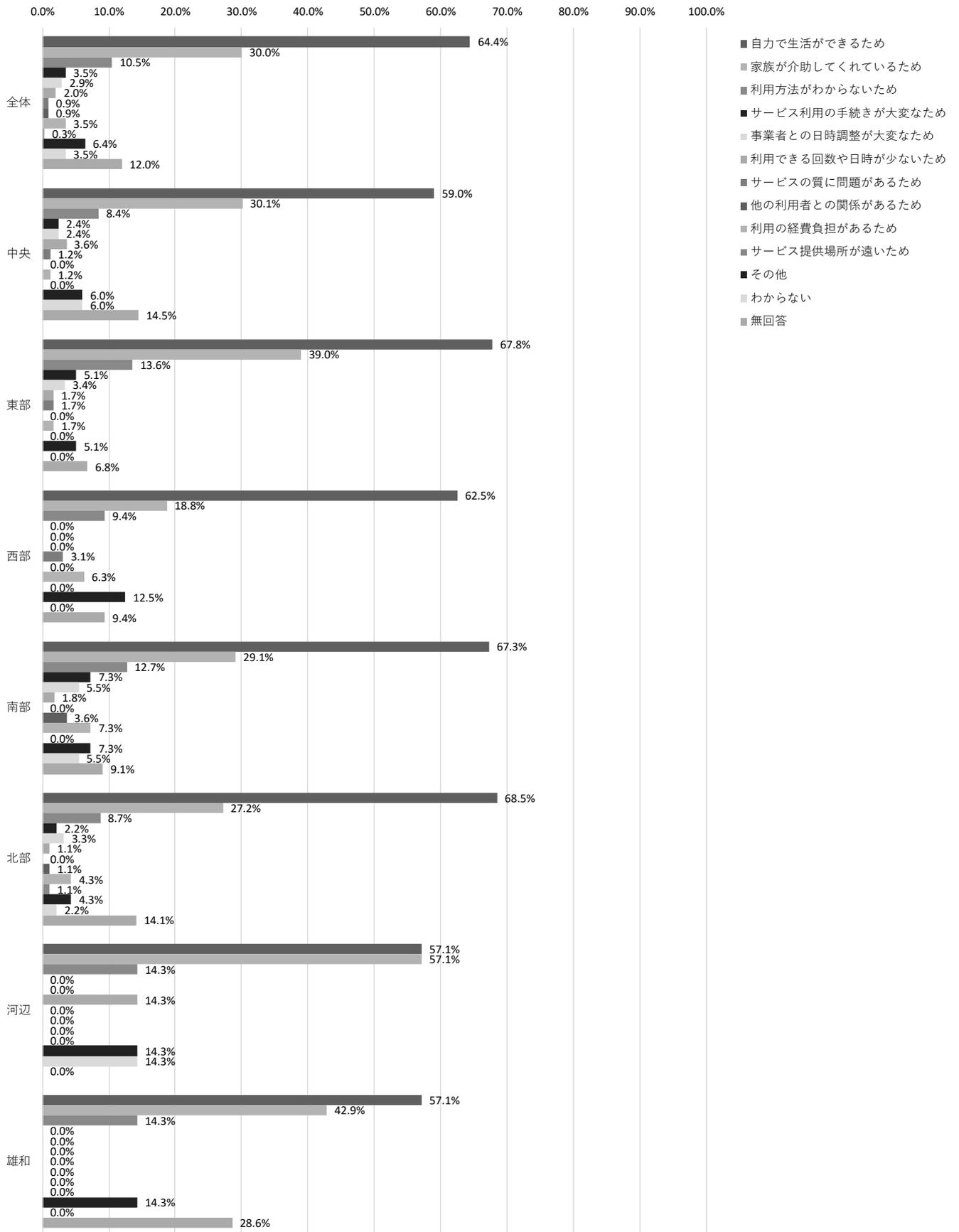
性別では、「自力で生活ができるため」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「自力で生活ができるため」が北部において最も高くなった。

【性別】(全体 N=343、男性 N=180、女性 N=151)



【地域】(全体 N=343、中央 N=83、東部 N=59、西部 N=32、南部 N=55、北部 N=92、河辺 N=7、雄和 N=7)



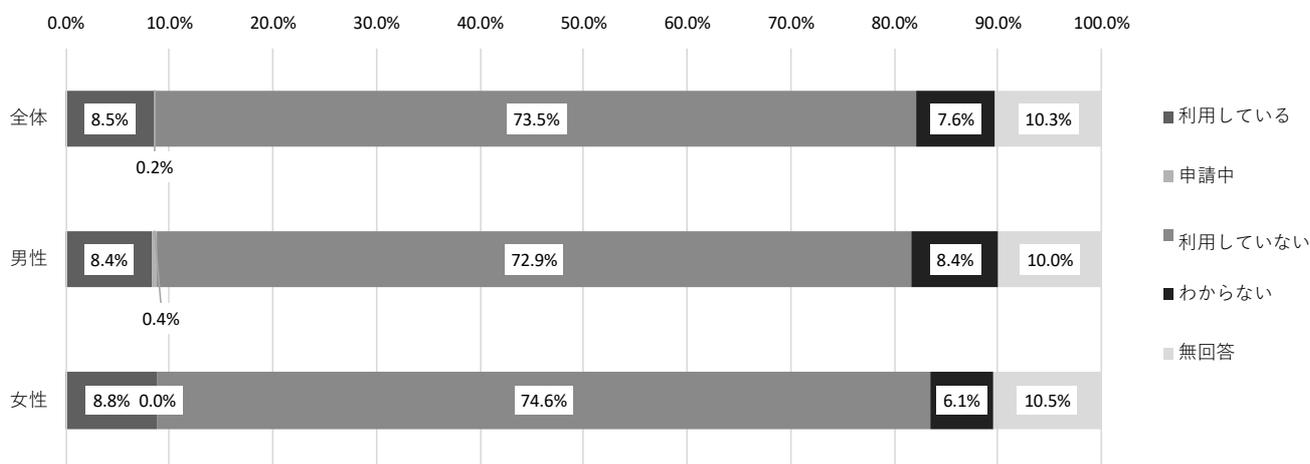
問37. 40歳以上の方におたずねします。あなたは介護保険サービスによるサービスを利用していますか。

全体では、「利用していない」が73.5%で最も高く、次いで「利用している」が8.5%となった。

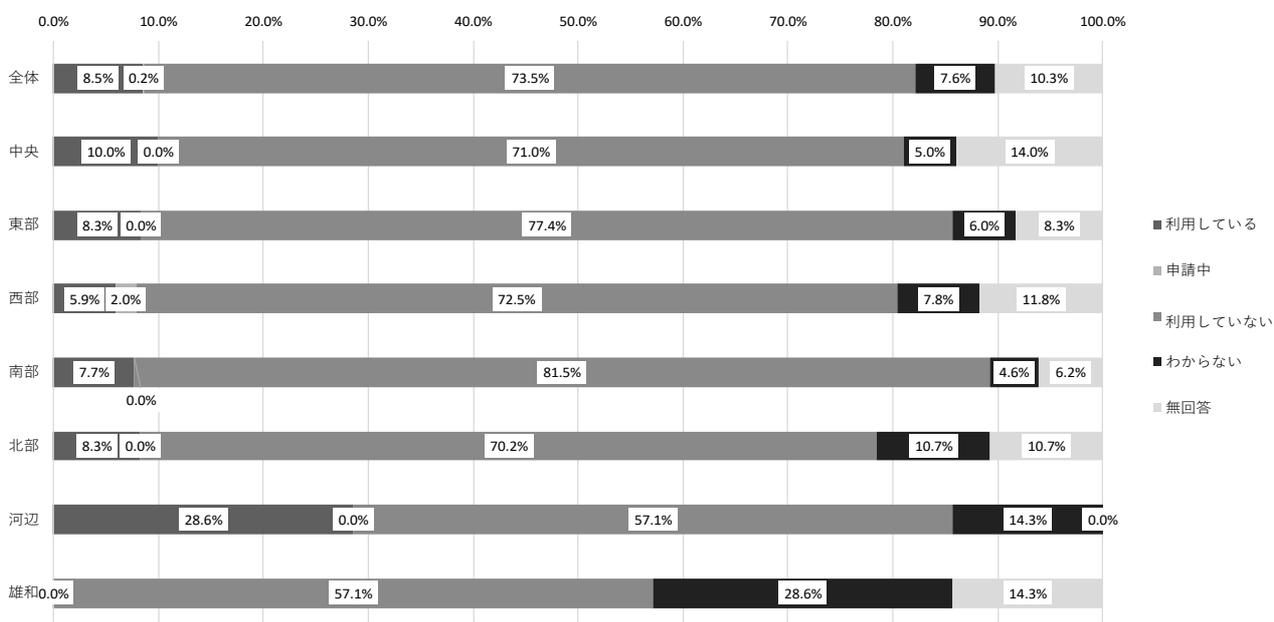
性別では、「利用していない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「利用している」が河辺において最も高くなった。

【性別】(全体 N=437、男性 N=251、女性 N=181)



【地域】(全体 N=437、中央 N=100、東部 N=84、西部 N=51、南部 N=65、北部 N=121、河辺 N=7、雄和 N=7)



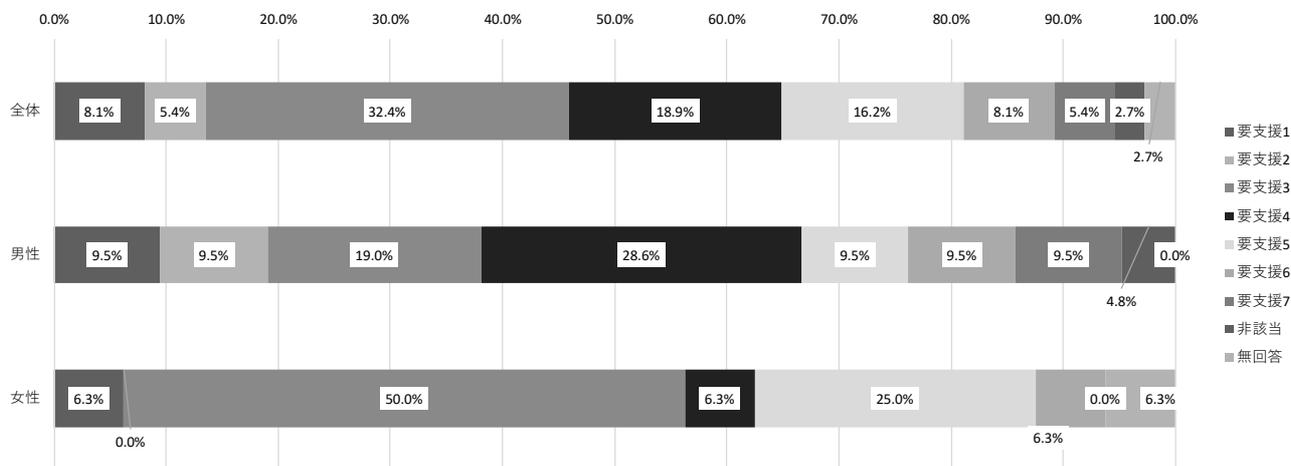
問38. 該当する要介護度はどれですか。

全体では、「要支援3」が32.4%で最も高く、次いで「要支援4」が18.9%となった。

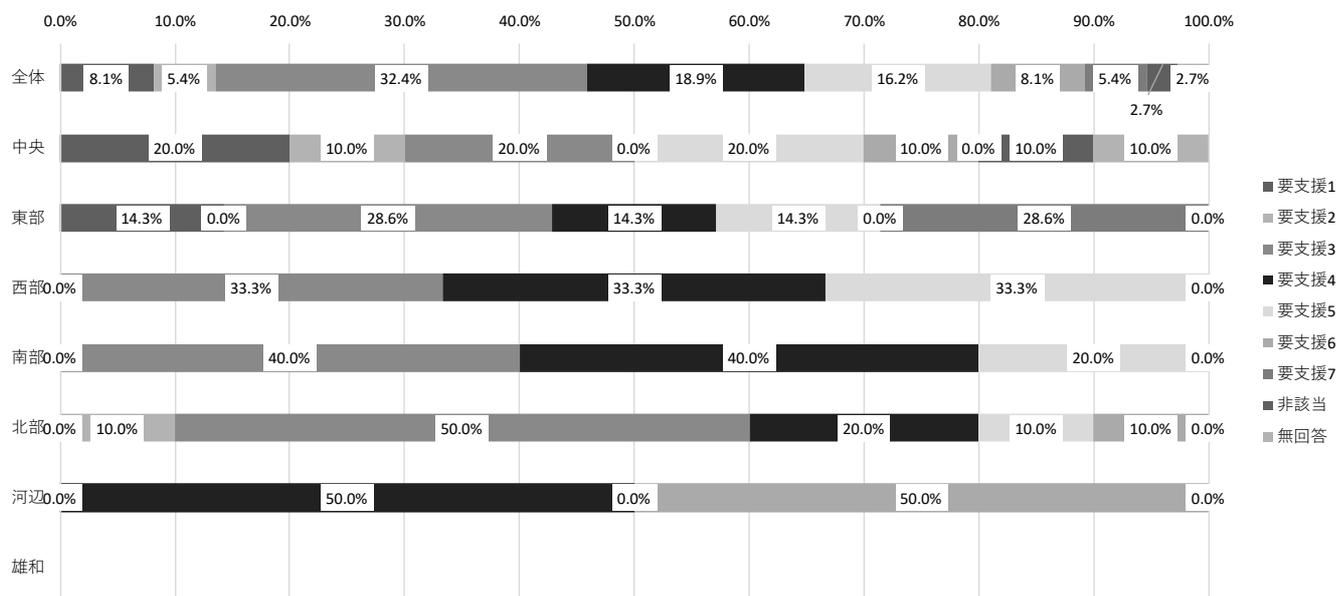
性別では、「要支援3」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、雄和では回答該当者がいなかった。

【性別】(全体 N=37、男性 N=21、女性 N=16)



【地域】(全体 N=37、中央 N=10、東部 N=7、西部 N=3、南部 N=5、北部 N=10、河辺 N=2、雄和 N=0)



相談や福祉情報の入手について

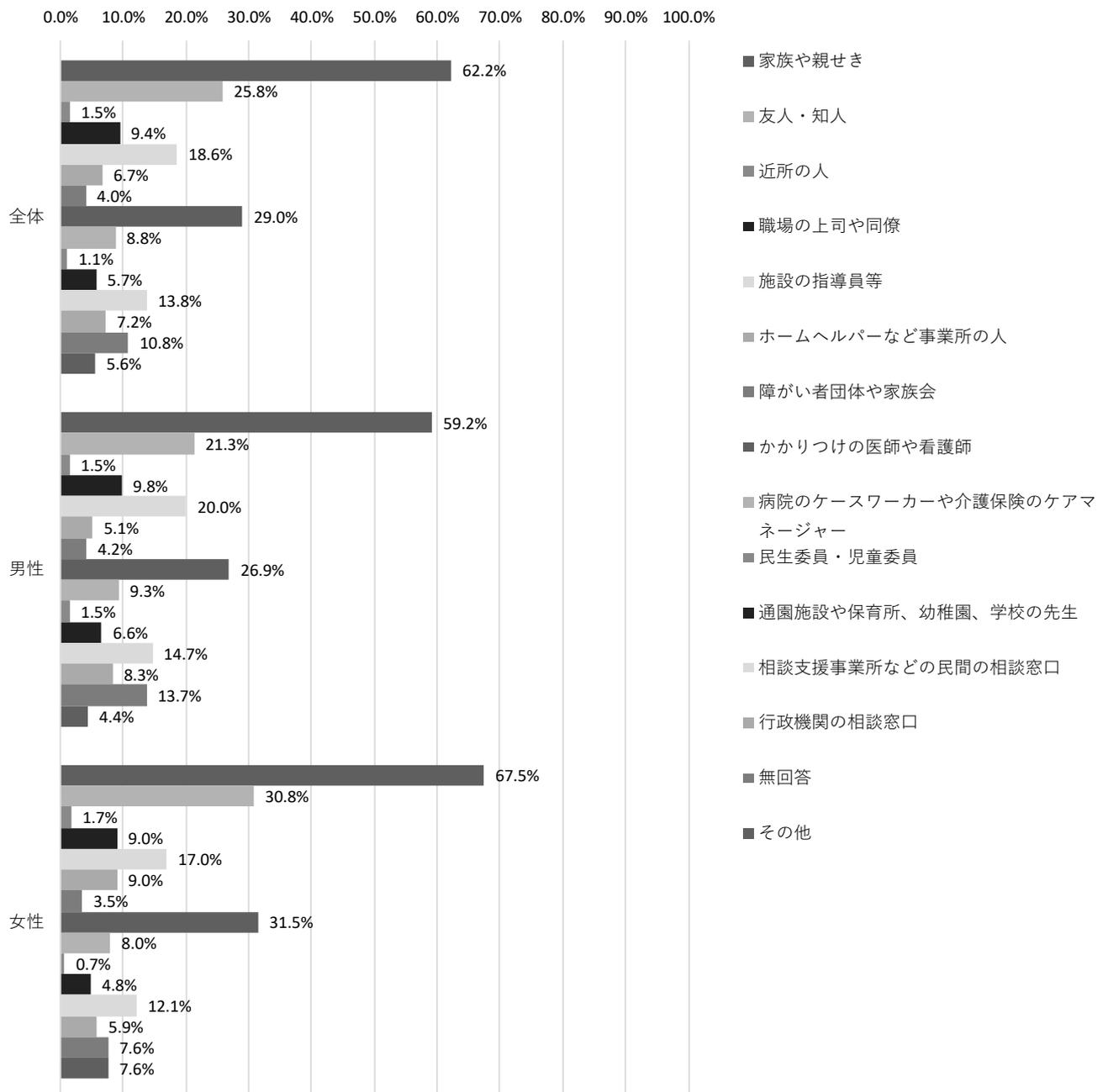
問39. あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

全体では、「家族や親せき」が62.2%で最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が29.0%となった。

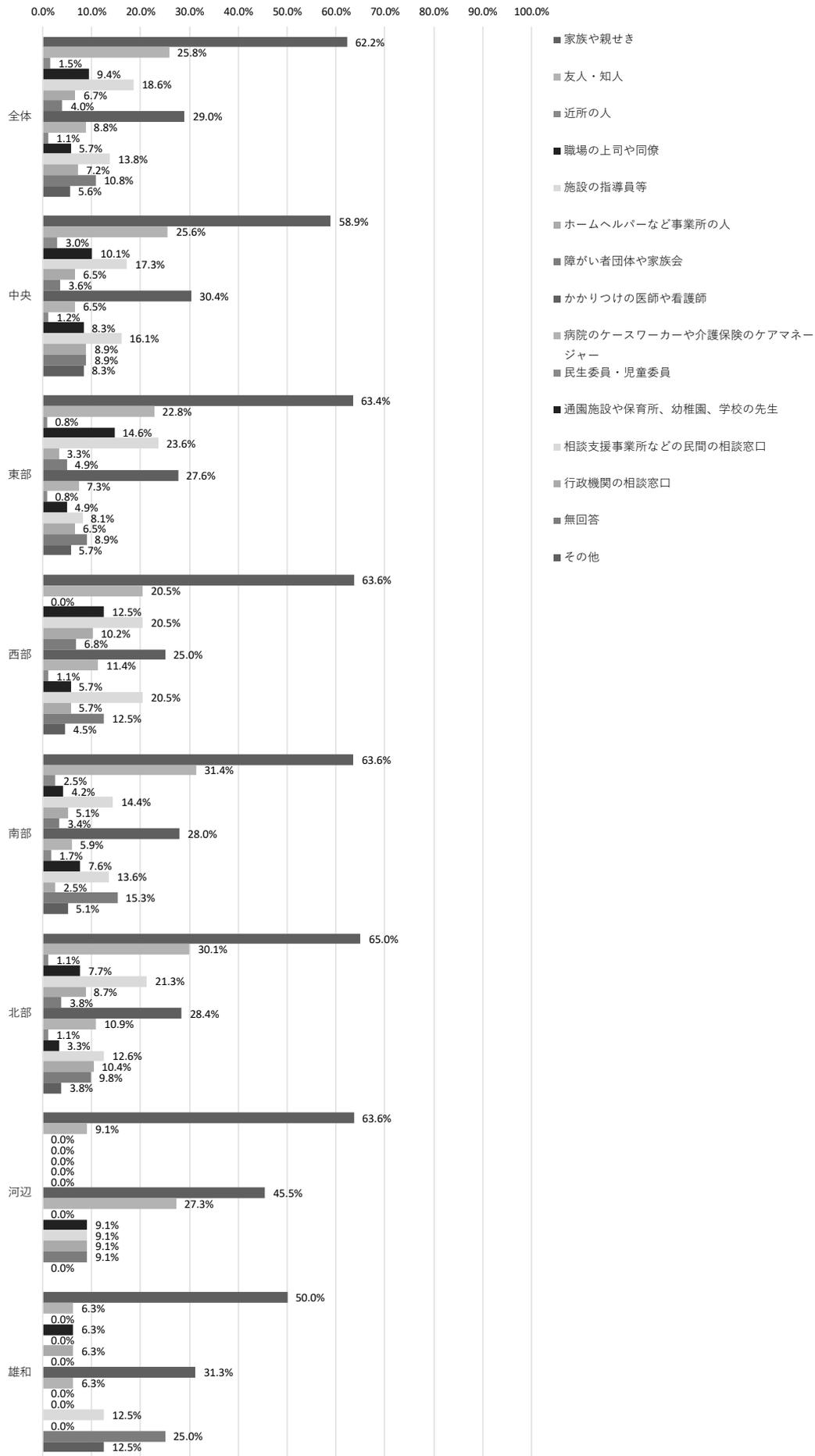
性別では、「家族や親せき」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「友人・知人」が南部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



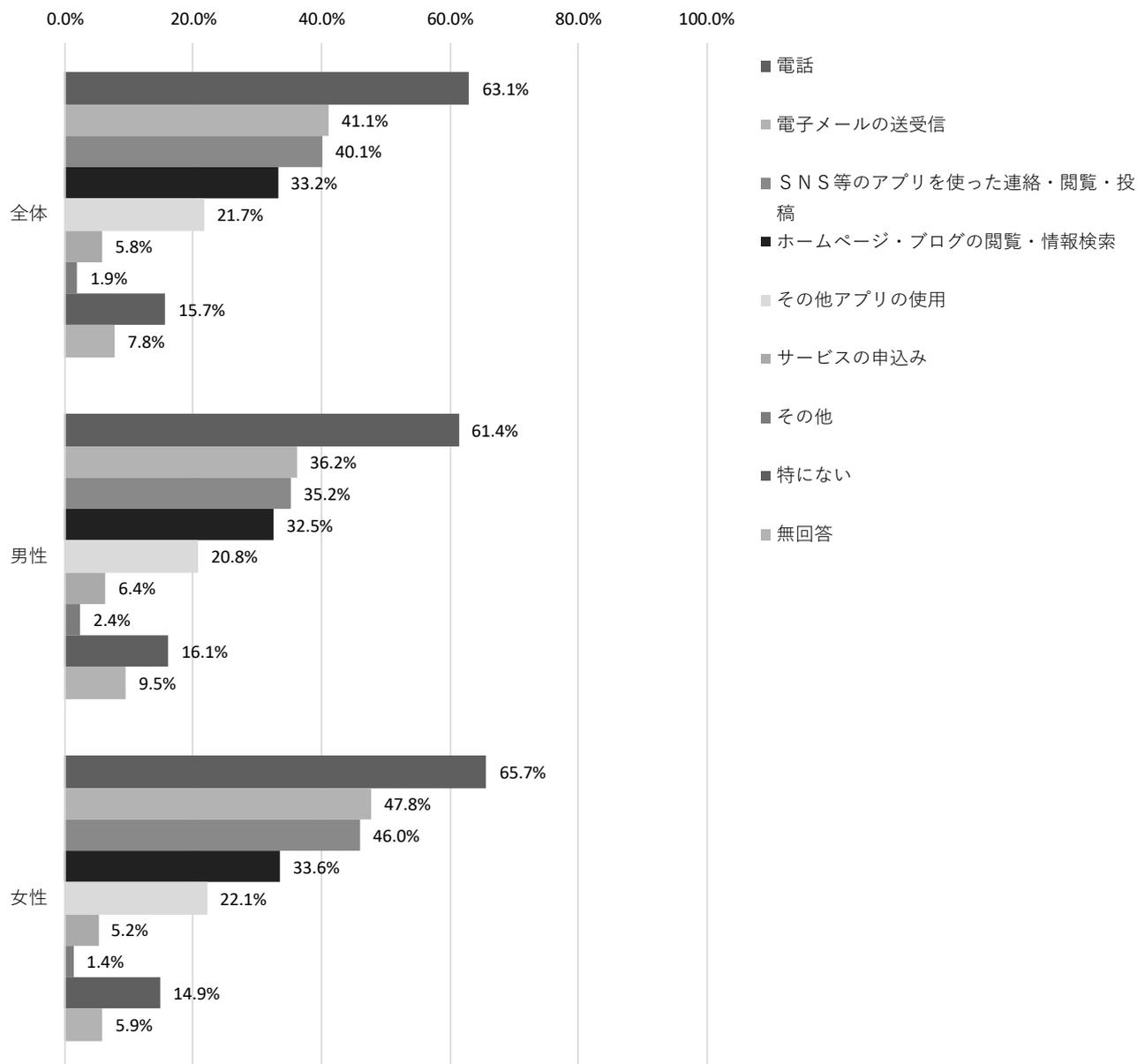
問40. 普段の生活で情報通信機器を使って行っていることは何ですか。

全体では、「電話」が63.1%で最も高く、次いで「電子メールの送受信」が41.1%となった。

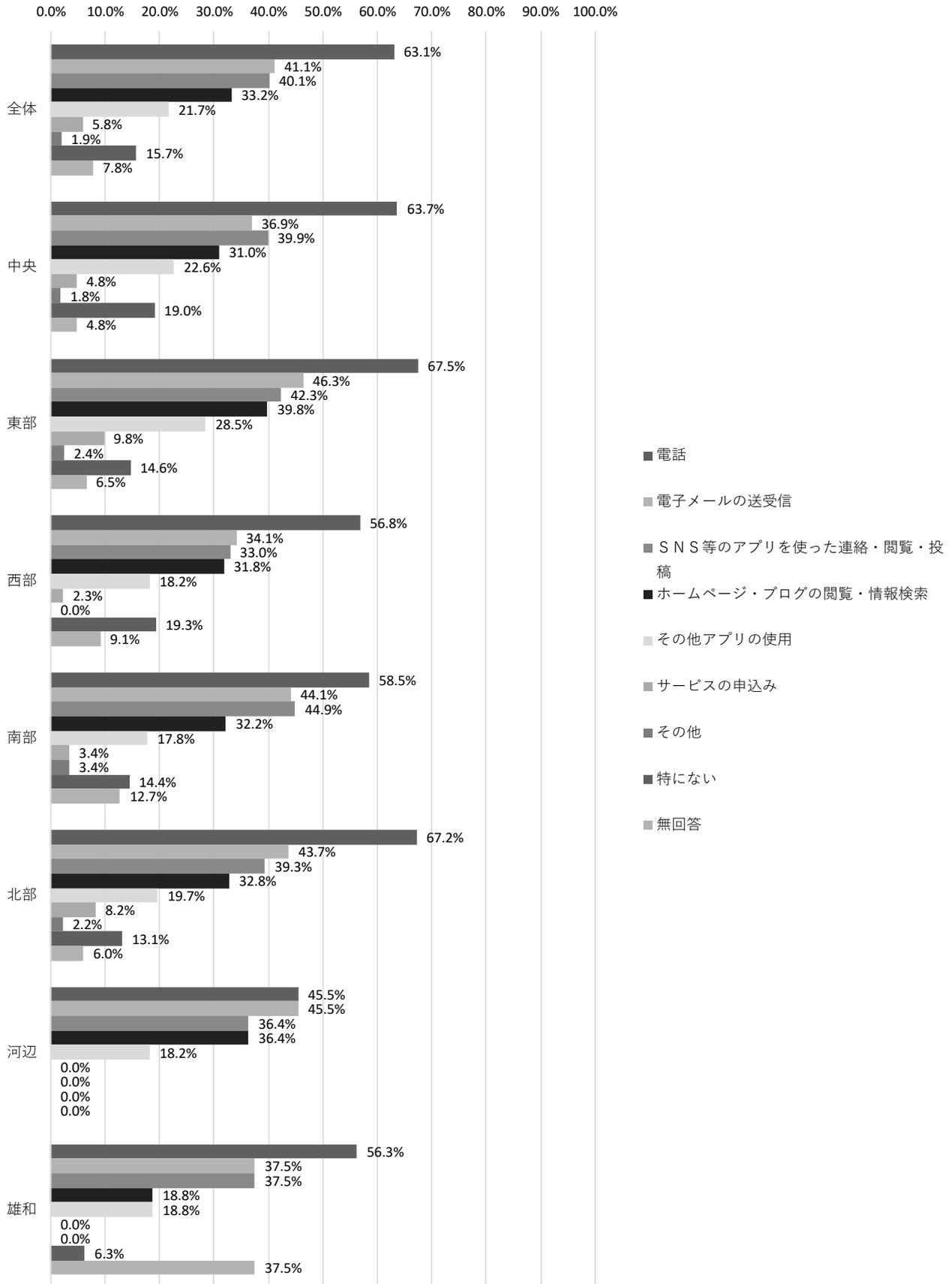
性別では、「電話」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「電子メールの送受信」が東部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



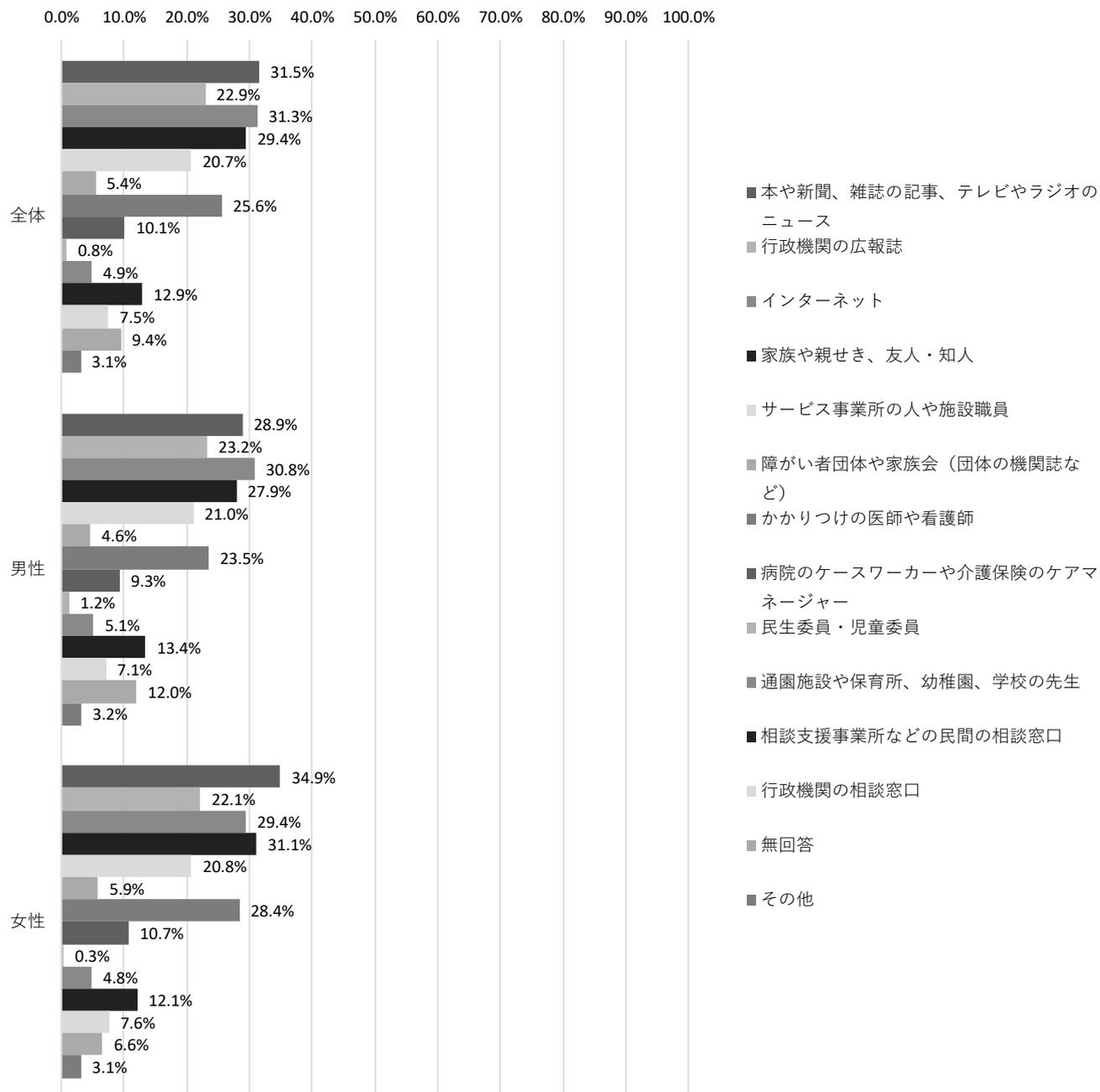
問 4 1. あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。

全体では、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 31.5%で最も高く、次いで「インターネット」が 31.3%となった。

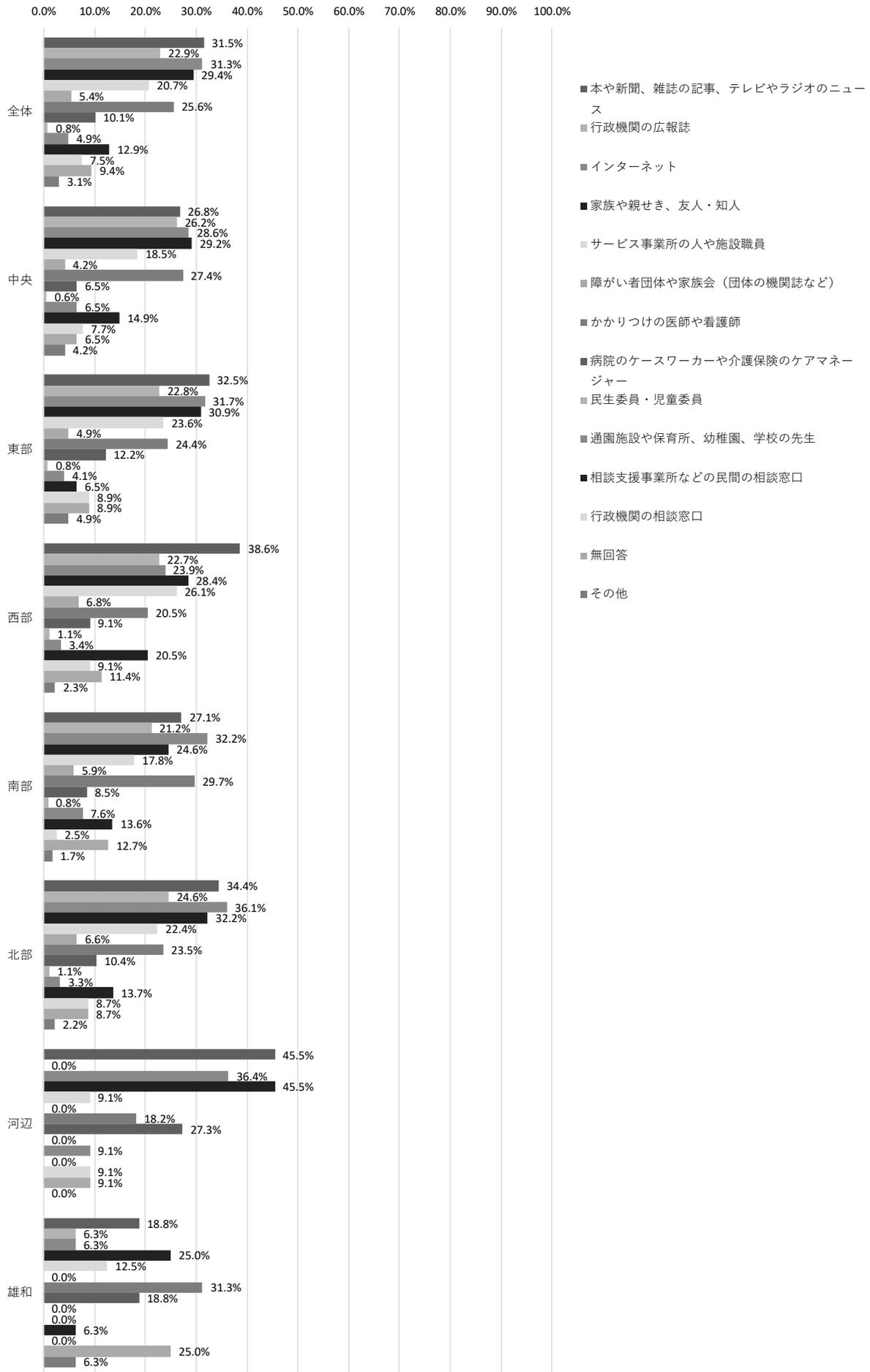
性別では、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「家族や親せき、友人・知人」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



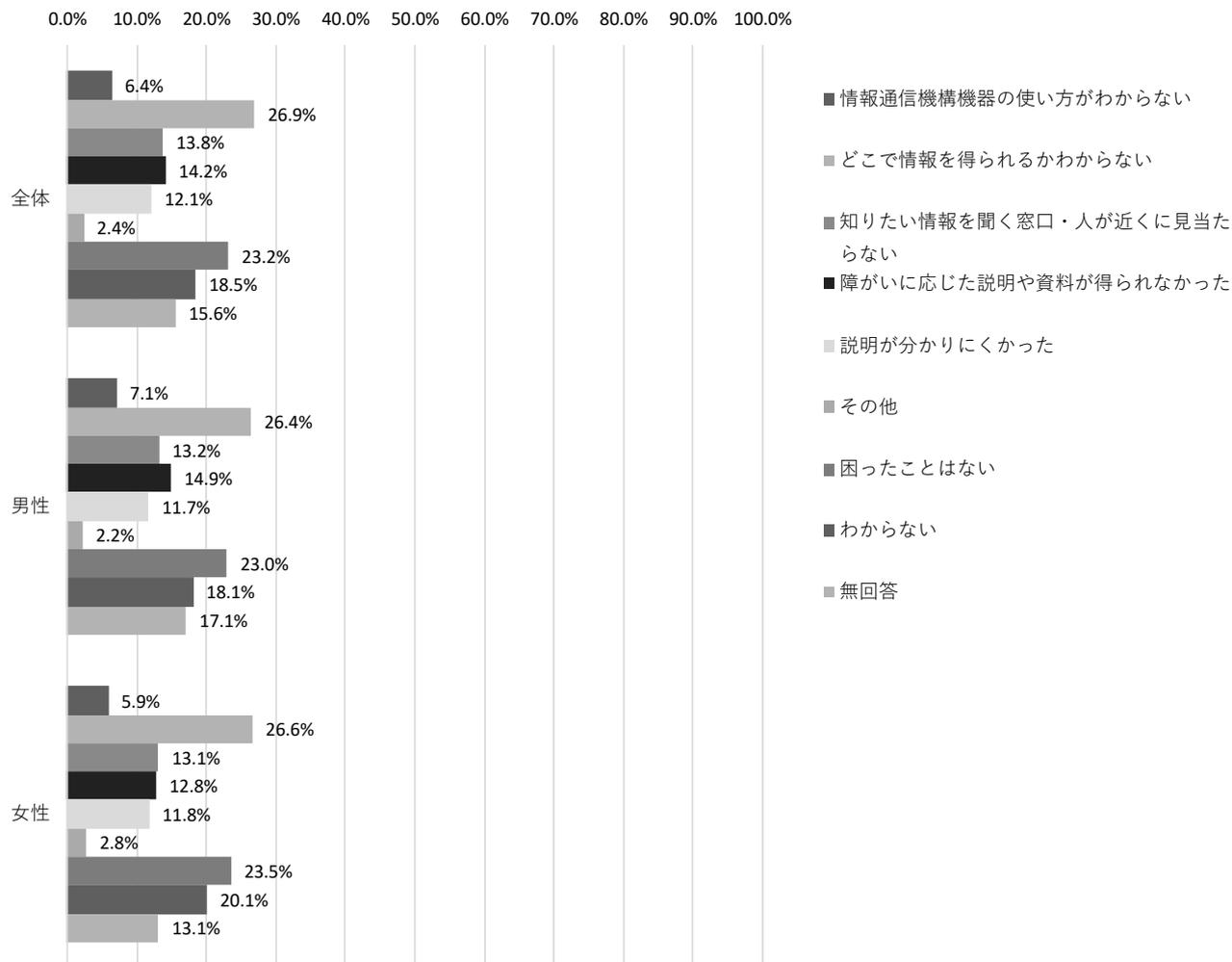
問 4 2. これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったことは何ですか。

全体では、「どこで情報を得られるかわからない」が 26.9%で最も高く、次いで「困ったことはない」が 23.2%となった。

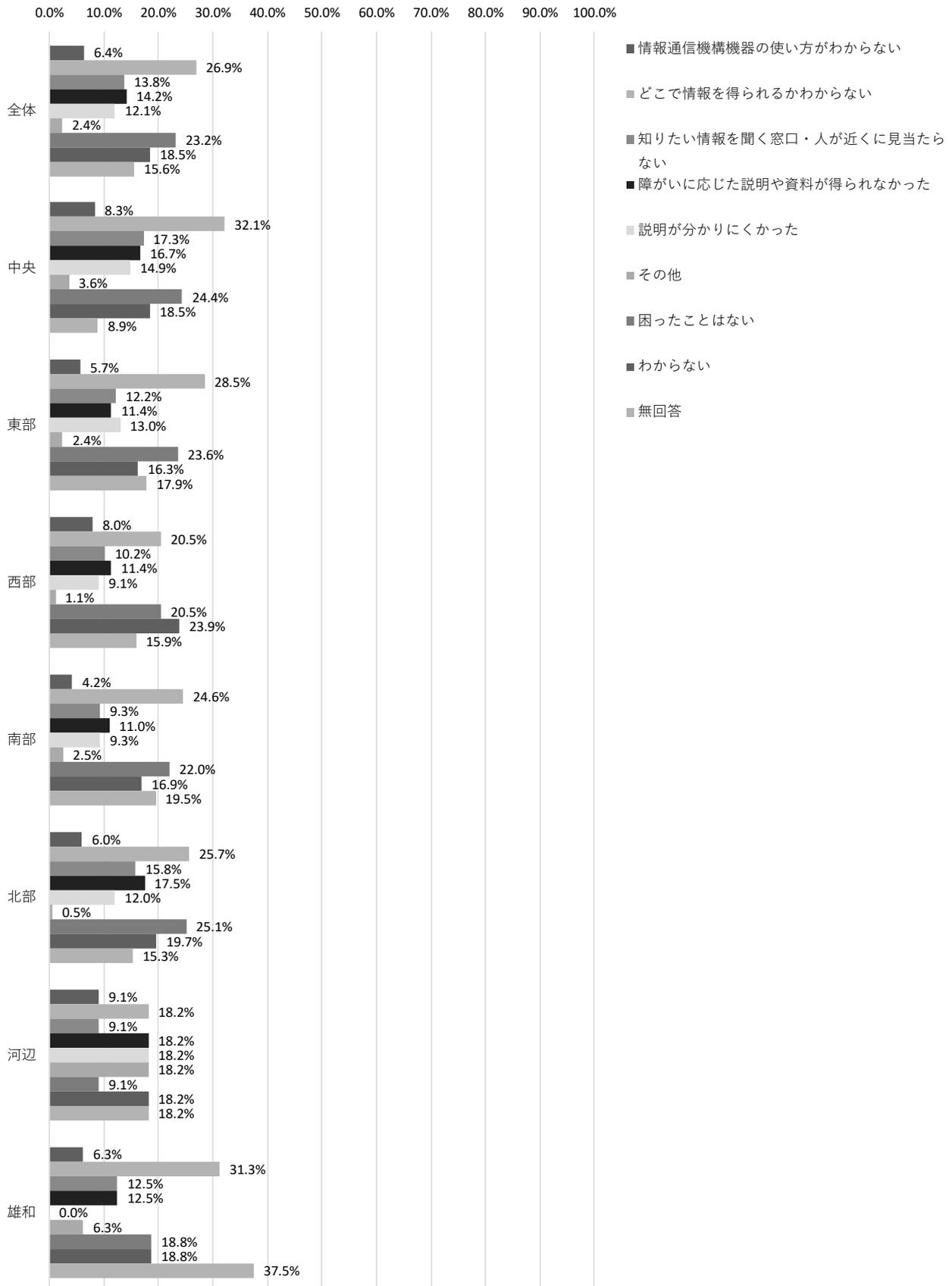
性別では、「情報通信研究機器の使い方がわからない」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、中央では相対的に「どこで情報を得られるかわからない」が最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



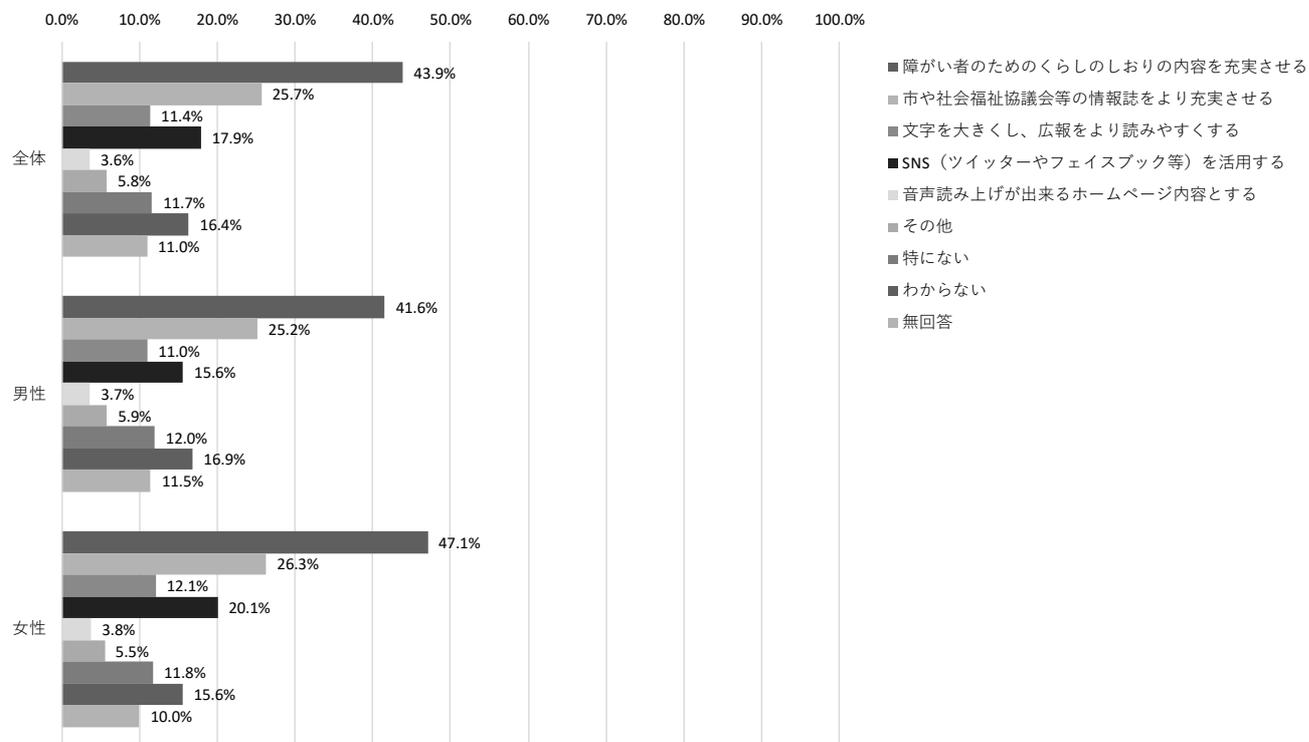
問 4 3. 市などの情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。

全体では、「障がい者のためのくらしのしおりの内容を充実させる」が 43.9%で最も高く、次いで「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」が 25.7%となった。

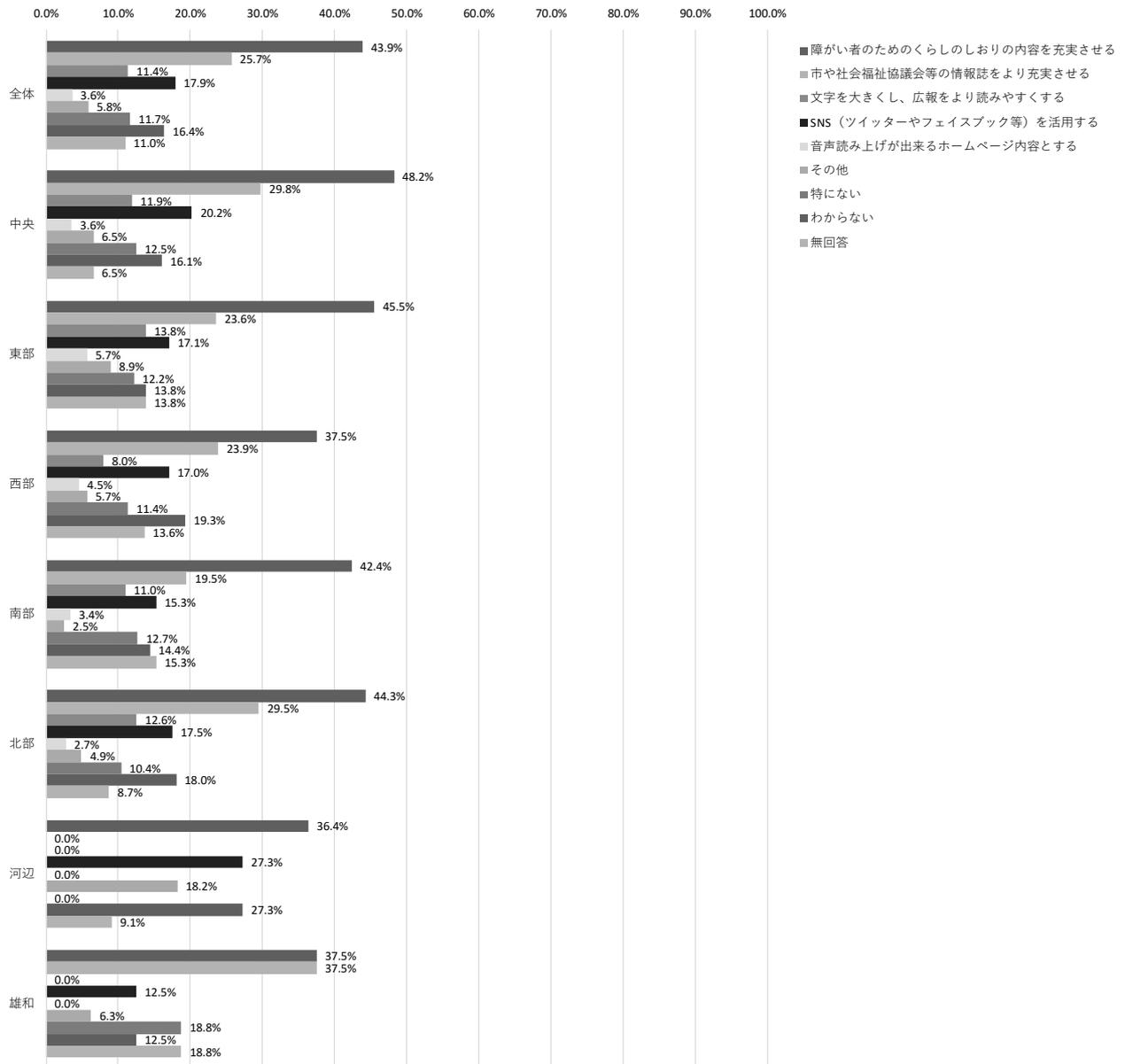
性別では、「障がい者のためのくらしのしおりの内容を充実させる」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「障がい者のためのくらしのしおりの内容を充実させる」が中央において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



権利擁護について

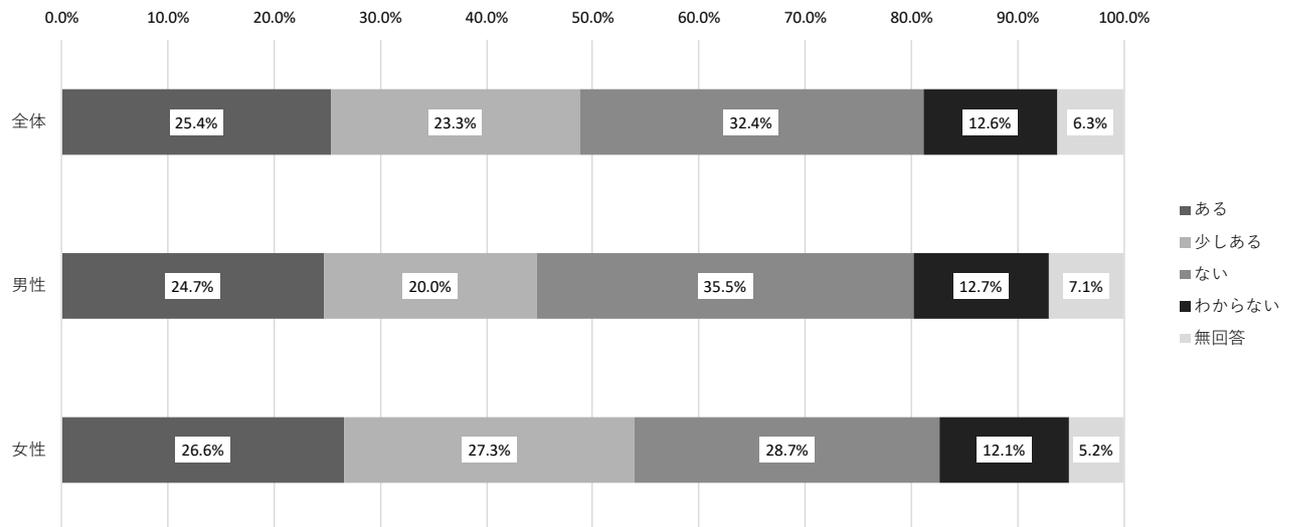
問 4 4. あなたは、障がいのあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

全体では、「ない」が 32.4%で最も高く、次いで「ある」が 25.4%となった。

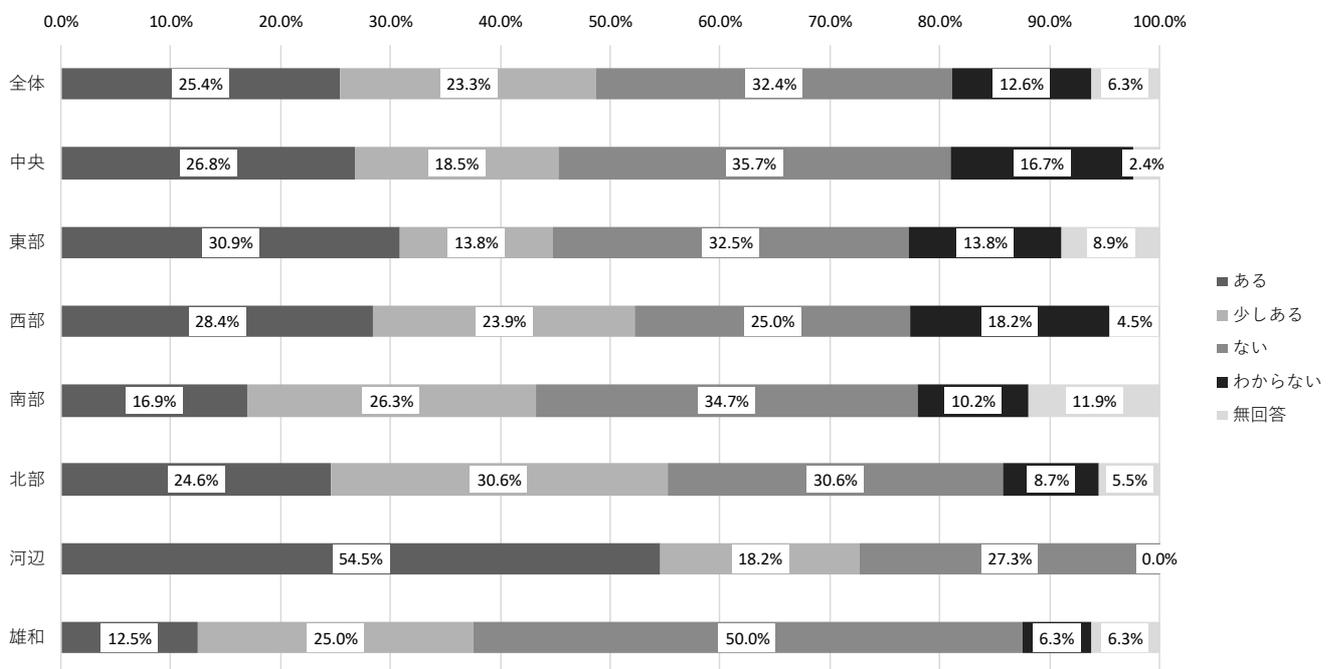
性別では、「ない」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「少しある」が北部において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



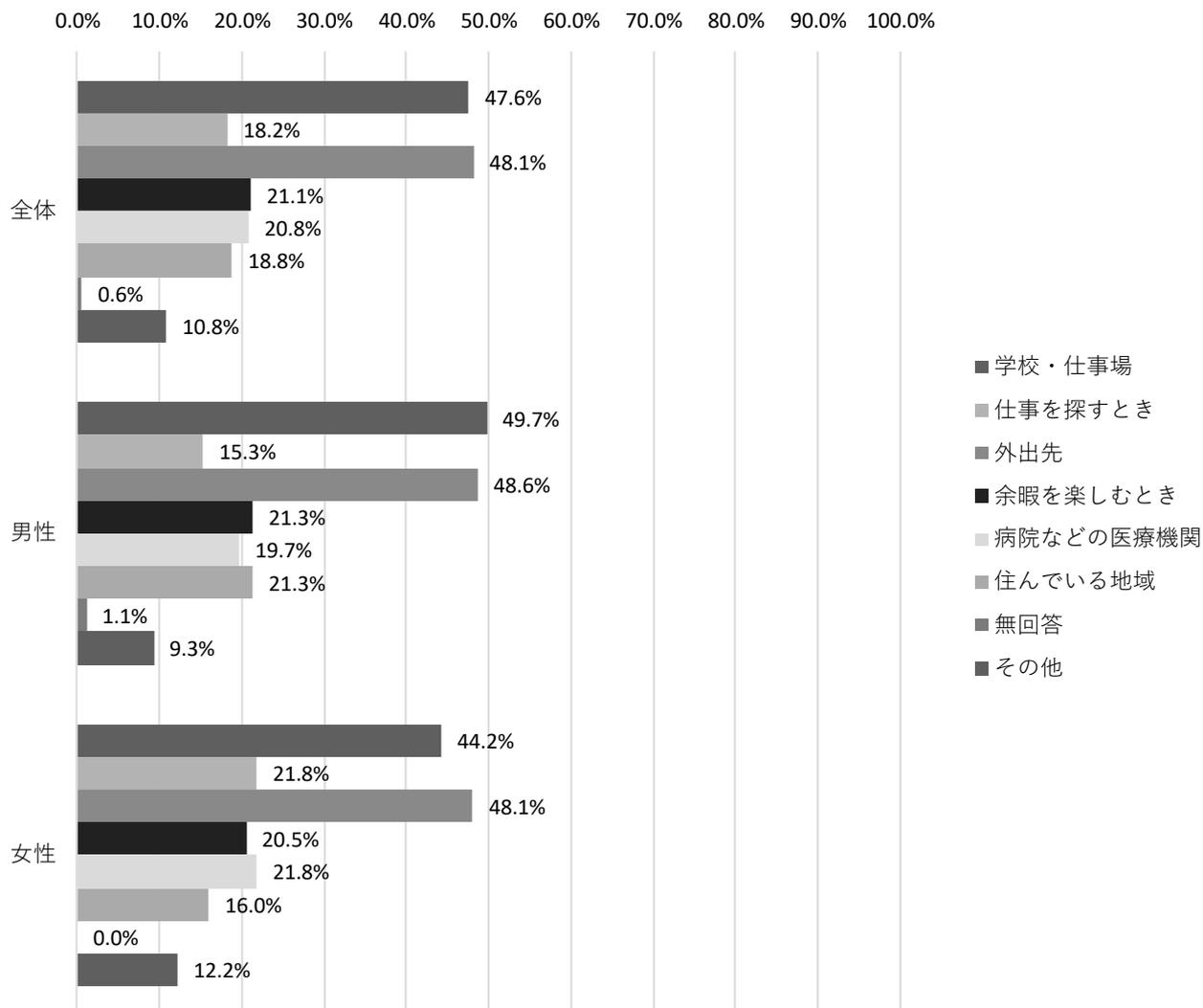
問 4 5. どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。

全体では、「外出先」が 48.1%で最も高く、次いで「学校・仕事場」が 47.6%となった。

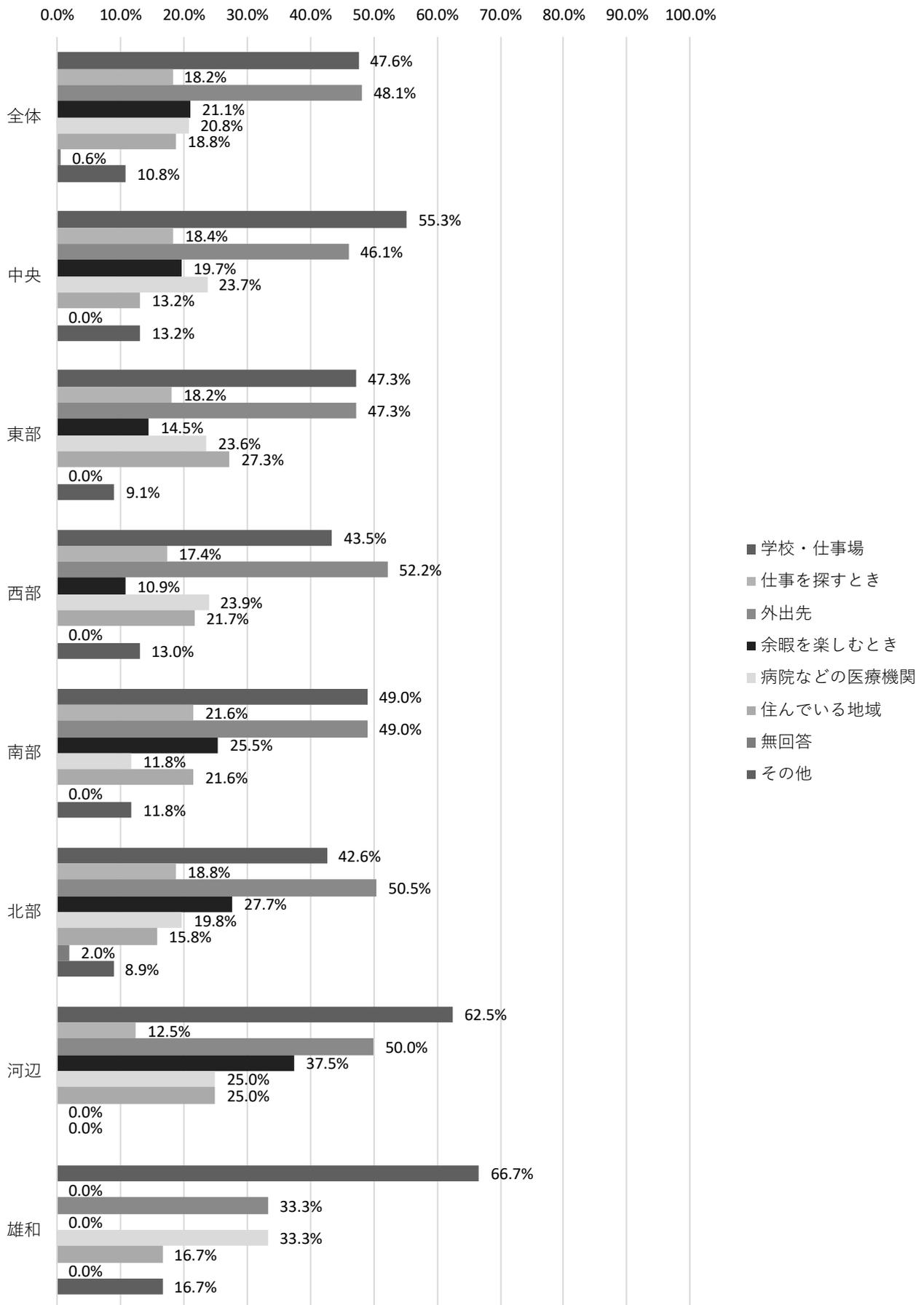
性別では、「仕事を探すとき」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「学校・仕事場」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=351、男性 N=183、女性 N=156）



【地域】 (全体 N=361、中央 N=76、東部 N=55、西部 N=46、南部 N=51、北部 N=101、河辺 N=8、雄和 N=6)



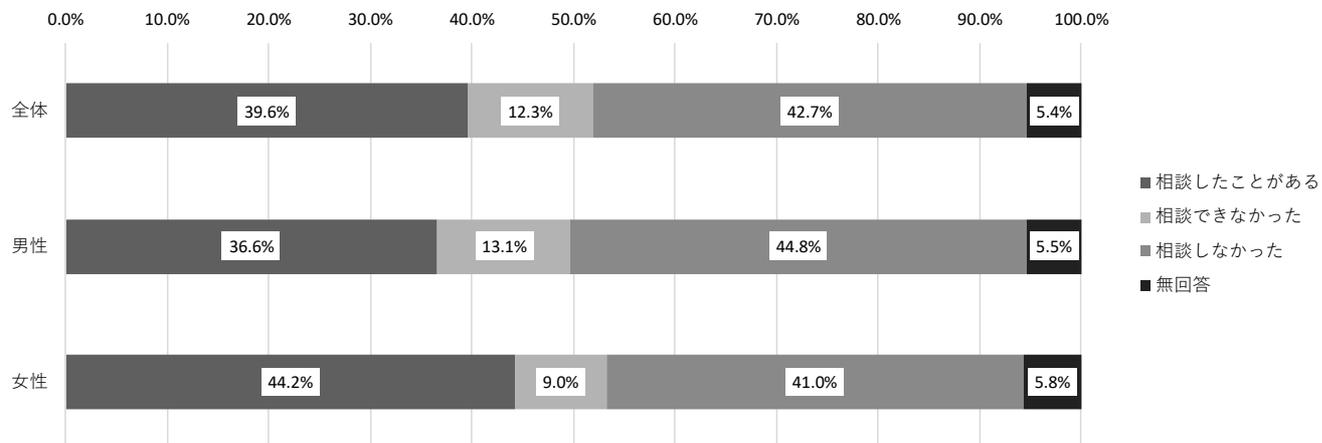
問 4 6 . 差別や嫌な思いをしたことをどなたかに相談したことがありますか。

全体では、「相談しなかった」が 42.7%で最も高く、次いで「相談したことがある」が 39.6%となった。

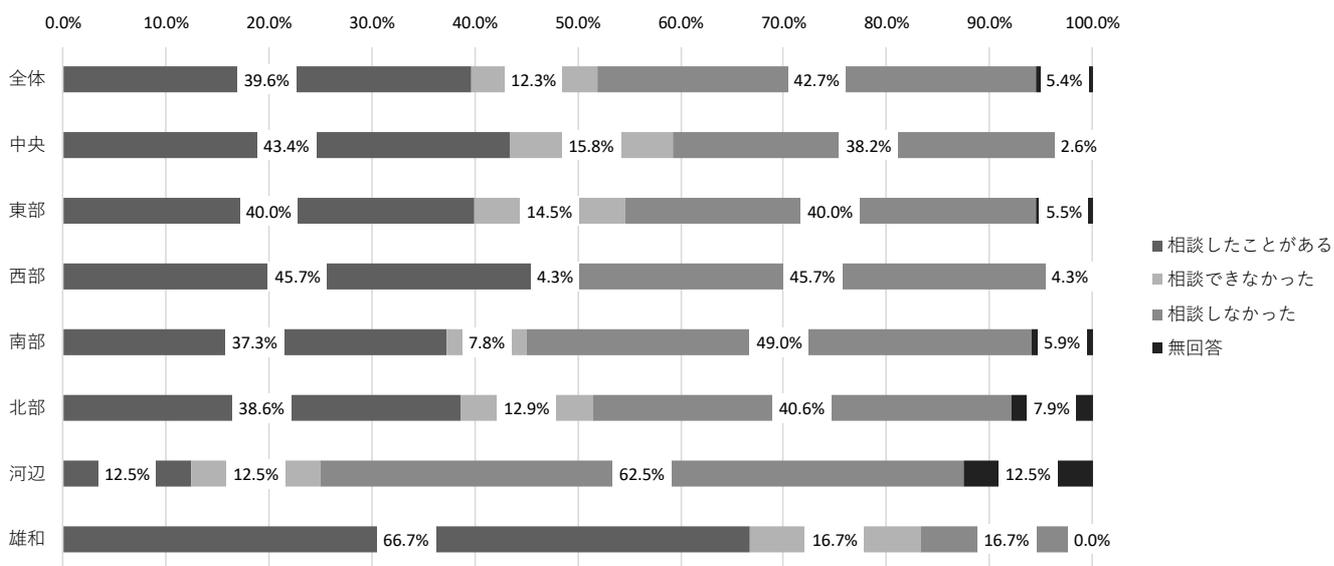
性別では、「相談できなかった」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、「相談しなかった」が河辺において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



問 4 7. 成年後見制度についてご存知ですか。

全体では、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 36.0%で最も高く、次いで「名前も内容も知っている」が 31.9%となった。

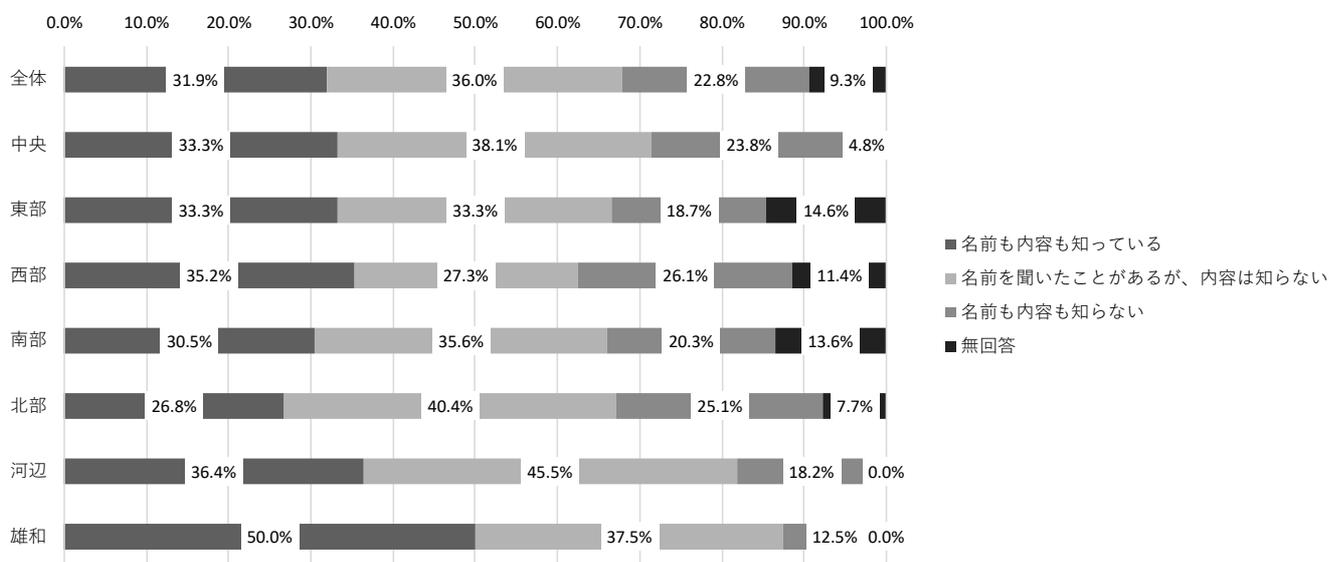
性別では、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「名前も内容も知っている」が雄和において最も高くなった。

【性別】 (全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】 (全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



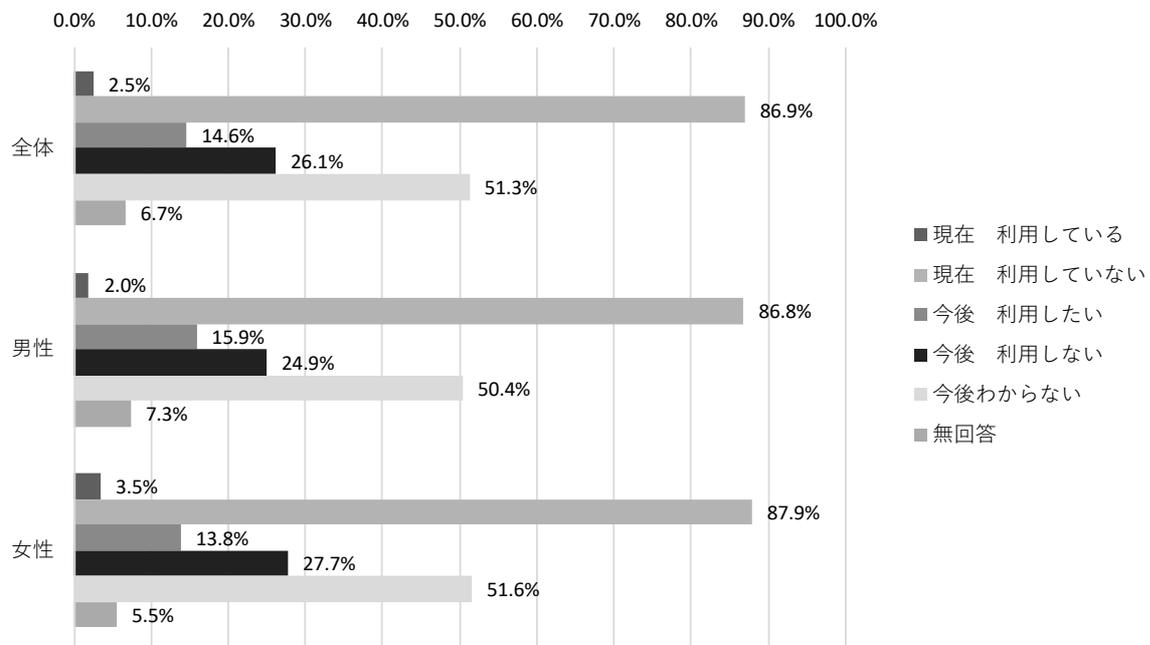
問 4 8 . 現在、成年後見制度を利用していますか。また、今後利用したいと思われませんか。「現在」と「今後」の両方にお答えください。

全体では、現在は「利用していない」が 86.9%、今後は「わからない」が 51.3%となった。

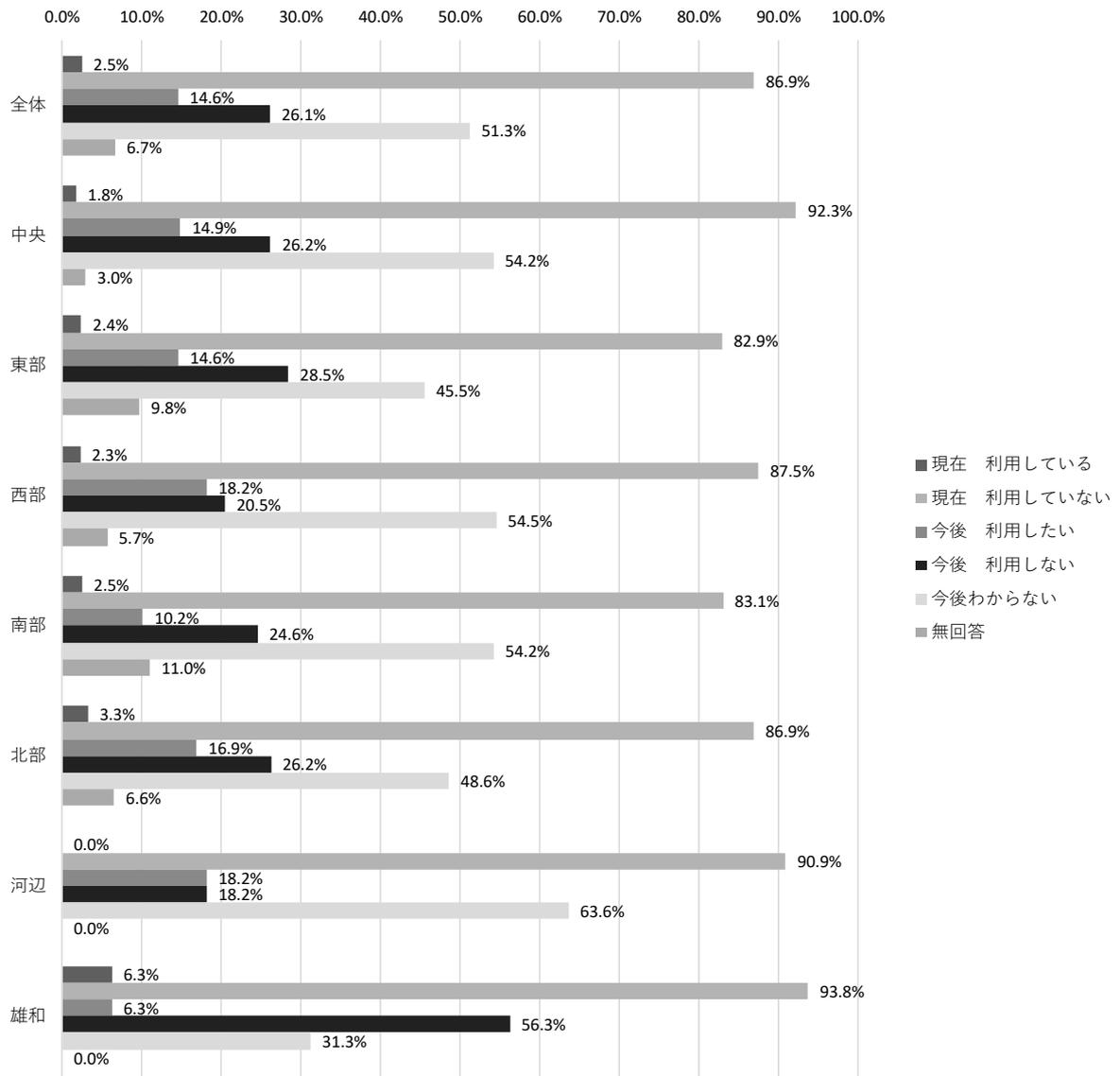
性別では、今後「利用したい」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、今後「わからない」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



災害時の避難などについて

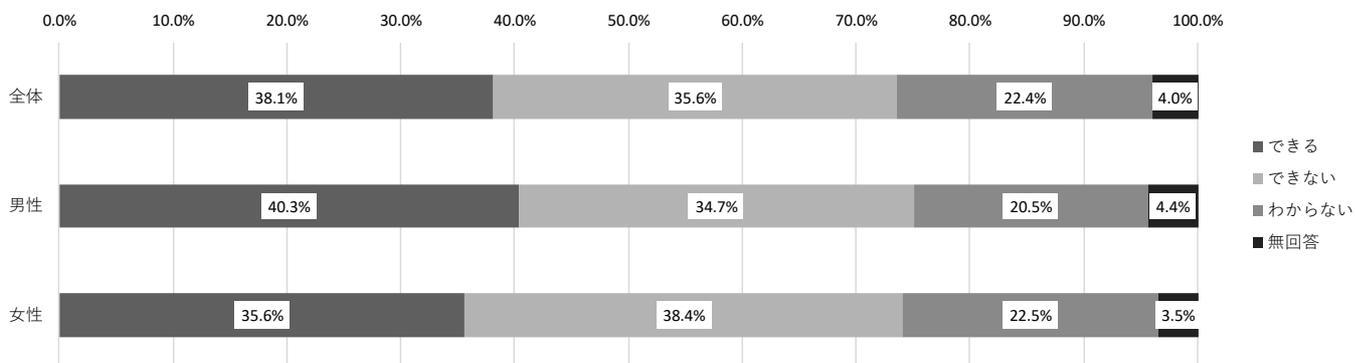
問 49. あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。

全体では、「できる」が 38.1%で最も高く、次いで「できない」が 35.6%となった。

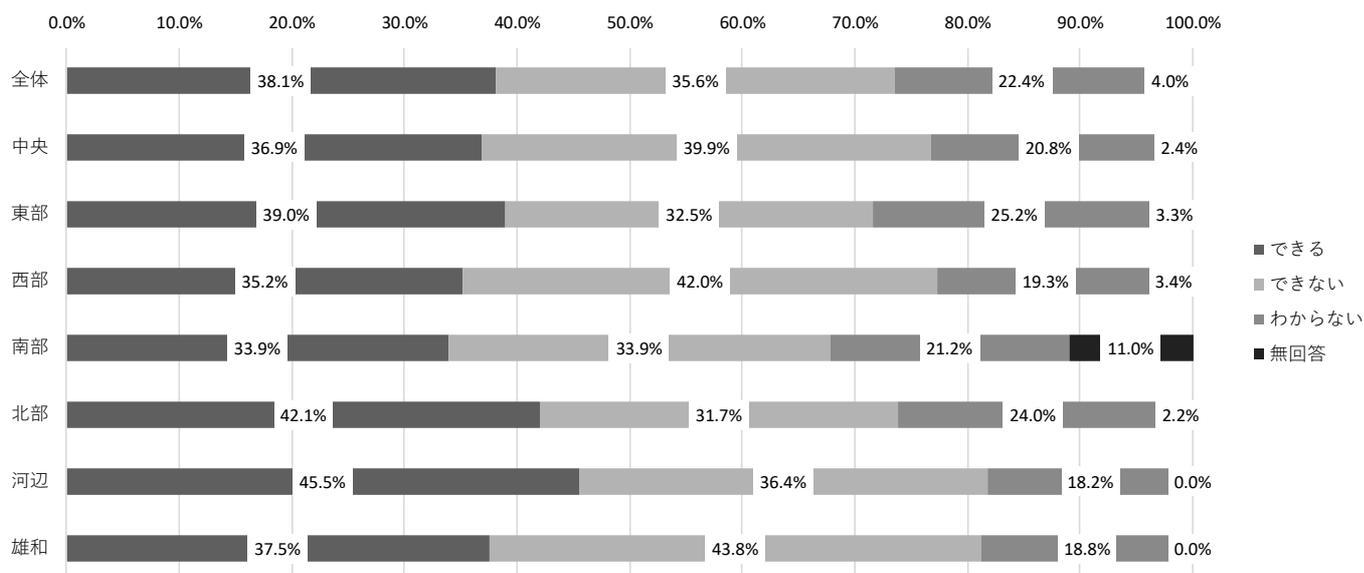
性別では、「できる」は女性よりも男性の方が高かった。

地域別では、「できる」が河辺において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【圏域】（全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16）



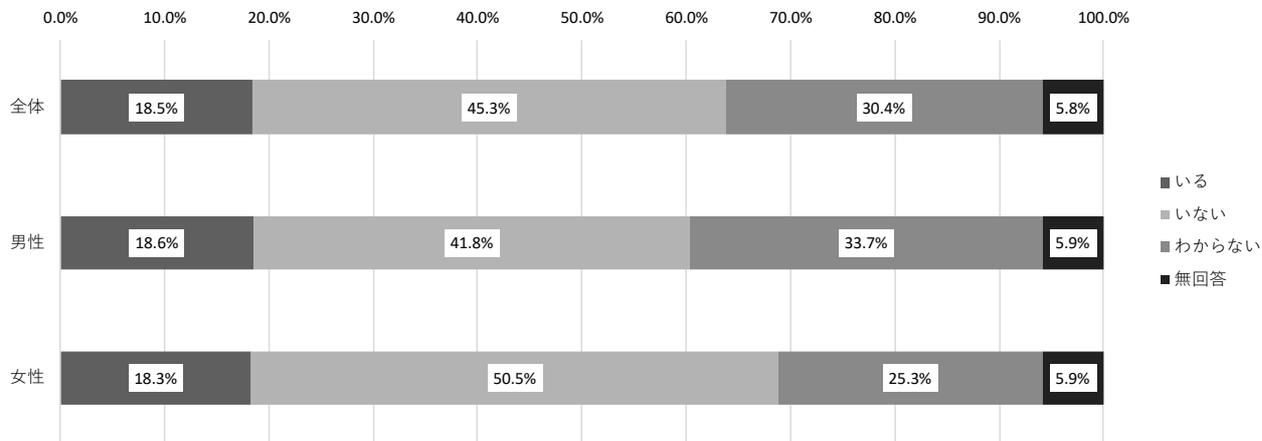
問50. 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなただけを助けてくれる人はいますか。

全体では、「いない」が45.3%で最も高く、次いで「わからない」が30.4%となった。

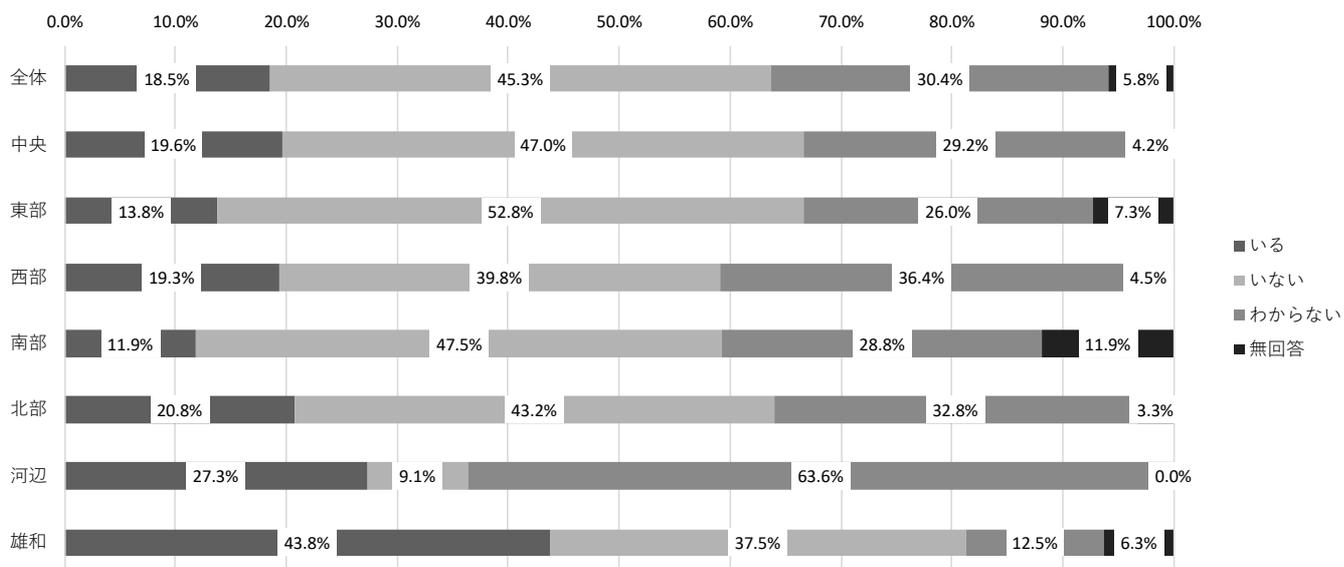
性別では、「いない」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「いない」が東部において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



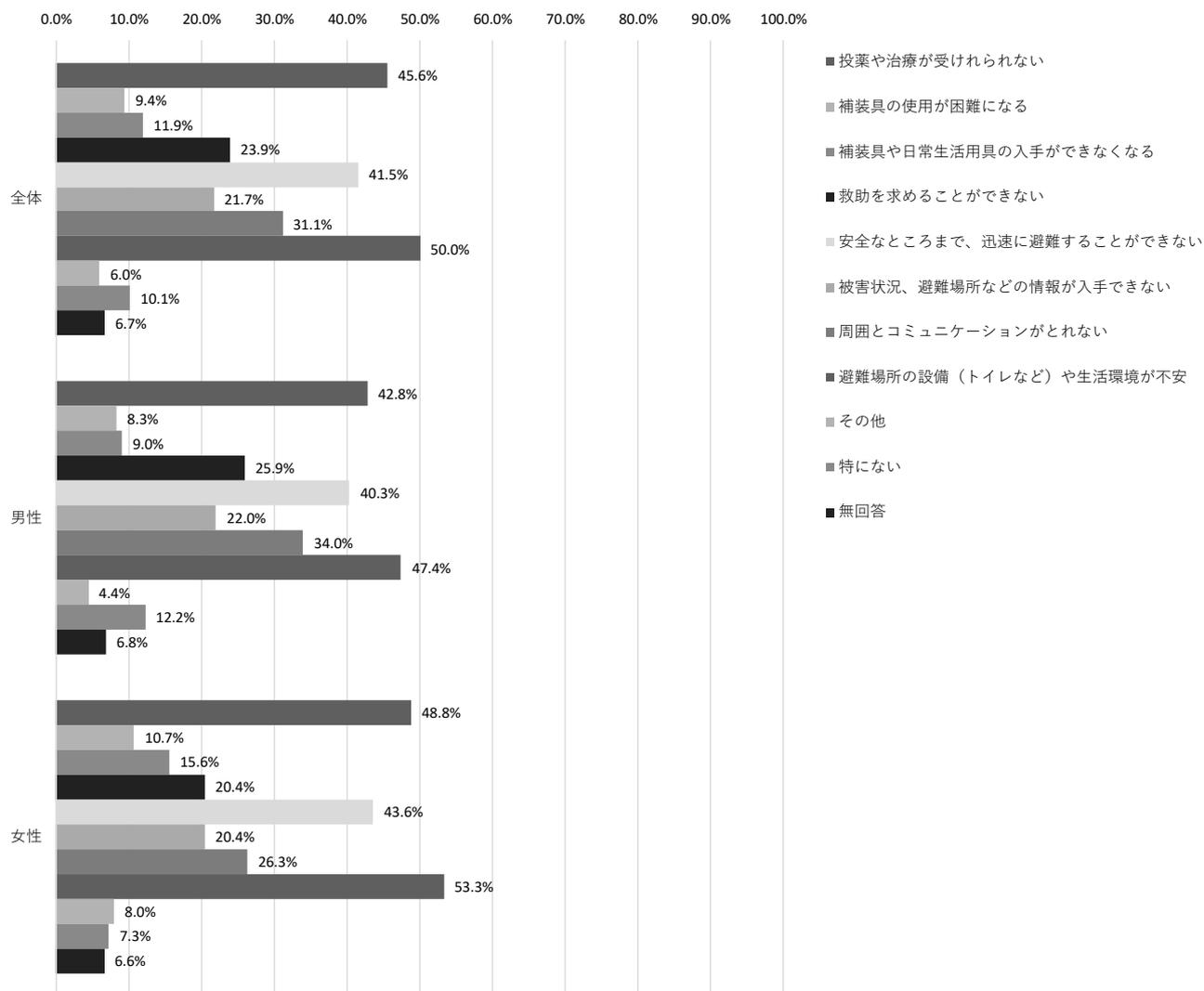
問5 1. 家事や地震などの災害によって困ることは何ですか。

全体では、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が50.0%で最も高く、次いで「投薬や治療が受けられない」が45.6%となった。

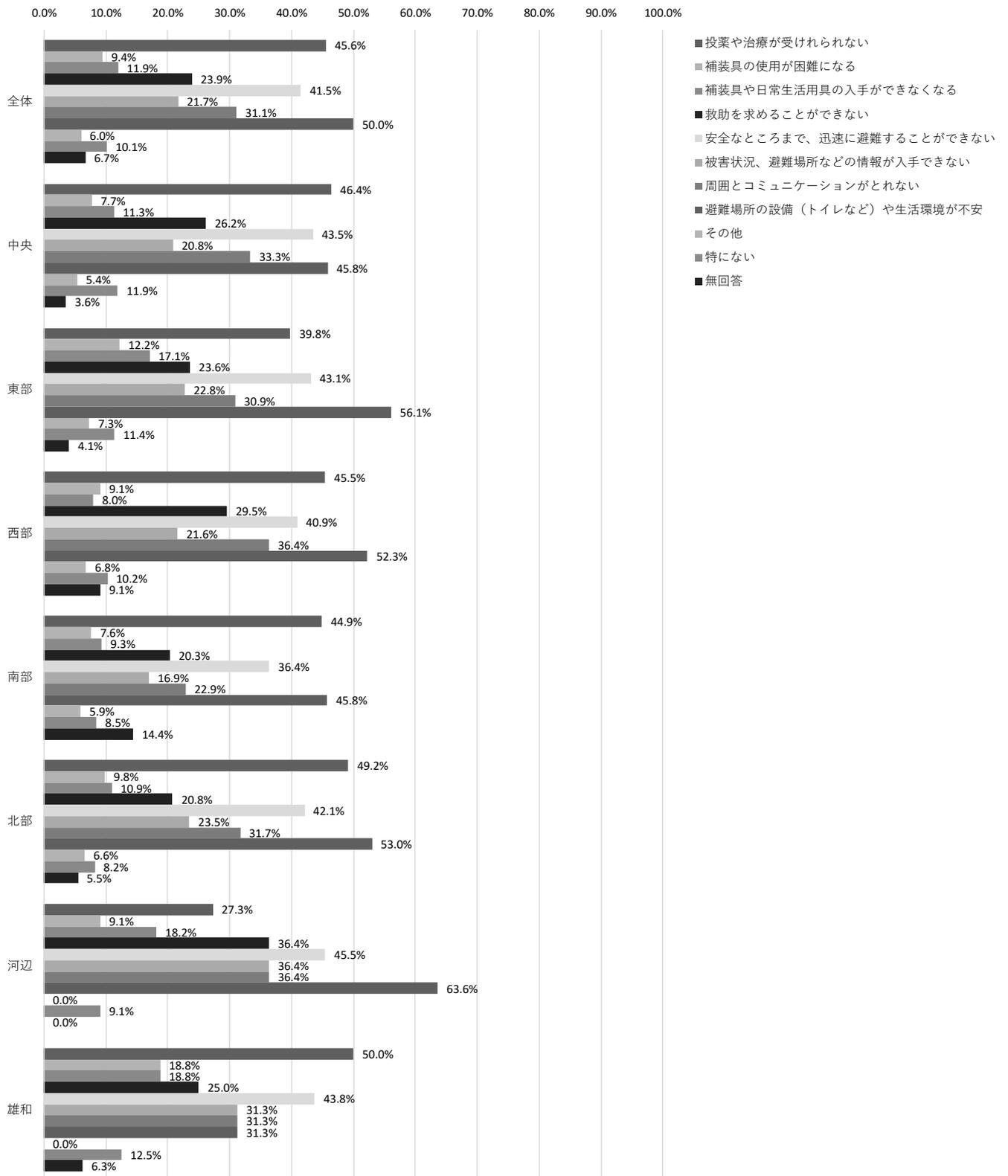
性別では、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が男性より女性のほうが高くなった。

地域別では、「投薬や治療が受けられない」が雄和において最も高くなった。

【性別】（全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289）



【地域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



将来について

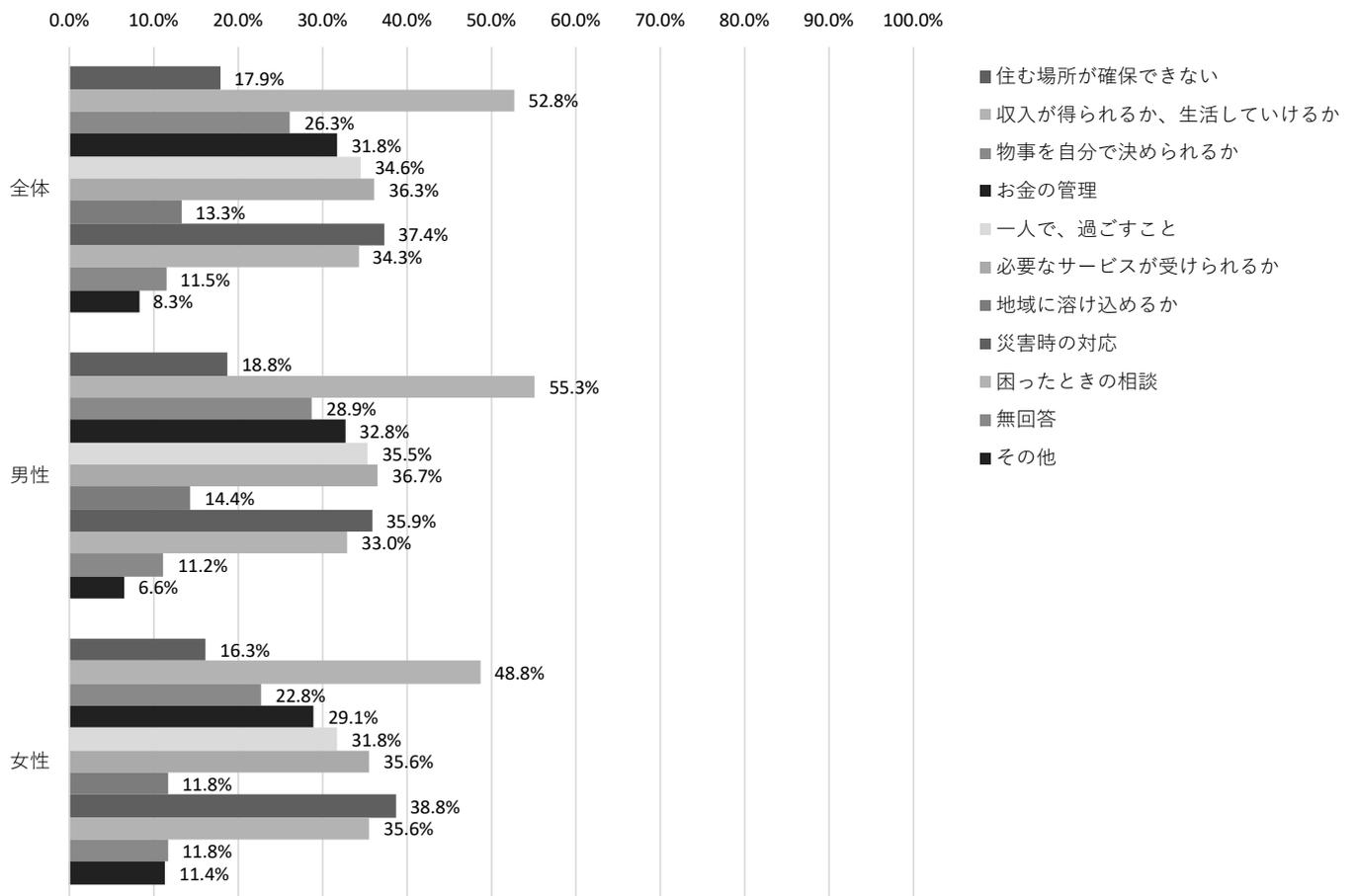
問5 2. 将来のことで、不安に思っていることはありますか。

全体では、「収入が得られるか、生活していけるか」が52.8%で最も高く、次いで「災害時の対応」が37.4%となった。

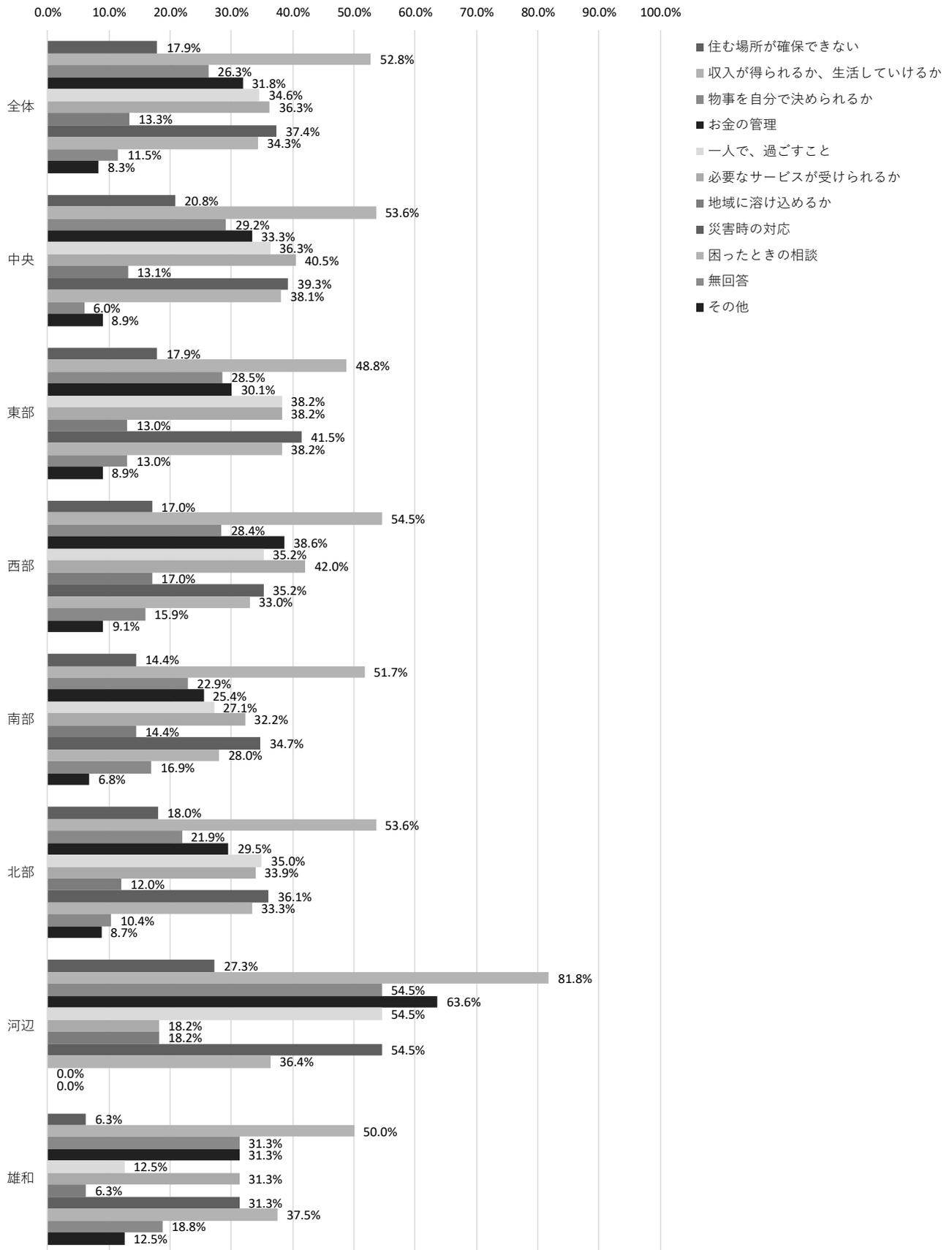
性別では、「収入が得られるか、生活していけるか」は女性よりも男性の方が高かった。

地域別では、「収入が得られるか、生活していけるか」が河辺において最も高くなった。

【性別】(全体 N=720、男性 N=409、女性 N=289)



【圏域】(全体 N=720、中央 N=168、東部 N=123、西部 N=88、南部 N=118、北部 N=183、河辺 N=11、雄和 N=16)



問53. あなたは現在、どちらに通園・通学、または通勤していますか。

全体では、「小学校（特別支援学級）」が17.8%で最も高く、次いで「視覚・聴覚・特別支援学校小学部」「視覚・聴覚・特別支援学校中学部」「視覚・聴覚・特別支援学校高等部」が11.0%となった。

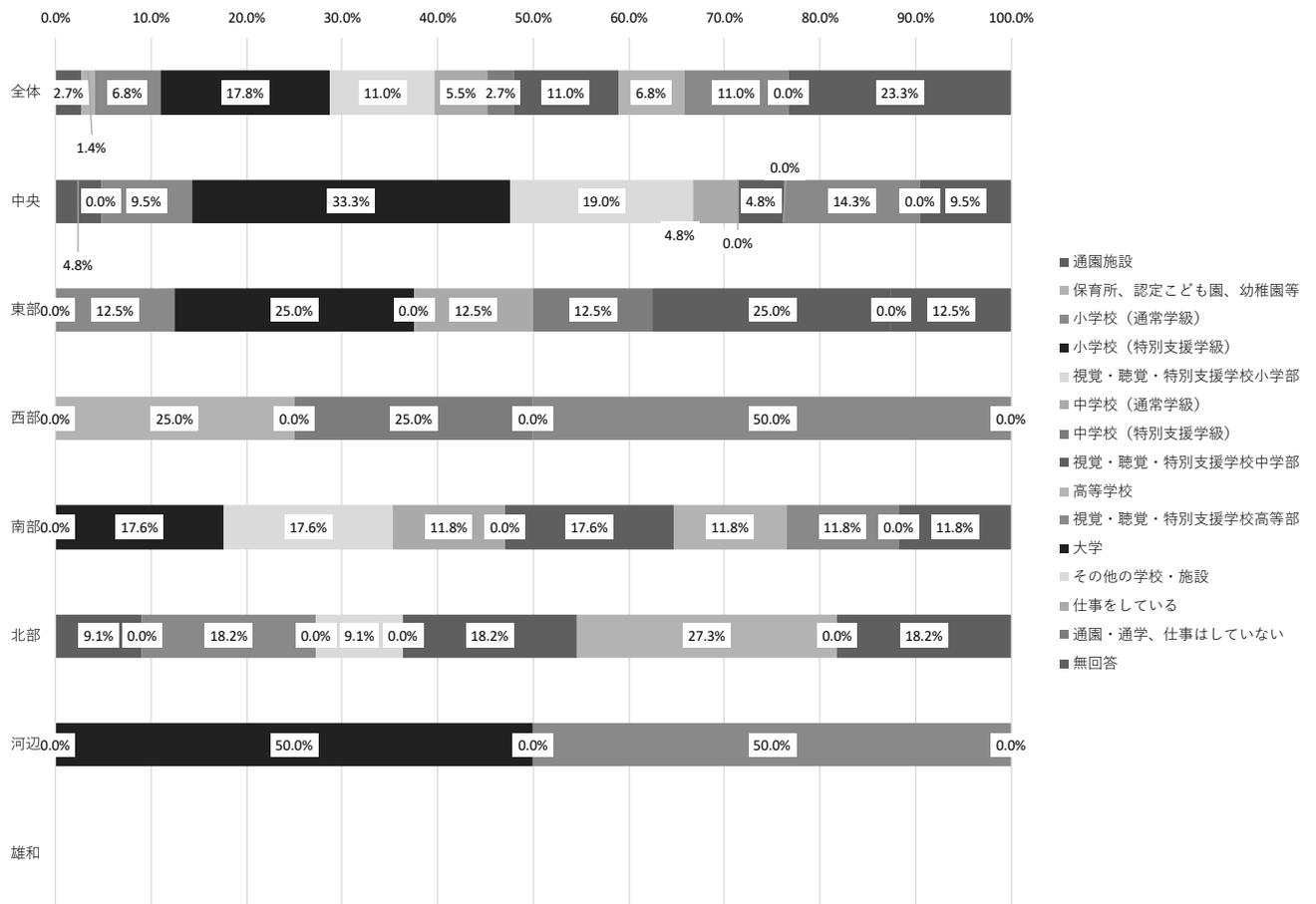
性別では、「小学校（特別支援学級）」が女性より男性のほうが高くなった。

地域別では、雄和では回答該当者がいなかった。

【性別】（全体 N=73、男性 N=40、女性 N=21）



【地域】（全体 N=73、中央 N=21、東部 N=8、西部 N=4、南部 N=17、北部 N=11、河辺 N=2、雄和 N=0）



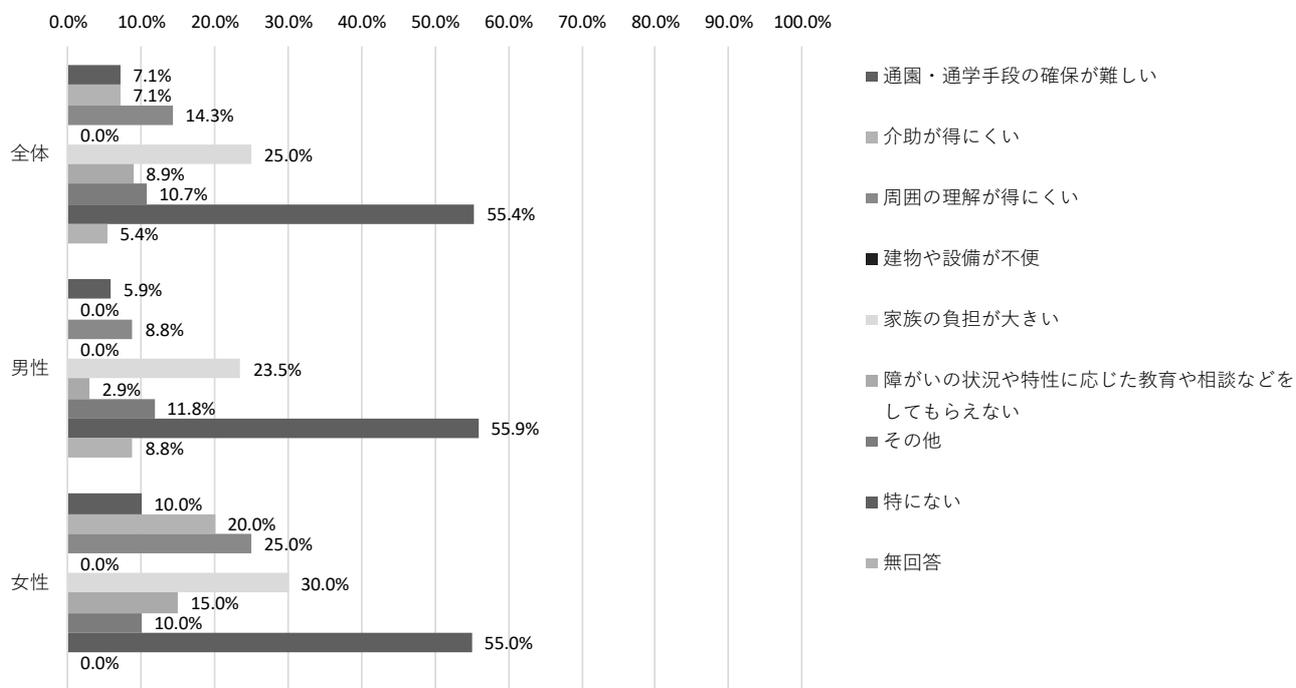
問5 4. 学校生活をするうえで困っていることがありますか。

全体では、「特にない」が55.4%で最も高く、次いで「家族の負担が大きい」が25.0%となった。

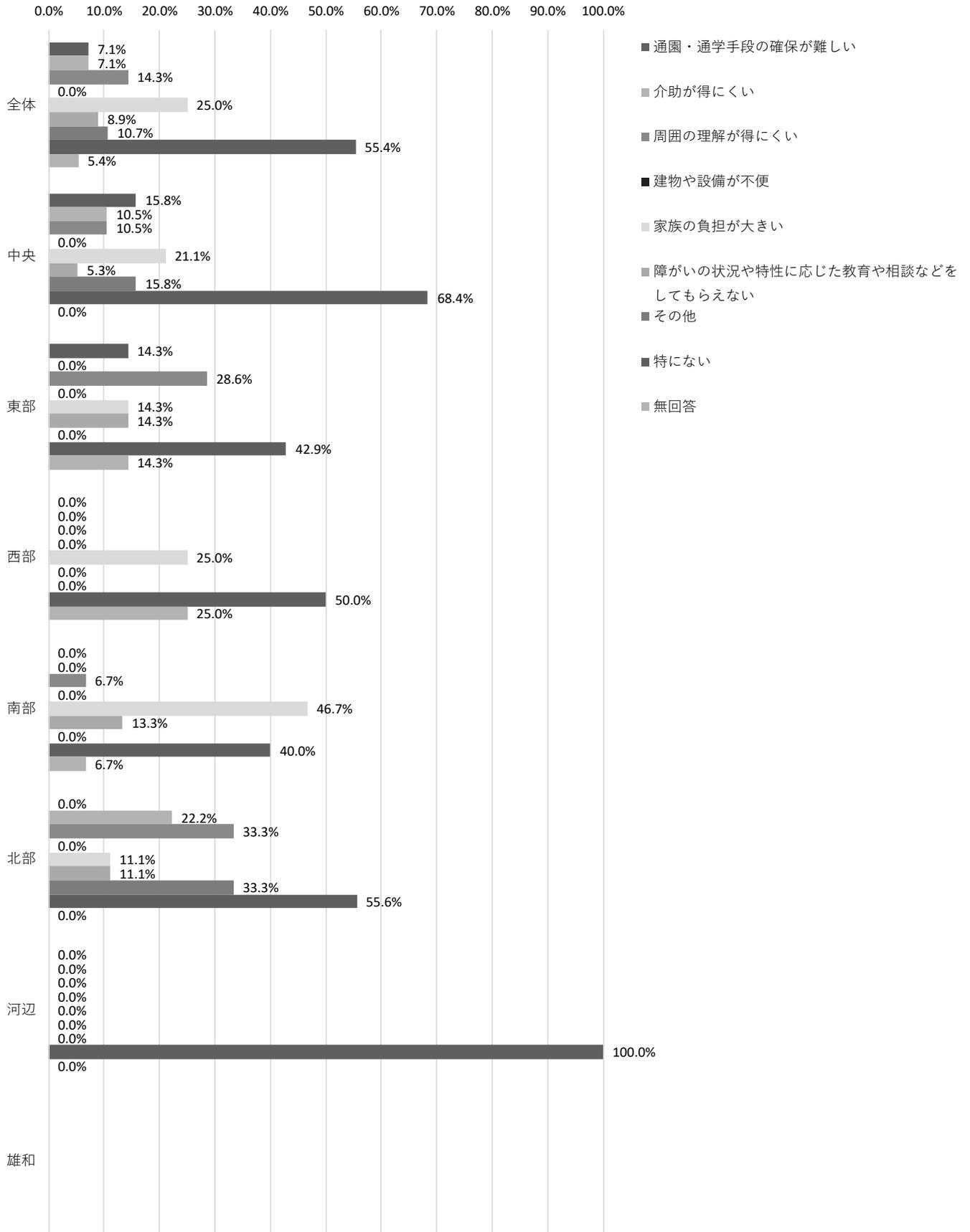
性別では、「介助が受けにくい」が男性よりも女性のほうが高くなった。

地域別では、雄和では回答該当者がいなかった。

【性別】(全体 N=56、男性 N=34、女性 N=20)



【地域】(全体 N=56、中央 N=19、東部 N=7、西部 N=4、南部 N=15、北部 N=9、河辺 N=2、雄和 N=0)



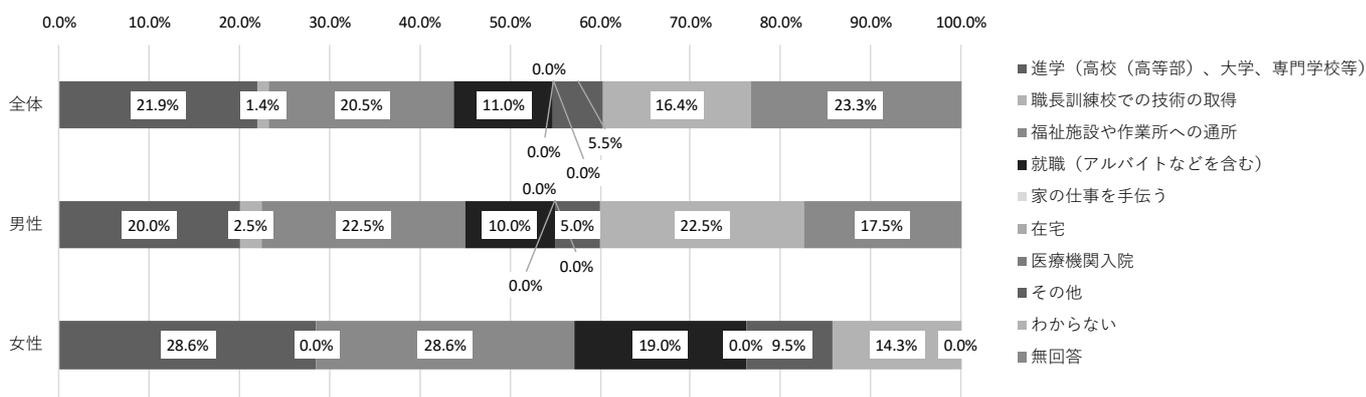
問55. あなたは、中学（中学部）や高校（高等部）などを卒業した後、どのような進路を考えていますか。

全体では、「進学（高校（高等部）、大学、専門学校等）」が21.9%で最も高く、次いで「福祉施設や作業所への通所」が20.5%となった。

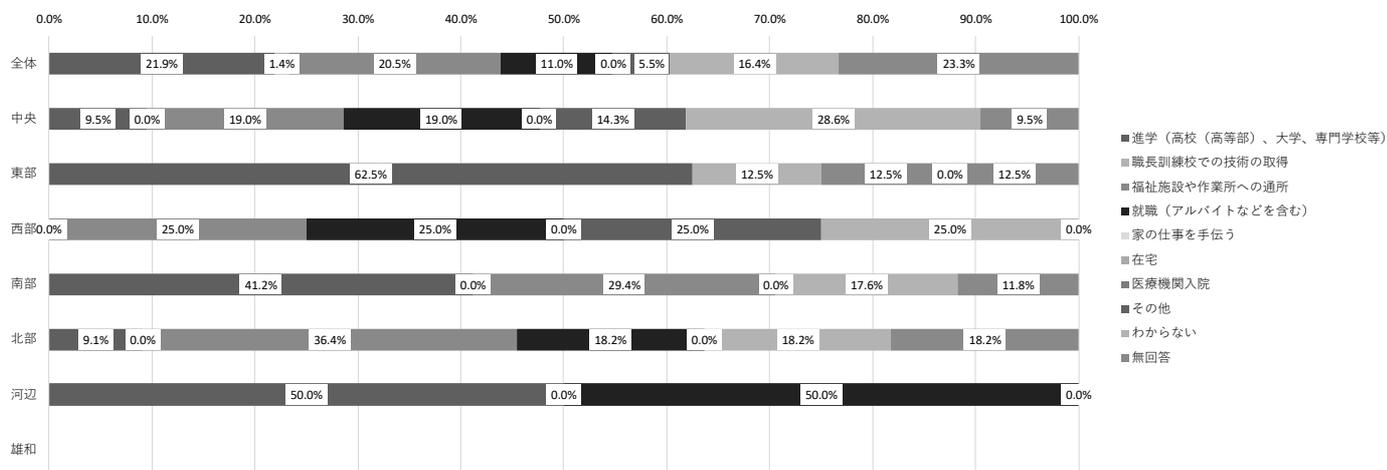
性別では、「進学（高校（高等部）、大学、専門学校等）」が男性よりも女性のほうが高かった。

地域別では、雄和では回答該当者がいなかった。

【性別】（全体 N=73、男性 N=40、女性 N=21）



【地域】（全体 N=73、中央 N=21、東部 N=8、西部 N=4、南部 N=17、北部 N=11、河辺 N=2、雄和 N=0）



問56. 将来、働くことについてどのように考えていますか。

問56は18歳未満で、かつ問53で「仕事をしている」「通園・通学、仕事はしていない」に回答した人が対象となるが、その該当者はいなかった。

最後に、

秋田市の障がい福祉施策の取組について、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

回答結果：

- ✓ 具体的助言が得られると有難いと思うが、意思決定は自助の力で行うことが原則のようなので、自分では対応出来そうもないことを抱え込む時もある。
- ✓ そもそもまともな職場がない！なんとかならないのか？
- ✓ 公共交通機関の充実。
- ✓ 生活保護、もう少し、あげて欲しい。働ける場所、もっと増して欲しい。送迎する多くして欲しい。
- ✓ こういうアンケートがあると私もまだ少しは役に立てるのかなと思いました。ありがとうございます。
- ✓ 災害時の障害者の対応について、他県の取組を知る機会があったが、秋田市は全でないと感じた。自分で子どもを守るしかないのではないかと思った。
- ✓ 障害のある子供を連れて、色々な手続きのために市役所に行くのが大変です。ネット上で手続き出来たり、郵送で出来ると嬉しいです。
- ✓ 進学の際に特別支援学級も見学に行ったのですが、障害関係は専門外の先生が一人で年れいも障害もバラバラの生徒を複数人一気にまとめてみていました。せっかく軽い障害なのに、これでは、勉強も、生活態度も中々伸ばしてやれないのでは？と思いました。支援学級へも専門の先生がつか、障害のある子供への対応を学ぶ機会があればと思います。
- ✓ 視覚障がい者なので、このようなアンケート等も、データ等でもらえると、自分で解答できるので、たすかります。
- ✓ 今アパートで姉、弟一緒にいますが、地域住民の場所で、人がいっぱい歩く場所で生活するのは、困難です。できれば障害が住める、住宅を建てていただき、障害者が安心して暮らせるようにしてほしいです。
- ✓ 外出時、車椅子用トイレの設備が少ない。食事（外食）したいと思っても車椅子で入れるところが少ない。もう少し障害者が生活しやすい町づくりを希望します
- ✓ 取組について、ご意見を言ったとしても取組がおこなわれないのでご意見を言ってもいみがないもつとご意見に耳をかたむけて改善をしてほしいです。
- ✓ 年金の充実性交通の利便性
- ✓ 認定に必要な医師の診断書等は（文書料等）助成してもらえると助かります。審査日数も短かくして欲しいです。気軽相談できるカフェがあると嬉しいです。他、何かしらの申請等、送付する必要がある場合にも、切手不要な封筒をダウンロード出来たりすると、尚良いです。
- ✓ 私は、自宅にいただけなので、もう少しコミュニケーションを働いていなくても取れる環境が欲しいです。
- ✓ バス車内、電車内、バス停、主要駅の電光掲示板が増えてほしい。アナウンスが聞きとりにくい、遅延情報が分からない。福祉にたずさわる人も、筆談やUDトークのアプリなどは身近なものであってほしい。ヘルプマークの周知をもつとがんばってほしい。聴覚障がいへの理解、知識をもつと深めてほしい。
- ✓ JRや飛行機の料金についてももっとくわしく細く情報がほしい。JRの人もよくわからずに通常の料金で乗った事もあるしもつと利用機関に特別な料金で計算される事の配慮と知識を広めてほしいです。窓口でねほりはほり聞かれたり何も悪い事をしてないのにつるしあげのような空気になった事もあるのでごく悲しかった。←子供が小さい時JRで。＊子供料金のそこから半額とかつきそいは子供

キップを買うといいなど…

- ✓ 母記入しています。本人が小学校なので、将来自立にむけてサービスの情報の充実があればありがたいです。
- ✓ 指定難病支給認定の更新の頻度を毎年からせめて5年か3年くらいにできないでしょうか。1年ごとに病状が良くなるようなものであるならば難病ではないと思われるのですが…毎年認定のための書類を用意するのも大変ではあるのです。
- ✓ 同居の母が病気になり介護が必要なのではないか経費もかかる。病院の治療でタクシーを利用しているが離れているので月1万円以上かかってしまう（透析）
- ✓ 手帳の種類によって受けられる支援が違いますが障害が重複した時に使える支援の幅をひろげてもらえると助かる。
- ✓ 何事にも親切に対応してくれて有り難く思っています。毎年の更新がもう少しスムーズに行なえたらいいかな？と思っています。
- ✓ 通所施設や入所施設で働いて下さっている方の労働条件の改善を強く求めます。健常者の集団生活（学校など）や入院している患者の生活管理とは、分けがちがいます。自由にそれぞれの思いのまま動いてしまったりする障害の人たちを管理するのは本当に大変で、自分の子を1人自宅でもみるのも大変なのに、良くやって下さっていると思います。しかし、低賃金だし、評価（社会的）も低いのではないかと思います。職員の方の働く環境改善をしてもらわないと、それが障害者にも影響がでるのではないかと思います。今の通所施設は本当に良い職員の方ばかりで安心ですが、入所施設では、あまり良くありませんでした。本人もかなりつらい思いをしたようです。ただ、施設職員の方もかなり大変だったんだろうなとも思う所もありました。介人数も少なかったりするし。障害福祉対策の中に障害者をうけ入れる所の取組についても検討して下さい。
- ✓ 自宅にP Sが無い為情報入手を電話や行政の広報誌に頼っています。気軽に情報入手、相談できる場所があるといいのですが。障害者の医療相談できる所は無いのでしょうか？秋田市の障害福祉サービスを利用させていただき、とても感謝しています。これからも、よろしく願います。
- ✓ 親や支援の人だけでなく、1人で相談や困った時に行った時は、相談者の特性を見て（情報、資料があるはずです）きめ細やかな対応（わかりやすい言葉づかい）をしてもらいたい。中々思う様に話せない、伝わらない事も多く経験しているので（障がい福祉）と云うプロだと思うので皆が配慮してほしいです。よろしく願います。
- ✓ 人の生き方にもっと自由を下さい。社会、会社だけが全てではないはず。多様性を下さい。当たり前押し込めないで下さい。これでは生きるだけで辛い。生きるなら辛くとも楽しさがなければなんの意味もないです。
- ✓ 障がい枠を増してほしい
- ✓ 情報が解かり易くして欲しいです。頑張ってください。有り難うございます。
- ✓ 災害が起きても私は避難しないと思います。食料も、備蓄しなければと思ってますが、そのような事が起きない事を祈っております。
- ✓ 困った時、相談したい時、いつでも気軽に受け入れてくれるような場所、システムをお願いしたい。準備、提出するための書類があまりにも多く、かつ複雑で非常に困っている。簡略化、簡素化をお願いしたい。
- ✓ 新屋近辺にB型就労とA型就労と80代まで通える事業所が欲しい。親子と一緒に楽しく作業が出来る場所があればいいと思う。
- ✓ T VなどA C公共広告きこうでの障害者さべつのない世の中のC Mがあればいい。みんなちがってみない。障害は個性。誰でも障害者になりうる。いじめ絶対ダメ。マイノリティへの知識増やす。人類みな家族、兄弟、いろんな人に支えられて生きるのがいいと思う。
- ✓ 仕事の時間帯や内容など、もう少し幅があれば、自分などは障害者として年金をもらわなくても生きてゆけたかもしれないです。「明るくて元気な人歓迎」な求人情報、見たくない。自分はいらないと言われている

- ✓ 療育手帳 B の方の医療費無料をお願いしたいです！！
- ✓ リハビリ（脳疾患）の施設が、もっとあれば良いと思います。
- ✓ 在宅就労ができる機会を増やせたら良いとも思います。一人暮らしがしやすい環境（住宅等）を多くしてほしい。
- ✓ 同じ病気や障がいを持つ人が集まり情報交換ができる場を作ってほしい。
- ✓ わからない事があり、電話で問い合わせると、迅速におしえてくれるので助かります。
- ✓ おむつの申請が今年度、変わり、とても助かります。日常、病状を常に目を離さず介護しなければならず、申請に行くのが大変だったので、よかったです。
- ✓ 姉です。お世話になりっぱなしで、申し訳なく思っています。今後とも、よろしく願います。
- ✓ 入所施設、グループホーム（重度用）。年金内で生活できるような、施設を増やして欲しい。
- ✓ いずれ、兄弟もいなく親が病気になり10年も生きられないと思うので早めに施設入所を考えるようになりましたが20人も順番待ちしているようでそうなれば県内のどこでも開いて入れる所にとったりもしています。
- ✓ 仕方のないことだと思っていますが…複数の助成・手帳を持っている、受けているが故にその度の更新や意見の確保が負担になっている。少しでも簡略化。郵送のみで更新可にいただけると助かります！！
- ✓ 自衛隊向いとく店の障害者用駐車場の、心機能障害、杖をついている、妊娠している方用の駐車場に、いつも健常者がとめている。他の土崎港北あたりのスーパーは、あけてくれることが多いのに、いとく自衛隊向い店のみ、健常者がおいていることが多い。そのため困っている。
- ✓ 18才成人してからの福祉制度、福祉サービス、年金受給申請など、まだよく分かりません。18才未満にやるべきことや、福祉サービス利用にどのくらいの上限額の費用がかかるのか知らないご家族の方が多いと思うので簡単に相談員の方や学校で教えてもらえると助かります。※後見人制度は、後見人を家庭裁判所が決定し、一度決めると解約できず費用もかかると本で読みました。子供が未成年のうちにこういう事を教えてほしいです。
- ✓ 前に一度ケアサービス（かいごヘルパー）を利用した時にやってほしいせんたく物ほしトイレそうじやかいだんのそうじ、台所の洗い物1回1回ついてまわってかいだんののぼりおり1時間のけいやくで6～7回かいだんののぼりおりでつかれて具合悪くなった。病院のつきそいの時は、ヘルパーは何もごかず、私自身が全部やっていた。薬のうけつけしたあとうけとりも何もせずただ話しこんでいるだけ、私は具合わるく病院につきそってほしくてたのんでのに何もしてくれなかったから二度こんな事ないようにしてほしい。ほんとうに何もしてくれなかった8カ月間ぎやくに病気がわるくなりました。
- ✓ 生活保護をだれでも気軽に受けられるといいつつ、収入も食べる物もない親をみていると介護保険のたいのう、もち家がある等じょうけんにあてはまらないし、介護ほけんを未納だとさいばんにかけろ！！といわれてもなんとか生きてるので自さつをしようと親と良く話しますがそれもこわくて勇気がないので、年金のない月をすすすと年金月はスーパーで夜買物をして半額ね引と時々おなかをこわしながら過しています。私の様に57才84才の親で仕事が出来ない人間を助けてくれる政治（子育て家庭には市かか仕事も夫もいるのに老人病気の中老年人を助けてくれる）がない。今回国会で岸田総理大臣が年金をおさめた人にもおさめない人にも月7～10万支援すると話があった時、立けん民主党の反対に立ち消えになってしまい、立けん民主党をも応えんしたりしたのにあとは土そうとか…。この世で長くても100年我々はあと何年生きられるかわからないけれど、もしあの世で自殺者は、2000年も3000年もくらい寒い所で過さなければならぬとある霊能者の本に昔よんだことがありもし自殺してあの世があったらシマツク！！と思っても自分の力ではどうにもならないので、この世でもう少しがんばってみようと思います。

- ✓ 働きたいのですがどこにいけばよいか。どういう仕事があるか、わからない→どこにいけばよいか、仕事の内容がわからない。
- ✓ 放課後デイサービスの利用は月23日までというの見直して増やしてほしいです。また、同じ日に複数の施設の利用はできないというの見直してもらいたいです。参加させたいイベントがあっても日数の上限や、同じ日には利用できないという規則のために娘を参加させてやれない事が悲しいです。それから通級を全ての学校に設置してほしいです。または、普通学級に在籍しながら支援級の授業（苦手な教科）を受けられるようにしてほしいです。
- ✓ アンケートの結果知りたい。情報誌などを使って、皆さんへお知らせ願う。このアンケートを活用して改善されたことを公表してほしい。秋田の福祉施設はなかなか前にすすめていないと思う。何十年たっても親亡き後を心配している人達が沢山います。公共の施設職員さえ、今だに障がい者差別発言をしています。いくらつばな目標があっても、絵に書いた“もち”で終わらないでください。今元気な皆さんもいずれは年を重ねて何らかの障がい者になりえます。
- ✓ バスの利用やタクシーの利用時に、のるバスが少ない、時間のバスがない、こんごつして、満員が多く、のれないことが多々ある。タクシーも精神手帳1級を持っている人は、まるふくが使えるようにしてほしい。
- ✓ 1) 精神疾患（統合失調症とアスペルガー症候群で入院中）の娘の父で、82才になります。某病院に7年間継続して入院中、毎週着替え、差入れ（飲物）を続けている中で、場所的にも遠く、近くの病院への転院を依頼したが、紹介状の関係もあり、思うように進まないでいる。福祉策の前に、病院内部の実態調査をお願いしたい。（どうすれば転院可能か。）2) 入院中の患者の健康診断はどうしているか。3) 投薬の明示は義務化されていないのか。4) 病院内での福祉サービスの受け方がわからない。
- ✓ 手帳3級を持っていますがもう少し何かをつけて欲しい。（タクシーのわりびきくらいしかないので）
- ✓ 放課後等デイサービスの利用時間を、もう少し早く（7:30ころ）から利用出来るようにして欲しいです。終わりの時間も（18:30）もう少し遅くしてもらえたら親の仕事に支障が少ないです。・学校から「泣いた」とすぐ電話が来て呼び出されて仕事にならないです。専門的な人を一人でも配置する事や、学校ごとで違う親への連絡までの時間を統一していただきたいです。今現在、サポートの利用をしています、そのサポートの方が不在時などは、泣くとすぐ学校から連絡が入り、迎えに来て下さいと言われ急に仕事に穴を開ける事になってしまっていて困っています。・シングルマザーで、家で痙攣を起こして手を付けられない時に精神的にも肉体的にもボロボロになり「今すぐ誰か助けて！」と思う事があります。本人も親も。そんな時に、すぐにかけて間に入ってくれる方がいると救われるだろうと思う事があります。22時ころまで、そのようなサービスがあればすごく助かります。
- ✓ 障害者支援施設を沢山作ってほしい
- ✓ 日々、リハビリ、デーサービスなど利用させて頂いてます。毎日、安全に、安心して過ごしています。ありがたいです。福祉科のケアマネさんは、相談事や、手続き事で出向く事が出来ない時などの時は迅速に対応してくださり、大変、助かっています。これから先、老後の体力底下に不安で、心配です。
- ✓ 子供が不安であればれた時親が相談する所（親の会）があればいいと思います
- ✓ 正確な手続きをする上で仕方のないことはわかっているが、提出書類が多くてわずらわしい。自分（母親）が年とってからうまくできるか不安。わからないことがあって電話した時などとてもいけないに対応していただき、感謝しております。
- ✓ 自分から聞いてはじめて知るサービスが多い。障がい児が産まれたときに、家族は“わが子に障がいがあった”ということだけでもいっぱい、その産後の大変な状況の中、子どものために何をしなければならぬのか…を自分で調べなくてはいけない。そこでこれからやること、手当の申請、家族の会の有無など、年齢別に分かるなにかをわたしてもらえたら助かったなあ…と感じました。（何歳になったらこの手当の申請をするなど）

- ✓ 障害者への偏見、差別は、幼児期の経験が大きいかかわると思います。その中に身近にあたりまえのようにハンデのある人（子ども）がいる環境を経験していれば偏見差別もなくなるといいますし、接し方も身につきます。そのためにもインクルーシブ教育がもっと当たり前になることを強く望みます
- ✓ 毎年入退院をくり返し仕事を続けられるか自信ない中障害者年金を受給したいと伝えたが、先天性と心臓病なので、60才まで受けとられないと言われ、将来（現在も）不安しかない。中には、カルテでは語り切れず、生活の為仕事を薬の副作用を乗り越えているが、会社では心配してくれるのは、ありがたいが、家で休むようにうながされ無給が続き何か取り組みをして欲しい
- ✓ ひとりで、グループホーム、作業所での生活はできていますが、その移動でだんだん、大変になり、タクシーの利用が多くなってきました。この生活を続けたいと思っていますが、金銭の負担が多くなってきて、この生活ができなくなるのが不安です。移動のサービスがほしいです。
- ✓ 秋田市には福の医療費制度など充実した取組があるので、これからも秋田市に住んでいて良かったと言える施策を続けてほしいです。
- ✓ 広報や、市のホームページに様々な障害について、特集して欲しいです。障害の理解を全ての世代に広めることで、差別が減少していくと思います。よろしくをお願いします。
- ✓ 医療的ケアの関わる福祉的サービスは不十分に感じます。・健常者と障がい者が理解しあい、分け隔てなく生きられる秋田市ではないです。（秋田市政が原因ではなく、県民性）・障がい当事者や家族が情報を得にくい。（知らないまま生きている。分かっていないことがあることすら分かっていない）
- ✓ 東京都や川崎市、横浜市の様発達障害で精神手帳を持っていて条件をクリアしたならマル障を受給できたら良いです。神奈川県自治体だと療育手帳と精神手帳（2級以上）を持っていたら月1万円が支給されるそうです。
- ✓ パソコンを与えて欲しい。体力のない人を切り捨てないで欲しい。
- ✓ 手書きの手続きはいいかげん辞めて、web手続きできる様にして欲しい。押印など、時代遅れはなほだしい。
- ✓ プロフェッショナルな人がいない。どんな人にも対応できる人材を育てる役所であって下さい。楽しみです。
- ✓ 秋田市福祉施策などやっているのですか？まったく情報が得られません！ひきこもりをしていて今は病気で入院していますがこの先不安でしかありません。相談する所もどこで色々相談できるでしょうか？
- ✓ ヘルプマークのようなもの他に何か説得力があるのがほしい
- ✓ ・無記名となっているがすべてに答えると特定される場合も考えられるので、そこは無回答です。・質問が多すぎました。
- ✓ 説明等が曖昧な部分があった。取組が障害者にとって、マイナスにならないようにお願いします。公共については市の支援が充実していますが、住居、収入については、支援が少ない、無いため、安心できるような条例を作っていただけると嬉しいです。よろしくをお願いします。
- ✓ 障がい者を侮辱したり、罵声を浴びせたりするような人がいる職場があります。疲弊し、二次障害が発生しては困りますので、皆が楽しく働けるよう、呼びかけ等をお願い致します。
- ✓ 相談しに行っても、対応する人に知識がない。少くとも、この件はどこの窓口に行くとかぐらいは指示がほしいし、話の内容くらいは、先方に伝えてほしい。（何度も最初から説明して話すこちらの身になってほしい。）質問しても、詳しいことはわからないから、〇〇に聞いてほしいとよく言われるが、その部署でも絶対に関係がある内容のことで、平気でわからないと答えられてしまう。もっと勉強して1カ所で問題が解決するようにしてほしい。今は、障害のある人でも、高齢の親を世話している人が多い。負担が減るような、もしくは、リフレッシュの時間がとれるように、何か助けがあればと思う。

- ✓ 福祉課のまど口に行くとしんせつにお話してくれて、ありがとうございます。
- ✓ 軽度知的障害があり車の免許も持っておらず、一般就労は、ハローワークに通いましたが、難かしかったです。言葉も吃音があり、緊張すると言葉が出なくなり面接等、ハードルが高いです。現在 A 型に通所しておりますが、理解してくれる職員が多く働きやすい環境です。面談も多く安心しております。A 型なので、いつまでいられるのか不安です。現在 A 型は、10:00～15:00 までなのですが、もう少し長い時間働けるといいなと思っています。
- ✓ 将来のことで相談できる窓口があればと思っています。(親が元気なときに)・情報がほしい。(どうゆう方法で情報がえられるのか。)
- ✓ タクシー料金の割引なんかがあると助かる。
- ✓ 急に倒れて手術をして今はリハビリをするために入院しているのですが車いすになると言われたのですが、今住んでいる所は、4F でエレベーターもなくてこれからどうしようかと悩んでいます。引っ越すにしても高い家賃を払うだけのお金はありません。今行っている病院なども近くで、お店などもそれになによりも本人が今住んでいる所、近くではなく全然知らない所となるとなれるまで時間がかかり本人にとっては近くで知っている人達がいる所と考えると、なかなかありません。いろいろな面でどうすれば良いのかこれからこの子のためにどうすればいいのかと考えています。いっしょに住みたいと思っています。本人もそう思っているようなのですが。私達家族もそう思っています。そういう所を紹介してくれそうな所があれば、家だけか、そうでないかはわかりませんが、いろいろな事を相談できる所がわかりません。(家に帰って来てから障がい者の姉妹がイジメに合っています。現実です。知って頂きたいです。
- ✓ 窓口の対応が、わかりやすく、ていねいで、ありがたい
- ✓ 発達障害についての知識・情報に誤解や間違いが多くあります。又、投薬によるアレルギーを起こしやすいのも発達障害の過敏さから来るものです。秋田市社会福祉協議会が作っている「安心キット」は、郵便局だけでなく、もっと手に入れやすく(特に用紙は PDF にしてコンビニ等で印刷できるように)してほしいです。又、精神障害手帳は 2 年に一度更新ですが、証明写真が必要になるので、保健所にも証明写真が撮れるものを用意して頂きたいです。精神障害・発達障害についての相談は、基本的に保健所とされますが、市役所の中にも精神障害手帳の更新・自立支援の更新ができるようにしてほしいです。
- ✓ 以前母と二人で生活ほごを市役所にたのみに行きましたが、家が少し生活がお金がある生活をしているほうだと言われことわられました。一日でも早く、ベーシックインカムになってくれて、はたらかなくても良い生活を世の中のみんなが送れたらいいな…。と毎日ねがって思ってます。一つ気になるのがベーシックインカムになっても障害者年金は今までと同じ金がかくでもらえるのかどうなのか気になってます。国の上の人たちが決めることだと思いますが…。生活ほごは秋田県の場合、いっしょに家族とくらしいたり、車をもっていたり、家をもっていたりするともらえないのでしょうか?自分の家のとなりに安いアパートがちょうどありますが、やっぱり一人でくらす気持ちにはなれません。きたない所です。一日でも早くベーシックインカムの世界の中になってくれるようにとねがいが、ほとんど毎日魁しんぶんを読みながら生活しています。だれも国でも生活ほごのことは助けてくれなくて、はたらけないし毎日苦しいので、とにかく、ベーシックインカムにしてください!
- ✓ 障がい者の生の声を聞いてほしい。リモートなどで。自由に記入と言われても、なかなか、思っている事を文章にすると、こちら側の伝えたい事の本質が伝わらない気がするので話をする事で言いたい事が、言えるような気がする。
- ✓ 学校を卒業しても放課後デーサービスのよう、サービスを受けたい。事業所(B就労)に家族のかわりに迎えに来て施設で過ごし自宅に送ってもらうようなサービスを受けたい。そのようなサービスがないので親が送迎できない日は休んでいる。
- ✓ 介護者の体調不良などで安心して、預けて、受け入れてくれる場所が少ない。・もっと施設を増してほしい(障害者の)

- ✓ 手話通訳の人数が少ない。(予算の拡大、人数のかくほがほしい) 手話通訳の技術と、給料が見合っていない。(安い) (安いから、県外に出る事が多く、若い方がいない) 手話通訳は、パート(アルバイト)は、差別である。(合格率は9.6%と低い) 定期的に勉強や話し合いを(新しい言語)するのに費用は、通訳が負担(サービス残業)
- ✓ 障がいの子が中・高と大きくなるにつれ親の負担が大きくなりつらいです。24時間365日障がいの子の面倒は正直きついです。医療行為が受けれる施設を増やしてほしいです。預けたくてもできない状況です。
- ✓ ようやく障がい者福祉の取組について考えるようになってきたことはうれしいことです。日本の場合は外国にくらべて50年はおくれていると言われてます。病院→中間せつ→家庭へと自立にむけた政策を考えてほしいとせつに願っています。中間せつ=友達同志の協力して生活してゆきたくを考えてほしいと設に願っています。文字書けなくなって読みにくいと思いますが、せいっぱいがんばって書きました。おゆるしを!!
- ✓ 年金生活では、苦しい。障がい年金の枠がよくわからなかった。(ポイント?)
- ✓ 財政の問題もあるかと思いますが、横浜市に住んでいた時には、市営地下鉄と、市営バスが無料でした。秋田は車がなければ生活できない中、病気の為に車が運転できず、公共機関を利用しなければならないのに、バスの本数が減らされ、バス料金も高いと、これから高齢となった時の交通費が心配です。又、今住んでいる所だと、スーパーが近くになく、ネットスーパーも配達エリア外。生協もありますが、料金が高いので、今後基本的な生活をするだけでも、暮らしていけるのが心配です…。
- ✓ 事業所で働く人達の工賃が低すぎるのではと思っています。たくさんの支援を受けてありがたく日々感じていますが、結講みなさん努力して作業されていると思っています。社会への貢献に見合う評価を求めます。将来、不安のない生活の約束を望みます。
- ✓ 医療費の助成は大変助かっています。ずっと続けてほしいと思います。
- ✓ 障がい福祉を受ける時、その時担当してくれた人が病院の書類を持っていた時、時間を忘れていたか、たいどなどいやな思いした。相手のことしてほしい。
- ✓ 20年程前に手帳をもらった時にしおりの本をもらっただけで、その後何か変化があったのか充実されているのかわからない。毎年でなくても何か情報等まとめたものを定期的に送ってくれるとありがたい。今は普通に生活できているが、今後への不安はいつもある。いろいろ取り組んでくれているのだろうが自分で働かないと何の情報も得られない状態だと思う。知らないことがたくさんあると思う。健常者はさらにそうだと思う。健常者にも情報が伝わるのが大切だと思う。
- ✓ 卒業すると障がい者は日中活動から早くに帰宅する為、介助者は自由に働いたり、自分の用事を足すことも困難な場合が多い。放課後支援のようなサービスの拡充をお願いしたい。障がい者を産んだ者には、あたり前の生活を選択する権利がないかのような福祉では全く意味がないと思う。重度障がい者も家族も労働生産活動に従事できるように福祉を見直して欲しい。障がい者・病気の家族がいても本人の能力がいかせる社会に。
- ✓ 家族に緊急事態が一番不安です。(急病)があった場合の対応がむずかしい。一人で居る事ができない為…自宅で観ていただければ。(例) 訪看さんと一緒に居るとか、対応できると安心です。
- ✓ 市役所のふくしか窓口番号札があるが機能していないと思う。札を持って待っていても呼ばれない。窓口で声をかけた人の対応をされる。聞かないと教えてもらえなかったり、病院→親←役所と板ばさみになった事がある。納得できないなら親に「もう1度TELを!」ではなく役所から問い合わせしてほしいと思った。上限金額があるとだから後で請求でなく、一時払いをなくす事は出来ないでしょうか? 一月ごとに行くのもまとめて行くのもすごく手間と時間ももったいないと思います。
- ✓ 障がい福祉課の障がい者申請を受付をする職員の方は、手続上に申請者が質問、相談したことには、不安にならないよう回答でき

る様々に準備をした職員配置をお願いしたい。(具体的には私が障がい者申請の際に障がい者年金の受給申請は、できるかと質問した際、よく調べず申請はできないと言われた。2年後に、あることで申請できるのではと言われ、年金事務所へ障がい者年金の申請をしたところ、受給となった。これは市の職員の言う通りしていれば収入に大きな差があったことになる。これはとても大きな損失となり得ること。職員の専門的情報提供できるよう勉強が必要と思います。)

- ✓ 家から歩いて20分位、車で5分位の所に働く場所がありとてもよくしてもらっています。
- ✓ 支援学校への通学のためのスクールバスをふやしてほしい。
- ✓ 放課後デイが増えていて嬉しいが、質が悪いと、無知な人が開所している場合もあるとよく聞きます。大事な子供預けるには不安すぎます。
- ✓ とにかく、がんばって下さい。親なき後、子供たちが幸せに暮らしていける仕組み作りを…宜しくお願いします
- ✓ ガイドヘルパーの事業所が少なく、自分が利用したくても利用する事ができるサービスが望めないため拡充を希望する。
- ✓ 複数のガイドヘルパーの事業所を利用できるようにしてほしい。
- ✓ リハビリ月1回では少ない。週1回は必要。現在年金が月10万強。障害者に各1万円支援できないか。寝具(夏・冬)など高いものは買えない。施設内、何が起きているか分らず心配。30分おきに見回りの人を配置して欲しい。特に土・日は職員が少なく不安
- ✓ 当事者に関わっている障害団体の所に訪問し、その人たちの声や意見をききながら、対策や取組を行った方がいいと思います。・市長と当事者たちと話す場をつけてほしい。・新しい情報があったらわかりやすい内容を作って、当事者団体や当事者がいる施設・学校に、説明やビラを配ばってほしい。・情報アクセシビリティ、コミュニケーション施策推進法が施行されていますがローカルニュースや金よるサタナビなどなど…字幕や手話通訳などつけてほしい。皆と同じようにたのしみたい。よりよい福祉豊かな町になってほしいです。
- ✓ 身体障がい者と精神障がい者に対する福祉施策には、基本的に大きな差が有ると感じます。身体も精神もどちらでも障害者で有る事に変わりはありません。目に見える障害者に対する福祉施策と目に見えづらい障害者に対する福祉施策の格差を無くして、障害者が生き生きと暮らせる福祉施策に取り組んでいただきたいと思います。
- ✓ 子どもが、中学部になり、バス利用の練習をしました。本人は福祉乗車証により無料ですが、つきそい人は、補助がなかったので、練習期間だけでも補助があれば助かるなあと思います。(1回や2回で覚えられるわけではないので、負担は大きいです。)
- ✓ 人間関係が不安で一般の職場ではなく、自宅でアクセサリーなどを作って売りたい。でも技術がないです。
- ✓ 福祉サービスではないが、インフラ整備の遅れ。(点字ブロック、信号機の音声案内が無い)
- ✓ 両耳きこえない。不自由。現在、今後、将来。病院で手話通訳者と一緒にコミュニケーション必要と思います。協力もらっていたいと思っている。色々、情報どんなあると思う。何かあった時、れんらくメール必要と思う。災害場合は、どんな、情報と想ってる。
- ✓ 障がいを持った人やその家族が障がいがあることが理由でがまんしたりあきらめたりすることのない秋田市にしてほしい。もっともって1人1人の声を聞いてほしい。みんなすごくがまんしている。行政に言ってもしょうがないと思わせないでほしい。障がい者をひとくりにしないでほしい。1人1人困っていることは違うから。
- ✓ 子供も障がいが増くなり、親も年を取り、健康に不安を感じるが多くなった。親が送り迎えができなくなると、子供も親も家から出られず、病院も行けない。生活するのむずかしい。入所施設を増やして欲しいと心から願っている。
- ✓ 具体的に秋田市の障害福祉施策の取組の内容が分からないので、冊子やしおりなどで定期的に発信して欲しい。
- ✓ 大人になってから、イスや車イスなど買い替えることが容易ではなくなった。また、その申請も面倒。ネットなどでできる様になると良いで

す。通える施設が少ない。親が死んでしまったら、最後は病院という選択肢がない様に思う。親の無き後も楽しく生活できる場所がほしいです。

- ✓ 支援学校も各地域に出来て充実しており、卒業後の行き場も各方面にあり、やはり、親亡き後についてのことは誰もが心配である。グループホームについても軽度の方はすんなり入れる所があるように聞くが重い障害の人の住める場所は無く、入所の方は県外とも聞く。
- ✓ 仕事を探すのが大変です。パート
- ✓ いつもお世話になっております。今後も、個別的な、御支援、サポートをよろしくお願い致します。
- ✓ 障がい福祉計画を作成するうえで、障がい者などの実態や意向を把握するという趣旨は理解できるが、質問数が多過ぎます。これでは回収率が低下し、実態や意向の把握がむしろ困難になるのではないのでしょうか？プラン作成に当たって真に必要な質問に限定すべきだと思いました。
- ✓ ショートステイなどの決められた日数が少なすぎる。
- ✓ 障害に合わせた対応方法を知らなすぎる（職員が知識不足）障害者の意見を聞く姿勢がない。障がい福祉課へ行きにくいふんいきがある。対応が悪い。
- ✓ 精神障害者保健福祉手帳を交付された時も、ただ渡すだけでどこで何のサービスが受けられるか何の説明もない。本当に冷たい世の中だと感じる。
- ✓ どんな良い施策があったとしても、郡部に住む者にとっては、絵に描いた餅にすぎない。個人に対する交通手段が無いからである。又は、何辺も乗り換えを強いられる為、下肢に障害があると、つらくて歩きづらいのである。
- ✓ 義足申請時、決まった日時でないと判定してもらえず、仕事をしている側からすると正直毎回対応することができない。そのため、申請をためらってしまうこともあった。生きていく上で必要なものなので、もう少し判定の回数を増やしたり、病院でも判定してもらえたり、夕方からの判定ができたり…としてほしい。義足でも通常通り仕事している身からすると正直大変です。
- ✓ 子供の看護と、親の介護が一緒に、介護者体調不良になりやすい。負担を減らす事ができるように、対応可能であればお願いします。
- ✓ 障害者への支援を行っているのはわかるが、あとから色々な支援を知ることが多いので情報提供をわかるようにしてほしい。子育て支援もしていただけると生活しやすくなると思う。例えば、私（障害者）が体調不良で、妻が病院へ連れて行ってくれた際の子どもの面倒など緊急時に困った時などの支援。
- ✓ 障害の等級の違いだけでなく、本人のおかれた生活環境家族構成などで1人1人不自由なこと、困っていることは違うと思うので、その人の希望や、その人にあった支援をしてもらえるような取組がほしい。
- ✓ ふつうのくらし！！もとむ！！
- ✓ 同じ一級でもピンからキリまでである。もう少し、重い障がい者と自由に動ける障害者を（1級の中でも、区分を細かくして、手あつくて欲しい。
- ✓ 障害福祉とは名ばかりで、実際は障害者の気持ちが全然分かってない。必要としているサービスを希望時間使えなかったり、有識者の意見ばかり聞いて決められる。使用するのは障害者なのだから、障害者の声を優先させてほしい。こんなことを書いても、どうせ流されるだけでしょうけど。行政なんてしよせん高給取りで、障害者のことなんてクソだと思ってるんでしょうね。
- ✓ 秋田市はよくやってくれていると思いますので、これからもよろしくお願いします。

- ✓ 医療機関を通じて得られる支援の情報が取得できれば助かります。行政と連携を求めて欲しいです。
- ✓ 車両の改造について。運転装置以外の改造についても助成がほしい。
- ✓ 就労について。「雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業」制度について、企業側、当事者へもっと周知してほしい。
- ✓ 取組、意見とは関係ない話になるけれども、つながる話で、今いる自分たちの住んでる秋田市、秋田県について長所と短所、いいところとわるいところを知って、伝えることが大事だと思う。
- ✓ 私は、知的障がいBと精神障がい1級を持っています。私は、特別支援学校卒業後、地元の印刷会社に今年で4～5年位、勤めています。ですが、差別が非常に多いです。健常者は、許されるのに障がい者の私は、許されないということがほぼ、毎日です。関係ないことを書いて、すいません。多分、会社も知的と精神の合併症が扱いづらいんだと思います。もし、できれば、で大丈夫なんです。障がい者手帳を2つ以上持つ人の支援を増やして欲しいです。「メンタルは、精神障がいでよ〜」とか「考え方がちょっと違う所もあるよ〜」とか、それらをリクレーミングした書き方で、ポスターやしおりを作ってみて欲しいです。（長々と長文すいませんでした）
- ✓ 自分の通っているデイケアに強制参加させられていて困っている（●●会）住んでいるグループホームで他の利用者が大声で叫んだりトイレの使い方が汚なかったり、私物の整理をしない人がいて迷惑している
- ✓ 「何か相談あれば、ここへ」という窓口、あるのだけれどわかりづらい。あと移動手段。バスの次はタクシーですが、いきなり金がかかる。タクシーがもう少し安価に使えるようにできないだろうか。今はまだ免許があるので自家用車を活用してるが、大きい道路、流れの速い道路はタクシーであるいている。バスは乗降できなくなってきたから。もっと大変は障がいの人を想えば、私のような軽度の障がい者（なのか）は、とやかく言えないのかもしれないが、現実には容易ではない。一般の企業で就労するというのはかなりキビしいというのは実感です。健常者と障がい者、“障がい”というものがどういうものなのか全く理解していなかったのだなあと改めて感じています。すみません。余計なことだらだら書いてしまいました。
- ✓ デジタル障害者手帳マイロの認知度が低いかも。
- ✓ 障害年金の申請を簡素化していただきたい（国へ）。何回か行きましたが、当時の書類など提示されましたが、30年前も前の事なので、ありません。それから申請をしません。簡素化を希望します
- ✓ 今回の水害で水が迫っても、避難できず、子供と二人家で死ぬしかないのかと思った。（水が迫っている情報もなかった）近所の方が声をかけてくれて、3人で障害をもつ子供を2階に運んでくれた。普段の生活は援助を受け、介護者が働きにも出ていけるが、災害時は、孤立してしまう。災害時の支援を検討して頂きたい。医ケアを持つ障害児者が通えるサービスがまだまだ足りない。医ケアを持つ障害児者が安心して預けられるショートステイが足りない。
- ✓ ノーマライゼーション実現のためにインクルーシブ教育から行なっていただけるよう市教委と連携した取り組みを検討して下さい。大人になってからいきなり健常者と一緒というのは大変なことです。・都市部と違い、冬期間の積雪や公共交通機関の不足などで市民の8割が自家用車を移動手段としているというアンケート結果もあります。国の基準と合わないものは自治体独自の事業を特区等で是非行なって下さい。
- ✓ 災害時の避難場所について…うちの子は常にことばにならない声を出すので、回りに気を遣わなくてすむ部屋がほしい。・介護者が自身の健康に不安を感じたならば、早めに入所が可能になるといい。障がい軽い子が優先される傾向があるように思われる。重度の子も同等にお願いしたいし、重度の子の入所施設を作してほしい。

- ✓ 相談支援専門員増員。生活介護サービス提供の事業所を増やしてほしい。→自宅までの送迎確立してほしい。通所のための家族負担が大きい
- ✓ ホームページの情報更新が遅い←外部からチェックされているという視点がない。一般行政職（事務）の窓口対応一つとっても、当事者目線に立ったサービス（説明、言葉遣い、音量、表情）の質が低い。そもそも勉強していないから知識も専門性も足りていないし、本人がそれを自覚していないから、保健所窓口で横柄な態度をとれるのだと思う。市職員然り県職員然り障害者理解やD E & 1について自分事に落とし込んで働いている事務職に出会ったことがない。マニュアル通りの対応が罷り通る世界ではない。中核市がこれでは、秋田県の将来は不安しかない。
- ✓ 他の課でも様々な申請や更新手続きを簡潔にして頂きたい。（インターネット等）（個人情報に変更箇所のみ記入等）（診断書は他課とも共用してもらいたい）・職業訓練や作業所など未知の世界なので広報やSNSで紹介して欲しい。
- ✓ 特児扶養手当は医師の診断書に基づいているそうだが、医師によって差があるので統一して欲しい。3才半で歩けないのに2級になったり疑問がある。問い合わせたら県が発行してるものと言われたが、市民の声を届けて欲しい。・シングルで障がいがある子を育てていくのにとつともなく不安を感じる。
- ✓ 重度知的障害児の母です。現在は入所していますが家庭育児中は大変でした。家族が体調不良や急な用事があっても預け先がなくて追いつめられる。未就学時代は保育園の一時預りに何ヶ所も問い合わせしたがそもそも空きがないと断われ死にたくなかった。入所施設の一時利用も空きがないと利用できず、本当に困った時はどうしたらよいのか、相談先も分からず真っ暗やみの中にいるようでした。入所支援の枠をもっと広げて、支援の制度を知らずに追いつめられて死を考える人、虐待する人されることも助けてほしいです。私も知らずに死ぬところでした。2人で。
- ✓ 毎年更新しなければならぬ手続きをもっと簡素化してほしいです。今現在毎年福祉課と保健所で更新の手続きしていますが、1箇所でもできる窓口があればと思います。
- ✓ 秋田市で色々と事業を行っていると思いますが自分たちの所には届かない。話を聞いて、初めて知る事があったり、障害を持っている人には、秋田市で行っている事は、届けてほしい。そのような所が不親切だと思う。
- ✓ 仕事柄感じるのは、必要な人に必要な情報が届いているとは言い難いことです。解決策があるわけではないので、教育や福祉が連携して取り組んでいくしかないのだと思いますが…。情報の有無で得られる支援が違うのは残念。支援する側にかかっている部分も大きいので、お願いしたいし、自分も頑張りたい。
- ✓ 行政の担当者は人事異動で変わってしまう。いつでも担当が誰になっても同じ対応であってほしい。難しいでしょうが、願いです。
- ✓ 障害者＝支援される人ではありません。障害があってもできることはたくさんあって、障害によってできないことが（も）ある。何でもかんでも「できないから手伝う、支援する」ではなく、必要なことを支援すればいいのではと思う。中途の障害者も先天性の障害者も自己肯定感が低いです。障害のためにできないこと、配慮が必要なことは絶対にありそれは仕方ない。でも、過度な配慮や「できない」と決めつけられて、仕事等を与えられないことも、辛いです。どうやったらできるか（何があればできるか）を考えて、もしくは本人に確認して、仕事等を任せてもらえれば、winwinなのではないかと思います。
- ✓ 道路・歩道をすべてバリアフリーにしてほしい（店の入口とかも）
- ✓ B型作業所で、利用者の作業レベルに合った仕事を探しても無いらしく、工賃UPに全くつながらずです。・自立医療など、市県国の制度の有効期限が切れることを覚えておくことができないから、障害者なのに、通知が来なくて、よく、期限切れになる。申請書等も、どこに何とかか、どの申請だと、障害者年金・就労工賃が収入になり、課税・非課税も区別がわかりにくい。市県民税が非課税。

国民健康保険税が課税（2種あることを、4月まで知り得なかった

IV 調査結果(特別支援学校生徒)

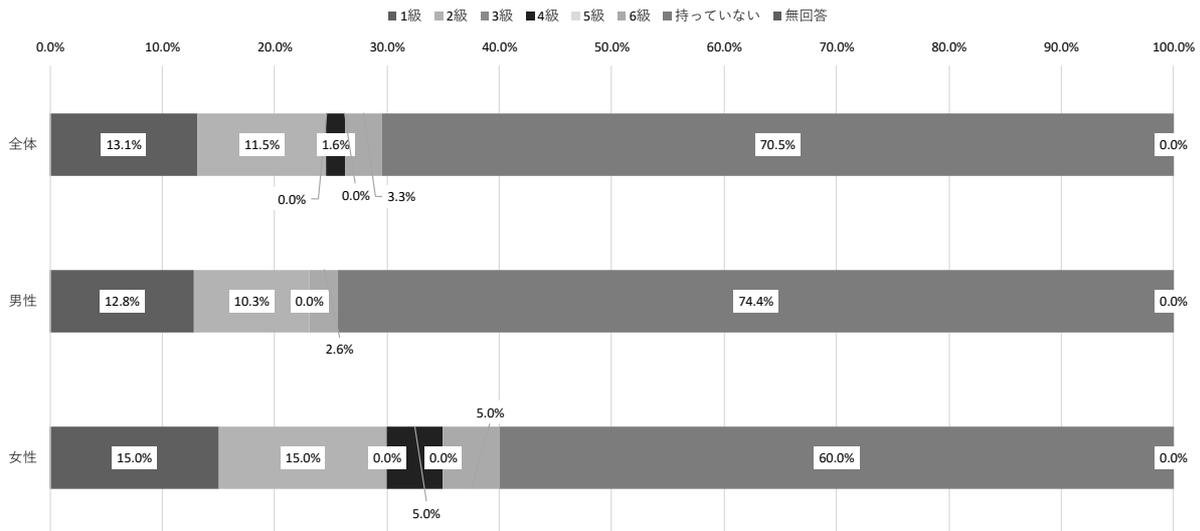
障がいの状況について

問 5. あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

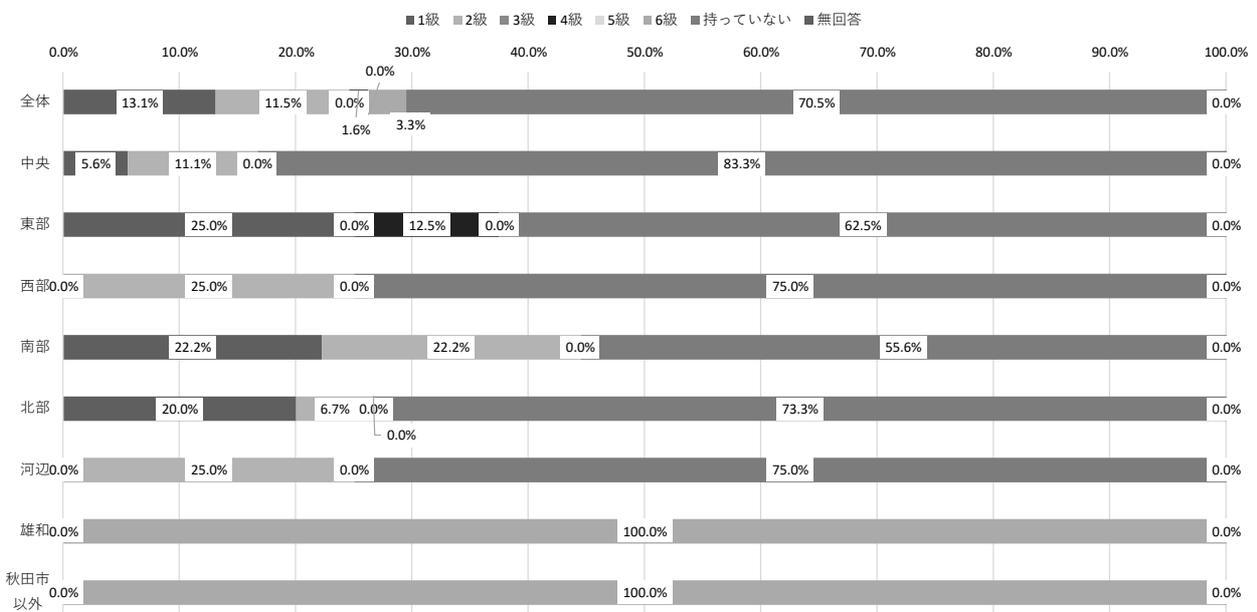
全体では、「持っていない」が70.5%で最も高く、次いで「1級」が13.1%、「2級」が11.5%であった。

性別では、「持っていない」は女性よりも男性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】(全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)



問 6. 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。

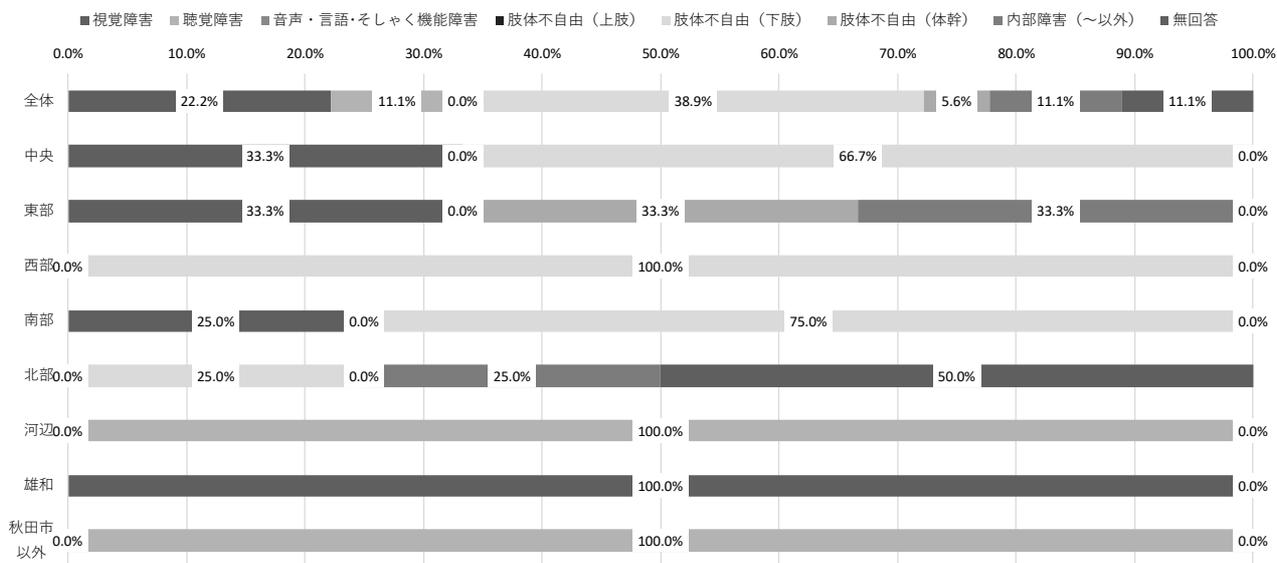
全体では、「肢体不自由（下肢）」が 38.9%で最も高く、次いで「視覚障害」が 22.2%であった。

性別では、「視覚障害」は女性よりも男性の方が高くなった。

【性別】（全体 N=18、男性 N=10、女性 N=8）



【地域】（全体 N=18、中央 N=3、東部 N=3、西部 N=1、南部 N=4、北部 N=4、河辺 N=1、雄和 N=1、秋田市以外 N=1）

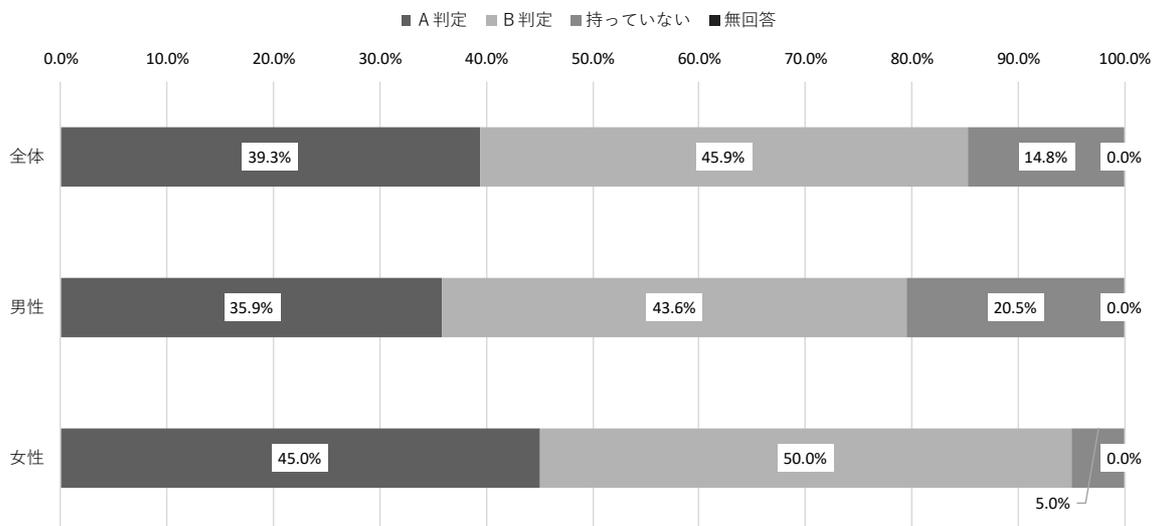


問7. あなたは療育手帳をお持ちですか。

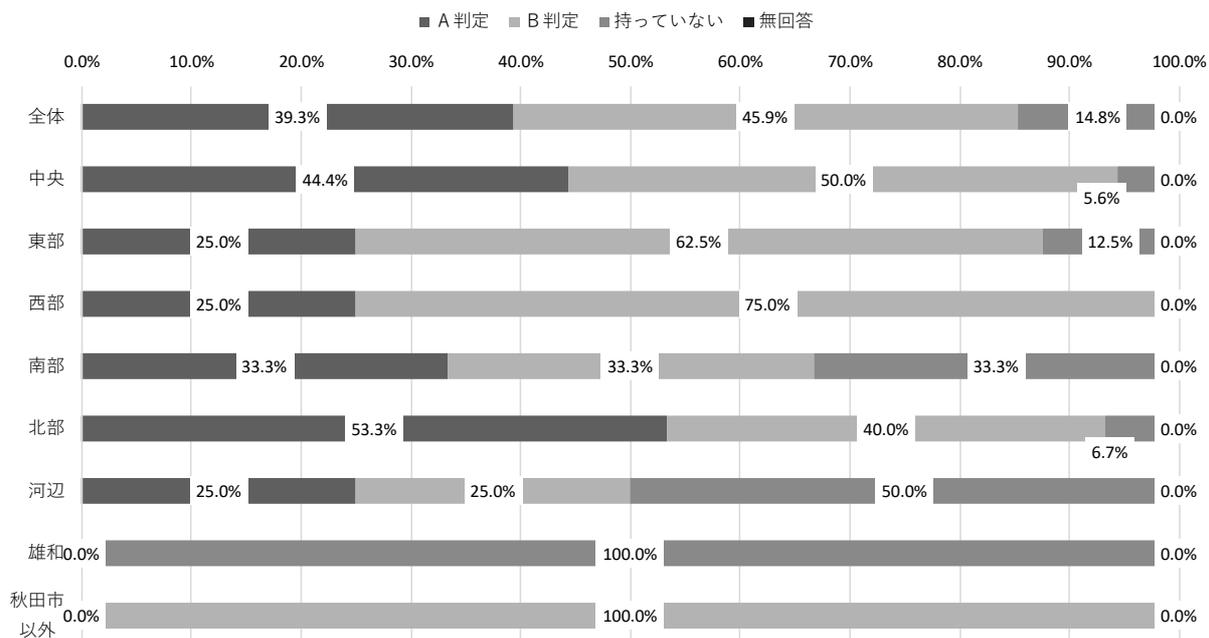
全体では、「B判定」が45.9%で最も高く、次いで「A判定」が39.3%であった。

性別では、「A判定」が男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】(全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)

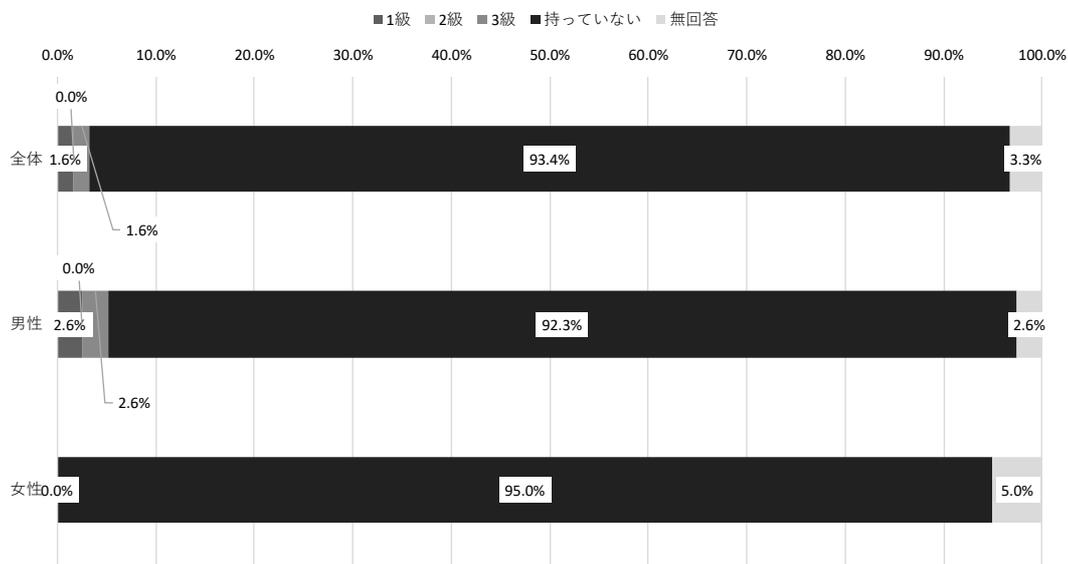


問 8. あなたは精神障害者保険福祉手帳をお持ちですか。

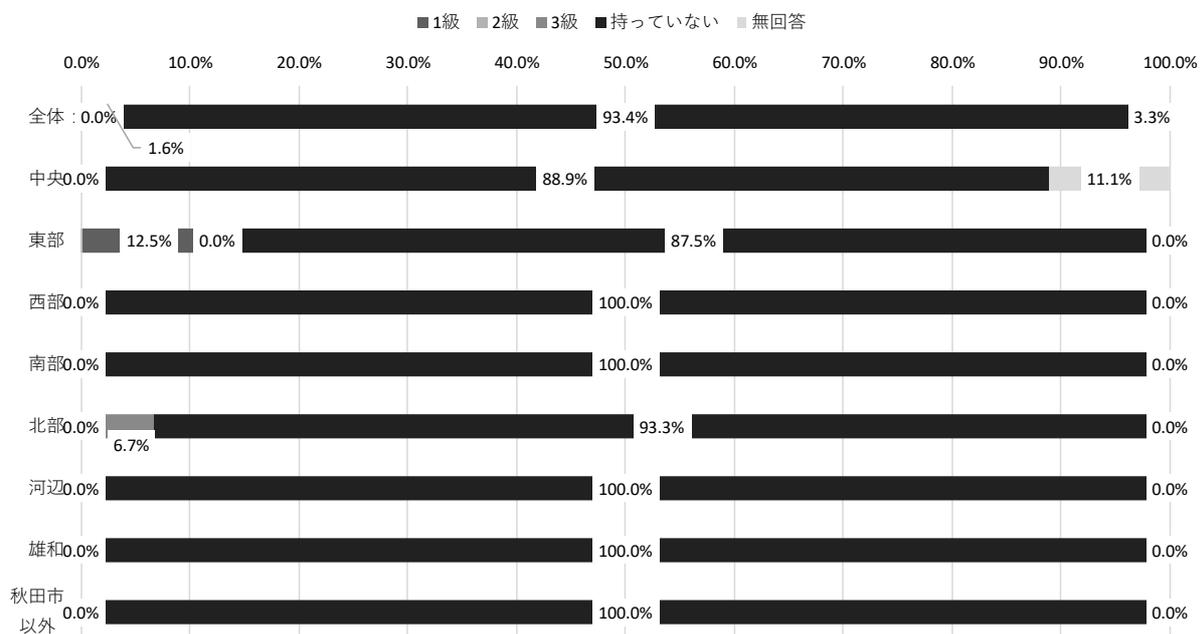
全体では、「持っていない」が93.4%で最も高く、次いで「1級」「3級」が1.6%であった。

性別では、「持っていない」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】(全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)

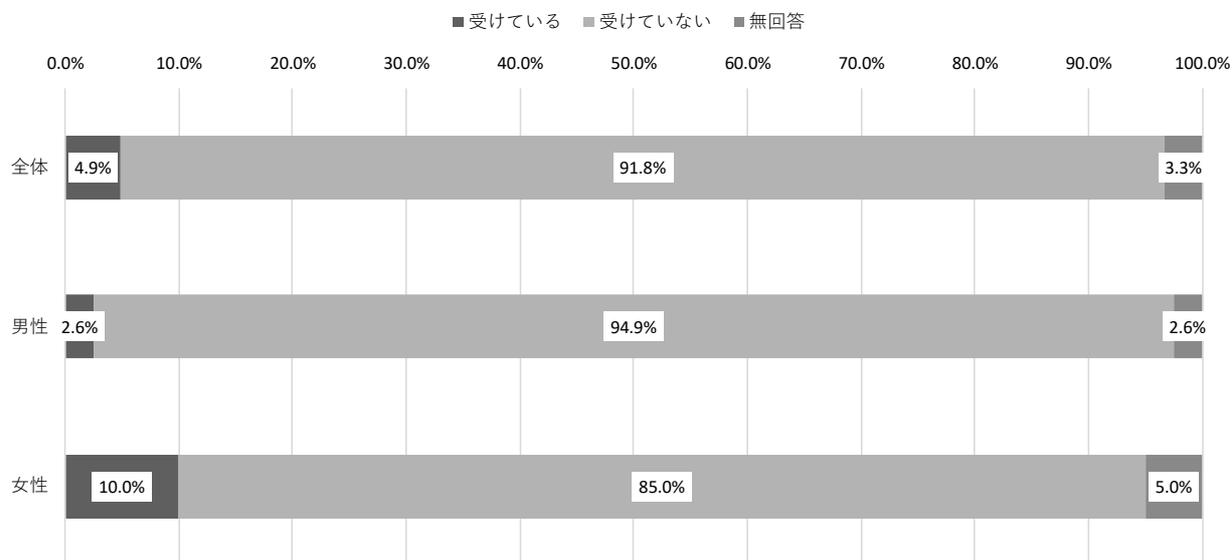


問9. あなたはパーキンソン病や筋ジストロフィーなどの指定難病の認定を受けていますか。

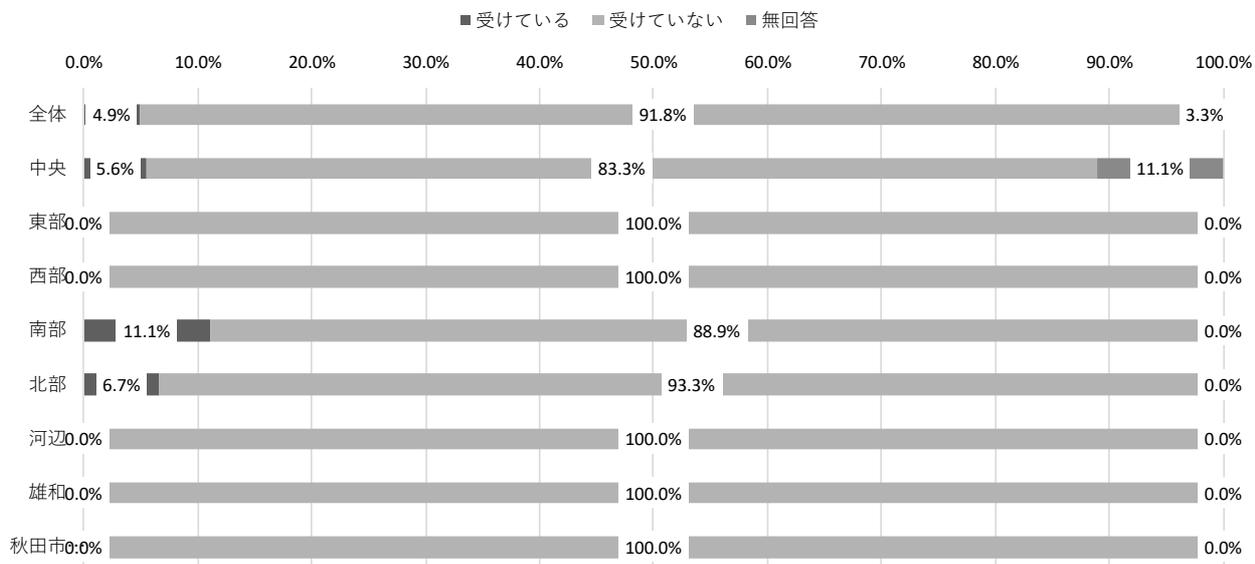
全体では、「受けていない」が91.8%で最も高く、次いで「受けている」が4.9%であった。

性別では、「受けている」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】 (全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】 (全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)

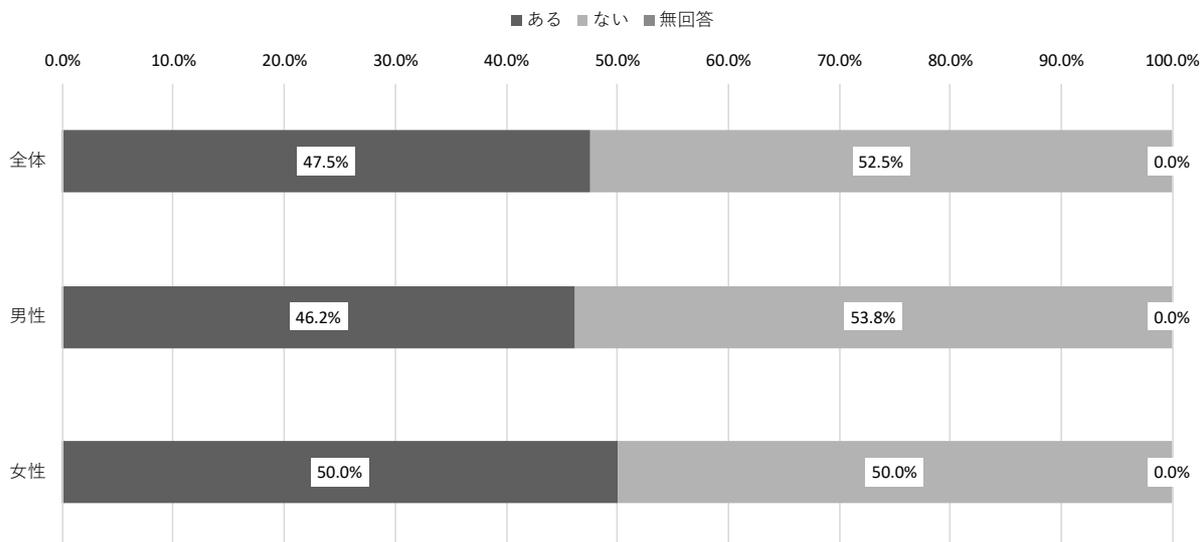


問 10. あなたは発達障がいと診断されたことがありますか。

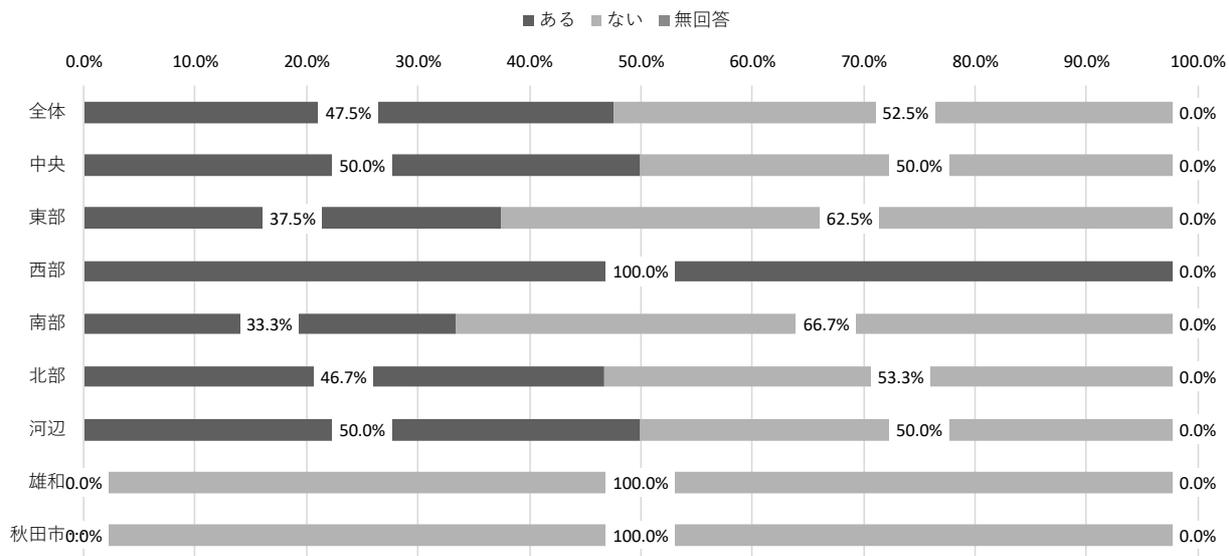
全体では、「ない」が 52.5%で最も高く、次いで「ある」が 47.5%であった。

性別では、「ある」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】 (全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】 (全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)

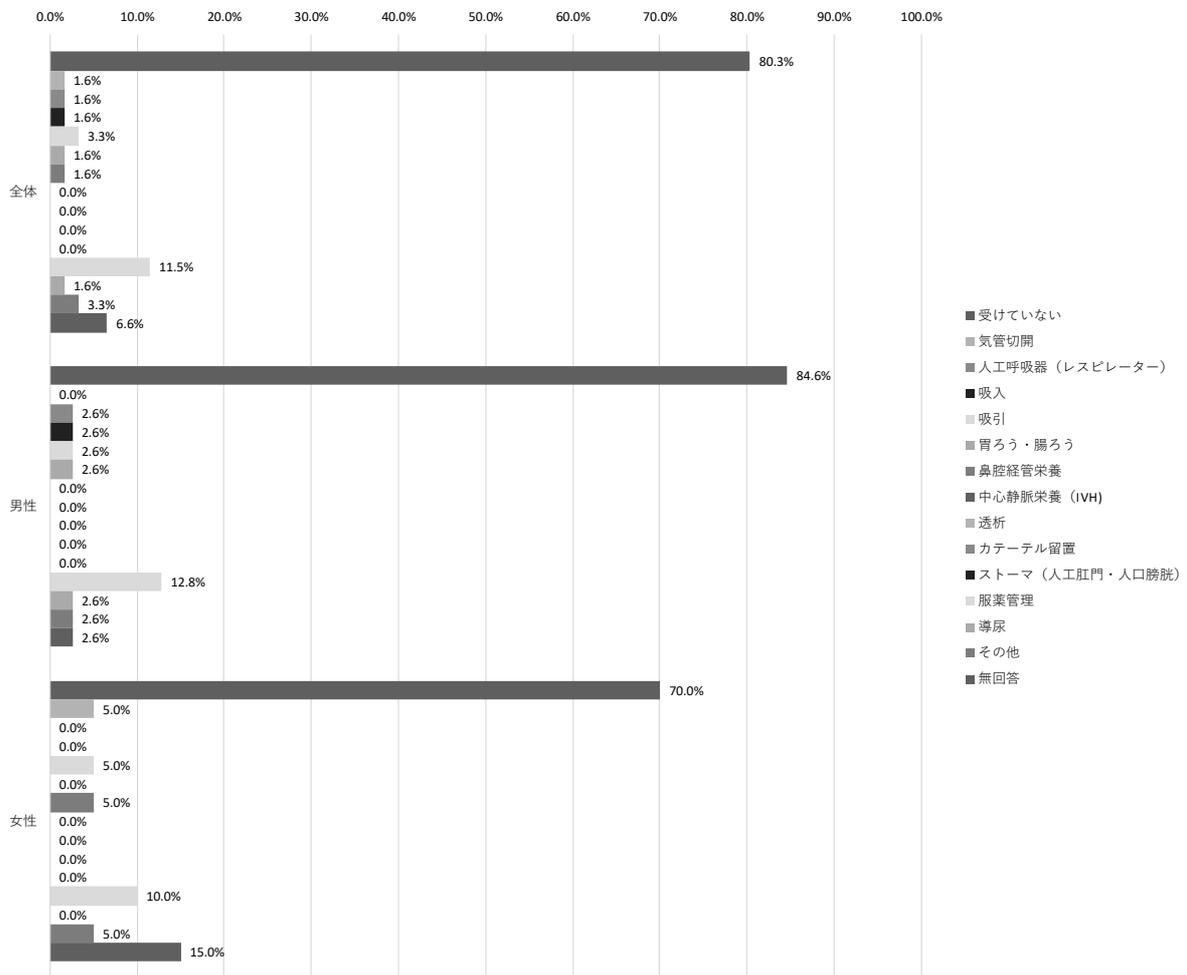


問 1 1. 現在、受けている医療ケアの内容をお答えください。

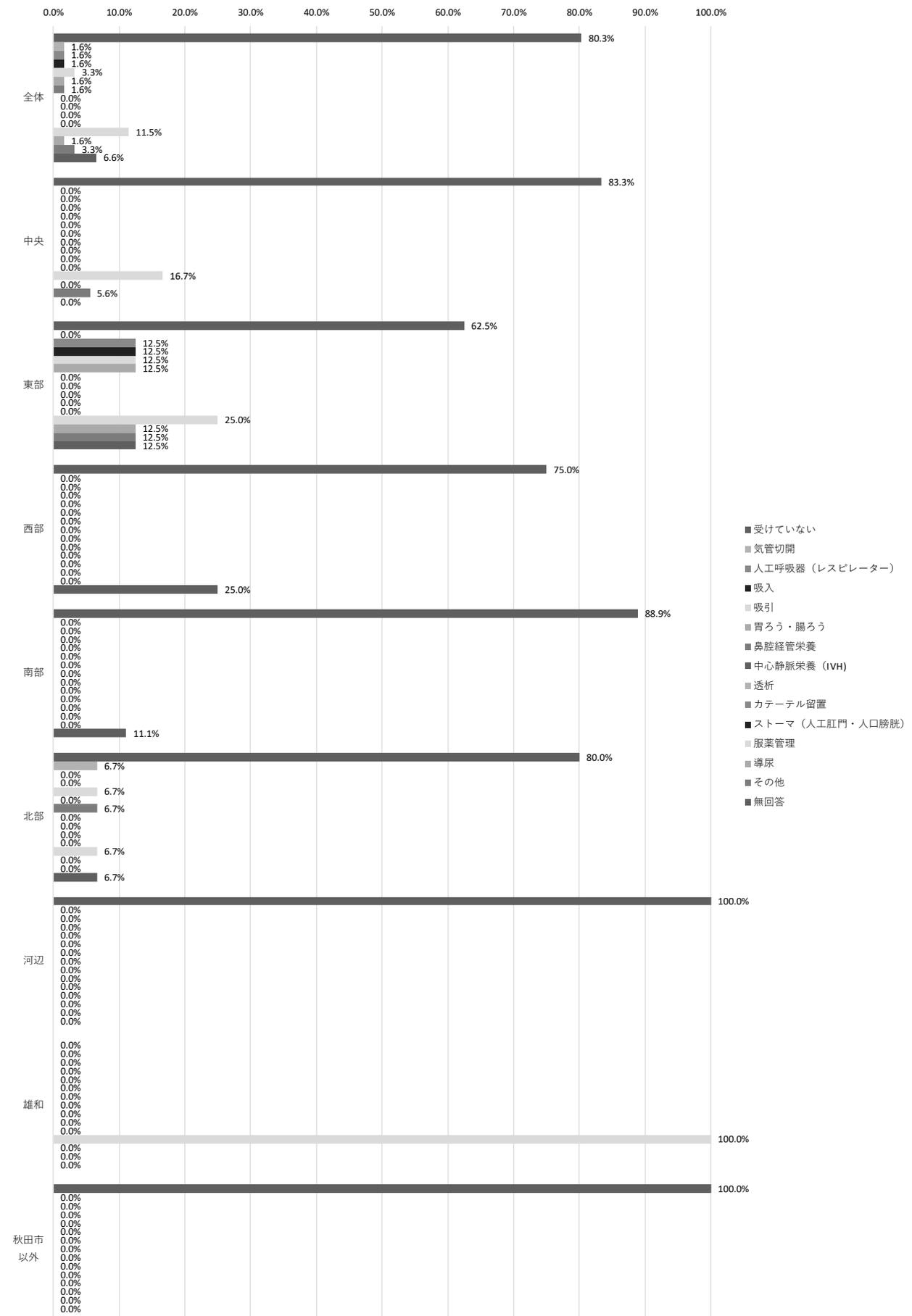
全体では、「受けていない」が 80.3%で最も高く、次いで「服薬管理」が 11.5%であった。

性別では、「受けていない」が女性よりも男性の方が高くなった。

【性別】 (全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】(全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)



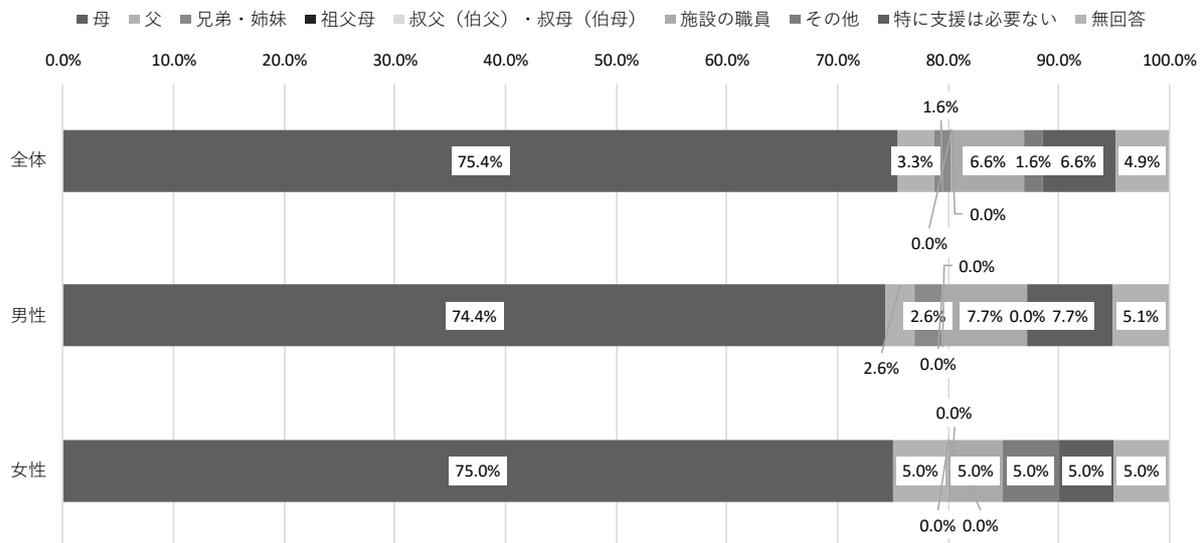
暮らしについて

問 1 2. 日頃、生活で支援が必要な場合、あなたを援助（声かけやうながし）・介助してくれる方は主に誰ですか。

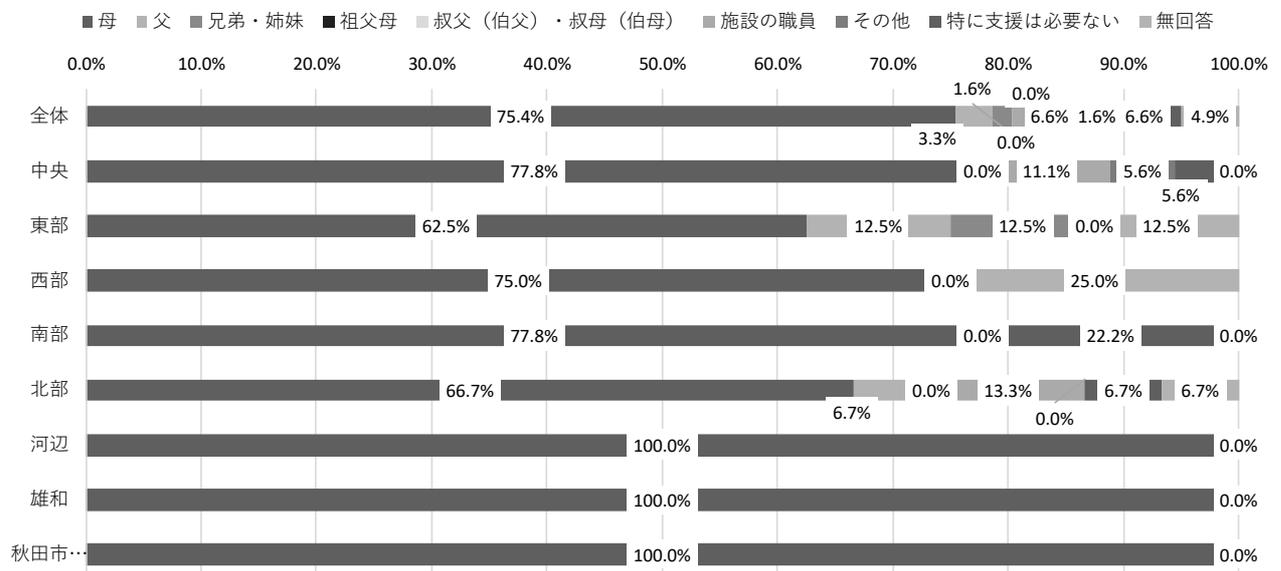
全体では、「母」が 75.4%で最も高く、次いで「施設の職員」「特に支援は必要ない」が 6.6%であった。

性別では、「母」は男性よりも女性の方がわずかに高くなった。

【性別】（全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20）



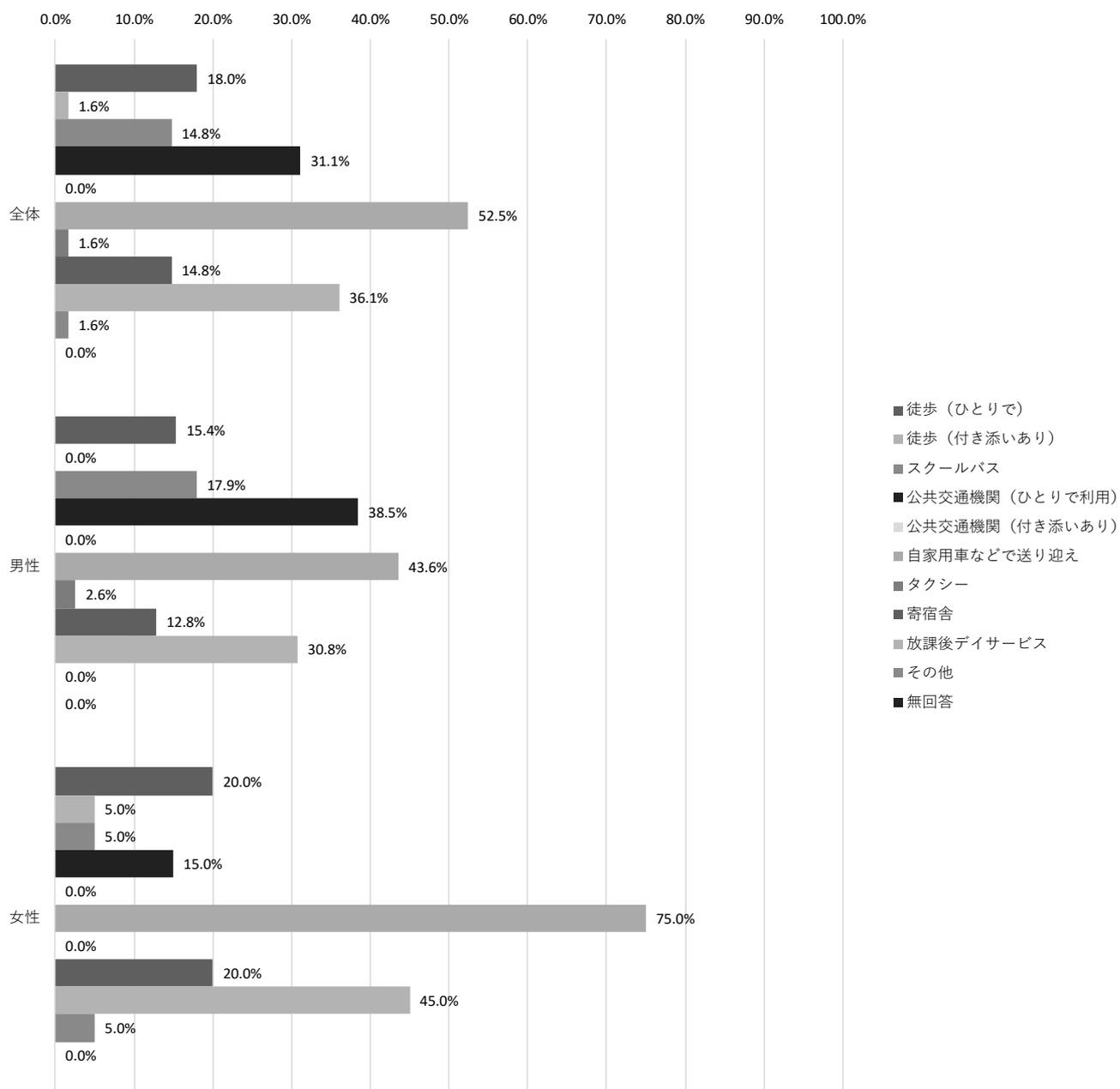
【地域】（全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1）



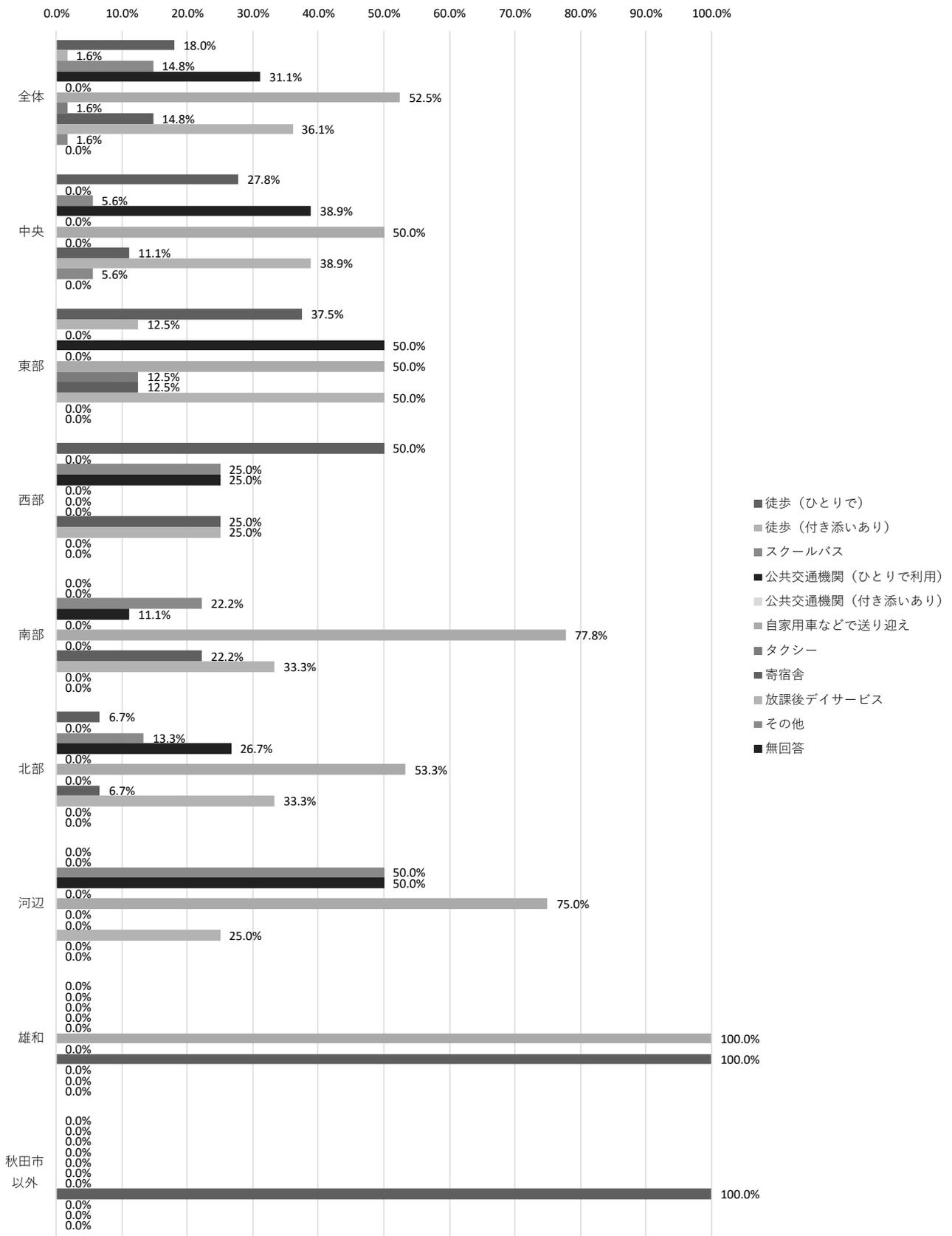
問 13. あなたは、どのような手段で通学していますか。

全体では、「自家用車などで送り迎え」が 52.5%で最も高く、次いで「放課後デイサービス」が 36.1%であった。
性別では、「自家用車などで送り迎え」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】 (全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】(全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)

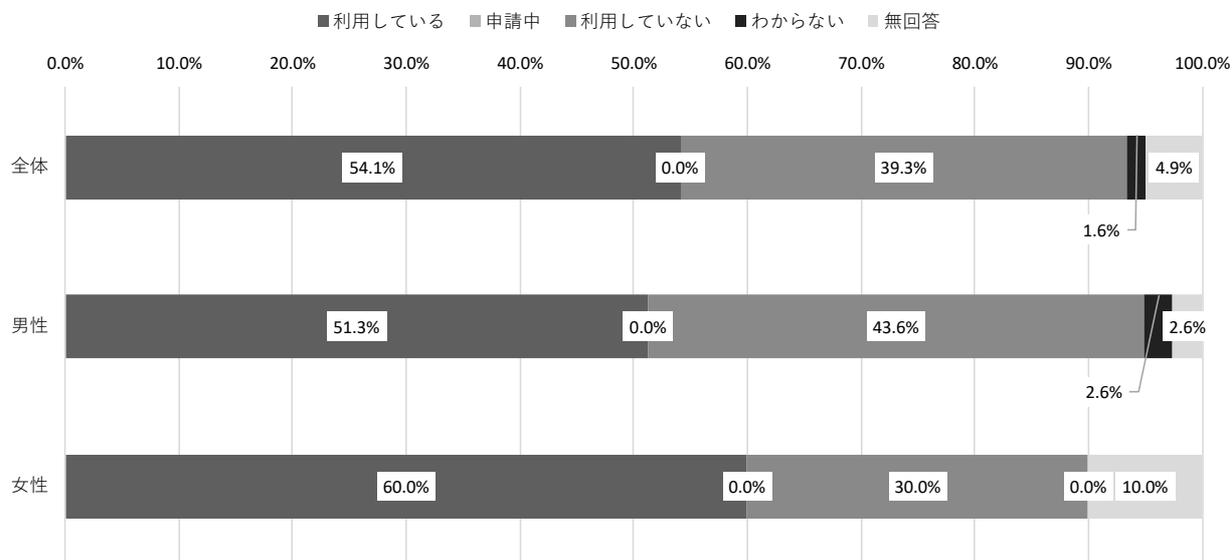


問 1 4. あなたは障害福祉サービスなどを利用していますか。

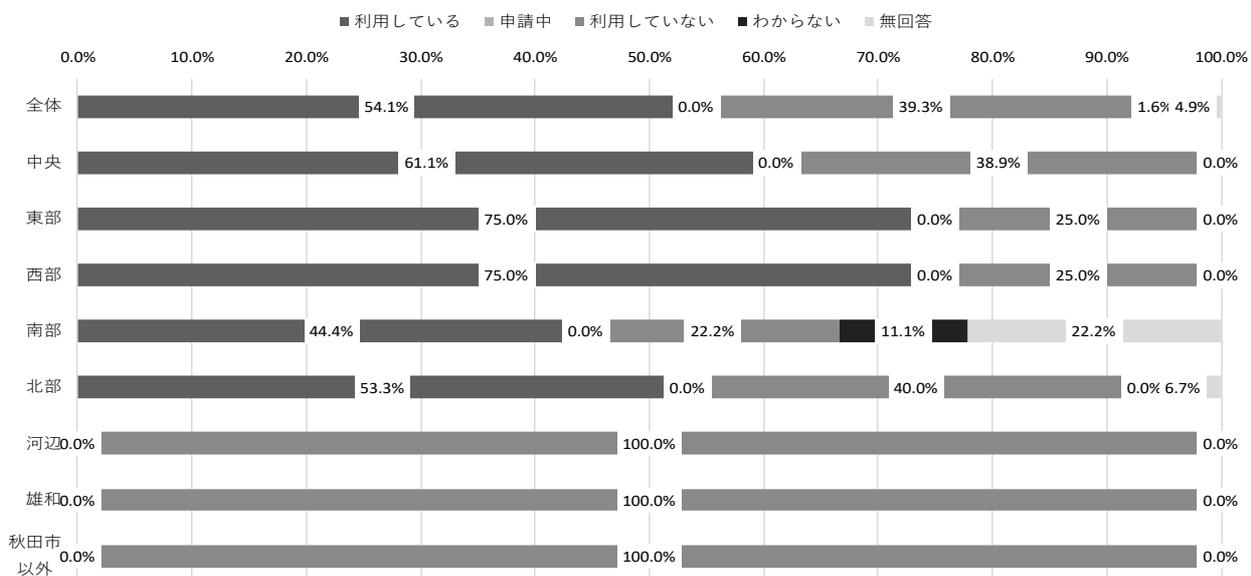
全体では、「利用している」が 54.1%で最も高く、次いで「利用していない」が 39.3%であった。

性別では、「利用している」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】 (全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】 (全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)



問 15. あなたは、次の表にある (1) から (7) までの障害福祉サービスなどを利用していますか。また今後利用したいと考えていますか。

①現在の利用状況（利用している方のみ）

②現在利用している場合の利用量（利用している方のみ）

③今後の利用希望（今の利用を続けたい、またはこれから使いたいかどうか）（全員）

障がい福祉サービスの内容		全体	性別		地域								
			男性	女性	中央	東部	西部	南部	北部	河辺	雄和	秋田市以外	
			「現在」のN	39	20	18	8	4	9	15	4	1	1
		「今後」のN	37	18	18	8	4	6	14	4	1	1	
(1) 居宅介護（ホームヘルプ）	現在	①利用状況	3.5%	2.7%	5.6%	0.0%	12.5%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	1.8%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	11.5%	12.8%	10.0%	11.1%	25.0%	25.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
(2) 短期入所（ショートステイ）	現在	①利用状況	8.8%	8.1%	11.1%	11.1%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	7.0%	5.4%	11.1%	11.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	36.1%	28.2%	50.0%	44.4%	50.0%	25.0%	22.2%	26.7%	50.0%	0.0%	0.0%
(3) 日中一時支援（短期入所型）	現在	①利用状況	10.5%	8.1%	16.7%	16.7%	12.5%	0.0%	0.0%	7.1%	25.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	8.8%	5.4%	11.1%	11.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	3.5%	2.7%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	21.3%	17.9%	30.0%	22.2%	25.0%	0.0%	33.3%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%
(4) 日中一時支援（放課後支援型）	現在	①利用状況											
		②利用量1 少ない											
		②利用量2 ちょうど良い											
	今後	②利用量3 多い											
		③利用希望	8.2%	5.1%	15.0%	11.1%	12.5%	0.0%	11.1%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
(5) 放課後等デイサービス	現在	①利用状況	54.4%	48.6%	66.7%	61.1%	62.5%	75.0%	66.7%	42.9%	25.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	7.0%	5.4%	11.1%	11.1%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	36.8%	40.5%	33.3%	33.3%	37.5%	50.0%	50.0%	42.9%	25.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	10.5%	5.4%	22.2%	16.7%	12.5%	0.0%	16.7%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	24.6%	28.2%	20.0%	27.8%	25.0%	50.0%	11.1%	26.7%	25.0%	0.0%	0.0%
(6) 移動支援	現在	①利用状況	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	19.7%	23.1%	15.0%	33.3%	25.0%	25.0%	11.1%	6.7%	0.0%	100.0%	0.0%
(7) 医療型児童発達支援	現在	①利用状況	3.5%	5.4%	0.0%	5.6%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量1 少ない	3.5%	5.4%	0.0%	5.6%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		②利用量2 ちょうど良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	今後	②利用量3 多い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		③利用希望	8.2%	7.7%	10.0%	22.2%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

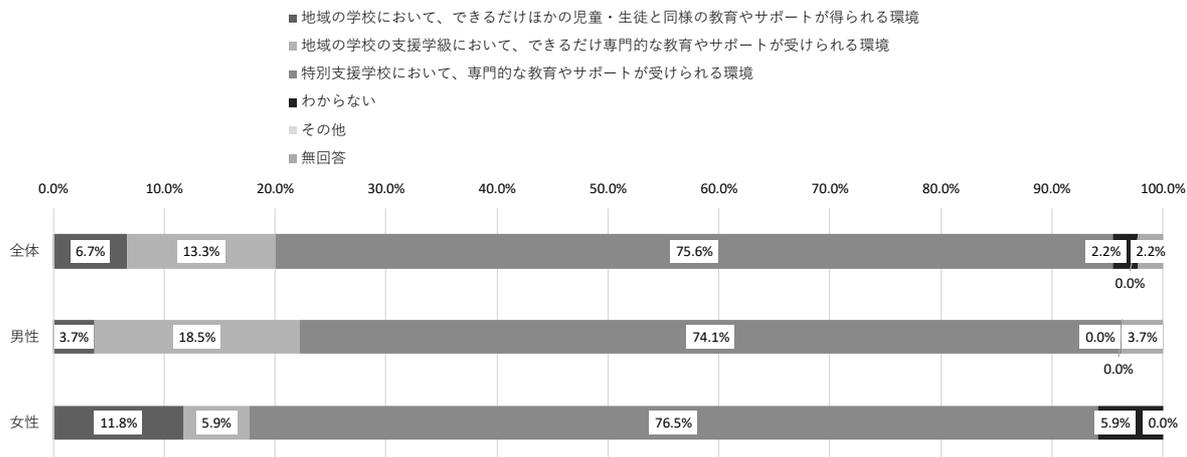
教育について

問 16. 望ましい就学環境はどのような環境だと思いますか。

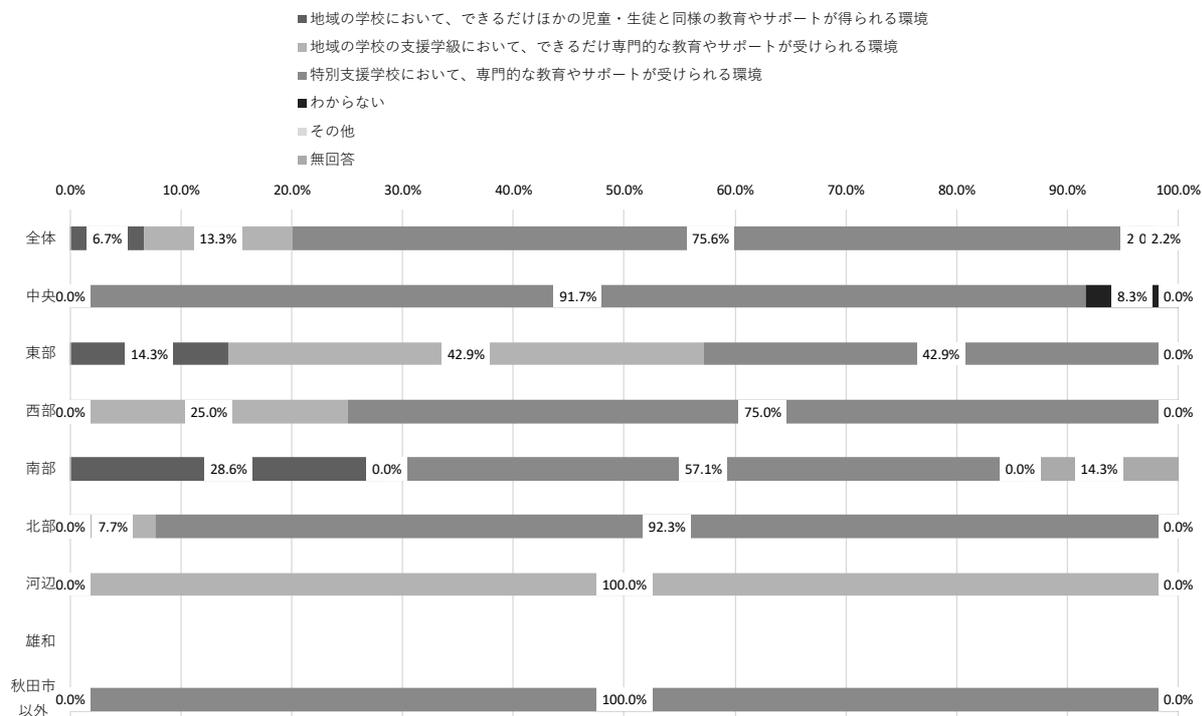
全体では、「特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境」が 75.6%で最も高く、次いで「地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが受けられる環境」が 13.3%であった。

性別では、「地域の学校において、できるだけほかの児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=45、男性 N=27、女性 N=17)



【地域】(全体 N=45、中央 N=12、東部 N=7、西部 N=4、南部 N=7、北部 N=13、河辺 N=1、雄和 N=0、秋田市以外 N=1)



問 17. 現在通っている学校での生活で困っていることがありましたら、ご記入ください。

回答結果：

- ✓ 今現在では生活で困っている事はないように見える。支援学校の高等部 1 年になり、本人も将来どうしたいか考える事が多くなった。不安もあるようだ。支援学校の高等部卒業後は一般就労を目指しているが、「進学」という選択肢が困難な状況。障害があっても進学できるような環境があれば良いと感じる。
- ✓ 自分には先生がいつもついてくれていて助かっていますが、そのせいで他のお友達に先生がついてあげられない時もある。今は高等部ですが、小中学部の時も先生の数が足りなかった。規定人数より多く先生がいると言っていたが、規定とかではなく支援を必要としている生徒数にあわせてほしいです。
- ✓ 障害の重い生徒を見れる先生が少ないです。障害の軽い生徒と重い生徒がいるので、修学旅行などは行き先をわけてほしいです。1 団体として行動をするのは無理があります。
- ✓ (親の視点から…) 息子は字が書けません。母が記入しております…。息子のように重度の自閉症、知的障害がある子は、少数ですが、すごい生徒数が増え、何となく、色々なニーズが増え、息子のようなタイプの子の対応が色々な面で手薄になっているように思います。進路先も一般就労ばかり目指しているように感じます。学校を分けるのは難しいのでしょうか？
- ✓ スクールバスが基本的に中学部までしか使えない事
- ✓ ●●学校高等部 1 年の娘がいるのですが、高等部に入ったらスクールバスを利用できないと言われ、毎朝自家用車で学校まで送っています。遠方のため、毎朝片道 40 分の往復が大変なので、スクールバスを利用させて欲しいです。路線バスを利用しようと思ったのですが、ダウン症、心臓病もあり、体力的（座るために早くバス停に行ったり、暑い中寒い中ずっとバス停で重い荷物（デイの着がえや、週始めは体育着、作業着の荷物が重かったり）を持って立って待つのはきつい）にもきびしいです。本当にスクールバスを利用させて欲しいです。冬期は中心部を通るため、大渋滞にまきこまれ、車の運転に自信もないため、寄宿舍（本人は嫌がる）か、短期入所（●●学園に相談中です）を検討している所です。スクールバスが利用できればその必要もないのですが…
- ✓ 通学の送迎が大変になってきている。
- ✓ 学校からの呼び出し、連絡が多く、仕事をしたくてもできない状況です。子供の体調が不安定というのが大きいので仕方ないのかな？と思いつつも、どうかしたいです。自分の受診など時間のかかる用事なども予定しにくい。
- ✓ 高校生になるとスクールバスが使えないので毎日送り迎えが必要。
- ✓ 寄宿舍の利用をすすめられたのに、自立してないのでダメといわれた。最初からわかってる事だったと思って…ショックだった。バスの本数が少なく、移動が困難。マイクロバス。
- ✓ 親の出番が何かと多く感じる。毎日の送迎でも負担なのにその他学校に行く行事が多く感じる。人数が少ない為出席が半強制的のように感じる。とにかく休みが多い。普通の学校に比べて夏休みも多く、コロナの時は頻繁に急に休校になりデイにも行けず…親の介護が増える。(日中はほぼ母親 1 人で介助) これで働くのは無理。1 日が学校の行事等で終わる事もある。
- ✓ 私が体調が悪い時など、学校に登校させる事が出来なくなる。(スクールバスの場所まで、つれていけない)
- ✓ 学びの場なのは分かりますが、その前に日常生活の支援をしっかりとしてほしい。排せつ。食事。高等部になったら車イスからおろしてもらい体を休める時間も入学時つくってもらえなかった。学年が上っても障がいは変わりません。
- ✓ 先生の言葉・対応がひどすぎることもあり子供が萎縮してしまって、身体に影響がでてしまい困っています。
- ✓ 友達にいじわるされた時にいやと言えない事。

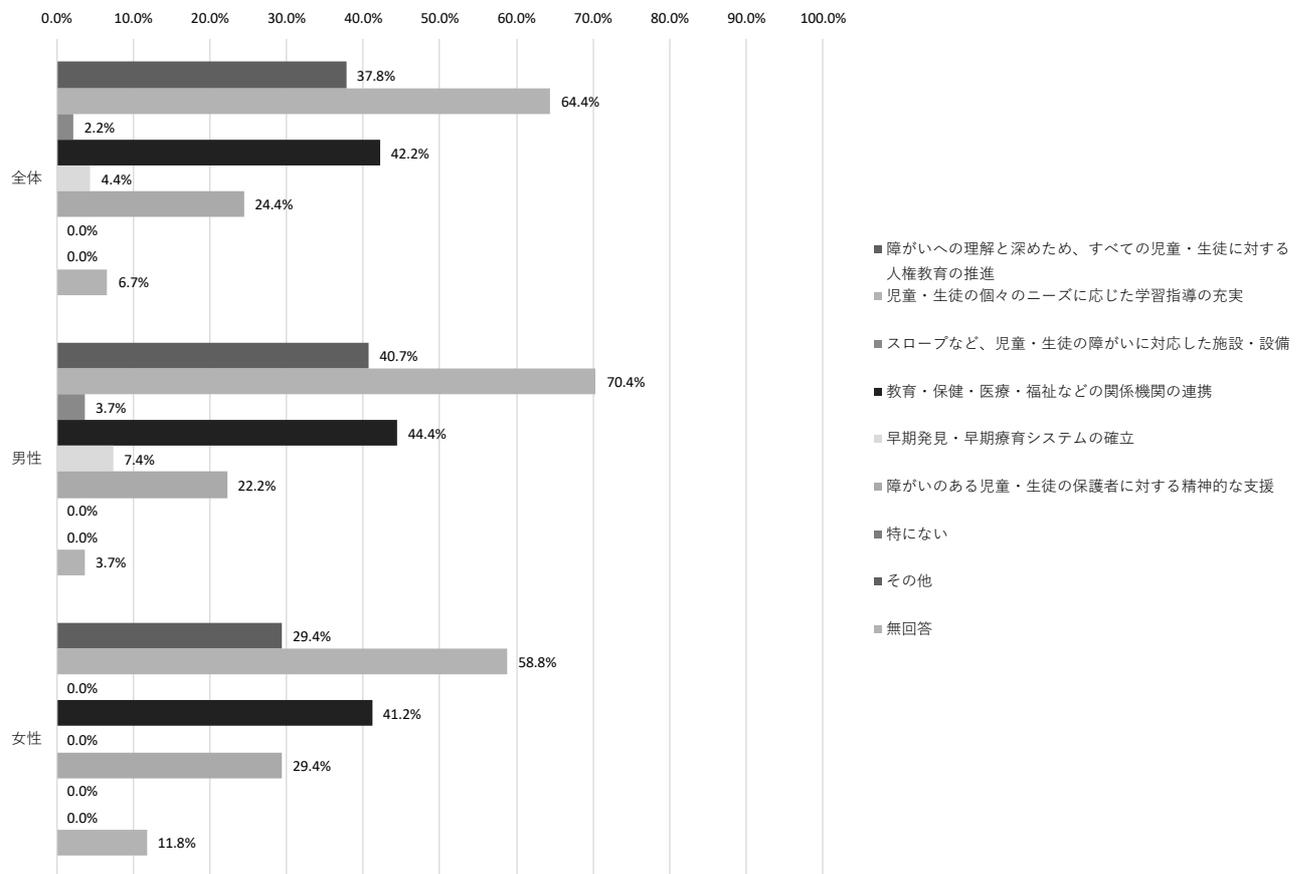
- ✓ (パニックになった時の友達に) つねられたりするから、その時にいやと言えない事。
- ✓ 寄宿舍で、自分の気に入るおかしがなくて、ティータイムのおやつを抜きにしています。(子供なのに) がまんをしている所がある。
- ✓ 寄宿舍で、なかなか一人になって、心を落ちつける所がない所。一人になって心を落ち着かせることが出来たらと思っています。(嫌な事があった時に) そんな部屋が1つでもあればいいなと思っています。

問 18. 障がいのある児童・生徒の教育・育成に関して、どのようなことが必要であると思いますか。

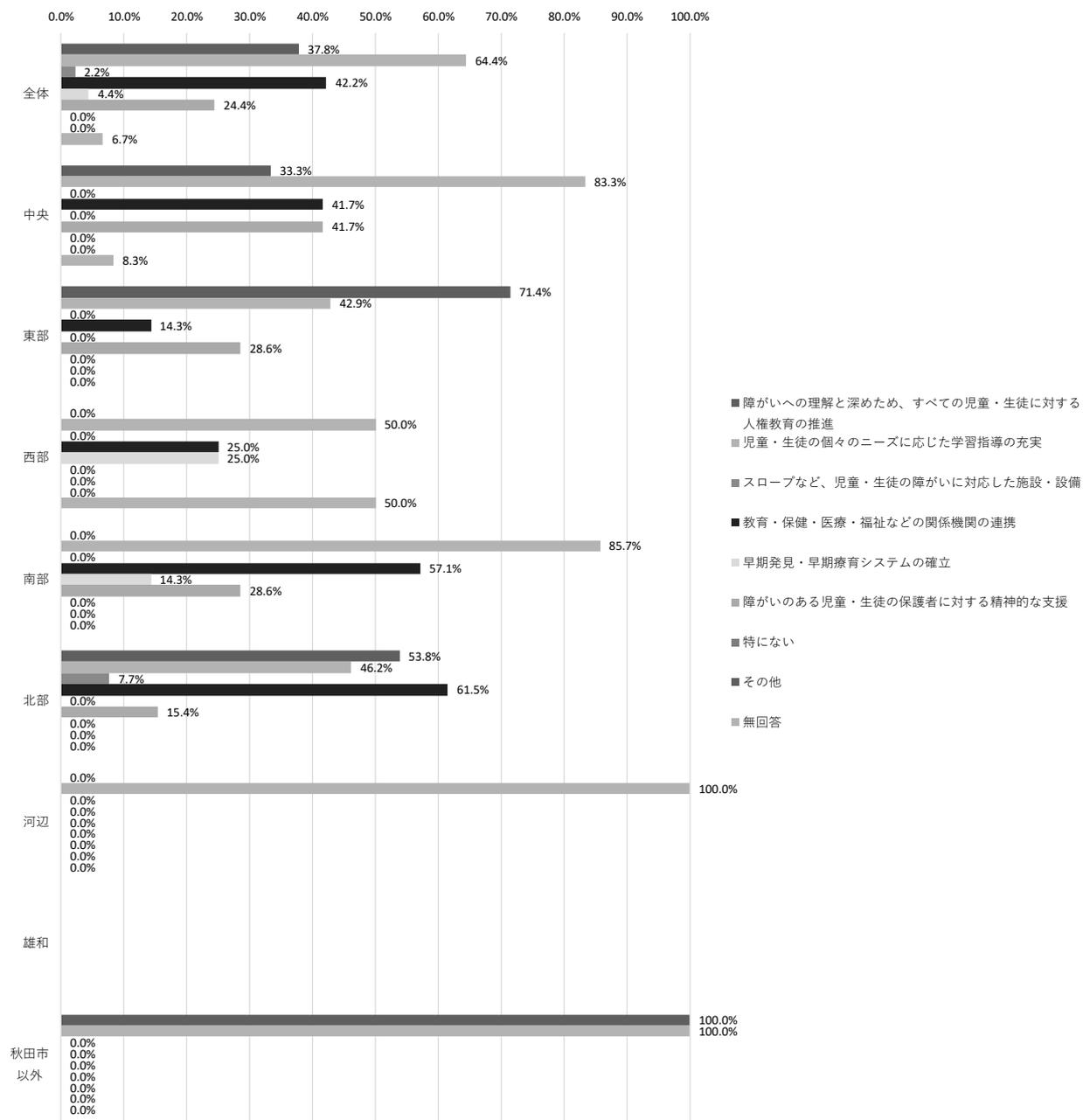
全体では、「児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実」が 64.4%で最も高く、次いで「教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携」が 42.2%であった。

性別では、「児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実」は女性よりも男性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】(全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)



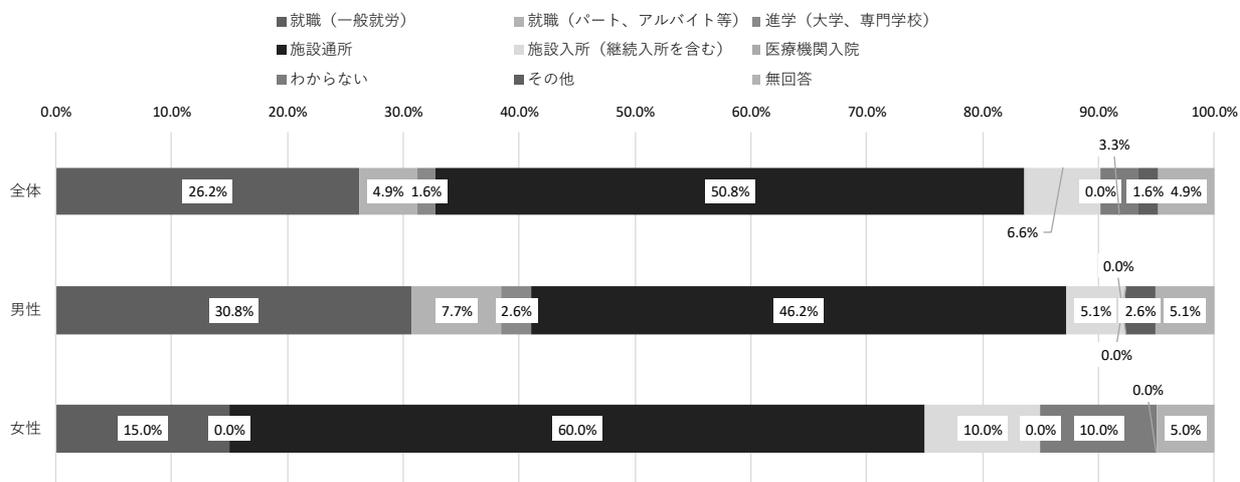
卒業した後について

問 19. あなたは、高等部を卒業した後、どのような進路を考えていますか。

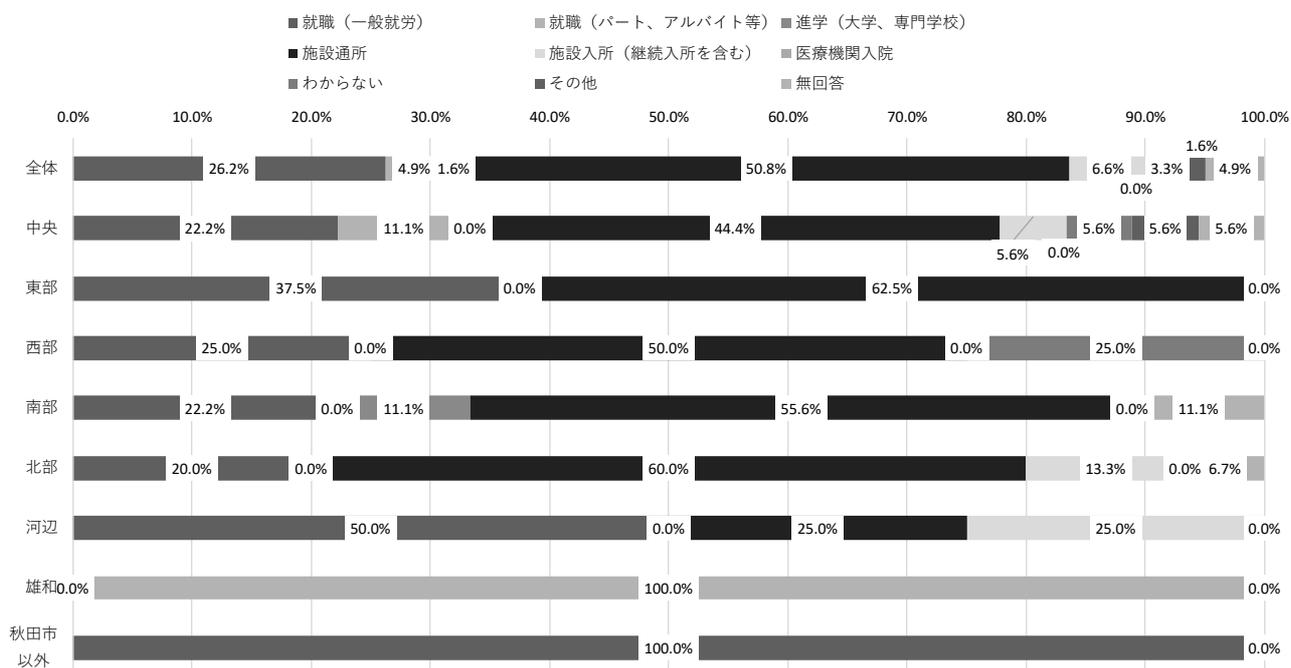
全体では、「施設通所」が 50.8% で最も高く、次いで「就職（一般就労）」が 26.2% であった。

性別では、「施設通所」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】（全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20）



【地域】（全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1）

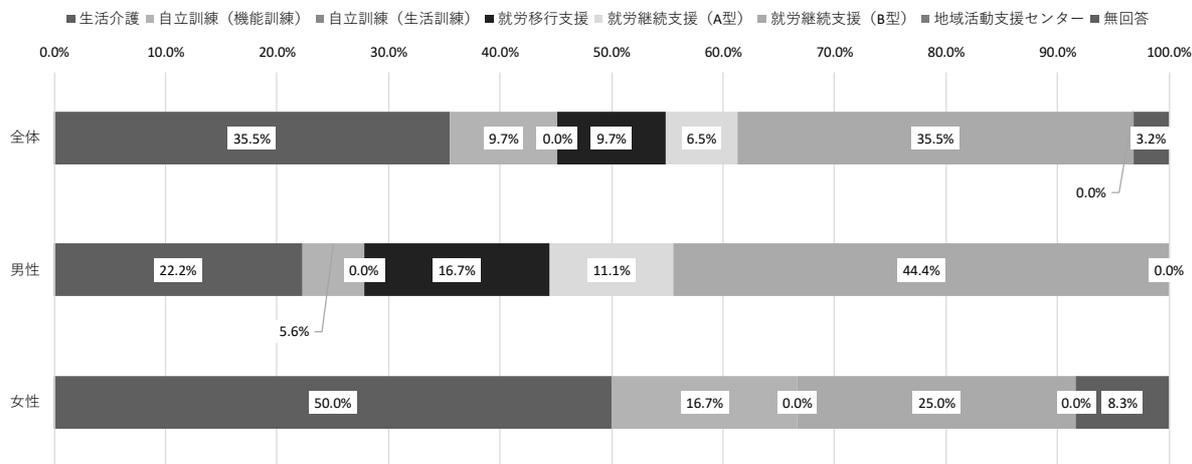


問20. (問19で「4 施設通所」を選んだ方) 利用したいサービスはどれですか。

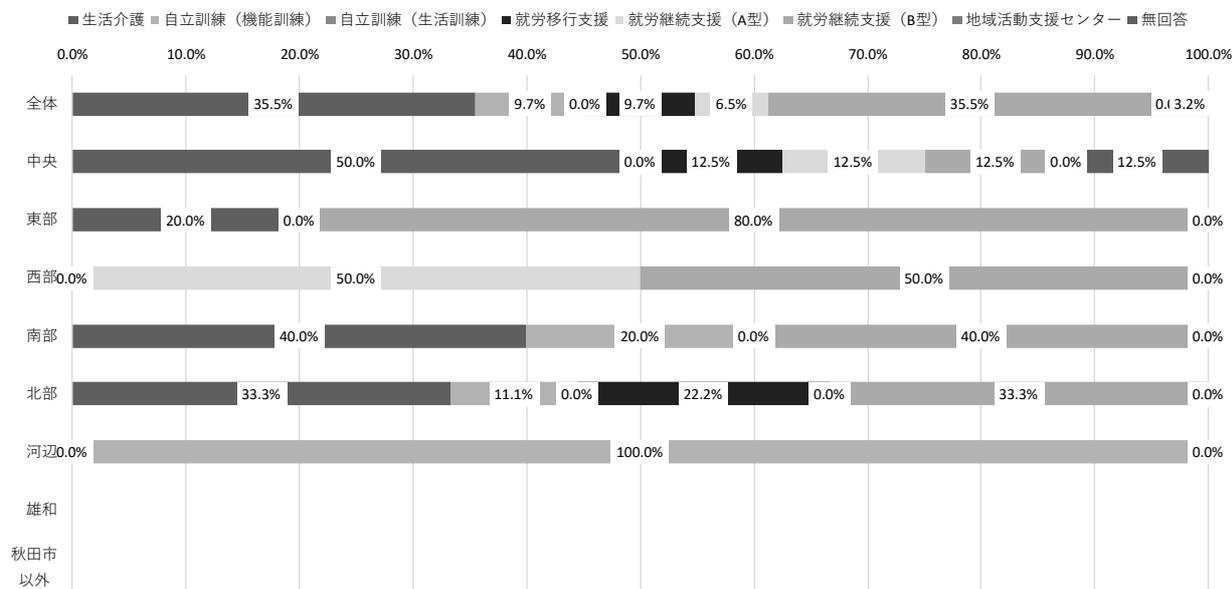
全体では、「生活介護」「就労継続支援（B型）」が35.5%で最も高く、次いで「自立訓練（機能訓練）」「就労移行支援」が9.7%であった。

性別では、「生活介護」は男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】（全体 N=31、男性 N=18、女性 N=12）



【地域】（全体 N=31、中央 N=8、東部 N=5、西部 N=2、南部 N=5、北部 N=9、河辺 N=1、雄和 N=0、秋田市以外 N=0）

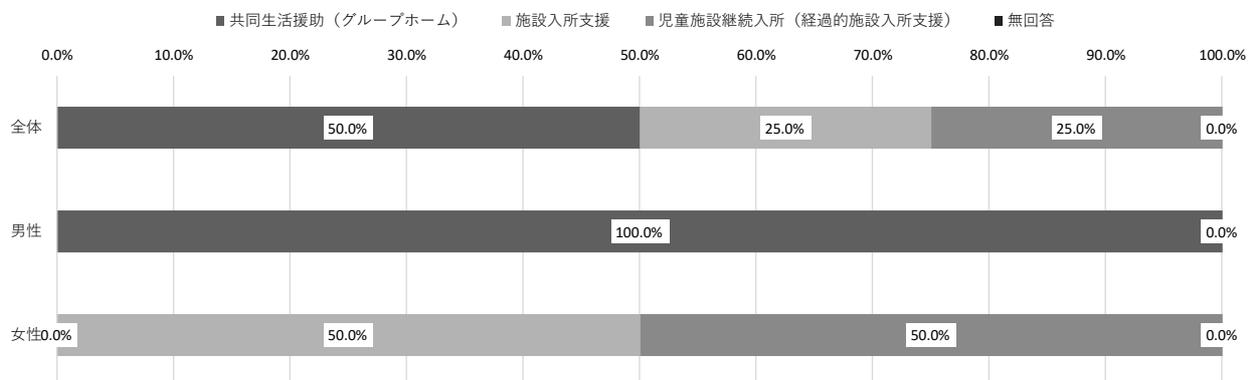


問 2 1. (問 1 9で「5 施設入所」を選んだ方) 利用したいサービスはどれですか。

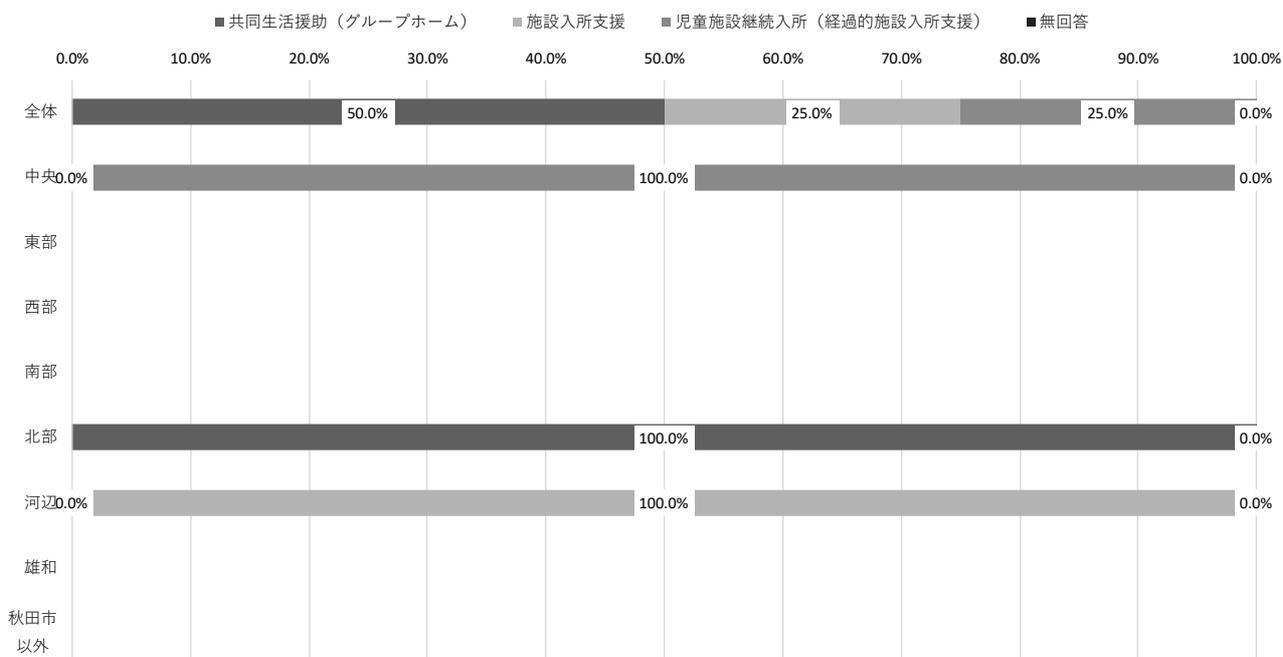
全体では、「共同生活援助（グループホーム）」が 50.0%と過半数を占めた。

性別では、「共同生活援助（グループホーム）」は女性よりも男性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=4、男性 N=2、女性 N=2)



【地域】(全体 N=4、中央 N=1、東部 N=0、西部 N=0、南部 N=0、北部 N=2、河辺 N=1、雄和 N=0、秋田市以外 N=0)

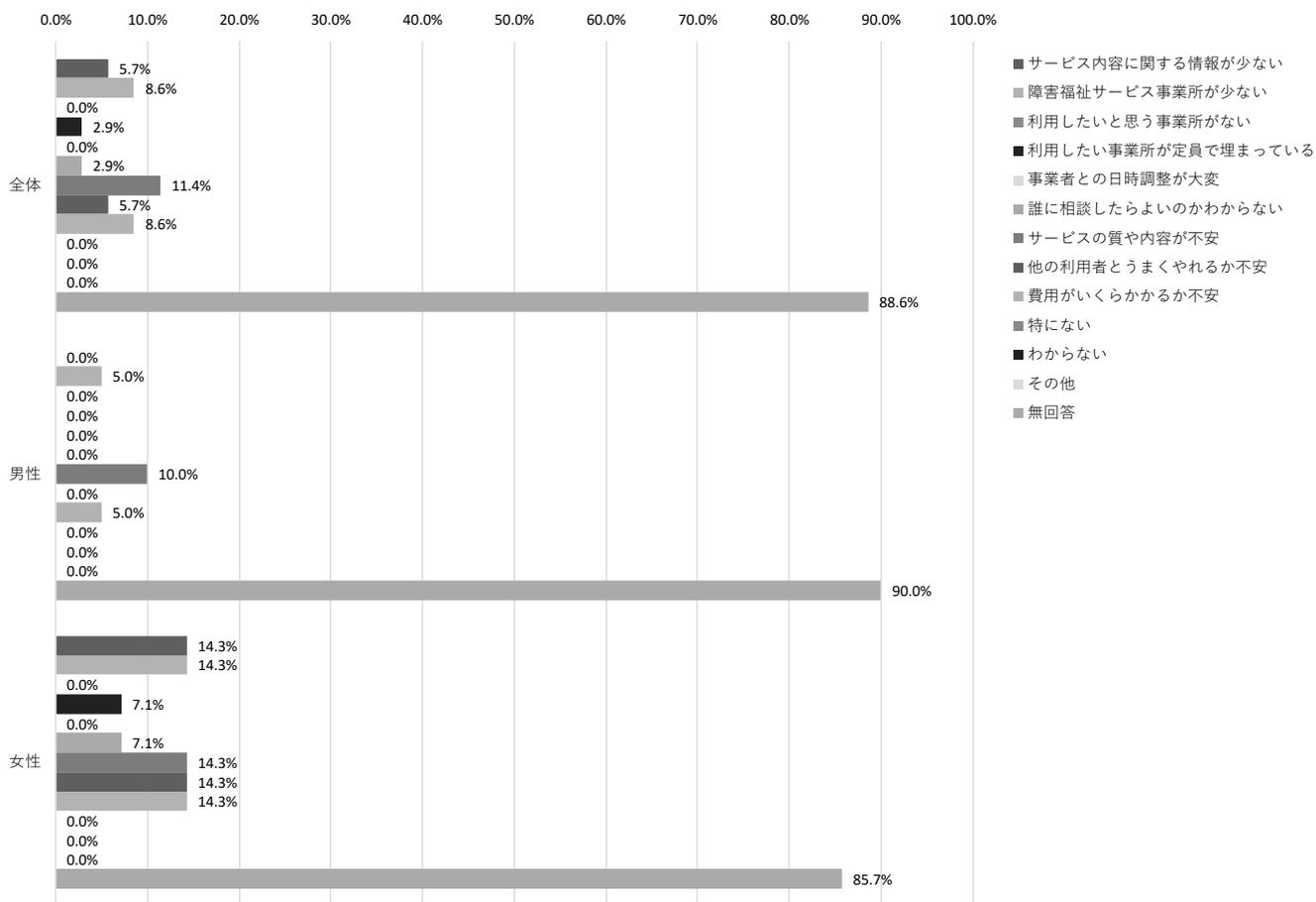


問 2 2. 障がい福祉サービスの利用を考える上で、不安や不満に思っていることは何ですか。

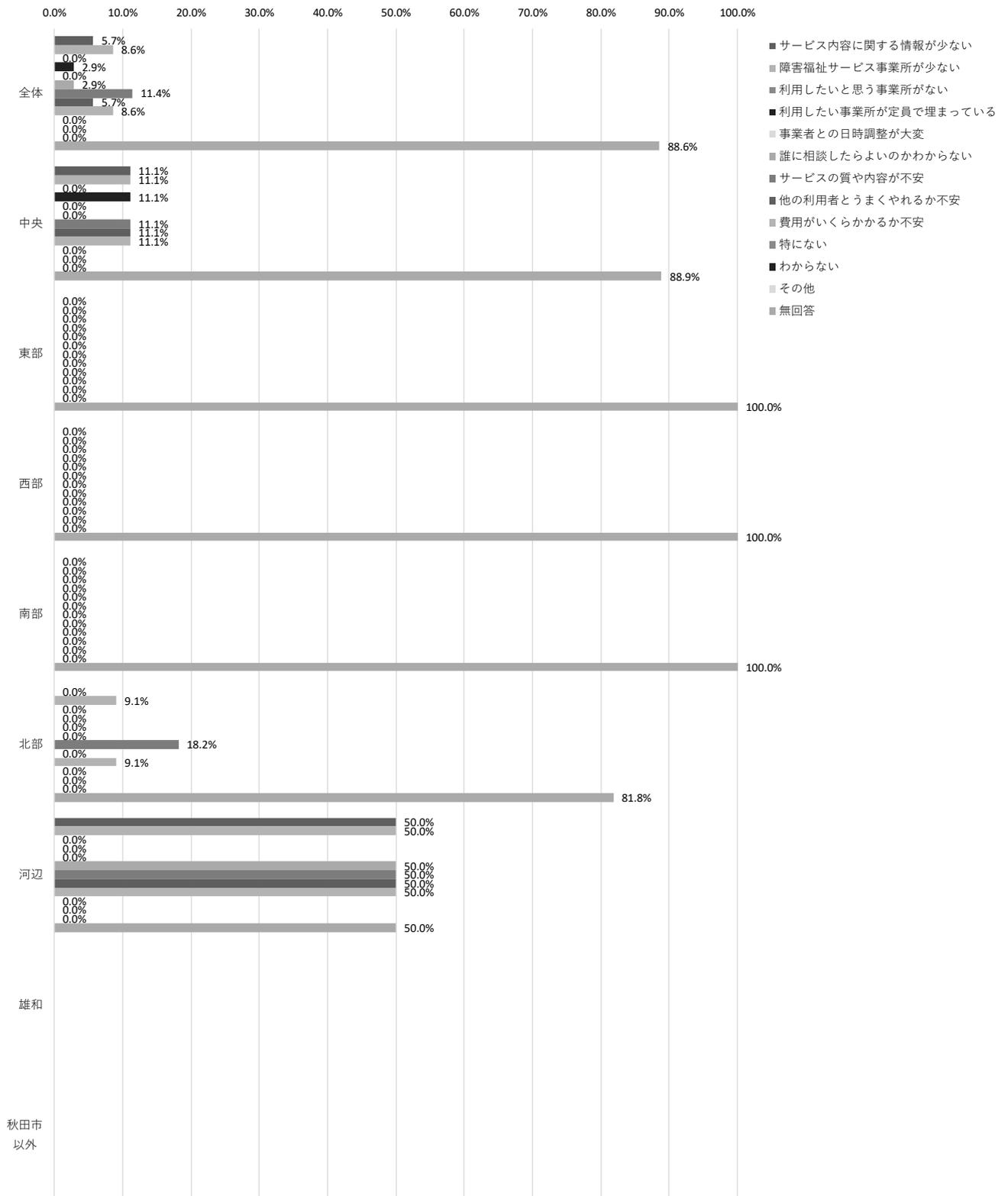
全体では、「サービスの質や内容が不安」が 11.4%と最も高く、次いで「障害福祉サービス事業所が少ない」「費用がいくらかかるか不安」が 8.6%となった。

性別では、全体的に男性よりも女性の方が高くなった。

【性別】（全体 N35、男性 N=20、女性 N=14）



【地域】(全体 N=35、中央 N=9、東部 N=5、西部 N=2、南部 N=5、北部 N=11、河辺 N=2、雄和 N=0、秋田市以外 N=0)

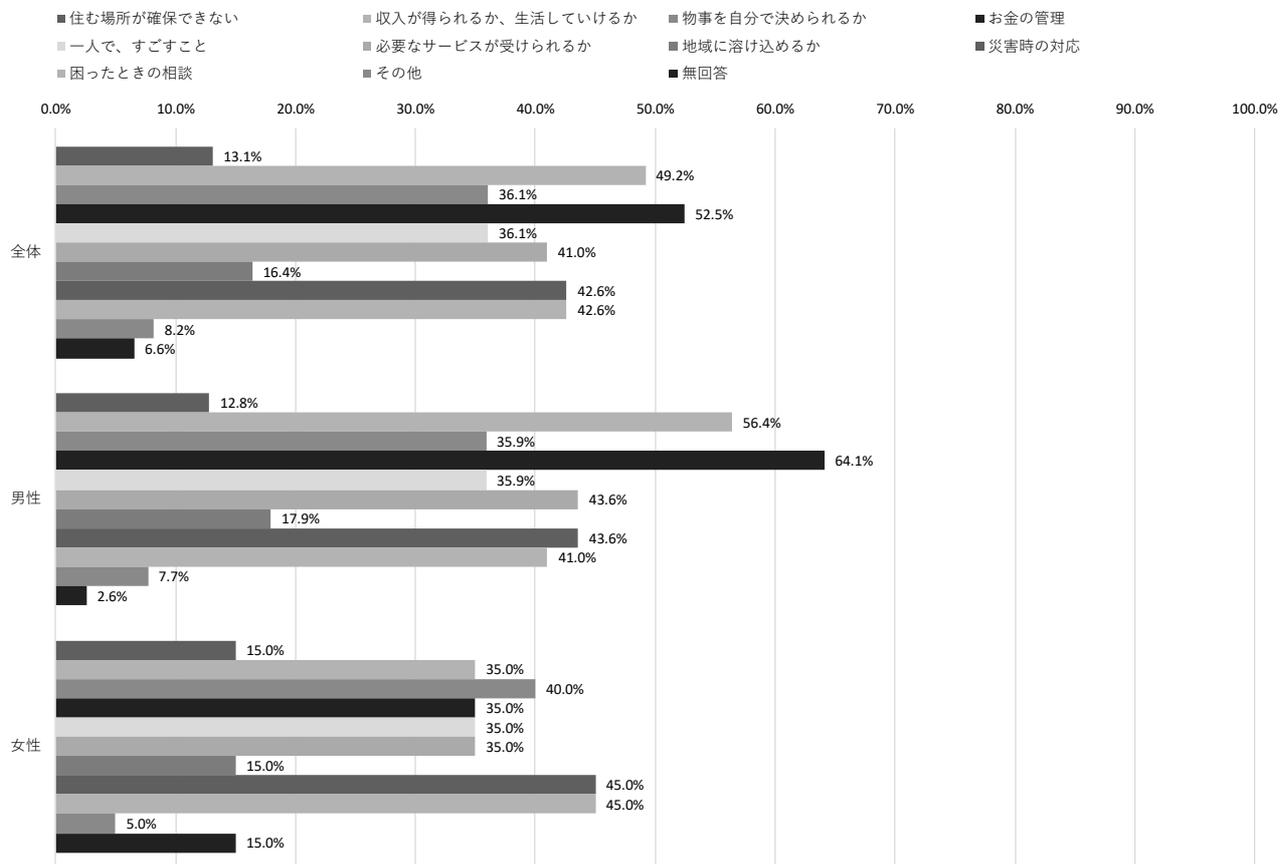


問 2 3. 将来のことで、不安に思っていることはありますか。

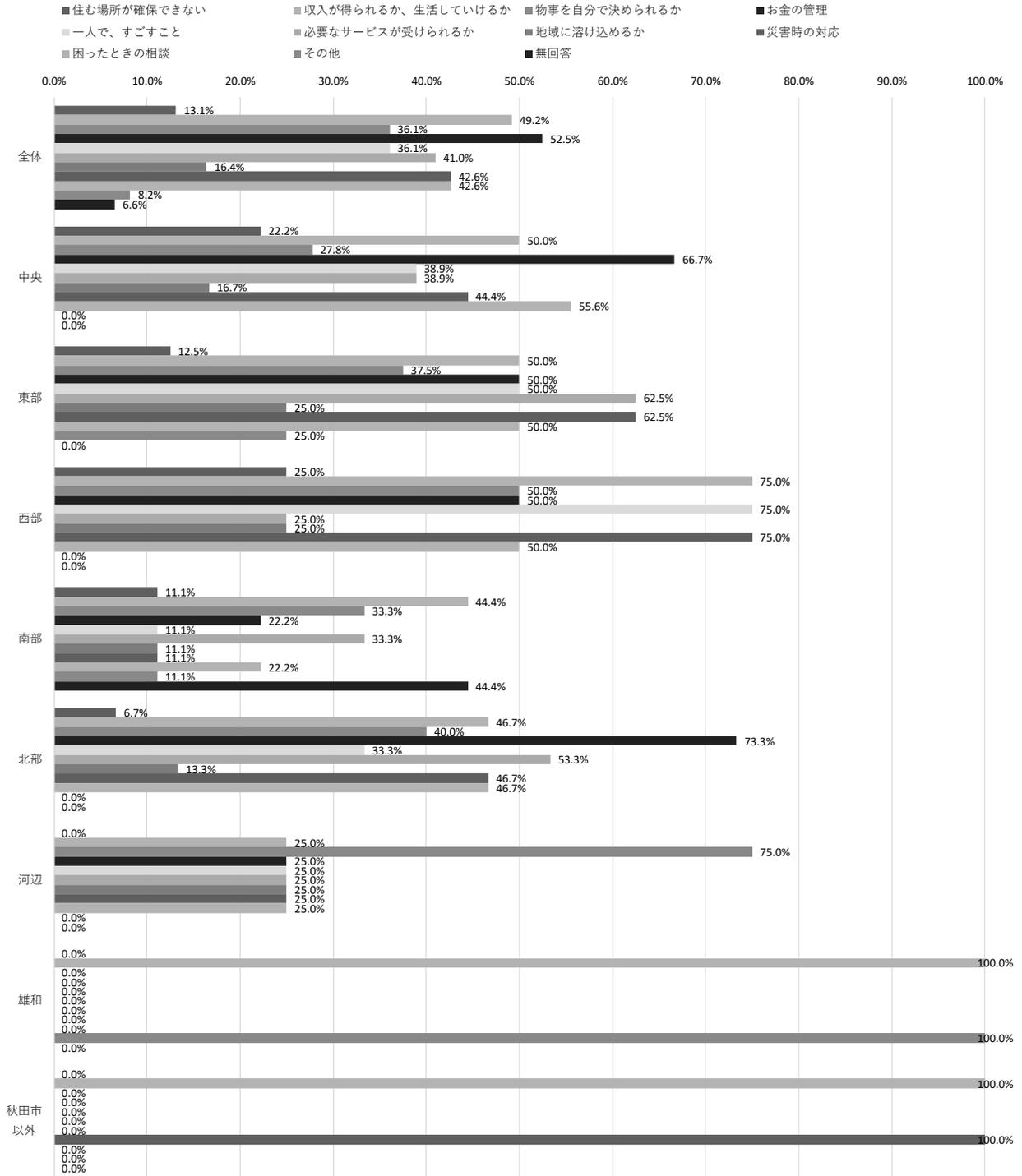
全体では、「お金の管理」が 52.5%と最も高く、次いで「収入が得られるか、生活していけるか」が 49.2%となった。

性別では、「お金の管理」が女性よりも男性の方が高くなった。

【性別】(全体 N=61、男性 N=39、女性 N=20)



【地域】 (全体 N=61、中央 N=18、東部 N=18、西部 N=4、南部 N=9、北部 N=15、河辺 N=4、雄和 N=1、秋田市以外 N=1)



最後に、

秋田市の障がい福祉施策の取組について、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

回答結果：

- ✓ 卒業した後のサービスの時間が午後早いため、親は仕事が出来ません。法律がそのようになっているため、延長することが出来ないと聞きました。学校からは施設利用後どうするか今から考えておいて下さいと言われていますが、仕事を早い時間できりあげるしかありません。出来なければ入所させるしかありませんが、一緒に暮らしていきたいです。このように思っている人は多いと思います。
- ✓ みんなのトイレは最近多くなってきて、助かっていますが、利用していると次に入れるまでかなり時間待たないといけません。出来たら2つあるといいのですが…。
- ✓ 毎年の書類記入（受給者証の）を簡素化してほしい・毎年の特児のお盆の時期の書類提出に行かなくてもよいようにしてほしい。
→マイナカードでどうにかならないか？
- ✓ 障がい福祉課の窓口に座る職員の方は何でも対応、知識のある職員さんを座らせてほしい。
- ✓ 在学時から利用できるサービスを充実させてほしい。
- ✓ ※インクルーシブ教育が不十分※共同生活援助～グループホールの中規模の外部サービス利用型が少ない
- ✓ 一般就労で正社員になれない。パート社員どまり。障害だからときめつけられる。偏見の目でみてる人がいる（例えば～だからとか子供でなく親の方が多くみられる。）
- ✓ 兄弟で障害がありますが、短期入所に年齢制限があり（成人・児童で）同じ所にあずけられないのが困っています。今は利用の予定はあまりありませんが、なにかあった時（祖父母など）別々の所へ送っていったりということが出来るか…もうちょっと柔らかな対応をお願いしたいです。
- ✓ どんなサービスが受けられるのかよくわからない。就職するにあたって、通勤面でのサポートがない。バスも少ない。
- ✓ サポートをつづける家族がいなくなった場合、本人はどうなってしまうのか…という不安が常にあります。そうなった時、本人は最初に何をしたら良いのか。
- ✓ 事業所がもっと増えて欲しいです。定員がいっぱいでサービス（入浴など）が受けられないと聞きます。もしくは、入れない（定員で埋まっています）
- ✓ もらえるお金ふやしてほしい
- ✓ 困った事があっても窓口が全てバラバラで、各窓口を案内されるだけです。家庭の状況や親の精神状態なども相談してもやはり窓口を案内されるだけなので相談する事をやめました。精力的に行動を起こせる保護者ばかりではない事も知ってほしいです。自死を選ぶ方々の気持ちがよくわかります
- ✓ 見た目では分からない障害者もたくさんいるのでそういう人達が安心して暮らせる、そういう人達専用のアパートなどがあればと思います。
- ✓ 障がいのある人も安心して暮らせる町づくりをお願いします。
- ✓ 公共の施設にユニバーサルシートを設置してほしい。車イスが移動しやすいように段差などを失くしてほしい。ストレスなく様々な所へ出掛けられる環境を整えてほしい。医療的ケア児の対応してくれる施設を増やしてほしい。特に呼吸器をしているケア児は短期入所先も受入れ枠も少なく、利用が困難で、主にケアしている親が急病になったらどうなるのだろうと思うと不安でたまらない。緊急避難時の明確なマニュアルを早急につけて周知してほしい。今回の大雨災害時に大変な思いをしました。医療器機が沢山あって、避難する

事が困難だったので諦めました。

- ✓ 支援員のいるグループホームを充実させてほしい。成人した子どもをあずかってくれる施設があるとよい
- ✓ バスの本数を増やしてほしい。
- ✓ 小児慢性を受けているのですが、管理票を受診の際に毎回提出が面倒である（受診の際に忘れると家にとりに戻らないといけな
い）特に高額 1 月 10 万を超える）ではないので毎回提出して記入してもらって→その後→たまって破棄のくり返し（用紙の無駄
では？）保護者もその都度持参（受診のたび、時間もかかる（記入待ち））デジタル化してほしいです。
- ✓ 介護している人が体調不良になったときに預け先・受け入れ先が少ない。（泊まりもふくめて）
- ✓ 家族で過ごしたいから、家にいたいけれど、ママと一緒にいたいから、ママと一緒にいれる所があつて働ける場所が家の近くにあると一番
いいと思う。（就労 A 型や就労 B 型の施設があるといいな〜と思う。自宅から近い場所に。）
- ✓ 障害者施設による販売品、軽作業の請負など市役所として積極的に活用してほしい。民間企業にも活用をもっと促してほしい。

V 考察

身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者

①障害の状況について

【調査結果】

- 7割弱が身体障害者手帳を保有していた（問13）。その中で、主たる障害は「内部障害」「肢体不自由（下肢）」「肢体不自由（上肢）」が上位であった（問14）。
- 療育手帳は4割半ば、精神障害者保健福祉手帳は2割程度が保有していた（問15-16）。
- 医療的ケアの必要な方と生活を送るうえで、主たる介護者の方が困っていることは、「災害時の対応がわからない」「急変の心配等、常に緊張を強いられて気持ちが落ち着かない」「緊急で預けられるところがない」が上位となった（問22）

【考察】

- 昨今の大雨等の異常気象の影響により、災害時の対応方法が障がい者の主たる介護者の中で、大きな不安要素として認知されていると考えられる。災害時の避難方法、避難経路等、万が一のときの対応方法の具体化と情報共有が急務と言える。

②日中活動や就労について

【調査結果】

- 外出頻度については、「1週間に1回以上」の頻度で外出するのが8割程度と高かった（問23）。その際には、買物や通勤・通学・通所のために一人で外出することが半数以上である（問24-25）。移動手段としては家族が運転する車が3割程度で最も高いが、自分で運転する場合や公共交通機関が2割程度と主たる移動手段として挙げられている（問26）。
- 外出時に困ることとしては、公共交通機関が少ない（ない）ことが上位（3割）であり、外出した場合に困ったことがあったときどうすればいいかわからないことも3割弱の回答があり、上位となった（問27）。
- 就労については、「正社員（勤務条件は他の職員と同じ）」が4割程度と最も高く、次いで「非常勤職員（パート・アルバイトなど）、派遣社員」が3割程度となった。なお、「正社員（勤務条件は他の職員と同じ）」が女性より男性のほうが20ポイント程度高くなっていた（問29）。就労支援としては、「職場の障がい者理解（上司や同僚に障がいの理解があること）」「通勤手段の確保」が5割超で高く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮」「就労後の支援など、職場と支援機関との連携」が続いた（問32）。

【考察】

- 買物や通勤・通学・通所のための外出頻度が高い一方で、公共交通機関が少ない（ない）ことが不として感じられている。公共交通機関の充実は必要と考えられるが、同時に障がいの種類に合わせた環境整備も重要と言える。たとえば、聴覚障害の場合、駅のアナウンスが聞きとりにくく、遅延情報が聞き取れず、電光掲示板の整備

をしてほしいという声フリーコメントでも見られている。今後は、障がいの種類に応じた対応策を策定していくことが重要である。

- 就労については、正社員としての雇用が最も高くなったが、職場での障がい者理解もまた課題となっている。また、昨今の環境変化を受けた柔軟な働き方についても要望されている。民間企業と連携し、障がい者雇用を通しての人材活用も今後の課題と言える。

③障害福祉サービスなどの利用について

【調査結果】

- 障害福祉サービスを利用しているのは4割、利用していないは5割弱であり、「利用していない」のほうがやや上回った（問33）。障害福祉サービスを「利用している」方の障がい福祉区分は、「受けていない」が2割、「区分6」「区分5」と続いていた（問34）。
- 具体的な現在利用されている障害福祉サービスとしては、「生活介護」が3割弱で最も高く、次いで「就労継続支援B型」「短期入所」「居宅介護（ホームヘルプ）」と続いた（問35）。
- 障害福祉サービスの今後の利用希望としては、「短期入所（ショートステイ）」「就労定着支援」「就労継続支援B型」が上位となった（問35）。
- なお、サービスを利用していない方の理由としては、「自立で生活できるため」「家族が介助してくれているため」が上位であるものの、一方で続いて「利用方法がわからないため」が1割程度存在した。

【考察】

- 今後の利用希望として「短期入所」が上位であり、フリーコメントでも入所させたいが施設が満員のため入所がかなわない記述が見られた。また、「就労継続支援B型」のような就労施設が十分でない地域もある様子である。今後は希望する者ができるだけ入所、就労できるよう、短期入所施設や就労可能な環境の充実を図りたい。

④相談や福祉情報の入手と権利擁護について

【調査結果】

- 障がいや福祉情報などに関する情報は、「本や新聞、雑誌の記事テレビやラジオのニュース」と並んで「インターネット」も3割程度であった（問41）。情報通信機器を使って、「電話」（6割）だけではなく「電子メール」「SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿」も4割程度の回答があった（問40）。
- 福祉サービスの情報を得るために困ったことは、「どこで情報が得られるかわからない」が3割弱と最も高かった。また、「知りたい情報を聞く窓口・人が近くに見当たらない」「障害に応じた説明や資料が得られなかった」が1割半ばと一定の回答が見られた（問42）。
- 障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるのは2割半ばであり、それについて相談したことがあるよりも相談したことがないことのほうが3ポイント程度高くなった（問44、46）

【考察】

- 障がいや福祉情報などに関する情報を「本や新聞、雑誌の記事テレビやラジオのニュース」といった従来のな情報発信だけではなく、昨今のスマートフォンなどの普及に伴う形で「インターネット」もそれと同程度の情報収集手段として定着している様子である。福祉サービスの情報を得るために困ったこととして「どこで情報が得られるかわからない」が多いことを鑑みると、福祉サービス関連情報についてSNS等を活用しての情報発信を強化していくことが効果的であると想定される。
- これに関連して、障がいについて気軽に相談したりできる場所や機会を増やし、その情報発信していくことが、相談機会を増やすことにつながると期待される。

⑤災害時の避難などについて

【調査結果】

- 災害時の避難について「ひとりできる」が4割程度と最も高く、次いで「できない」は3割半ばとなった（問49）。
- 家族が不在の場合や一人暮らし場合、近所に助けてくれる人は「いない」が4割半ばと最も高く、次いで「わからない」が3割、「いる」は2割弱であった（問50）。
- 災害時に困ることは、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が5割で最も高く、次いで「投棄や治療が受けられない」が4割弱となった（問51）。

【考察】

- 災害時の避難について「ひとりできる」が多いものの、できない」も3割半ばであり、昨今の異常気象の傾向も踏まえると、災害時の避難方法の担保が急務である。また、避難場所への経路、そして避難場所における設備への不安感が高い。障がい者向けのバリアフリーの充実、災害時の場合の避難場所における障がい者支援体制の整備・充実も重要な課題となっているといえる。

⑥将来および障がい児への支援について

【調査結果】

- 将来的な不安については、「収入が得られるか、生活していけるか」が5割超で最も高く、次いで「災害時の対応」「必要なサービスが受けられるか」「地域に受け入れるのか」「困ったときの相談」が3割半ばと続いた（問52）。
- 障がい児の支援について、学校生活で困っていることは「特にない」が5割超で最も高く、次いで「家族の負担が大きい」が2割半ば、「周囲の理解が得にくい」が1割半ばと続いた（問54）。

【考察】

- 将来的な不安について、生活していく上での経済的な基盤が最も不安感が強い結果となった。障がいを抱える方が、経済的な不安を抱えることなく生活していけるような制度の充実が求められる。
- また、将来的な経済的不安に比べて、日常生活に関わる不安や緊急時への不安も多く寄せられた。普段の日

常生活や、災害時やいざとなった場合にすぐ相談できるような体制強化、同時にその情報発信も求められているといえる。

特別支援学校生徒

①障がいおよび暮らしの状況、教育について

【調査結果】

- 身体障害者手帳については「持っていない」が7割で最も高く、次いで「1級」「2級」が1割程度の保有率であった（問5）。その中で、主たる障害は「肢体不自由（下肢）」「視覚障害」が上位であった（問6）。
- 療育手帳は8割半ばの、精神障害者保健福祉手帳は1割以内が保有していた（問7-8）。
- 普段の援助は母親からの支援が多く（7割半ば）、学校への通学手段は、「自家用車などで送り迎え」が5割程度で最も高く、次いで「放課後デイサービス」が3割半ば、「公共交通機関（一人で）」が3割程度であった（問13）。
- 障害福祉サービスの利用率は5割半ばであり、利用している具体的なサービスとしては「放課後等デイサービス」が5割超と多かった（問14-15）。今後利用したいサービスとしては、「短期入所（ショートステイ）」が3割半ばで最も高く、次いで「放課後等デイサービス」と「日中一時支援（短期入所型）」が上位となった（問15）。
- 望ましい就学環境としては、「特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境」が7割半ばで最も高く、次いで「地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが受けられる環境」が1割となった（問16）。

【考察】

- 障がい児が通学する場合には自家用車などの送り迎えが多いものの、自家用車がないケースや家族が就労している場合などで「公共交通機関（一人で）」も多くなっている。障がい児が一人で公共交通機関期間を使用する際にも迷わず学校まで行くことができる、安心な通学路の整備が重要である。
- また、「放課後デイサービス」の利用も多い。望ましい就労環境としても「特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境」が期待されている。たとえば、フリーコメントでも要望があるように、高等学校に進学しても使用できるスクールバスの充実、寄宿舍使用者の利用制限緩和と受け入れ支援体制整備、特別支援学校における教員数の増員などが望まれる。
- さらに、フリーコメントでも指摘されているが、周囲の障がいへの理解を求める声がある。かねてより特別支援教育の課題として、セグリゲーション（分離主義教育）からインテグレーション（統合教育）、そしてインクルージョンへということが専門書においても指摘されている（小野・上野・藤田編，2007）¹。行政が主導しながら、障がいへの理解の充実を図るような教育施策を充実させることも有効であるといえる。

②将来について

【調査結果】

- 高等部を卒業した後の進路としては、「施設通所」が5割超で最も高く、次いで「就職（一般就労）」「就職

¹ 小野次郎・上野一彦・藤田継道編（2007）．よくわかる発達障害—LD・ADHD・高機能自閉症・アスペルガー症候群—ミネルヴァ書房．

(パート・アルバイト) 」が続いた (問19) 。

- 将来的な不安としては、「お金の管理」が5割超と最も高く、次いで「収入が得られるか、生活していけるか」も5割程度、「災害時の対応」「困ったときの相談」も4割を超えて高くなった (問23) 。

【考察】

- 「身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者」対象の調査と同様に、特別支援学校生徒においても将来的な不安として、経済的不安や緊急時の対応や相談体制が上位となり、共通項であった。障がいを抱える方への経済的支援や、行政主導による災害時の対応、相談体制の充実が重要であるといえる。

VI 調査票(身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳保持者)

秋田市の障がい福祉に関するアンケート ご協力をお願い

日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
本市では現在、令和6年度から令和11年度までの6年間を計画期間とする「第6次秋田市障がい者プラン」ならびに、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする「第7期秋田市障がい福祉計画」および「第3期秋田市障がい児福祉計画」の策定に向けた取組を進めています。

そのため、市民の皆さまの日常生活の実態や福祉に関する意向などを把握してプランと計画の策定や施策の推進に役立てるため、アンケートを実施することにしました。

調査の対象者は、身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳をお持ちの方から無作為抽出した合計1,800名の方です。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答した方が特定されたり、回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、回答内容は、統計的な処理を行い、プランおよび計画の策定ならびに施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。

あくまでも回答は任意です。調査の主旨をご理解してご協力くださる方は、回答をよろしくお願いします。

令和5年7月 秋田市

<ご記入にあたってのお願い>

- 調査票の記入にあたっては、令和5年7月1日現在の状況をお答えください。
- 宛名のご本人が直接回答することが難しい場合には、ご家族や介護者の方などが、ご本人の意向を尊重してご記入くださいますようお願いいたします。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 調査票の記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて令和5年7月21日(金)までにお送りください。

調査へのご質問などは、下の問合せ先にお寄せください。

【問合せ先】

秋田市福祉保健部障がい福祉課 企画管理担当 加藤直樹、鈴木
電話 888-5663、FAX 888-5664

あきたし しょう ふくし かん あんけーと
 秋田市の 障がい福祉に関するアンケート
 ちょうさひょう
 調査票

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

- 1 ご本人(この調査票が郵送された宛名の方)
- 2 家族
- 3 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人(この調査票の対象者：障がいのある方)の状況について、お答えください。

あなたの性別・年齢・住まいや暮らしなどについて

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年7月1日現在)

満 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 答えない
- 4 自由記載()

問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つだけ)

- 1 中央(大町 旭北 旭南 川元 川尻 山王 高陽 保戸野 泉 千秋 中通 南通
 榎山 茨島 八橋)
- 2 東部(東通 手形 手形(字) 手形山 旭川 新藤田 濁川 添川 山内 仁別 広面
 柳田 横森 桜 桜ヶ丘 桜台 大平台 下北手 太平)
- 3 西部(新屋 勝平 浜田 豊岩 下浜)
- 4 南部(牛島東 牛島西 牛島南 節町 大住 大住南 仁井田 御野場 御所野
 四ツ小屋 上北手 山手台 南ヶ丘)
- 5 北部(寺内 外旭川 土崎港中央 土崎港東 土崎港西 土崎港南 土崎港北
 土崎港(その他) 将軍野東 将軍野南 将軍野(その他) 港北 飯島 金足
 下新城 上新城)
- 6 河辺
- 7 雄和

問5 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

- 1 一人で暮らしている
- 2 家族と暮らしている
- 3 グループホームで暮らしている
- 4 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設など)で暮らしている
- 5 病院に入院している
- 6 その他(具体的に)

【問6は問5で「2 家族と暮らしている」を選んだ方だけにお聞きします】

問6 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 3 子ども |
| 2 配偶者(夫または妻) | 4 その他(具体的に) |

問7 あなたは今後3年以内にどのように暮らしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 一般の住宅で一人暮らしをしたい
- 2 家族と一緒に暮らしたい
- 3 結婚して新たな家族と暮らしたい
- 4 グループホームで暮らしたい
- 5 入所施設(障害者支援施設など)で暮らしたい
- 6 その他(具体的に)

問8 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに〇)

- 1 介助者の確保
- 2 生活費の確保
- 3 住居の確保
- 4 近くに通える施設や作業所があること
- 5 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
- 6 必要な在宅サービスが適切に利用できること
- 7 生活訓練などの充実
- 8 相談対応の充実
- 9 地域住民の理解
- 10 コミュニケーションについての支援
- 11 その他(具体的に)

問9 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩までのそれぞれにお答えください。（①から⑩までのそれぞれの項目に○を1つ）

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

【すべて「1」の方は、問12へ】

【問9で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」を選んだ方にお聞きます】

問10 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 父母・祖父母・兄弟姉妹	4 ホームヘルパーや施設の職員
2 配偶者（夫または妻）	5 その他の人（ボランティアなど）
3 子ども	

【問12へ】

【問10で「1」から「3」までに1つでも○をした方にお聞きます】

問11 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。（令和5年7月1日現在）

① 年齢 満 歳

② 性別（○は1つだけ）

1 男性	2 女性	3 答えない	4 自由記載（ <input type="text"/> ）
------	------	--------	--------------------------------

③ 健康状態（○は1つだけ）

1 よい	2 ふつう	3 よくない
------	-------	--------

問12 現在、あなたはどこから収入を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 就労による給与 | 4 家族からの支援 |
| 2 障害福祉サービスや作業所の工賃 | 5 生活保護を受給 |
| 3 年金 | 6 その他(具体的に) |

あなたの障がいの状況について

問13 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|------|------|------|----------|
| 1 1級 | 3 3級 | 5 5級 | 7 持っていない |
| 2 2級 | 4 4級 | 6 6級 | ↳【問15へ】 |

問14 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。
(複数の障がいがある場合は、等級の数字が最も小さいものを、数字が同じ場合は、どちらか生活する上でより不便を感じている障がいを選んで○で囲んで下さい。)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 視覚障害 | 5 肢体不自由(下肢) |
| 2 聴覚障害 | 6 肢体不自由(体幹) |
| 3 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7 内部障害(1~6以外) |
| 4 肢体不自由(上肢) | |

問15 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1 A判定 | 2 B判定 | 3 持っていない |
|-------|-------|----------|

問16 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

(○は1つだけ)

- | | | | |
|------|------|------|----------|
| 1 1級 | 2 2級 | 3 3級 | 4 持っていない |
|------|------|------|----------|

問17 あなたはパーキンソン病や筋ジストロフィーなどの指定難病の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 受けている | 2 受けていない |
|---------|----------|

問18 あなたは発達障がいだと診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)
 ※発達障がいとは、自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどをいいます。

1 ある	2 ない
------	------

問19 あなたは高次脳機能障がいだと診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)
 ※高次脳機能障がいとは、けがや病気により脳に損傷を受け、その後遺症などとして生じた記憶障がい、注意障がい、社会的行動障がいなどの認知障がいなどを指すものとされています。

1 ある	2 ない  【問21へ】
------	--

問20 問19で「1」を選んだ場合、その関連障がいをお答えください。
 (あてはまるものすべてに〇)

1 視覚障がい	5 肢体不自由(下肢)
2 聴覚障がい	6 肢体不自由(体幹)
3 音声・言語・そしゃく機能障がい	7 内部障がい(1~6以外)
4 肢体不自由(上肢)	8 その他(具体的に)

問21 現在、受けている医療ケアの内容をお答えください。
 (あてはまるものすべてに〇)

1 受けていない	8 中心静脈栄養(IVH)
2 気管切開	9 透視
3 人工呼吸器(ビスピレーター)	10 カテーテル留置
4 吸入	11 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)
5 吸引	12 服薬管理
6 首ろう・腕ろう	13 導尿
7 鼻経管栄養	14 その他(具体的に)

問22 医療的ケアの必要な方と生活を送るうえで、主たる介護者の方は、どのようなことに困っていますか。（あてはまるもの5つまでに○）

- 1 複数のサービスを利用しても介護負担が軽減されない
- 2 望む量のサービスが供給されない
- 3 複数の事業所や職員と連絡・調整を行うことが負担である
- 4 緊急で預けられるところがない
- 5 かかりつけの医療機関が遠く、通院が負担である
- 6 日中活動の場（児童発達支援・幼稚園、学校等）を利用するときに付き添わなければならない
- 7 医療的ケアやサービス利用にかかる費用で家計が圧迫されている
- 8 医療的ケア児（者）のサービスや助成制度についての情報を得るための手段が乏しい
- 9 医療的ケア児（者）のサービスや助成制度についての情報を得るための時間が取れない
- 10 主な介護者が、休養が取れず健康を保てない
- 11 急変時の心配等、常に緊張を強いられて気持ちが落ち替かない
- 12 家事を十分に行う時間をもつことができない
- 13 自分の用事（受診、買い物等）の時間をもつことができない
- 14 移動（外出）が困難である
- 15 医療的ケア児（者）の兄弟姉妹の学校行事や習い事のための時間がとれない
- 16 医療的ケア児（者）の兄弟姉妹との時間をもつことができない
- 17 就労することができない、就労していても自分の望むように働くことができない
- 18 同居の家族が病気である
- 19 主な介護者が病気である
- 20 同居の家族に、医療的ケア児（者）に必要な介護やケアの内容、関わり方について理解・共感を得ることが難しい
- 21 別居の親族に、医療的ケア児（者）に必要な介護やケアの内容、関わり方について理解・共感を得ることが難しい
- 22 家族以外の話し相手がない
- 23 災害時の対応がわからない
- 24 その他（具体的に

日中活動や就労について

問23 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 毎日外出する | 3 めったに外出しない |
| 2 1週間に1回以上外出する | 4 まったく外出しない → 【問28へ】 |

【問24から問27までは、問23で「1」～「3」を選んだ場合にお答えください。】

問24 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 4 ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2 配偶者(夫または妻) | 5 その他の人(ボランティア等) |
| 3 子ども | 6 一人で外出する |

問25 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 通勤・通学・通所 | 6 趣味やスポーツ |
| 2 訓練やリハビリ | 7 グループ活動への参加 |
| 3 医療機関への受診 | 8 散歩 |
| 4 買い物 | 9 その他(具体的に |
| 5 友人・知人に会う |) |

問26 あなたは、外出するときの主な移動手段として何を利用していますか。

(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 公共交通機関(バス、電車) | 4 自分が運転する車 |
| 2 タクシー | 5 その他(具体的に |
| 3 家族が運転する車 |) |

問27 外出するときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1 公共交通機関が少ない(ない) | 6 介助者が確保できない |
| 2 列車やバスの乗り降りが困難 | 7 外出にお金がかかる |
| 3 道路や駅に階段や段差が多い | 8 周囲の目が気になる |
| 4 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい | 9 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 5 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど) | 10 困ったときにどうすればいいのか心配 |
| | 11 その他(具体的に |
| |) |

問28 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

- 1 会社勤めや、自営業を営んだり、家業に従事している。
- 2 福祉施設、作業所などに通っている(就労移行支援、就労継続支援A型を除く)
- 3 病院などのデイケアに通っている
- 4 リハビリテーションを受けている
- 5 自宅で過ごしている(専業主婦(主夫)を含む)
- 6 入所している施設や病院などで過ごしている
- 7 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
- 8 特別支援学校(小中高等部)に通っている
- 9 一般の高校、小中学校に通っている
- 10 幼稚園、保育所、障害児通所事業所などに通っている
- 11 その他(具体的に)

→ 問29へ

【問28で「1」を選んだ方にお聞きします。】

問29 どのような勤務形態で働いていますか。(〇は1つだけ)

- 1 正社員(勤務条件は他の職員と同じ)
- 2 正社員(短時間勤務などの配慮がある)
- 3 非常勤職員(パート・アルバイトなど)、派遣社員
- 4 自営業、農林水産業など
- 5 その他(具体的に)

【問30から問32までは、問28で「2」から「11」までを選んだ18歳以上の方にお聞きします。】

問30 あなたは今後、問28の1のように働きたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|------------|---------|
| 1 したい | 2 したいができない | 3 したくない |
|-------|------------|---------|

問31 問30で「2 したいができない」または「3 したくない」を選んだ場合、その理由をお答えください(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1 障がいや病気のため | 5 働く必要がないため |
| 2 希望する仕事の内容や条件が合わないため | 6 特に理由はない |
| 3 他にやることがあるため | 7 わからない |
| 4 仕事の探し方がわからないため | 8 その他(具体的に) |

問32 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|------------------------------|
| 1 | 通勤手段の確保 |
| 2 | 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮 |
| 3 | 短時間勤務や勤務日数などの配慮 |
| 4 | 在宅勤務の拡充 |
| 5 | 職場の障がい者理解(上司や同僚に障がいの理解があること) |
| 6 | 職場で介助や援助などが受けられること |
| 7 | 就労後の支援など、職場と支援機関の連携 |
| 8 | 企業が必要とする技能を得るための訓練 |
| 9 | 仕事についての職場外での相談対応、支援 |
| 10 | その他(具体的に) |

障害福祉サービスなどの利用について

問33 現在、あなたは障害福祉サービスなどを利用していますか。(○は1つだけ)

障害福祉サービスの内容は、問35に記載しています

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|-----|---|---------|---|-------|
| 1 | 利用している | 2 | 申請中 | 3 | 利用していない | 4 | わからない |
|---|--------|---|-----|---|---------|---|-------|



【問34へ】



【問35へ】

【問34は、問33で、「1 利用している」を選んだ場合にお答えください。】

問34 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|--------|
| 1 | 区分1 | 3 | 区分3 | 5 | 区分5 | 7 | 受けていない |
| 2 | 区分2 | 4 | 区分4 | 6 | 区分6 | | |

【問33で、「1 利用している」、「2 申請中」または「3 利用していない」を選んだ方にお聞きします。】

問35 あなたは、次の表にある(1)から(34)までの障害福祉サービスなどを利用していますか。また今後利用したいと考えていますか。

- ① 現在の利用状況 (利用している方のみ)
- ② 現在利用している場合の利用量 (利用している方のみ)
- ③ 今後の利用希望(今の利用を続けたい、またはこれから使いたいかどうか) (全員)

①～③について、それぞれ該当する項目に○をつけてください。

障害福祉サービスなどの内容	現在			今後
	①利用状況 ※利用している方のみ回答	②利用量 ※利用している方のみ回答		
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
● 障害福祉サービス				
(1) 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を受けるサービスです。	1	1 2 3		1
(2) 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	2	1 2 3		2
(3) 同行援護 視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。	3	1 2 3		3
(4) 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	4	1 2 3		4

しょうがいにくしきーびすなどの内容 障害福祉サービスなどの内容	げんざい 現在			しんご 今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ 回答			③利用希望 ※全員回答
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	利用しているサービスの番号に○	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
(5) 自立訓練（機能訓練） 身体障がいのある方などが自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	5	1	2	3	5
(6) 自立訓練（生活訓練） 知的障がいのある方や精神障がいのある方などが自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	6	1	2	3	6
(7) 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識および能力の向上のための訓練を行うサービスです。	7	1	2	3	7
(8) 就労継続支援A型 通常の事業所で働くことが困難な方に、雇用契約に基づく就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	8	1	2	3	8
(9) 就労継続支援B型 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	9	1	2	3	9

しょうがいらくしきサービスなどの内容	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ 回答			③利用希望 ※全真回答
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	利用しているサービスの番号に○	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
(10) 就労定着支援 企業などで働く障がいのある方が職場に定着できるように、生活リズムや体調の管理などに関する課題解決に向けて、必要な連絡体制や指導・助言等の支援を行うサービスです。					10
(11) 療養介護 医療が必要なため、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	11	1	2	3	11
(12) 短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者（児）を介護する方が病気のときなどに、施設に短期入所した障がい者（児）に入浴や排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	12	1	2	3	12
(13) 自立生活援助 障害者支援施設やグループホームなどを利用していた障がいのある人が、地域で一人暮らしを希望する場合、定期的な巡回訪問や随時の電話相談等により、食事、洗濯、掃除などに課題はないが、体調に変化はないかなどを確認し、必要な助言などを行うサービスです。					13

しょうがいふくしきサービスなどの内容	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ 回答		③利用希望 ※全真回答	
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したい サービスの 番号に○	
(14) 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日に、他の利用者と共同で生活する家で、相談や日常生活上の援助などを受けるサービスです。	14	1	2	3	14
(15) 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者（児）に対し、入浴や排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	15 入所施設名 ()	1	2	3	15
(16) 地域移行支援 施設や精神科病院に入所・入院している障がいのある方が、地域生活を送ることができるようにするための支援を行うサービスです。	16	1	2	3	16
(17) 地域定着支援 居宅に単身などで生活している障がいのある方が、日常的な連絡体制を確保して、緊急時の相談や訪問などの支援を行うサービスです。	17	1	2	3	17
(18) 行動援助 知的障がいや精神障がいにより常に介護が必要なため行動が難しい方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。					れいわ おん がつげんかいあきだし ※令和5年7月現在秋田市で じっしじぎょうしよ 実施事業所はありません。
(19) 重度等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が 高く高い方に、居宅介護などのサービス を包括的に提供するサービスです。					れいわ おん がつげんかいあきだし ※令和5年7月現在秋田市で じっしじぎょうしよ 実施事業所はありません。

しょうがいふくしきサービスなどの内容	げんざい 現在			こんご 今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ 回答		③利用希望 ※全員回答	
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	利用しているサービスの番号に○	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
● 障がい児支援					
(20) 児童発達支援 日常生活における基本的な動作や知識、技能、集団生活について教えるなどの支援を行うサービスです。	20	1	2	3	20
(21) 医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作や知識、技能、集団生活について教えたり、理学療法などの機能訓練を行ったりするサービスです。	21	1	2	3	21
(22) 放課後等デイサービス 学校の授業終了後や休校日に、児童発達支援センター等の施設で児童生徒に生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	22	1	2	3	22
(23) 保育所等訪問支援 保育所などを訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	23	1	2	3	23
(24) (福祉型) 児童入所支援 障害児入所施設において、障がい児を保護し、日常生活の指導、知識や技能の習得といった支援を行うサービスです。	24 入所施設名 ()	/			24

	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ 回答		③利用希望 ※全員回答	
<p>障害福祉サービスなどの内容</p> <p>右の①～③の項目について、その下の該当する数字に〇をつけてください。</p>	利用しているサービスの番号に〇	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に〇
(25) (医療型) 児童入所支援 障害児入所施設や指定医療機関にいる障がい児に対して保護、治療、日常生活の指導、知識や技能の習得といった支援を行うサービスです。	25 入所施設名 ()	/			25
(26) 居宅訪問型児童発達支援 障害児通所支援を受けるために、外出することが著しく困難な重度の障がい児の居宅を訪問して発達支援を行うサービスです。	/			26	
(27) 日中一時支援（放課後支援型） 特別支援学校に通う児童生徒で放課後などに介護する方がいないとき、学校の空き教室などで一時的に預かるサービスです。	※令和5年7月現在秋田市で実施事業所はありません。			27	
●その他のサービス					
(28) 移動支援 屋外での移動が難しい重度の身体障がい・知的障がい・精神障がい児(者)に対して、余暇活動などの社会参加のときの移動の際に、ガイドヘルパーを派遣するサービスです。	28	1	2	3	28
(29) 地域活動支援センター 地域において就労が難しい在宅の障がい者らに、創作的活動や生産活動の機会、社会との交流機会などを提供するサービスです。	29	1	2	3	29

	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ 回答		③利用希望 ※全量回答	
<p>障害福祉サービスなどの内容</p> <p>右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。</p>	利用しているサービスの番号に○	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
<p>(30) 日中一時支援（短期入所型）</p> <p>身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・障がい児に対して、一時的な活動の場を提供するサービスです。</p>	30	1	2	3	30
<p>(31) 訪問入浴サービス</p> <p>移動が難しい身体障がい者・難病患者などを対象に、居宅において訪問入浴車による、入浴サービスを提供するサービスです。</p>	31	1	2	3	31
<p>(32) 日常生活用具給付等</p> <p>身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・難病患者・障がい児などに対して、生活上の不便を解消し円滑に生活が送れるよう、日常生活用具を給付するサービスです。</p>	32 給付品目 (例) 紙おむつ	/			32
<p>(33) 手話通訳者派遣</p> <p>聴覚障がい者、音声・言語機能障がい者を対象に、各種手続きや社会参加の場へ手話通訳者を派遣するサービスです。</p>	33	1	2	3	33
<p>(34) 要約筆記者派遣</p> <p>聴覚障がい者、難聴者・中途失聴者、音声・言語機能障がい者に、話の内容をその場で要約して文字にして伝える要約筆記者を派遣するサービスです。</p>	34	1	2	3	34

しょうがいらくしきサービスなどの内容 右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している方のみ回答	②利用量 ※利用している方のみ回答		③利用希望 ※全員回答	
	利用しているサービスの番号に○	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
(35) 遠隔手話通訳サービス 聴覚障がい者や音声・言語機能障がい者が、医療機関を受診するときや近くのサービスセンターで行政手続をするときに、タブレット端末またはスマートフォンを使って遠隔で手話通訳を行うサービスです。	35	1	2	3	35

【問33で、「3 利用していない」を選んだ方にお聞きます。】

問36 障害福祉サービスなどを利用していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 自力で生活ができるため	7 サービスの質に問題があるため
2 家族が介助してくれているため	8 他の利用者との関係のため
3 利用方法がわからないため	9 利用の経費負担があるため
4 サービス利用の手続きが大変なため	10 サービス提供場所が遠いため
5 事業者との日時調整が大変なため	11 その他(具体的に)
6 利用できる回数や日時が少ないため	12 わからない

問37 40歳以上の方におたずねします。

あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1 利用している	2 申請中	3 利用していない	4 わからない
----------	-------	-----------	---------



【問37で、「1 利用している」を選んだ場合にお答えください。】

問38 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

1 要支援1	3 要介護1	5 要介護3	7 要介護5
2 要支援2	4 要介護2	6 要介護4	8 非該当

相談や福祉情報の入手について

問39 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますが。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1 家族や親せき | 9 病院のケースワーカーや
介護保険のケアマネージャー |
| 2 友人・知人 | 10 民生委員・児童委員 |
| 3 近所の人 | 11 通園施設や保育所、
幼稚園、学校の先生 |
| 4 職場の上司や同僚 | 12 相談支援事業所などの |
| 5 施設の指導員など | 13 行政機関の相談窓口 |
| 6 ホームヘルパーなど事業所の人 | 14 その他(具体的に |
| 7 障がい者団体や家族会 | |
| 8 かかりつけの医師や看護師 | |

問40 普段の生活で情報通信機器を使って行っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1 電話 | 5 その他アプリの使用 |
| 2 電子メールの送受信 | 6 サービスの申込み |
| 3 SNS等のアプリを使った連絡・
閲覧・投稿(※) | 7 その他(具体的に |
| 4 ホームページ・ブログの閲覧・
情報検索 | 8 特になし |

(※) SNS(ツイッターやフェイスブック等)やLINE等のアプリを使った連絡・
閲覧・投稿

問41 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが
多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1 本や新聞、雑誌の記事、
テレビやラジオのニュース | 8 病院のケースワーカーや
介護保険のケアマネージャー |
| 2 行政機関の広報誌 | 9 民生委員・児童委員 |
| 3 インターネット | 10 通園施設や保育所、
幼稚園、学校の先生 |
| 4 家族や親せき、友人・知人 | 11 相談支援事業所などの |
| 5 サービス事業所の人や施設職員 | 12 行政機関の相談窓口 |
| 6 障がい者団体や家族会
(団体の機関誌など) | 13 その他(具体的に |
| 7 かかりつけの医師や看護師 | |

問42 これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 情報通信機器の使い方がわからない | 5 説明がわかりにくかった |
| 2 どこで情報を得られるかわからない | 6 その他(具体的に) |
| 3 知りたい情報を聞く窓口・人が近くに見当たらない | 7 困ったことはない |
| 4 障がいに応じた説明や資料が得られなかった | 8 わからない |

問43 市などの情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 障がい者のためのくらしのしおりの内容を充実させる | 5 音声読み上げができるホームページ内容とする |
| 2 市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる | 6 その他(具体的に) |
| 3 文字を大きくし、広報をより読みやすくする | 7 特になし |
| 4 SNS(ツイッターやフェイスブック等)を活用する | 8 わからない |

権利擁護について

問44 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。
(○は1つだけ)

- | | | | |
|------|--------|------|---------|
| 1 ある | 2 少しある | 3 ない | 4 わからない |
|------|--------|------|---------|

【問45、46は、問44で、「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。】

問45 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 学校・仕事場 | 5 病院などの医療機関 |
| 2 仕事を探すとき | 6 住んでいる地域 |
| 3 外出先 | 7 その他(具体的に) |
| 4 余暇を楽しむとき | |

問46 差別や嫌な思いをしたことをどなたかに相談したことがありますか。
(〇は1つだけ)

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 相談したことがある(相談相手との関係を具体的に) |) |
| 2 | 相談できなかった(理由を具体的に) |) |
| 3 | 相談しなかった(理由を具体的に) |) |

問47 成年後見制度についてご存じですか。(〇は1つだけ)

※成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が十分でない人の財産管理、日常生活上の法律行為(契約など)を、成年後見人等が本人に代わって行う制度です。(制度利用にあたっては、家庭裁判所への申立が必要)

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 名前も内容も知っている |
| 2 | 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3 | 名前も内容も知らない |

問48 現在、成年後見制度を利用していますか。また、今後利用したいと思われませんか。「現在」と「今後」の両方にお答えください。(該当する番号に〇)

- | | | | |
|----|--------|-----------|---------|
| 現在 | | | |
| 1 | 利用している | 2 利用していない | |
| 今後 | | | |
| 1 | 利用したい | 2 利用しない | 3 わからない |

災害時の避難などについて

問49 あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

- | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|-------|
| 1 | できる | 2 | できない | 3 | わからない |
|---|-----|---|------|---|-------|

問50 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。
(〇は1つだけ)

- | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|-------|
| 1 | いる | 2 | いない | 3 | わからない |
|---|----|---|-----|---|-------|

問51 火事や地震などの災害によって困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 投棄や治療が受けられない |
| 2 | 補装具の使用が困難になる |
| 3 | 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる |
| 4 | 救助を求めることができない |
| 5 | 安全なところまで、迅速に避難することができない |
| 6 | 被害状況、避難場所などの情報が入りできない |
| 7 | 周囲とコミュニケーションがとれない |
| 8 | 避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安 |
| 9 | その他(具体的に |
| 10 | 持にない |

しょうらい
将来について

問52 将来のことで、不安に思っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|-------------------|----|----------------|
| 1 | 住む場所が確保できない | 6 | 必要なサービスが受けられるか |
| 2 | 収入が得られるか、生活していけるか | 7 | 地域に溶け込めるか |
| 3 | 物事を自分で決められるか | 8 | 災害時の対応 |
| 4 | お金の管理 | 9 | 困ったときの相談 |
| 5 | 一人で、すごすこと | 10 | その他(具体的に |

【18歳未満の方は、下の問53～問56にもお答えください。】

障がい児への支援について

問53 あなたは現在、どちらに通園・通学、または通勤していますか。(〇は1つだけ)

1 通園施設	9 高等学校
2 保育所、認定こども園、幼稚園等	10 視覚・聴覚・特別支援学校高等部
3 小学校(通常学級)	11 大学
4 小学校(特別支援学級)	12 その他の学校・施設
5 視覚・聴覚・特別支援学校小学部	13 仕事をしている
6 中学校(通常学級)	14 通園・通学、仕事はしていない
7 中学校(特別支援学級)	
8 視覚・聴覚・特別支援学校中学部	

【太枠内1～12を選んだ方は問54へ】

【13か14を選んだ方は問56へ】

【問53で、「1」から「12」までを選んだ方にお聞きします。】

問54 学校生活をするうえで困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1 通園・通学手段の確保が難しい	6 障がいの状況や特性に応じた教育や相談などをしてもらえない
2 介助が得にくい	7 その他
3 周囲の理解が得にくい	(具体的に)
4 建物や設備が不便	8 特になし
5 家族の負担が大きい	

問55 あなたは、中学(中学部)や高校(高等部)などを卒業した後、どのような進路を考えていますか。(〇は1つだけ)

1 進学(高校(高等部)、大学、専門学校等)	5 家の仕事を手伝う
2 職業訓練校での技術の習得	6 在宅
3 福祉施設や作業所への通所	7 医療機関入院
4 就職(アルバイトなどを含む)	8 その他(具体的に)
	9 わからない

問56 将来、働くことについてどのように考えていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 一般の職場で働きたい・働きたい
- 2 職場自体が障がいの特性などに配慮された環境で働きたい・働きたい
- 3 一般の職場ではなく福祉施設や作業所で働きたい
- 4 障がいや病気で働くことができない
- 5 働きたくない、働くつもりがない
- 6 わからない、まだ考えたことがない
- 7 その他(具体的に)

最後に、秋田市の障がい福祉施策の取組について、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、この調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、7月21日(金)までにポストへ投函くださるようお願いいたします。

Ⅶ 調査票(特別支援学校生徒)

秋田市の障がい福祉に関するアンケート ご協力のお願い (特別支援学校生徒用)

日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
本市では現在、令和6年度から令和11年度までの6年間の計画期間とする「第6次秋田市障がい者プラン」と、令和6年度から令和8年度までの3年間の計画期間とする「第7期秋田市障がい福祉計画」と「第3期秋田市障がい児福祉計画」の策定に向けた取組を進めています。

そのため、特別支援学校高等部に秋田市から通っている生徒のみなさんが福祉について思っていることなどを把握したく、この調査票を配りました。

この調査には自分の名前を書かないので、誰が書いたか他の人が知ることはありません。また、回答内容は、統計的な処理を行い、プランと計画の策定や施策の推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。

回答は必ずしなくてはならないものではありませんが、これからの秋田市の障がい福祉の取組をよりよくするため、回答をぜひお願いします。

令和5年7月 秋田市

<p>〈ご記入にあたってのお願い〉</p> <ul style="list-style-type: none">● 調査票の記入にあたっては、令和5年7月1日現在の状況をお答えください。● ご本人が直接回答することが難しい場合には、ご家族や学校の先生などがご本人の意向を尊重してご記入くださいますようお願いいたします。● 調査票の記入が終わりましたら、<u>同封の返信用封筒に入れて封をし、7月21日(金)までにお送りください。</u>
--

調査へのご質問などは、下の問合せ先にお寄せください。

<p>【問合せ先】 秋田市福祉保健部障がい福祉課 企画管理担当 加藤直樹、鈴木 電話 888-5663 FAX 888-5664</p>
--

あきたし しょう ふくし かん あんけーと
 秋田市の障がい福祉に関するアンケート
 調査票（特別支援学校生徒用）

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（〇は1つだけ）

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 本人 |
| 2 | 家族（本人の意向を尊重して記入） |
| 3 | 学校の先生（本人の意向を尊重して記入） |
| 4 | 施設職員（本人の意向を尊重して記入） |

※これ以降、この調査の対象とさせていただく方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（この調査票の対象者：障がいのある方）の状況などについて、お答えください。

あなたの性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。（〇は1つだけ）

- | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|------|---|------------------------------|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 | 3 | 答えない | 4 | 自由記載（ ） |
|---|----|---|----|---|------|---|------------------------------|

問3 あなたの学年を記入してください。

高等部	<input type="text"/>	年生	歳	<input type="text"/>
-----	----------------------	----	---	----------------------

問4 あなたの住まいの地域は、次のうちどこですか。（〇は1つだけ）

（寄宿舍・施設入所の場合は、あなたの住民登録地を選択してください。）

- | | |
|---|---|
| 1 | 中央（大町 旭北 旭南 川元 川尻 山王 高陽 保戸野 泉 千秋 中通 南通 楢山 茨島 八橋） |
| 2 | 東部（東通 手形 手形（学） 手形山 旭川 新藤田 濁川 添川 山内 仁別 広面 柳田 横森 桜 桜ヶ丘 桜台 大平台 下北手 太平） |
| 3 | 西部（新屋 勝平 浜田 豊岩 下浜） |
| 4 | 南部（牛島東 牛島西 牛島南 卸町 大住 大住南 仁井田 御野場 御所野 四ツ小屋 上北手 山手台 南ヶ丘） |
| 5 | 北部（寺内 外旭川 土崎港中央 土崎港東 土崎港西 土崎港南 土崎港北 土崎港（その他） 將軍野東 將軍野南 將軍野（その他） 湊北 飯島 金足 下新城 上新城） |
| 6 | 河辺 |
| 7 | 雄和 |
| 8 | 秋田市外 |

しょう しょうぎょう
あなたの障がいについて

問5 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

1 1級	3 3級	5 5級	7 持っていない
2 2級	4 4級	6 6級	▶ 【問7へ】

問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。
(複数の障がいがある場合は、等級の数字が最も小さいものを、数字が同じ場合は、どちらか生活する上でより不便を感じている障がいを選んで〇で囲んで下さい。)

1 視覚障 害	5 肢体不自由 (下肢)
2 聴覚障 害	6 肢体不自由 (体幹)
3 音声・言語・そしゃく機能障 害	7 内部障 害 (1～6以外)
4 肢体不自由 (上肢)	

問7 あなたは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

1 A判定	2 B判定	3 持っていない
-------	-------	----------

問8 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。
(〇は1つだけ)

1 1級	2 2級	3 3級	4 持っていない
------	------	------	----------

問9 あなたはパーキンソン病や筋ジストロフィーなどの指定難病の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

問10 あなたは発達障 害だと診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)
※発達障 害とは、自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障 害、学習障 害、注意欠陥多動性障 害などをいいます。

1 ある	2 ない
------	------

問11 現在、受けている医療ケアの内容をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1 受けていない	8 中心静脈栄養 (I V H)
2 気管切開	9 透視
3 人工呼吸器 (レスピレーター)	10 カテーテル留置
4 吸込	11 ストーマ (人工肛門・人工膀胱)
5 吸引	12 服薬管理
6 首ろう・腕ろう	13 導尿
7 鼻経管栄養	14 その他 (具体的に)

暮らしについて

問12 日頃、生活で支援が必要な場合、あなたを援助 (声かけやうながし) ・介助をしてくれる方は主に誰ですか。(○は1つだけ)

1 母	5 叔父 (伯父) ・叔母 (伯母)
2 父	6 施設の職員
3 兄弟・姉妹	7 その他 (具体的に)
4 祖父母	8 特に支援は必要ない

問13 あなたは、どのような手段で通学していますか。

(行きと帰りで違う場合は、あてはまるものすべてに○)

1 徒歩 (ひとりで)	6 自家用車などで送り迎え
2 徒歩 (付き添いあり)	7 タクシー
3 スクールバス	8 寄宿舍
4 公共交通機関 (ひとりで利用)	9 放課後サービス
5 公共交通機関 (付き添いあり)	10 その他 (具体的に)

問14 あなたは、障害福祉サービスなどを利用していますか。(〇は1つだけ)

1 利用している	2 申請中	3 利用していない	4 わからない
----------	-------	-----------	---------



【問14で「1」、「2」、「3」を選んだ方にお聞きします】

問15 あなたは、次の表にある(1)から(7)までの障害福祉サービスなどを利用していますか。また今後利用したいと考えていますか。

- ① 現在の利用状況 (利用している方のみ)
- ② 現在利用している場合の利用量 (利用している方のみ)
- ③ 今後の利用希望(今の利用を続けたい、またはこれから使いたいかどうか) (全員)

①～③について、それぞれ該当する項目に〇をつけてください。

障害福祉サービスなどの内容	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している方のみ回答	②利用量 ※利用している方のみ回答		③利用希望 ※全員回答	
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に〇をつけてください。	利用しているサービスの番号に〇	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に〇
(1) 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅での入浴や排せつ、食事などの介助を受けるサービスです。	1	1	2	3	1
(2) 短期入所 (ショートステイ) 在宅の障がい児を介護する方が病気の時などに、施設に短期間入所した障がい児に入浴や排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	2	1	2	3	2
(3) 日中一時支援 (短期入所型) 在宅の障がい児を介護する方が病気の時などに、宿泊を伴わずに障がい児を施設で一時的に介護するサービスです。	3	1	2	3	3

障害福祉サービスなどの内容	現在			今後	
	①利用状況 ※利用している 方のみ回答	②利用量 ※利用している 方のみ回答			③利用希望 ※全員回答
右の①～③の項目について、その下の該当する数字に○をつけてください。	利用しているサービスの番号に○	1 少ない	2 ちょうど良い	3 多い	利用したいサービスの番号に○
(4) 日中一時支援（放課後支援型） 特別支援学校に通う児童生徒で放課後などに介護する方がいないとき、学校の空き教室などで一時的に預かるサービスです。	※令和5年7月現在秋田市で実施事業所はありません。			4	
(5) 放課後等デイサービス 学校の授業終了後や休校日に、児童発達支援センター等の施設で児童生徒に生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	5	1	2	3	5
(6) 移動支援 屋外での移動が難しい重度の身体障がい・知的障がい・精神障がい児(者)に対して、余暇活動などの社会参加のときの移動の際に、ガイドヘルパーを派遣するサービスです。	6	1	2	3	6
(7) 医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作や知識、技能、集団生活について教えたり、理学療法などの機能訓練を行ったりするサービスです。	7	1	2	3	7

きょういく
教育について 【問16～問18は、ご家族の方がお答えください。】

問16 望ましい就学環境はどのような環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 地域の学校において、できるだけほかの児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境
- 2 地域の学校の支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境
- 3 特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に)

問17 現在通っている学校での生活で困っていることがありましたら、ご記入ください。

問18 障がいのある児童・生徒の教育・育成に関して、どのようなことが必要であると思いますか。(〇は2つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 障がいへの理解を深めるため、すべての児童・生徒に対する人権教育の推進 |
| 2 児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実 |
| 3 スロープなど、児童・生徒の障がいに対応した施設・設備 |
| 4 教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携 |
| 5 早期発見・早期療育システムの確立 |
| 6 障がいのある児童・生徒の保護者に対する精神的な支援 |
| 7 特になし |
| 8 その他(具体的に) |

卒業した後について

問19 あなたは、高等部を卒業した後、どのような進路を考えていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 就職(一般就労) | 5 施設入所(継続入所を含む) |
| 2 就職(パート、アルバイト等) | ⇒【問21へ】 |
| 3 進学(大学、専門学校等) | 6 医療機関入院 |
| 4 施設通所 ⇒【問20へ】 | 7 わからない |
| | 8 その他(具体的に) |

【問19で「4 施設通所」を選んだ方にお聞きします】

問20 利用したいサービスはどれですか。(〇は1つだけ)

サービスの内容	番号 に〇
(1) 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1
(2) 自立訓練(機能訓練) 身体障がいのある方などが自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	2
(3) 自立訓練(生活訓練) 知的障がいのある方や精神障がいのある方などが自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	3

サービスの内容	番号 に○
(4) 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	4
(5) 就労継続支援（A型） 通常の事業所で働くことが難しい方に、雇用契約に基づく就労の機会の提供やものづくりなどの機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	5
(6) 就労継続支援（B型） 通常の事業所で働くことが難しい方に、就労の機会の提供やものづくりなどの機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	6
(7) 地域活動支援センター 地域において就労が難しい、在宅の障がい者に、創作的活動やものづくりの機会、社会との交流機会などを提供するサービスです。	7

【問19で「5 施設入所」を選んだ方にお聞きします。】

問21 利用したい障害福祉サービスはどれですか。（○は1つだけ）

サービスの内容	番号 に○
(1) 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日に、他の利用者と共同で生活する家で、相談や日常生活上の援助等を受けるサービスです。	1
(2) 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する方に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	2
(3) 児童施設継続入所（経過的施設入所支援） 障がい児が18歳になった後も、障害児入所施設で継続して支援を行うサービスです。	3

【問19で「4 施設通所」または「5 施設入所」を選んだ方にお聞きします】

問22 障害福祉サービスの利用を考える上で、不安や不満に思っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 サービス内容に関する情報が少ない	7 サービスの質や内容が不安
2 障害福祉サービス事業所が少ない	8 他の利用者とうまくやれるか不安
3 利用したいと思う事業所がない	9 費用がいくらかかるか不安
4 利用したい事業所が定員で埋まっている	10 特になし
5 事業者との日時調整が大変	11 わからない
6 誰に相談したらよいのかわからない	12 その他(具体的に)

将来について

問23 将来のことで、不安に思っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 住む場所が確保できない	6 必要なサービスが受けられるか
2 収入が得られるか、生活していけるか	7 地域に溶け込めるか
3 物事を自分で決められるか	8 災害時の対応
4 お金の管理	9 困ったときの相談
5 一人で、すごすこと	10 その他 (具体的に)

最後に、秋田市の障がい福祉施策の取組について、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、7月21日(金)までにポストへ投函くださるようお願いいたします。

秋田市の障がい福祉に関するアンケート
結果報告書

秋田市 福祉保健部 障がい福祉課
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

T E L 018-888-5663

F A X 018-888-5664

<http://www.city.akita.lg.jp/>